

ちば

令和 2 年度

第 60 回

県政に関する世論調査

報 告 書

令和 3 年 5 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は令和2年度第1回目の調査で、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、昨年11月から12月にかけて郵送法・オンライン調査法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

令和3年5月

千葉県総合企画部長 鎌形 悦弘

目 次

調査の概要	-----	1
調査の結果 調査結果の解説	-----	9
1 環境と生活について	-----	9
(1) 今後の居住意向	-----	9
(1-1) 住み続けたい理由	-----	15
(1-2) 移りたい理由	-----	17
(2) 現在の生活の満足度	-----	19
(3) 住生活全般の満足度	-----	30
(4) 消費生活全般の満足度	-----	32
(5) 「気候変動による影響への適応」の認知度	-----	34
(6) 普段の生活で行っている環境保全の取組	-----	36
(7) 環境に配慮した行動	-----	43
(8) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティアへの参加状況	-----	45
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	-----	47
(10) 市民活動団体の活動への参加経験	-----	49
(11) ボランティア活動経験	-----	51
(12) この1年間の文化芸術に触れた頻度	-----	53
(12-1) 文化芸術に触れた主な場所	-----	55
(12-2) 文化芸術に触れなかった理由	-----	57
2 健康について	-----	59
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境	-----	59
(2) 1年間に行った運動の程度	-----	61
(3) 安心して受診できる医療体制	-----	63
(4) かかりつけ医の有無	-----	65
3 福祉について	-----	69
(1) 安心して子育てできる環境	-----	69
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について	-----	71
(3) 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか	-----	73
(4) 高齢者の社会参加について	-----	75
(5) 安心して暮らせる地域社会づくりについて	-----	77
(6) 「共生社会」の認知度	-----	79
(7) 男女共同参画社会を実現するための取組	-----	81
4 観光について	-----	83
(1) 千葉県の魅力	-----	83
(2) 県内で旅行に行きたいエリア	-----	85

(3)	県内を観光する際に事前に知りたい情報	87
(4)	この1年間に県内を観光した際の不満	89
(5)	県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの	91
5	千葉県の農林水産物について	93
(1)	千葉県産農林水産物の購入意向	93
(1-1)	千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由	95
(1-2)	千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由	97
(2)	環境にやさしい農産物や制度の認知度	99
(3)	「千葉ブランド水産物」の認知度	101
6	防災に関する取り組みについて	103
(1)	大地震や風水害への不安	103
(2)	水害・土砂災害の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝える方法の認知度	105
(3)	飲料水や食料の備蓄状況	108
(4)	災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄状況	110
(5)	災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度	112
(6)	地震の被害を防ぐための対策	114
7	地方分権について	116
(1)	地方分権改革を進めることについて	116
(2)	地方分権改革で期待する主な効果	118
8	広報・広聴活動について	120
(1)	関心のある県政分野	120
(2)	県政に関する情報を得る手段	122
(3)	県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況	124
(3-1)	「ちば県民だより」の入手場所について	126
(3-2)	「ちば県民だより」の内容について	128
(4)	千葉県ホームページの利用頻度	130
(4-1)	千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ	132
(5)	県の広報・魅力発信番組の視聴状況	134
(6)	情報の入手媒体	139
(6-1)	SNSの種類	141
(7)	県政への意見を述べる方法	143
9	県政への要望	145
(1)	県政への要望	145
(1-1)	各政策への具体的な要望	152
10	自由回答	165
	(付) 調査票および単純集計結果	169

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康について
- ③福祉について
- ④観光について
- ⑤千葉県の農林水産物について
- ⑥防災に関する取り組みについて
- ⑦地方分権について
- ⑧広報・広聴活動について

(2) 県政への要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
(郵送配付－郵送・オンライン回収)
- (6) 調査時期 令和2年11月27日～令和2年12月18日

4. 調査機関

株式会社 マーケティングリサーチサービス

5. 回収結果

標本数 (A)	3,000件
総回収数 (B)	1,570件
有効回収数 (C)	1,568件
うちネット回収数	385件
無効回収数	2件
うちネット回収数	0件
回収率 (B/A)	52.33%
有効回収率 (C/A)	52.27%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：3,000人

地点数：市部 193地点

郡部 7地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

[層化]

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
令和2年4月1日現在市制施行の
地域をさす。



〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和2年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

〔抽出〕

- 平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
 を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
① 千葉地域	1,066,091	0	1,066,091
	585	0	585
	39	0	39
② 葛南地域	1,424,395	0	1,424,395
	795	0	795
	53	0	53
③ 東葛飾地域	1,288,978	0	1,288,978
	720	0	720
	48	0	48
④ 印旛地域	582,691	36,303	618,994
	330	15	345
	22	1	23
⑤ 香取地域	66,268	30,304	96,572
	30	15	45
	2	1	3
⑥ 海匝地域	140,981	0	140,981
	75	0	75
	5	0	5
⑦ 山武地域	137,952	40,882	178,834
	75	30	105
	5	2	7
⑧ 長生地域	77,355	52,172	129,527
	45	30	75
	3	2	5
⑨ 夷隅地域	48,879	14,719	63,598
	30	15	45
	2	1	3
⑩ 安房地域	102,252	6,905	109,157
	60	0	60
	4	0	4
⑪ 君津地域	279,667	0	279,667
	150	0	150
	10	0	10
計	5,215,509	181,285	5,396,794
	2,895	105	3,000
	193	7	200

（注）上段は満18歳以上の人口（令和2年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区新宿1丁目	15	①千葉地域	市原市ちはら台南6丁目	15
	千葉市中央区千葉寺町	15		市原市椎の木台1丁目	15
	千葉市中央区新千葉3丁目	15		市原市本郷	15
	千葉市中央区東千葉1丁目	15		市川市八幡2丁目	15
	千葉市中央区宮崎町	15		市川市大和田1丁目	15
	千葉市中央区赤井町	15		市川市東菅野1丁目	15
	千葉市中央区蘇我2丁目	15		市川市鬼高3丁目	15
	千葉市花見川区検見川町1丁目	15		市川市大洲1丁目	15
	千葉市花見川区幕張町3丁目	15		市川市宮久保6丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷1丁目	15		市川市高谷2丁目	15
	千葉市花見川区長作町	15		市川市市川南4丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市曾谷3丁目	15
	千葉市稲毛区穴川2丁目	15		市川市原木	15
	千葉市稲毛区稲毛2丁目	15		市川市中国分5丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市塩焼3丁目	15
	千葉市稲毛区小中台町	15	市川市本塩	15	
	千葉市稲毛区柏台	15	市川市幸2丁目	15	
	千葉市若葉区桜木8丁目	15	②葛南地域	市川市新浜1丁目	15
	千葉市若葉区若松台1丁目	15		市川市福栄3丁目	15
	千葉市若葉区高品町	15		市川市南行徳3丁目	15
	千葉市若葉区愛生町	15		船橋市本町4丁目	15
	千葉市若葉区大宮台4丁目	15		船橋市東船橋3丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野南6丁目	15		船橋市若松2丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野5丁目	15		船橋市山野町	15
	千葉市緑区土気町	15		船橋市本中山4丁目	15
	千葉市美浜区真砂5丁目	15		船橋市海神6丁目	15
	千葉市美浜区打瀬1丁目	15		船橋市夏見4丁目	15
	千葉市美浜区稲毛海岸5丁目	15		船橋市上山町3丁目	15
	千葉市美浜区高洲3丁目	15		船橋市印内2丁目	15
	千葉市美浜区幸町2丁目	15		船橋市馬込西2丁目	15
	市原市西国分寺台1丁目	15		船橋市咲が丘4丁目	15
	市原市八幡	15		船橋市小室町	15
	市原市潤井戸	15		船橋市松が丘3丁目	15
	市原市姉崎	15		船橋市緑台2丁目	15
市原市五井	15	船橋市高根台3丁目		15	
市原市八幡北町3丁目	15	船橋市習志野台4丁目		15	

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市飯山満町2丁目	15	③東葛飾地域	野田市山崎	15
	船橋市薬円台3丁目	15		野田市野田	15
	船橋市田喜野井6丁目	15		野田市岩名二丁目	15
	習志野市鷺沼1丁目	15		野田市木間ヶ瀬	15
	習志野市津田沼2丁目	15		柏市泉町	15
	習志野市谷津4丁目	15		柏市末広町	15
	習志野市藤崎2丁目	15		柏市柏	15
	習志野市屋敷2丁目	15		柏市豊四季	15
	習志野市東習志野2丁目	15		柏市篠籠田	15
	八千代市大和田新田	15		柏市松葉町3丁目	15
	八千代市ゆりのき台4丁目	15		柏市増尾6丁目	15
	八千代市上高野	15		柏市南増尾6丁目	15
	八千代市勝田台2丁目	15		柏市東中新宿2丁目	15
	八千代市八千代台北12丁目	15		柏市西原6丁目	15
	八千代市高津	15		柏市大室	15
	浦安市当代島1丁目	15		柏市高柳新田	15
	浦安市海楽1丁目	15		流山市中	15
	浦安市富士見1丁目	15		流山市前ヶ崎	15
浦安市美浜2丁目	15	流山市南流山2丁目	15		
浦安市日の出1丁目	15	流山市市野谷	15		
③東葛飾地域	松戸市緑ヶ丘1丁目	15	流山市駒木	15	
	松戸市岩瀬	15	流山市東深井(大字)	15	
	松戸市古ヶ崎2丁目	15	我孫子市我孫子2丁目	15	
	松戸市稔台1丁目	15	我孫子市つくし野6丁目	15	
	松戸市東松戸4丁目	15	我孫子市天王台5丁目	15	
	松戸市上矢切	15	我孫子市中峠台	15	
	松戸市新作	15	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷1丁目	15	
	松戸市常盤平4丁目	15	鎌ヶ谷市初富本町1丁目	15	
	松戸市牧の原2丁目	15	鎌ヶ谷市右京塚	15	
	松戸市秋山	15	鎌ヶ谷市くぬぎ山3丁目	15	
	松戸市新松戸7丁目	15	④印旛地域	成田市不動ヶ岡	15
	松戸市新松戸東	15		成田市加良部6丁目	15
	松戸市八ヶ崎2丁目	15		成田市玉造2丁目	15
	松戸市八ヶ崎4丁目	15		成田市公津の杜5丁目	15
	松戸市松飛台	15		成田市本城	15
	松戸市横須賀2丁目	15		佐倉市宮前3丁目	15
	松戸市小金	15		佐倉市染井野2丁目	15
	野田市三ツ堀	15		佐倉市王子台1丁目	15

第60回県政に関する世論調査（R2年度）

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	佐倉市南ユーカーが丘	15	⑦ 山武地域	大網白里市みずほ台3丁目	15
	佐倉市井野	15		大網白里市南今泉	15
	四街道市鹿渡	15		山武郡芝山町山田	15
	四街道市大日	15		山武郡横芝光町鳥喰下	15
	四街道市上野	15	⑧ 長生地域	茂原市茂原	15
	八街市文違	15		茂原市高師	15
	八街市八街ほ	15		茂原市本納	15
	印西市発作	15		長生郡長生村北水口	15
	印西市原山3丁目	15	⑨ 夷隅地域	長生郡長南町上小野田	15
	印西市西の原2丁目	15		勝浦市新官	15
	白井市木	15		いすみ市釈迦谷	15
	白井市池の上1丁目	15		夷隅郡御宿町六軒町	15
	白井市桜台3丁目	15	⑩ 安房地域	館山市安布里	15
	富里市十倉	15		鴨川市打墨	15
	印旛郡酒々井町東酒々井3丁目	15		鴨川市天津	15
⑤ 香取地域	香取市津宮	15		南房総市千倉町忽戸	15
	香取市三ノ分目	15	⑪ 君津地域	木更津市永井作	15
	香取郡神崎町今	15		木更津市貝渕4丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市後飯町	15		木更津市八幡台6丁目	15
	銚子市春日町	15		木更津市高柳1丁目	15
	旭市二	15		君津市東坂田1丁目	15
	旭市倉橋	15		君津市坂田	15
	匝瑳市上谷中	15		君津市上新田	15
⑦ 山武地域	東金市西福俵	15		富津市青木	15
	山武市殿台	15		富津市竹岡	15
	山武市横田	15		袖ヶ浦市飯富	15

回答者の属性

1. 性



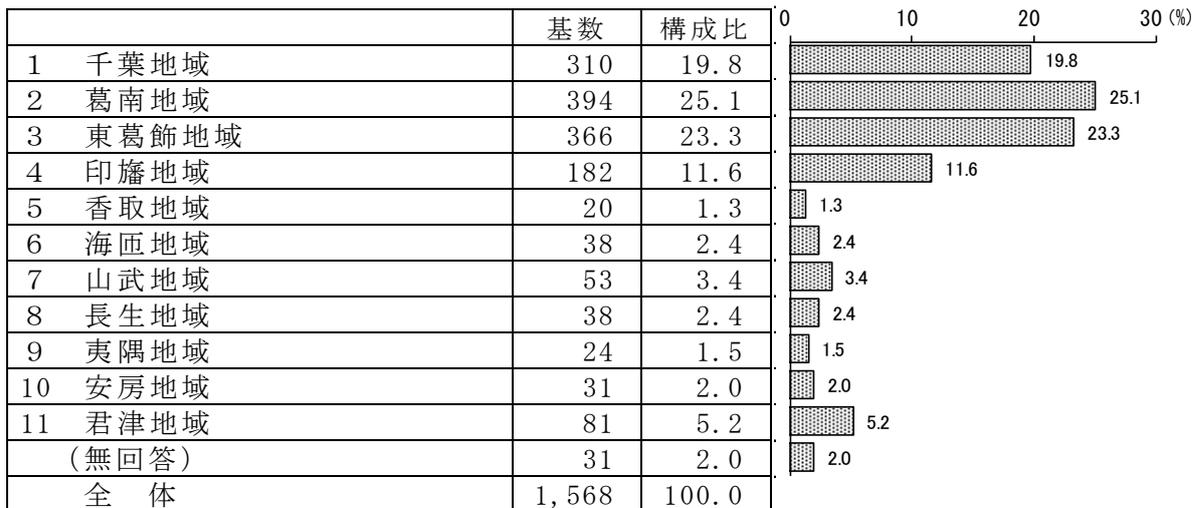
2. 年 代



3. 職 業



4. 地 域



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （1）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （2）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- （3）1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （4）選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （5）分かりやすく実態に合わせた設問にするため、前回調査の設問から表現等を変更したものがある。
- （6）地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- （7）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

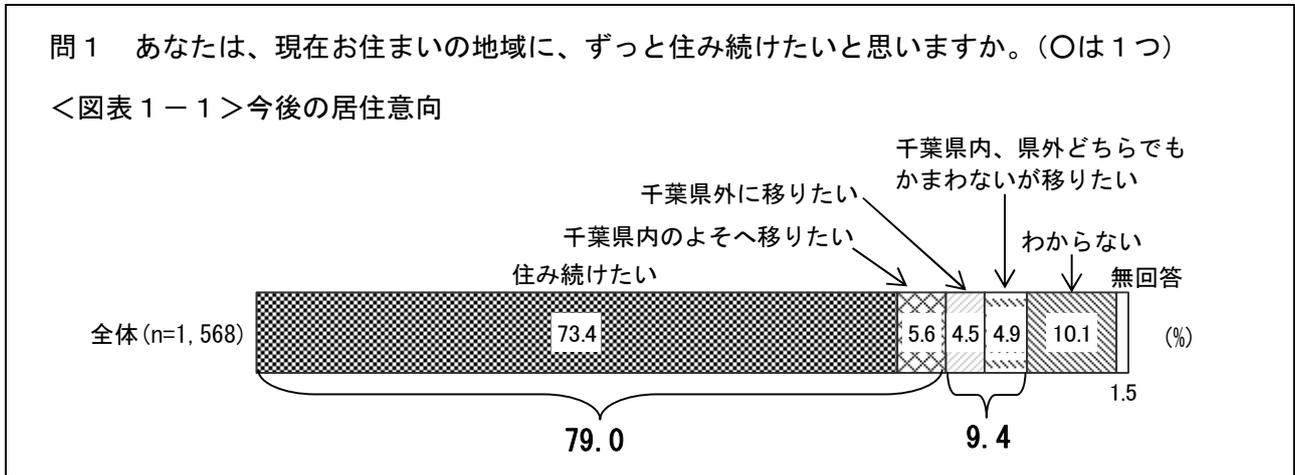
回答比率（P）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数（n）						
総数	1,568人	± 2.14	± 2.86	± 3.27	± 3.50	± 3.57
千葉地域	310	± 4.82	± 6.42	± 7.36	± 7.87	± 8.03
葛南地域	394	± 4.27	± 5.70	± 6.53	± 6.98	± 7.12
東葛飾地域	366	± 4.43	± 5.91	± 6.77	± 7.24	± 7.39
印旛地域	182	± 6.29	± 8.39	± 9.61	± 10.27	± 10.48
香取地域	20	± 18.97	± 25.30	± 28.98	± 30.98	± 31.62
海匝地域	38	± 13.76	± 18.35	± 21.02	± 22.48	± 22.94
山武地域	53	± 11.65	± 15.54	± 17.80	± 19.03	± 19.42
長生地域	38	± 13.76	± 18.35	± 21.02	± 22.48	± 22.94
夷隅地域	24	± 17.32	± 23.09	± 26.45	± 28.28	± 28.86
安房地域	31	± 15.24	± 20.32	± 23.28	± 24.88	± 25.4
君津地域	81	± 9.43	± 12.57	± 14.40	± 15.39	± 15.71
男性	660	± 3.30	± 4.40	± 5.04	± 5.39	± 5.50
女性	874	± 2.87	± 3.83	± 4.38	± 4.69	± 4.78

調査の結果 調査結果の解説

1 環境と生活について

(1) 今後の居留意向

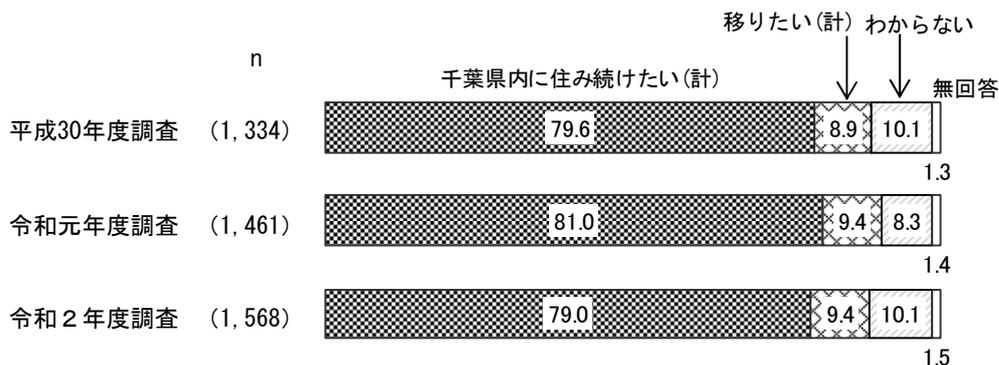
◇『千葉県内に住み続けたい（計）』が約8割



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.4%)が7割を超え、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(5.6%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい(計)』(79.0%)が約8割で高くなっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(4.5%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(4.9%)を合わせた『移りたい(計)』(9.4%)が約1割である。(図表1-1)

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

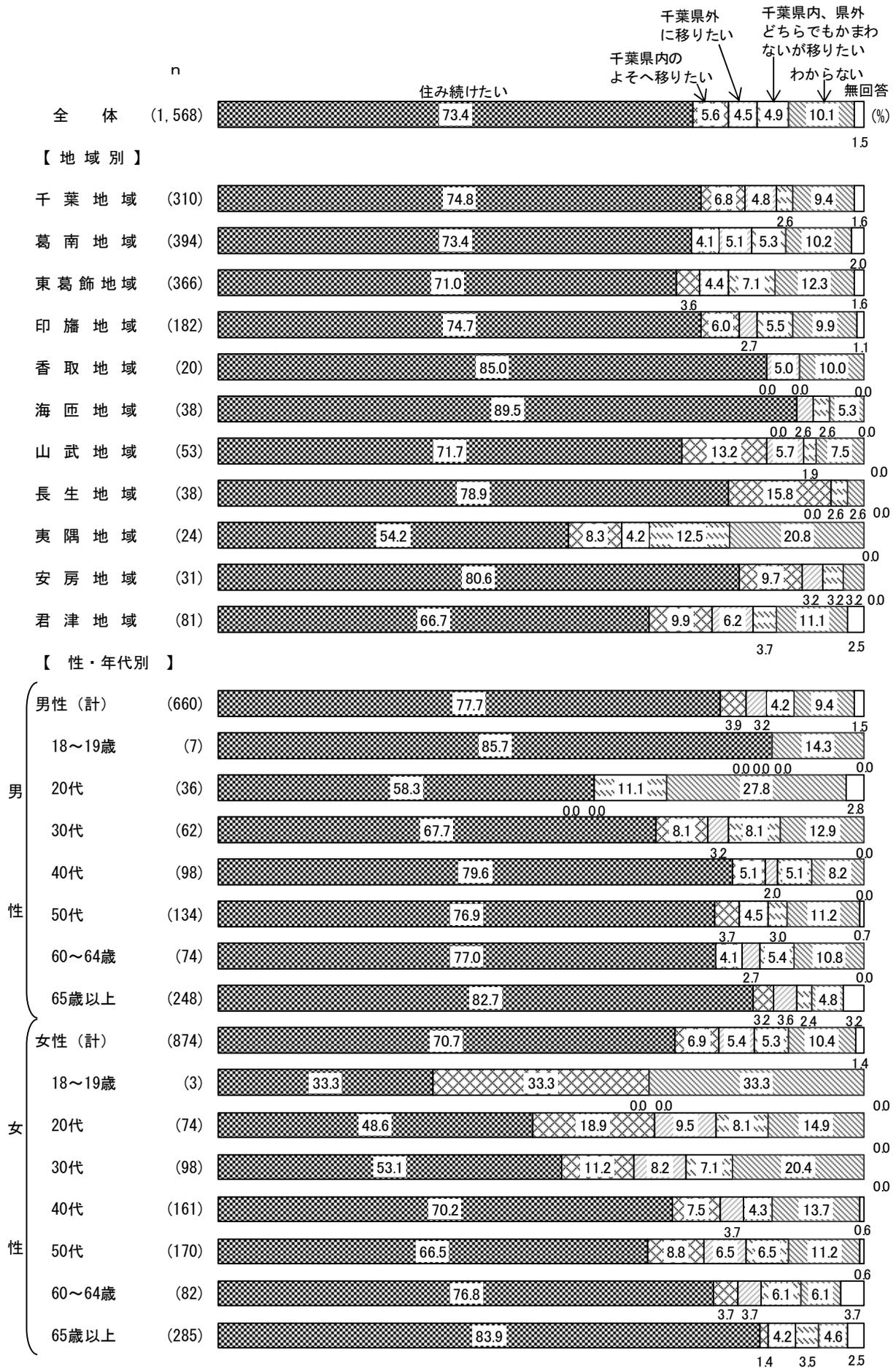
地域別にみると、『千葉県内に住み続けたい(計)』は“長生地域”(94.7%)が9割台半ばで高くなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『千葉県内に住み続けたい(計)』は男性の65歳以上(85.9%)と女性の65歳以上(85.3%)が8割台半ばで高くなっている。

一方、『移りたい(計)』は女性の20代(17.6%)が約2割、女性の30代(15.3%)が1割台半ばで高くなっている。(図表1-2)

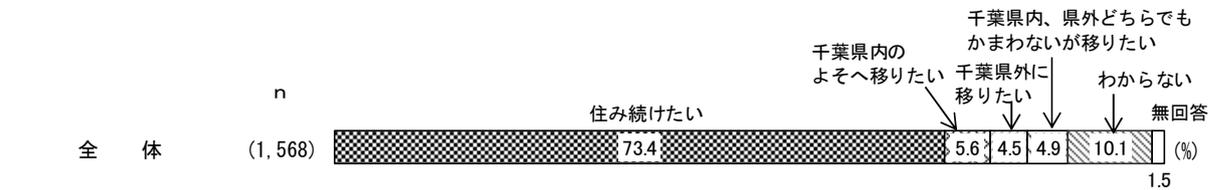
<図表1-2> 今後の居留意向／地域別、性・年代別



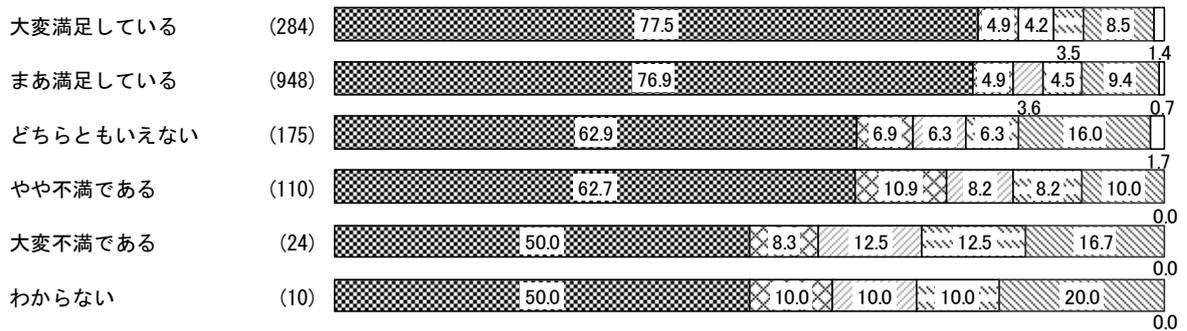
<今後の居留意向と現在の生活の満足度>

今後の居留意向について、今回の調査における、問2「現在の生活の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、現在の生活の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。（図表1-3）

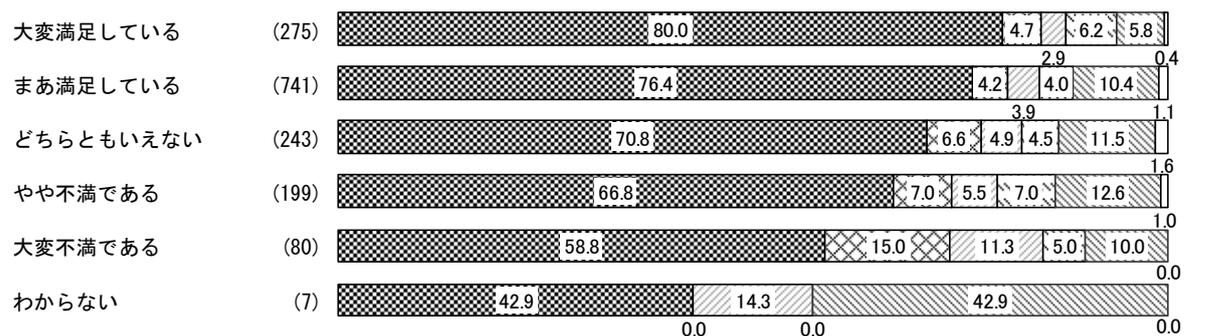
<図表1-3>今後の居留意向と現在の生活の満足度

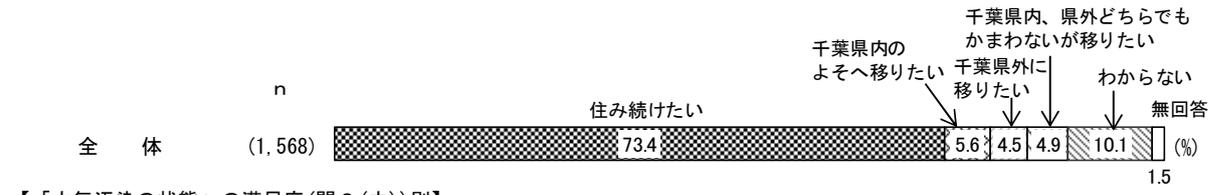


【「ごみ処理などの環境衛生」の満足度(問2(ア))別】

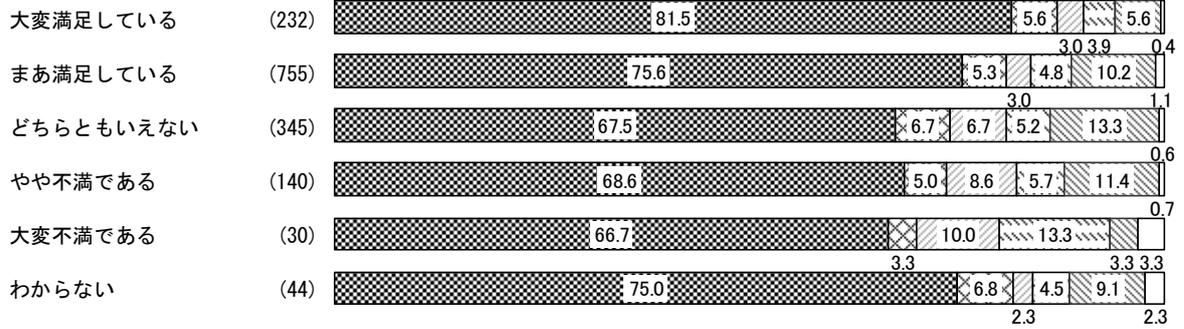


【「騒音・振動の状態」の満足度(問2(イ))別】

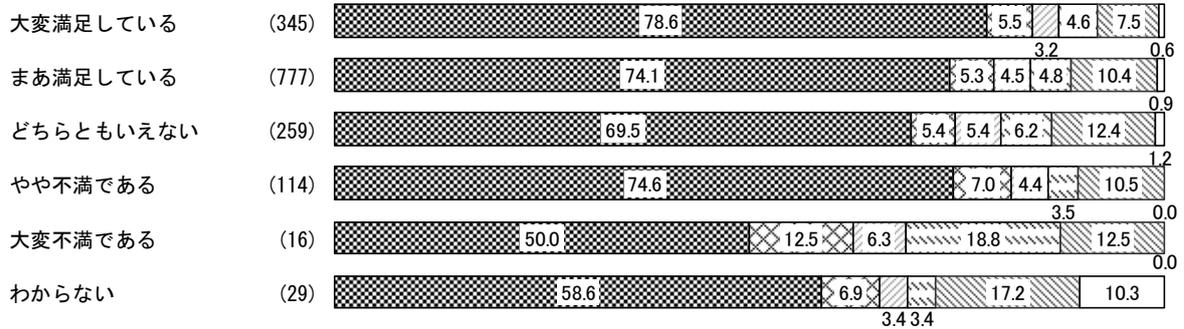




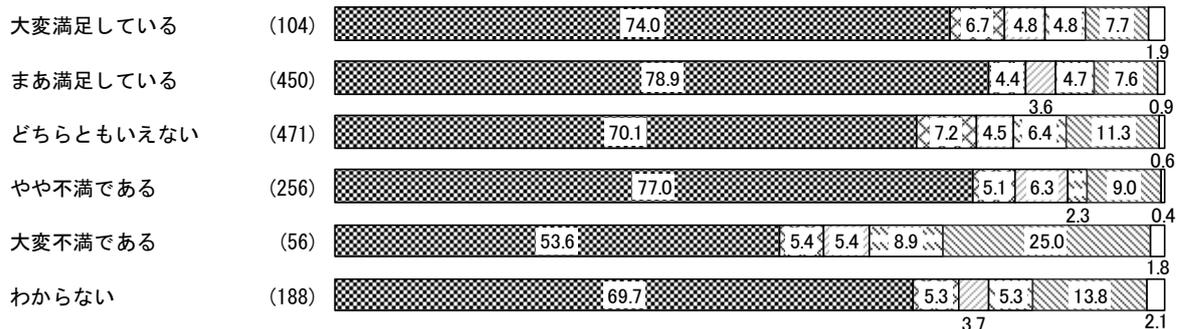
【「大気汚染の状態」の満足度(問2(ウ))別】

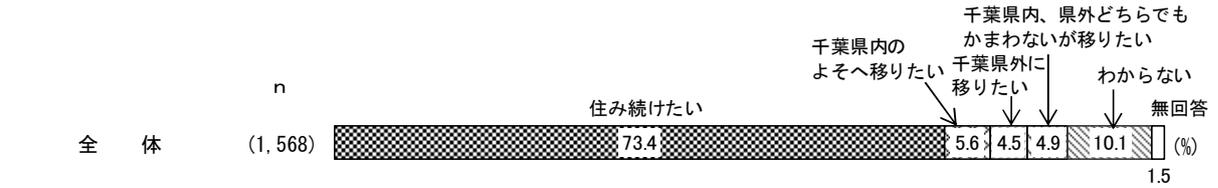


【「悪臭の状態」の満足度(問2(エ))別】

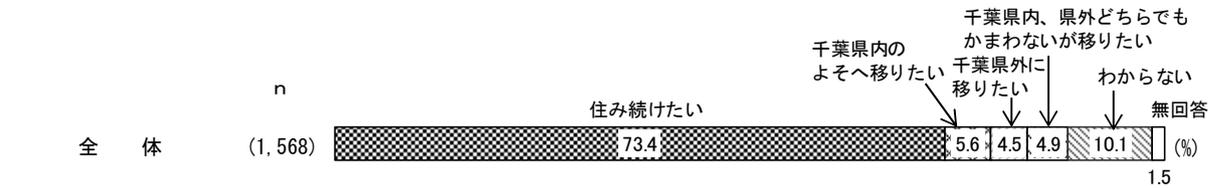
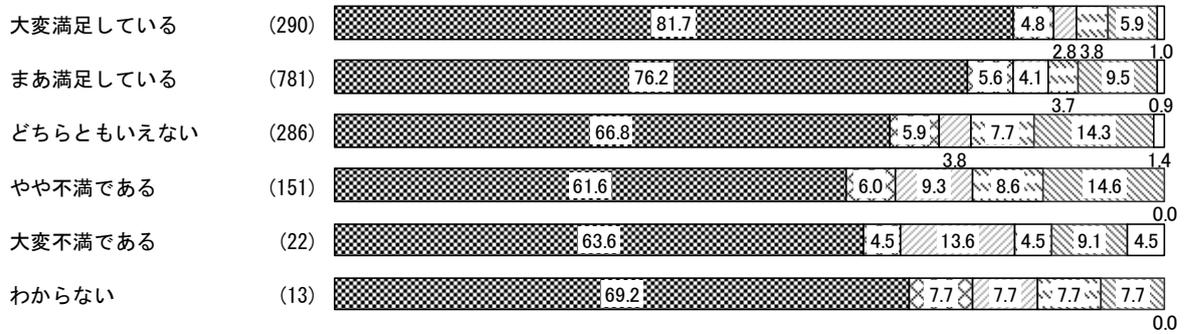


【「海・川などの汚れの状態」の満足度(問2(オ))別】

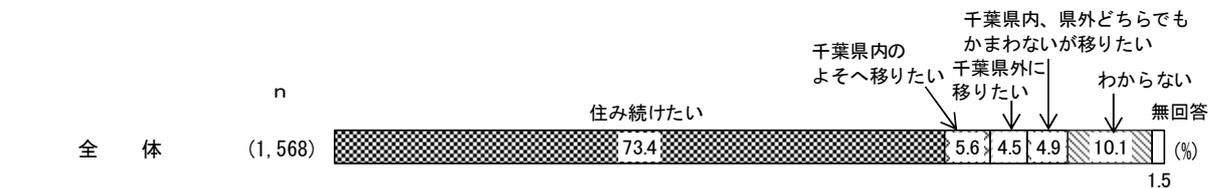
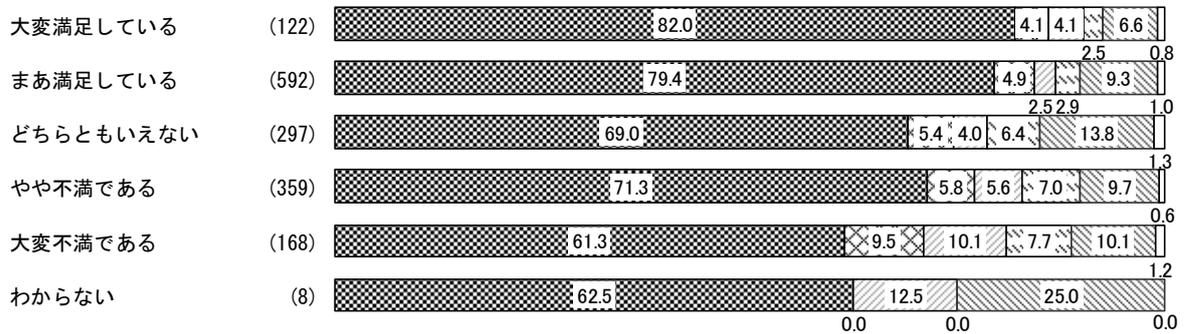




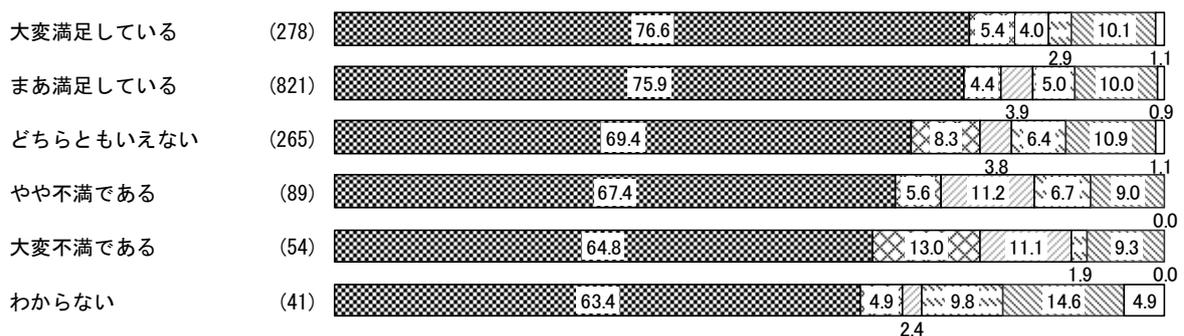
【「緑の豊かさ」の満足度(問2(カ))別】



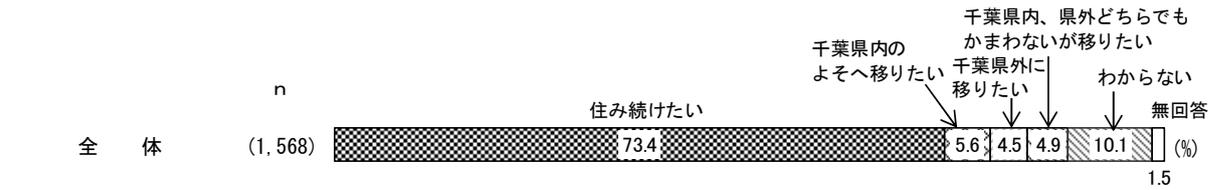
【「道路の整備」の満足度(問2(キ))別】



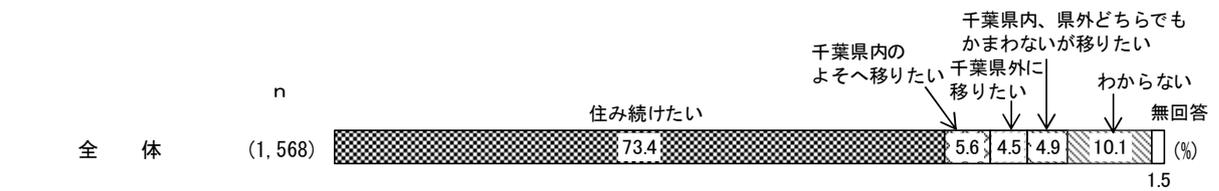
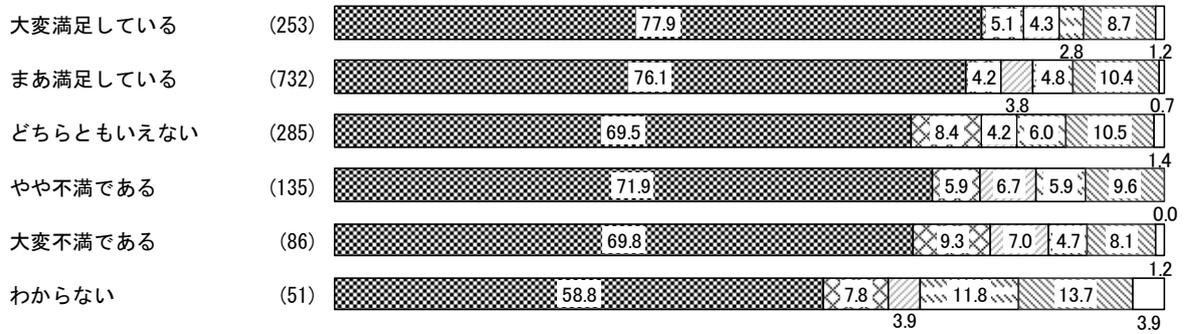
【「上水道の整備」の満足度(問2(ク))別】



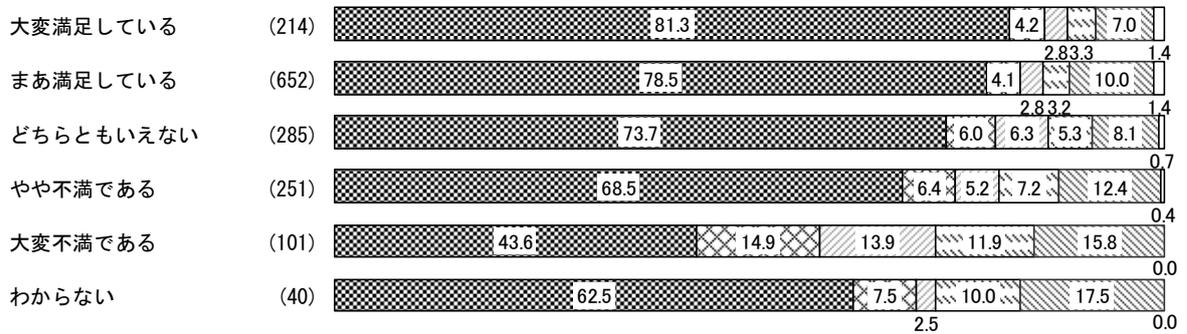
第60回県政に関する世論調査（R2年度）



【「排水（下水道）の整備」の満足度(問2(ケ))別】



【「通勤・通学の便」の満足度(問2(コ))別】



（1-1）住み続けたい理由

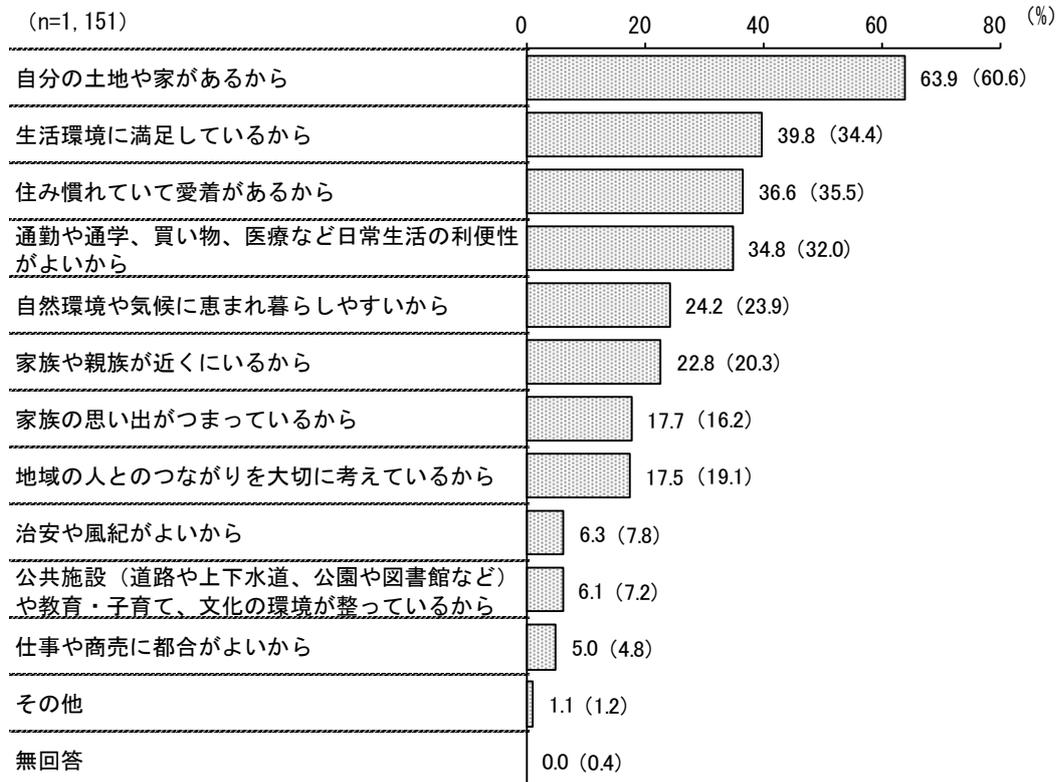
◇「自分の土地や家があるから」が6割台半ば

（問1で「住み続けたい」とお答えの方に）

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（〇は3つまで）

<図表1-4>住み続けたい理由（3つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,114

「住み続けたい」と回答した1,151人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」（63.9%）が6割台半ばで最も高く、以下、「生活環境に満足しているから」（39.8%）、「住み慣れていて愛着があるから」（36.6%）が続く。（図表1-4）

【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“山武地域”（78.9%）が約8割で高くなっている。

「生活環境に満足しているから」は“葛南地域”（46.7%）が4割台半ばで高くなっている。

「住み慣れていて愛着があるから」は“海匝地域”（52.9%）が5割を超えて高くなっている。

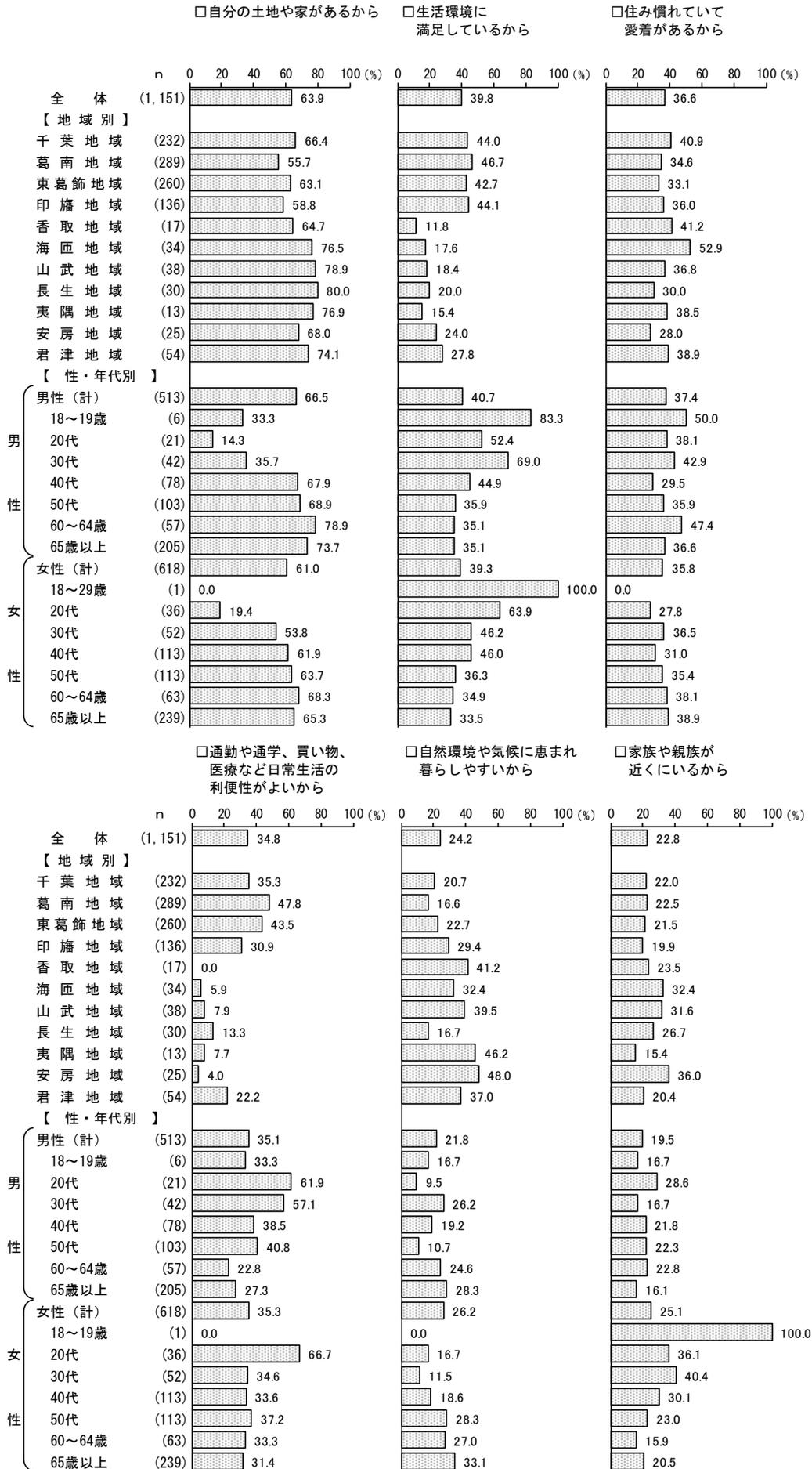
（図表1-5）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の60～64歳（78.9%）が約8割、男性の65歳以上（73.7%）が7割台半ばで高くなっている。

「生活環境に満足しているから」は男性の30代（69.0%）が約7割、女性の20代（63.9%）が6割台半ばで高くなっている。（図表1-5）

<図表1-5> 住みたい理由（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



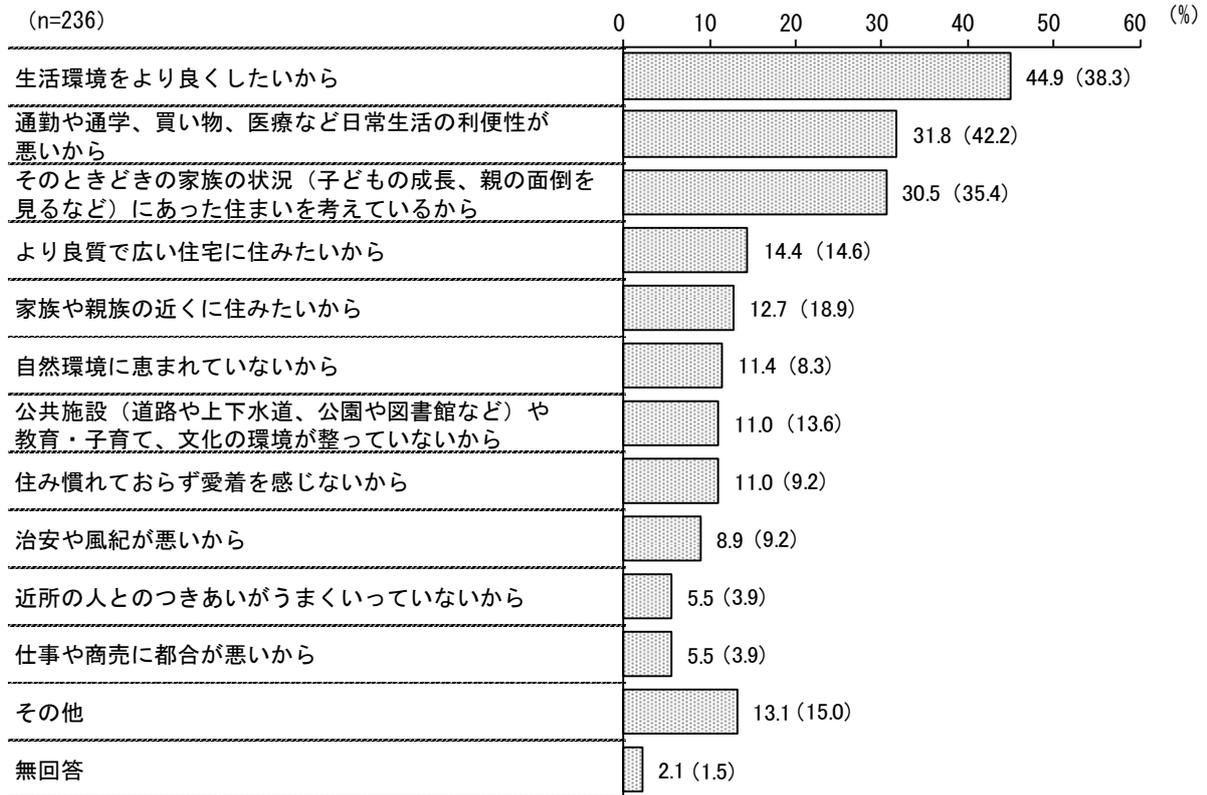
（1-2）移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が4割台半ば

（問1で「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。（○は3つまで）

<図表1-6>移りたい理由（3つまでの複数回答）

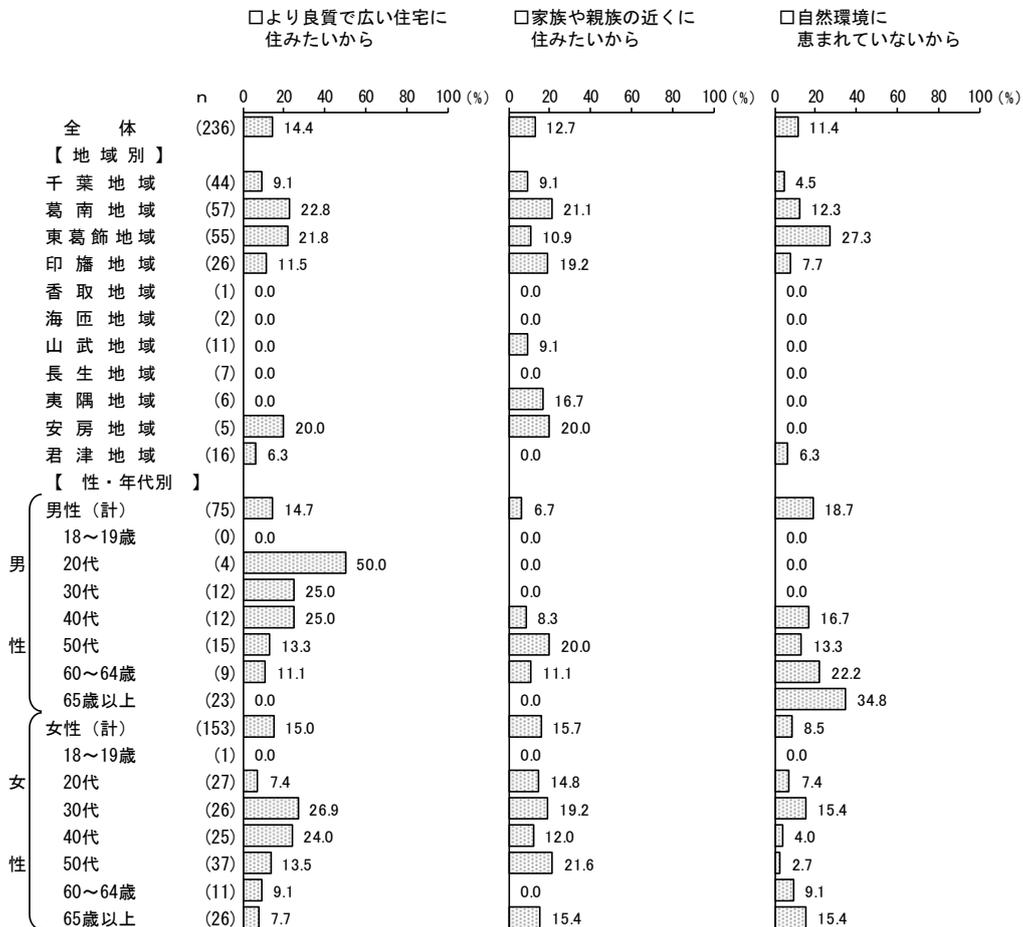
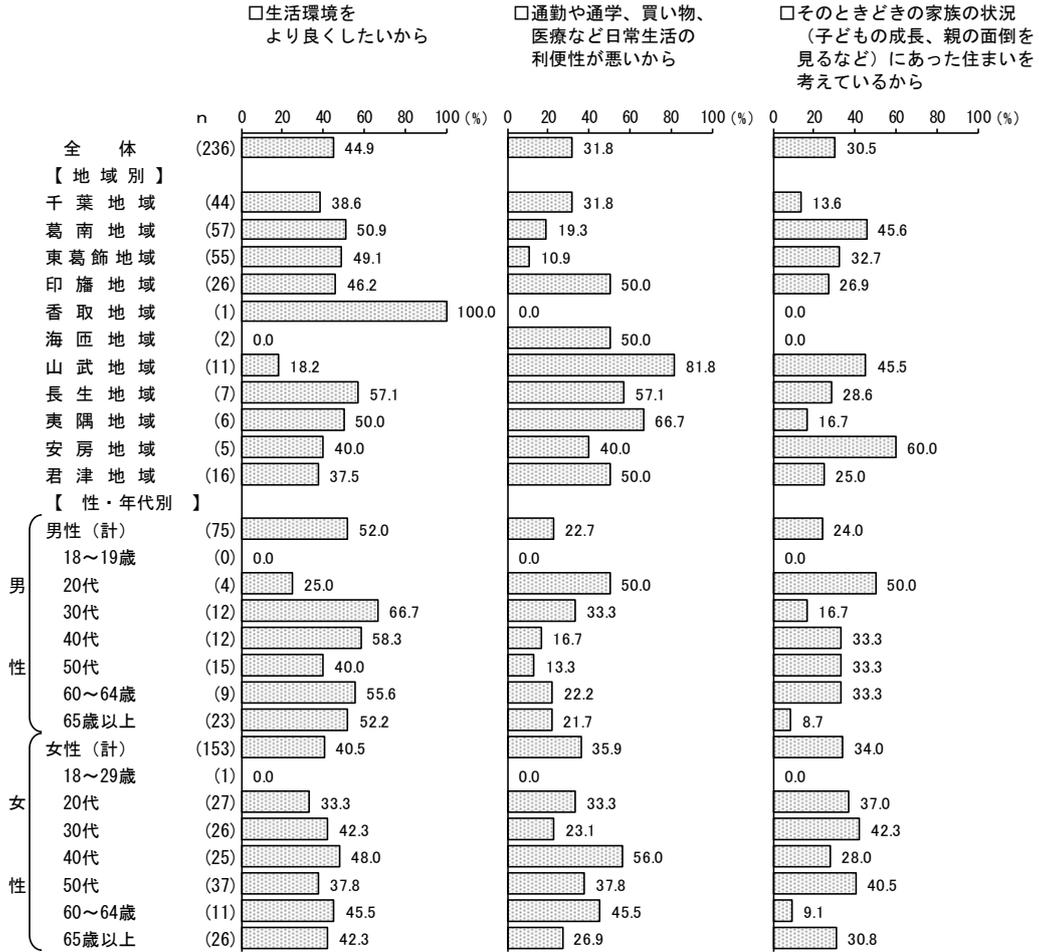


注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=206

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した236人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(44.9%)が4割台半ばで最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから」(31.8%)、「そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから」(30.5%)が続く。(図表1-6)

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。
 (8ページ「報告書の見方(6)」を参照)
 (図表1-7)

<図表1-7>移りたい理由（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



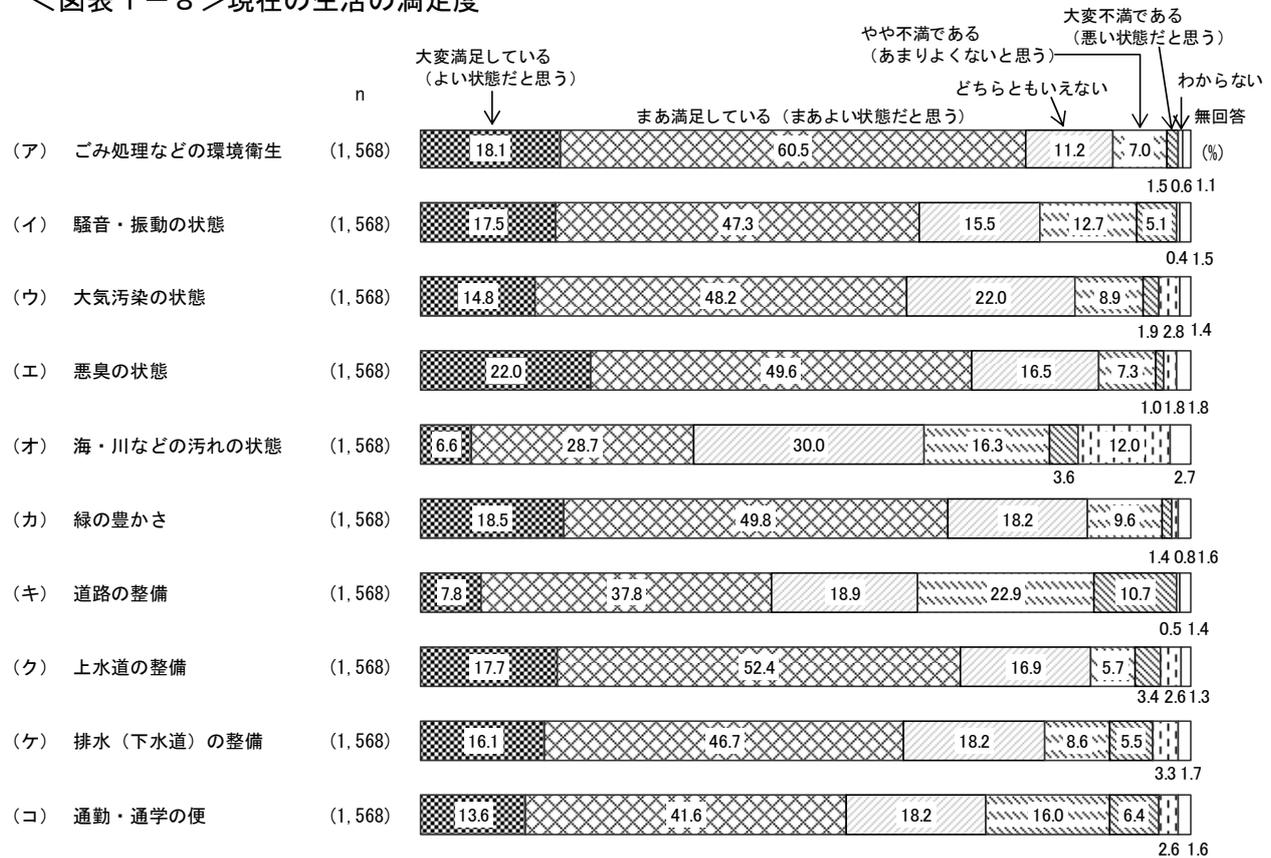
（2）現在の生活の満足度

◇『満足している（計）』が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生〉で約8割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活についてどの程度満足していますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表1-8＞現在の生活の満足度

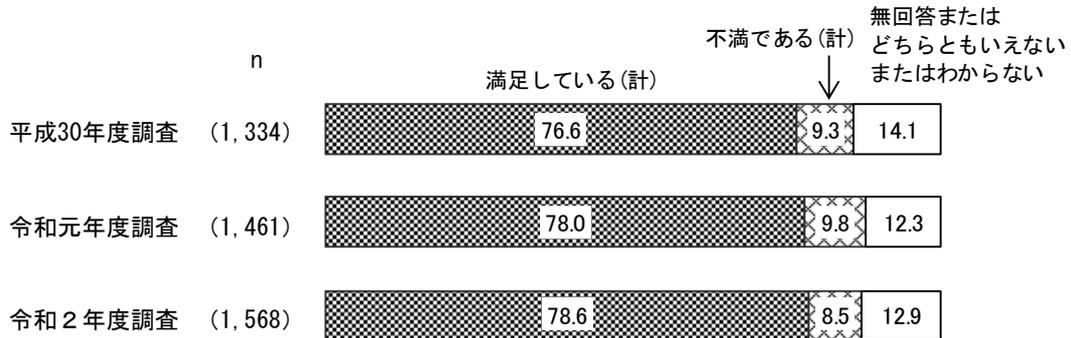


現在の生活に関する10個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している（よい状態だと思う）」と「まあ満足している（まあよい状態だと思う）」を合わせた『満足している（計）』が最も高いのは、「(ア) ごみ処理などの環境衛生」(78.6%)で約8割となっており、以下、「(エ) 悪臭の状態」(71.6%)が7割を超え、「(ク) 上水道の整備」(70.1%)が7割、「(カ) 緑の豊かさ」(68.3%)が約7割で続く。

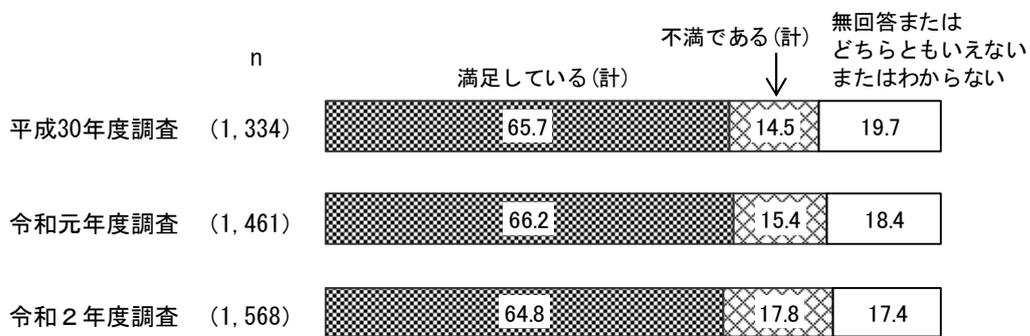
一方、「やや不満である（あまりよくないと思う）」と「大変不満である（悪い状態だと思う）」を合わせた『不満である（計）』が最も高いのは、「(キ) 道路の整備」(33.6%)で3割台半ばとなっており、以下、「(コ) 通勤・通学の便」(22.4%)が2割を超え、「(オ) 海・川などの汚れの状態」(19.9%)が約2割で続く。(図表1-8)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

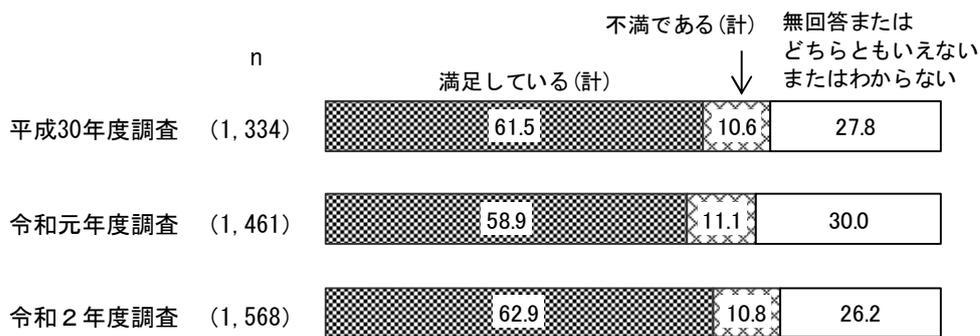
(ア) ごみ処理などの環境衛生



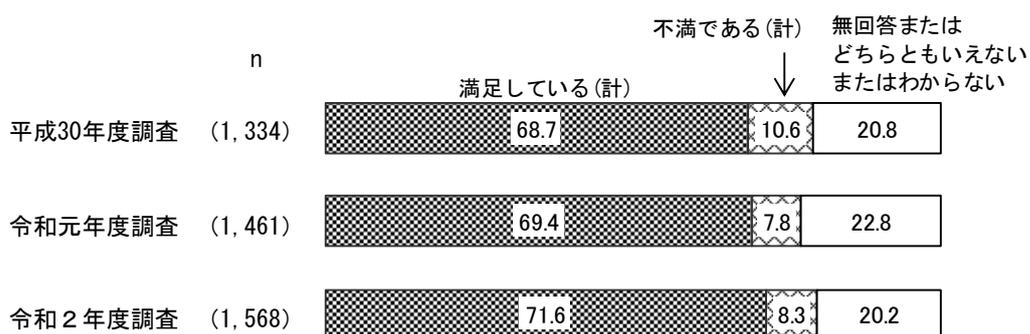
(イ) 騒音・振動の状態



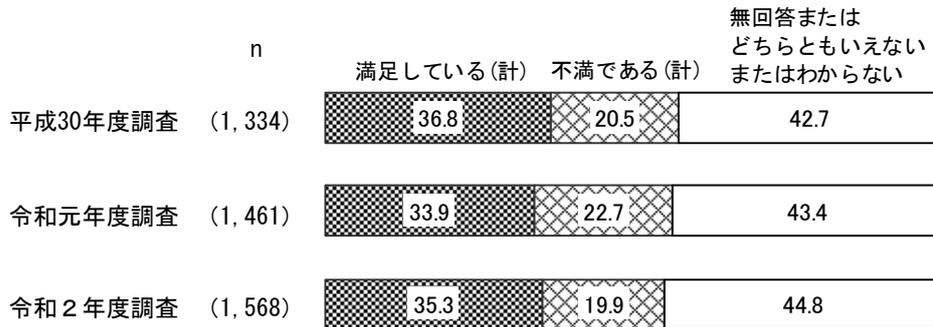
(ウ) 大気汚染の状態



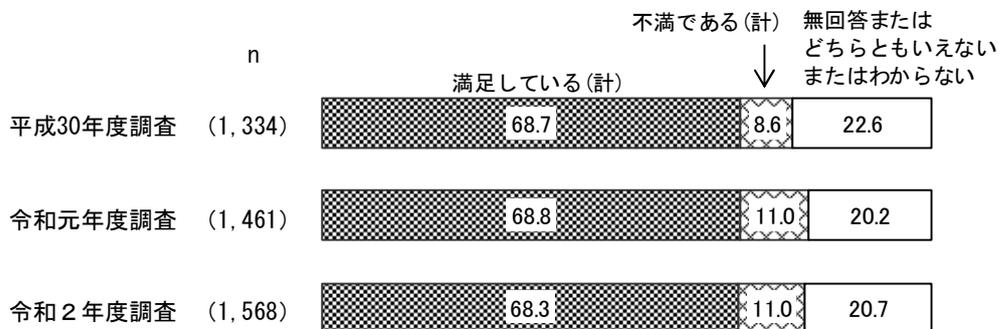
(エ) 悪臭の状態



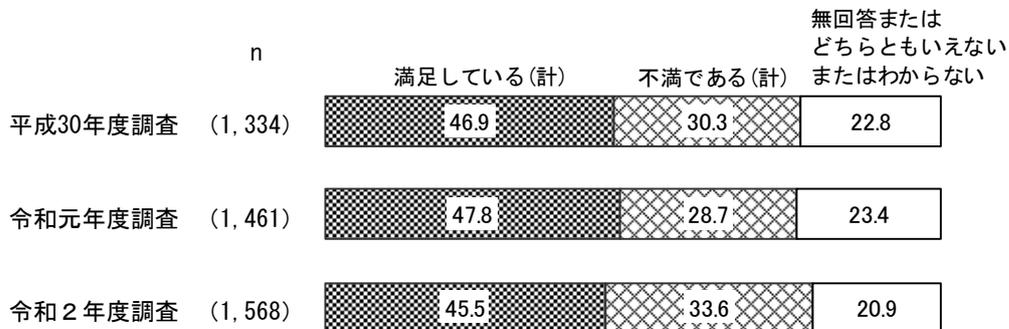
(オ) 海・川などの汚れの状態



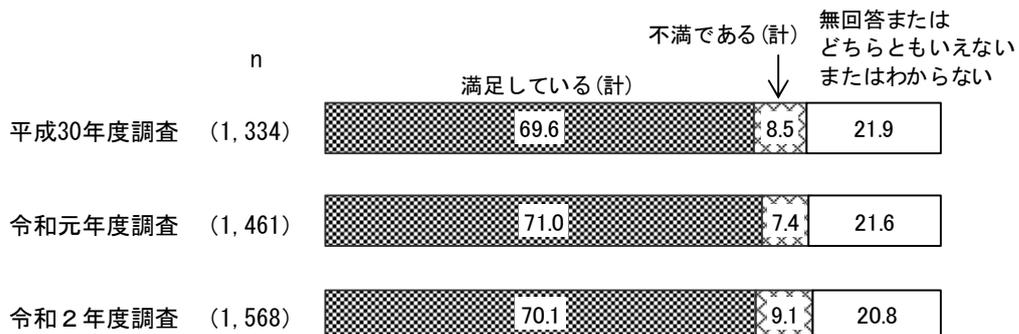
(カ) 緑の豊かさ



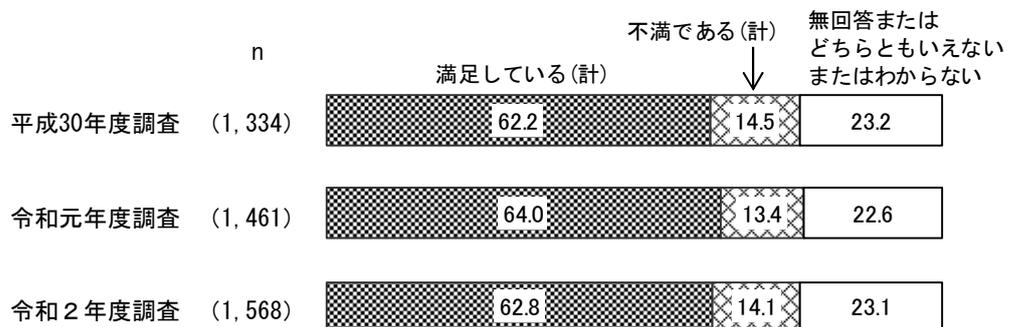
(キ) 道路の整備



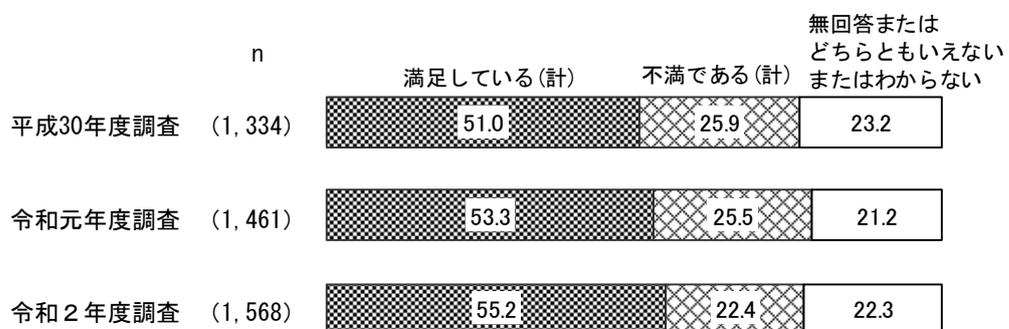
(ク) 上水道の整備



(ケ) 排水（下水道）の整備



(コ) 通勤・通学の便



【地域別】

地域別にみると、「(ア) ごみ処理などの環境衛生」の『不満である(計)』は“夷隅地域”(20.8%)が2割、“君津地域”(14.8%)が1割台半ば、“東葛飾地域”(11.5%)が1割を超えて高くなっている。

「(イ) 騒音・振動の状態」の『満足している(計)』は“印旛地域”(73.6%)が7割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 大気汚染の状態」の『満足している(計)』は“夷隅地域”(83.3%)が8割を超えて、“安房地域”(80.6%)が8割、“長生地域”(78.9%)が約8割、“印旛地域”(75.8%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“君津地域”(22.2%)が2割を超えて高くなっている。

「(エ) 悪臭の状態」の『満足している(計)』は“長生地域”(89.5%)が約9割、“印旛地域”(78.6%)が約8割、“東葛飾地域”(76.0%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“海匝地域”(26.3%)が2割台半ばで高くなっている。

「(オ) 海・川などの汚れの状態」の『満足している(計)』は“安房地域”(58.1%)が約6割、“印旛地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“葛南地域”(25.1%)が2割台半ばで高くなっている。

「(カ) 緑の豊かさ」の『満足している(計)』は“長生地域”(97.4%)が約10割、“夷隅地域”(87.5%)が約9割、“印旛地域”(82.4%)と“山武地域”(81.1%)が8割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“葛南地域”(18.3%)が約2割、“東葛飾地域”(14.8%)が1割台半ばで高くなっている。

「(キ) 道路の整備」の『満足している(計)』は“印旛地域”(53.8%)が5割台半ば、“千葉地域”(52.9%)が5割を超えて高くなっている。

「(ク) 上水道の整備」の『満足している(計)』は“東葛飾地域”(77.0%)が約8割で高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“山武地域”(24.5%)が2割台半ば、“夷隅地域”(20.8%)が2割で高くなっている。

「(ケ) 排水(下水道)の整備」の『満足している(計)』は“東葛飾地域”(70.2%)が7割、“印旛地域”(69.8%)と“千葉地域”(68.1%)が約7割で高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“夷隅地域”(33.3%)が3割を超え、“香取地域”(30.0%)が3割、“安房地域”(29.0%)と“長生地域”(28.9%)、“君津地域”(28.4%)、“山武地域”(28.3%)が約3割で高くなっている。

「(コ) 通勤・通学の便」の『満足している(計)』は“葛南地域”(67.3%)が約7割、“東葛飾地域”(62.8%)が6割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“香取地域”(55.0%)と“山武地域”(54.7%)が5割台半ば、“夷隅地域”(50.0%)が5割、“安房地域”(41.9%)が4割を超え、“印旛地域”(32.4%)が3割を超えて高くなっている。(図表1-9)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(イ) 騒音・振動の状態」の『不満である(計)』は女性の20代(29.7%)が約3割、男性の40代(25.5%)が2割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 大気汚染の状態」の『満足している(計)』は男性の60～64歳(74.3%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は女性の60～64歳(18.3%)が約2割で高くなっている。

「(オ) 海・川などの汚れの状態」の『不満である(計)』は男性の20代(33.3%)が3割を超えて高くなっている。

「(カ) 緑の豊かさ」の『満足している(計)』は男性の60～64歳(79.7%)が約8割で高くなっている。

一方、『不満である(計)』は女性の20代(20.3%)が2割で高くなっている。

「(キ) 道路の整備」の『満足している(計)』は男性の65歳以上(52.0%)が5割を超えて高くなっている。

「(ク) 上水道の整備」の『満足している(計)』は男性の65歳以上(76.2%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は女性の50代(15.3%)が1割台半ばで高くなっている。

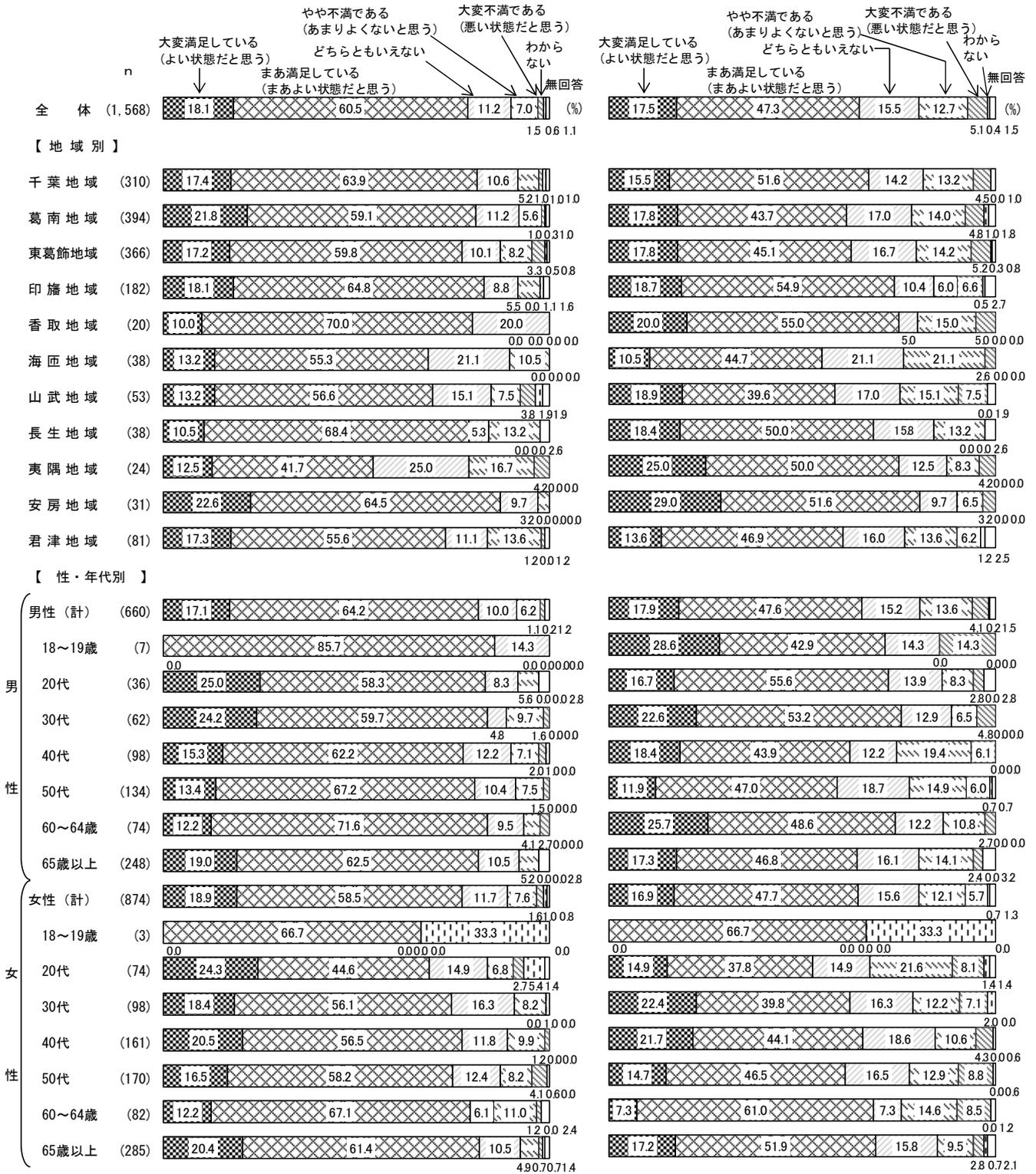
「(ケ) 排水(下水道)の整備」の『満足している(計)』は男性の65歳以上(69.4%)が約7割で高くなっている。

「(コ) 通勤・通学の便」の『不満である(計)』は女性の60～64歳(35.4%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-9)

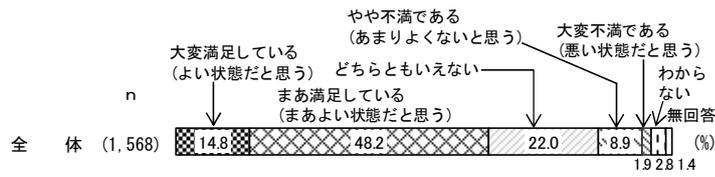
<図表1-9>現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生

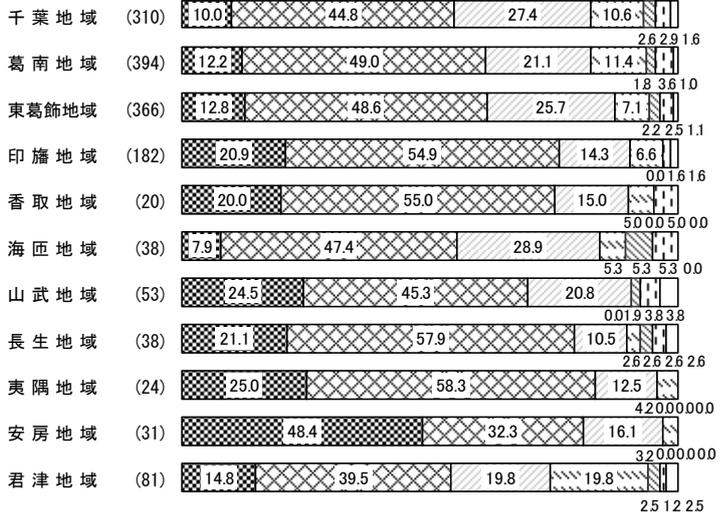
(イ) 騒音・振動の状態



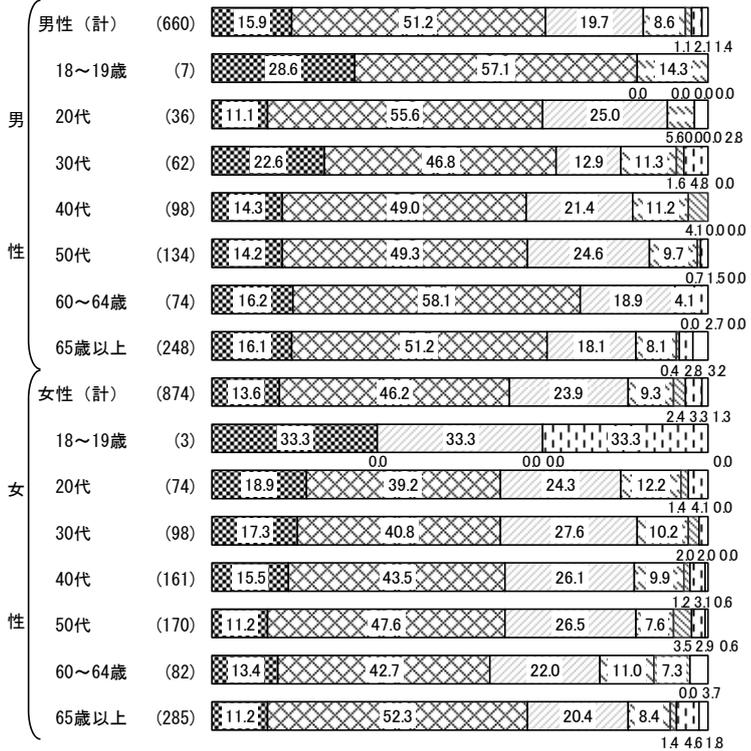
(ウ) 大気汚染の状態



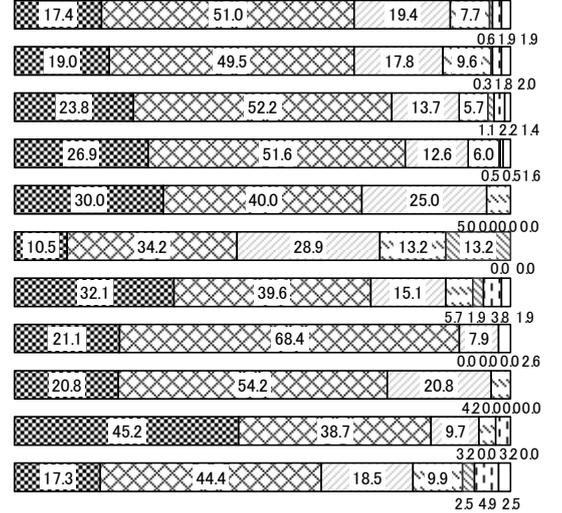
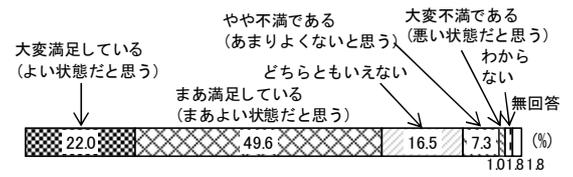
【地域別】



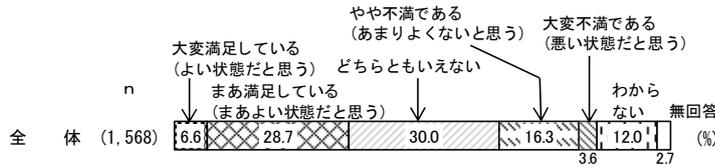
【性・年代別】



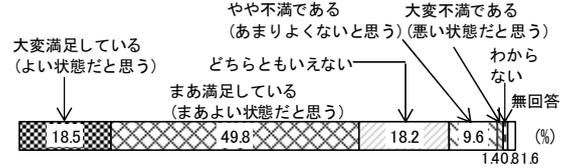
(エ) 悪臭の状態



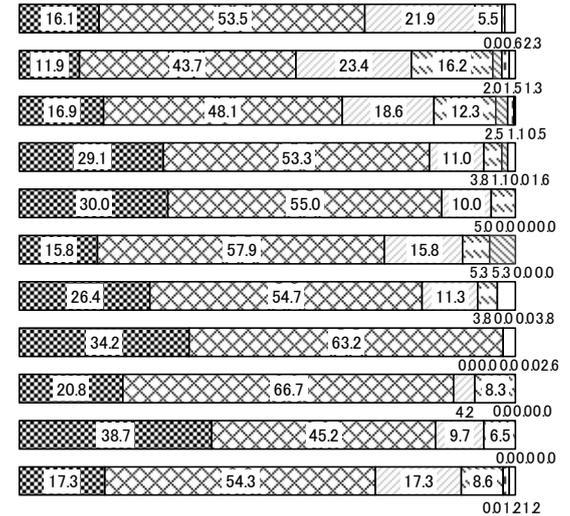
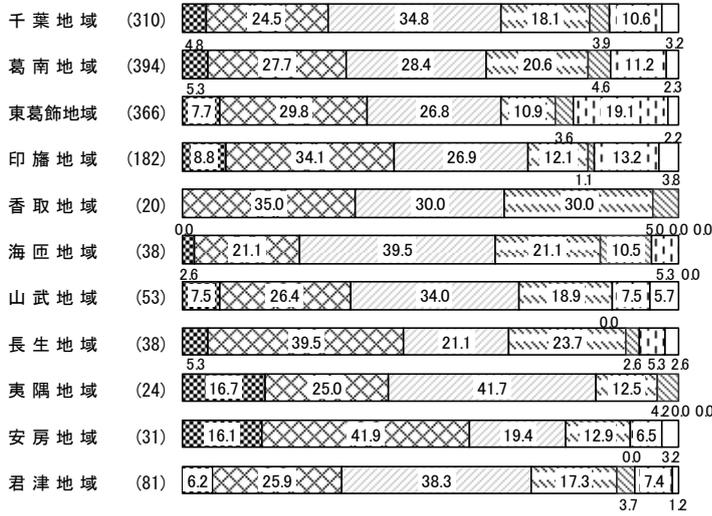
(オ) 海・川などの汚れの状態



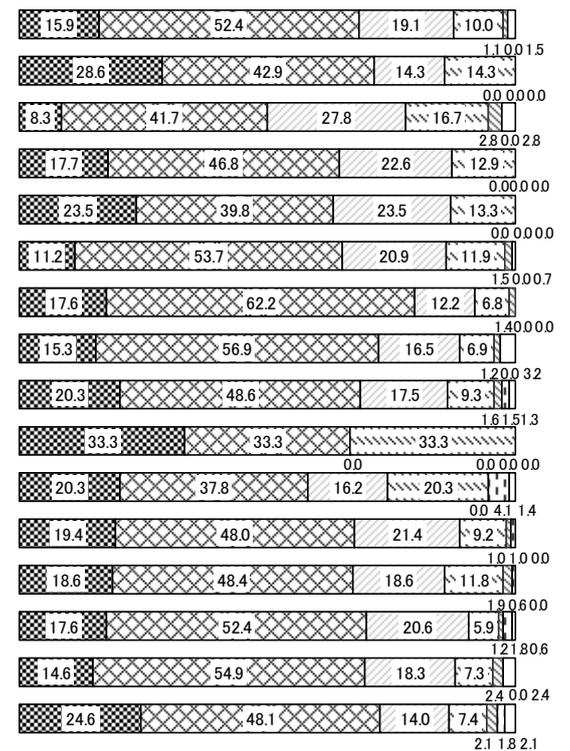
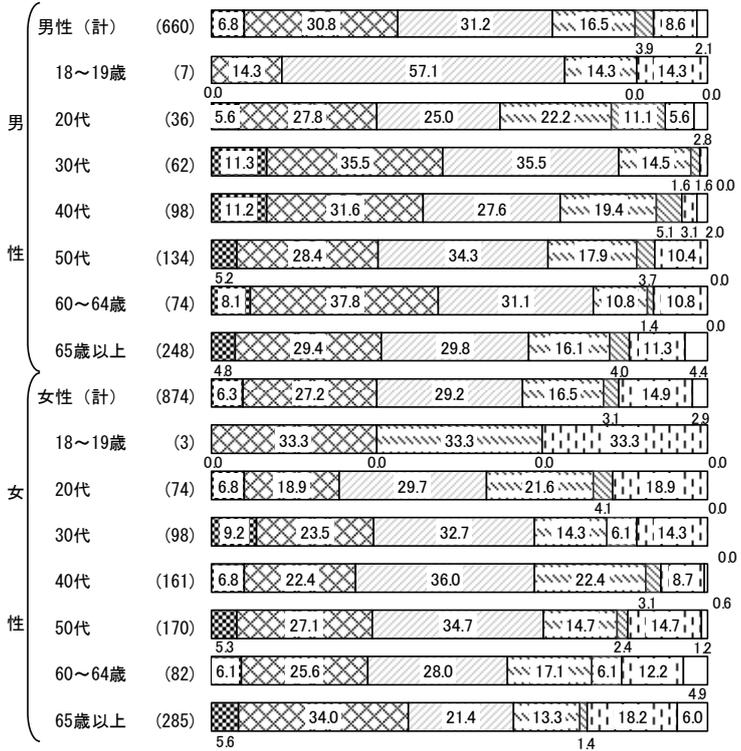
(カ) 緑の豊かさ



【地域別】

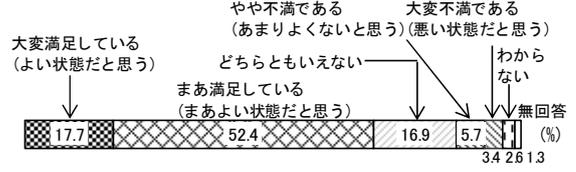
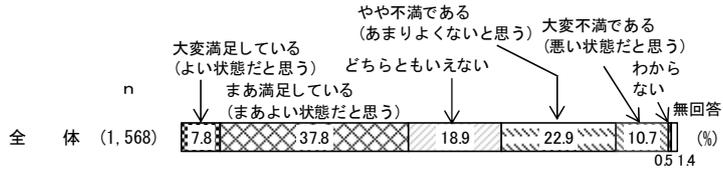


【性・年代別】

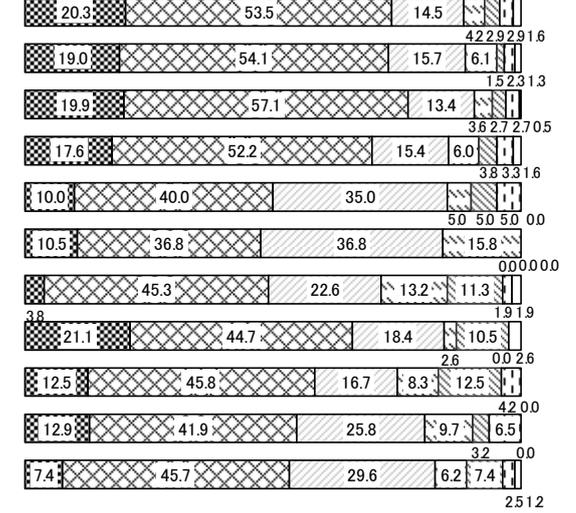
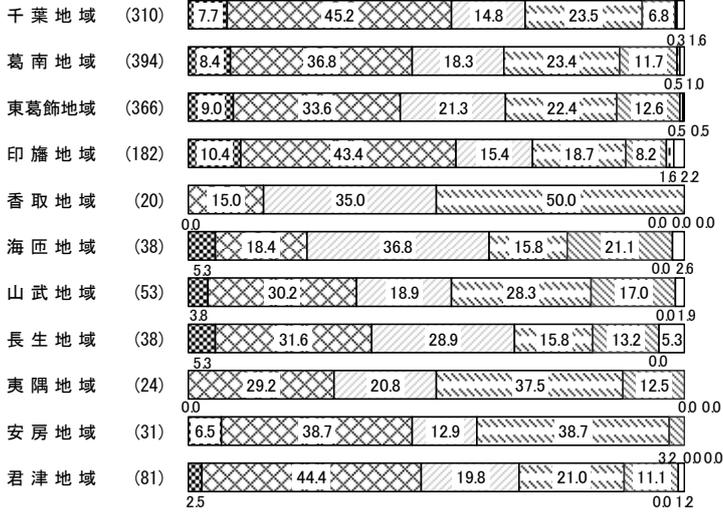


(キ) 道路の整備

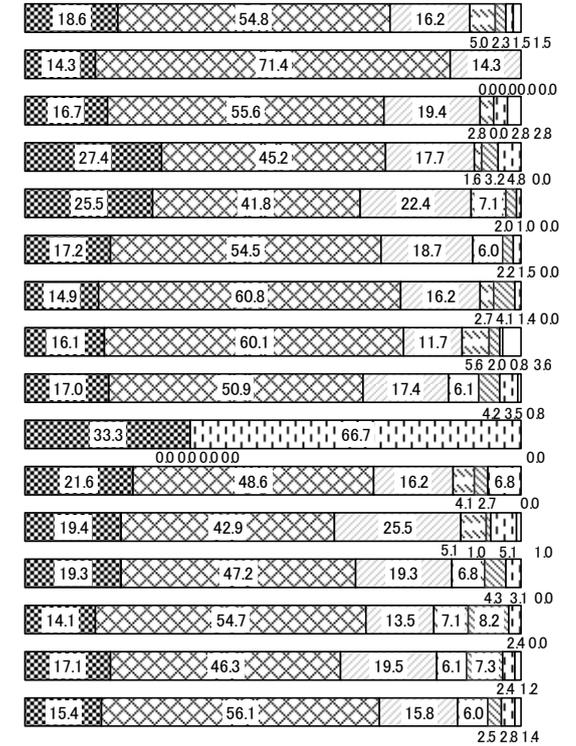
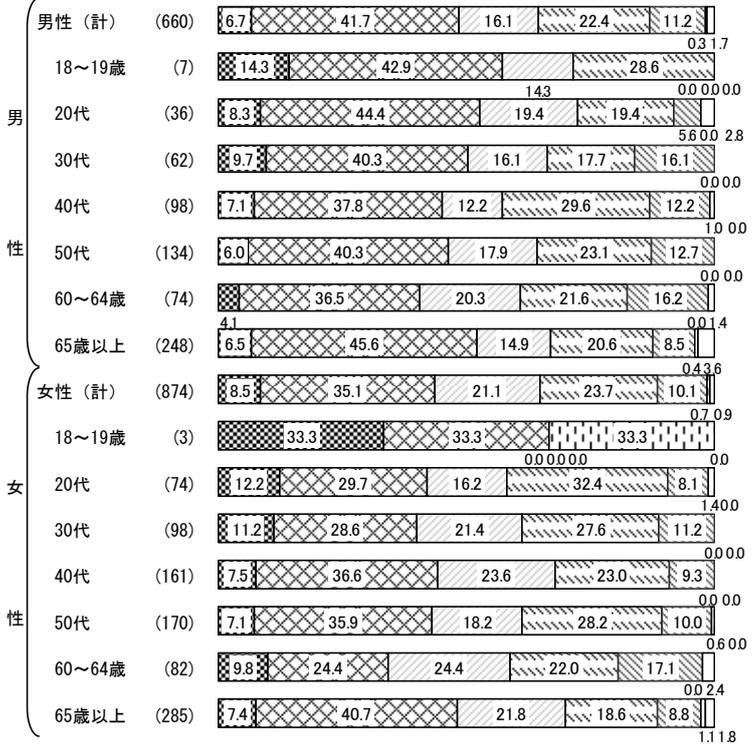
(ク) 上水道の整備



【地域別】

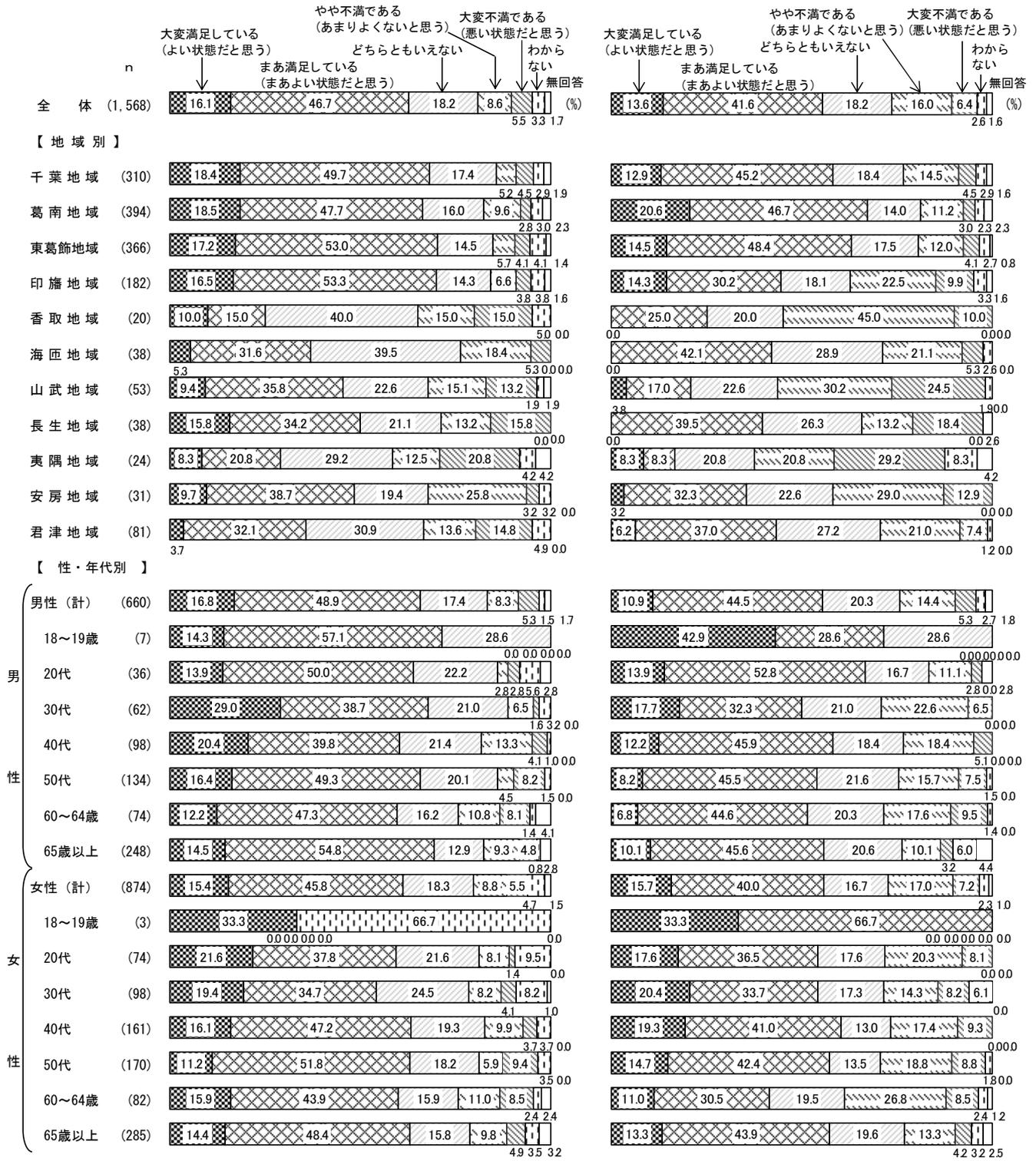


【性・年代別】



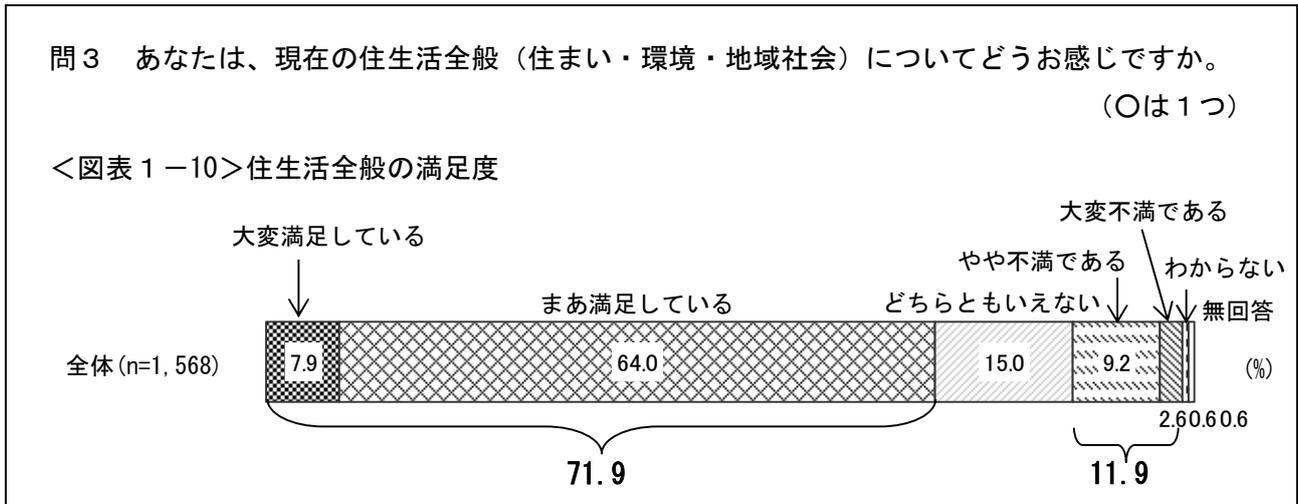
(ケ) 排水（下水道）の整備

(コ) 通勤・通学の便



（3）住生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が7割を超える



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（7.9%）と「まあ満足している」（64.0%）を合わせた『満足している（計）』（71.9%）が7割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満である」（9.2%）と「大変不満である」（2.6%）を合わせた『不満である（計）』（11.9%）が1割を超えている。（図表1-10）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



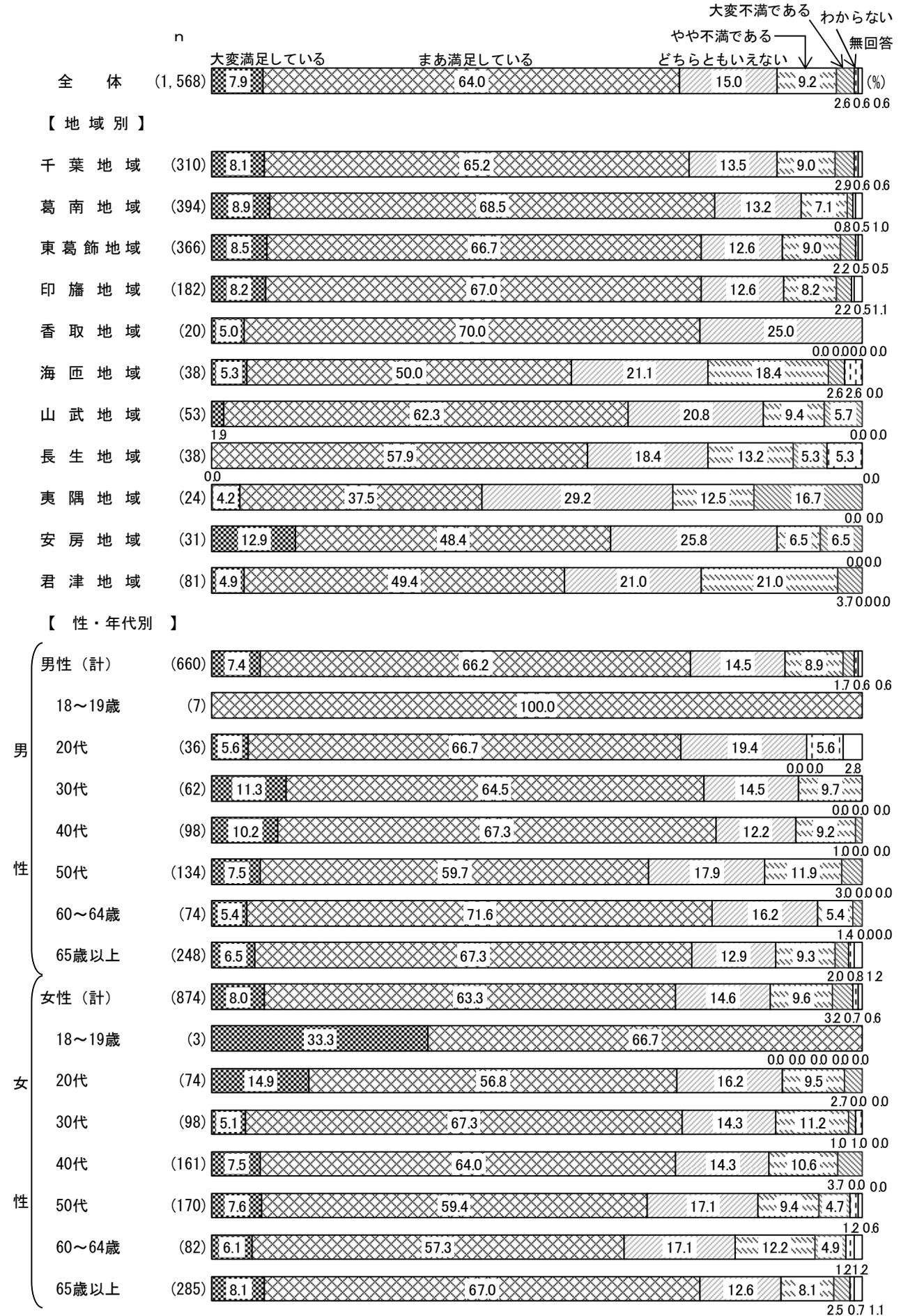
【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“葛南地域”（77.4%）が約8割で高くなっている。一方、『不満である（計）』は“夷隅地域”（29.2%）が約3割、“君津地域”（24.7%）が2割台半ばで高くなっている。（図表1-11）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表1-11）

<図表1-11>住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

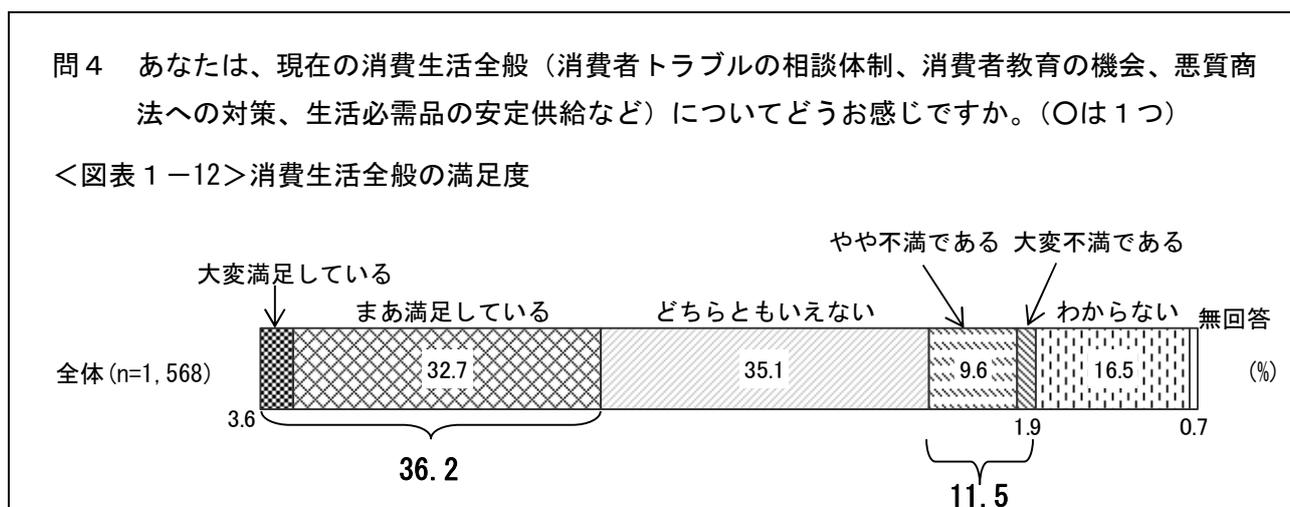


（４）消費生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が3割台半ば

問4 あなたは、現在の消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）についてどう感じですか。（○は1つ）

<図表1-12>消費生活全般の満足度



現在の消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（3.6%）と「まあ満足している」（32.7%）を合わせた『満足している（計）』（36.2%）が3割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」（9.6%）と「大変不満である」（1.9%）を合わせた『不満である（計）』（11.5%）が1割を超えている。（図表1-12）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表1-13）

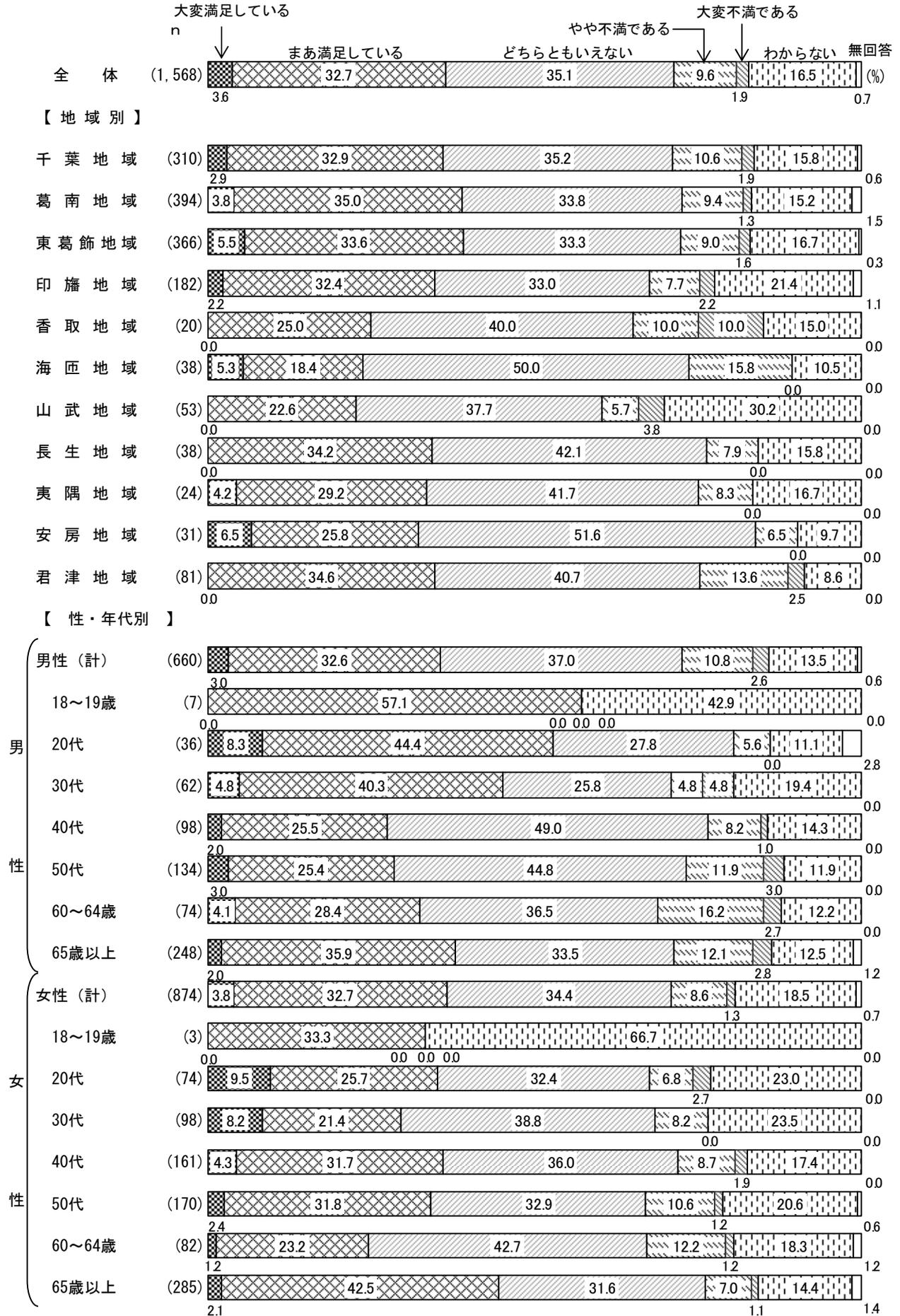
【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の20代（52.8%）が5割を超え、女性の65歳以上（44.6%）が4割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計）』は男性の60～64歳（18.9%）が約2割で高くなっている。

（図表1-13）

<図表1-13>消費生活全般の満足度／地域別、性・年代別

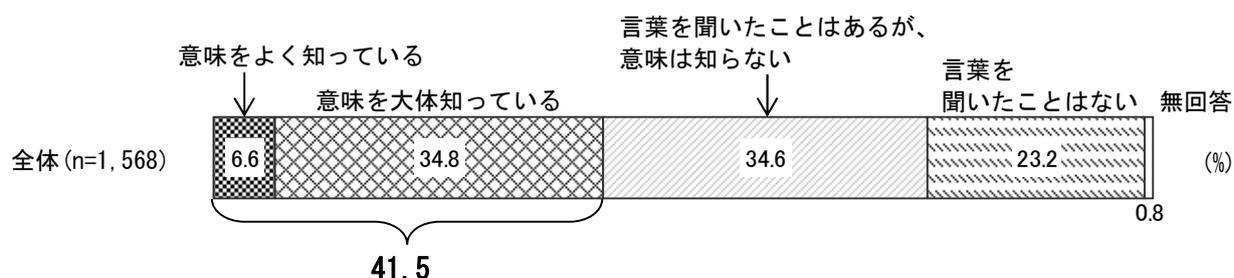


（5）「気候変動による影響への適応」の認知度

◇『意味を知っている（計）』が4割を超える

問5 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。あなたは、「気候変動による影響への適応」についてどのくらい知っていますか。（○は1つ）

<図表1-14> 「気候変動による影響への適応」の認知度



「気候変動による影響への適応」について、その認知度を聞いたところ、「意味をよく知っている」（6.6%）と「意味を大体知っている」（34.8%）を合わせた『意味を知っている（計）』（41.5%）が4割を超えている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（34.6%）は3割台半ば、「言葉を聞いたことはない」（23.2%）は2割を超えている。（図表1-14）

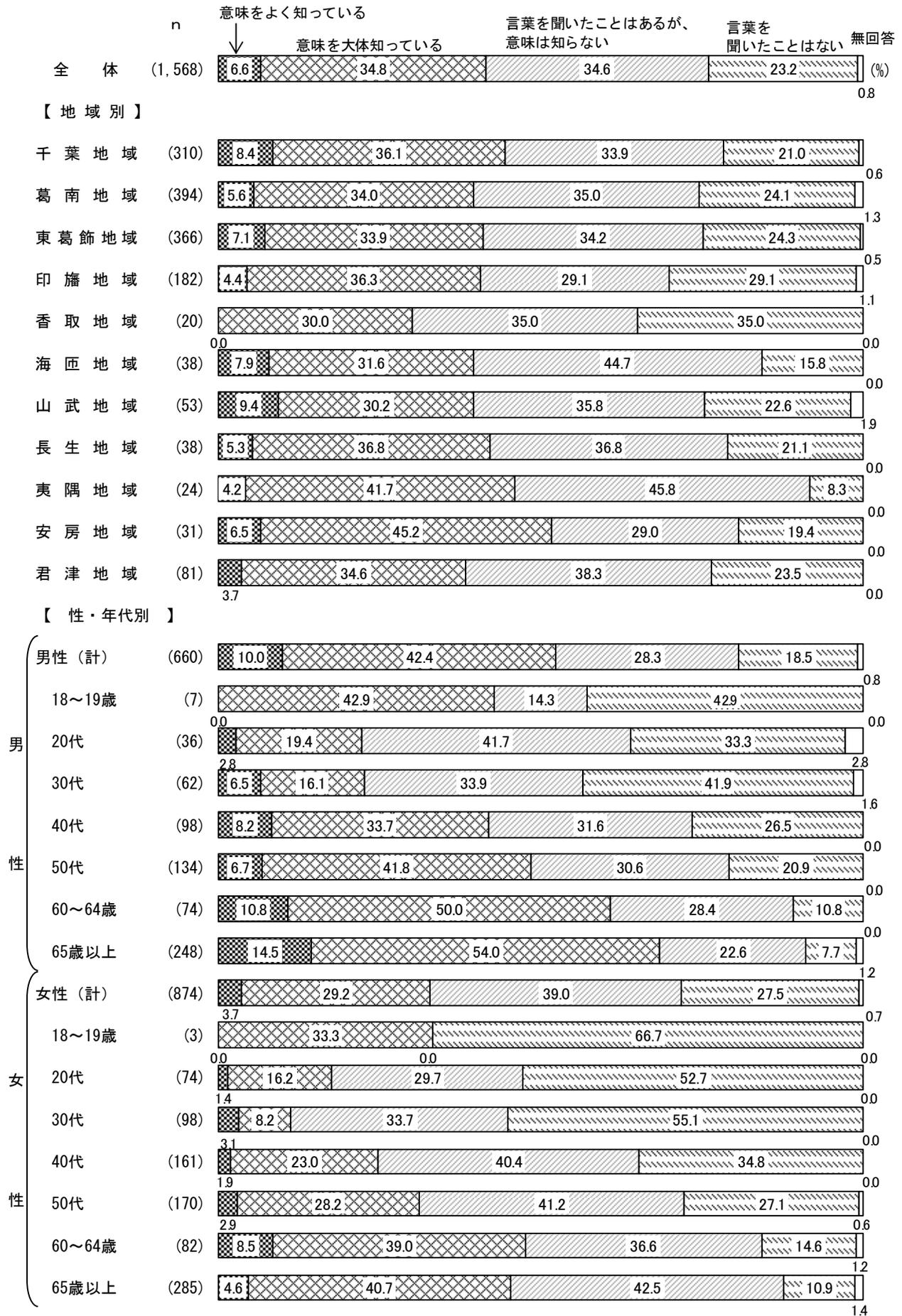
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表1-15）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は男性の65歳以上（68.5%）が約7割、男性の60～64歳（60.8%）が6割で高くなっている。（図表1-15）

<図表1-15> 「気候変動による影響への適応」の認知度／地域別、性・年代別



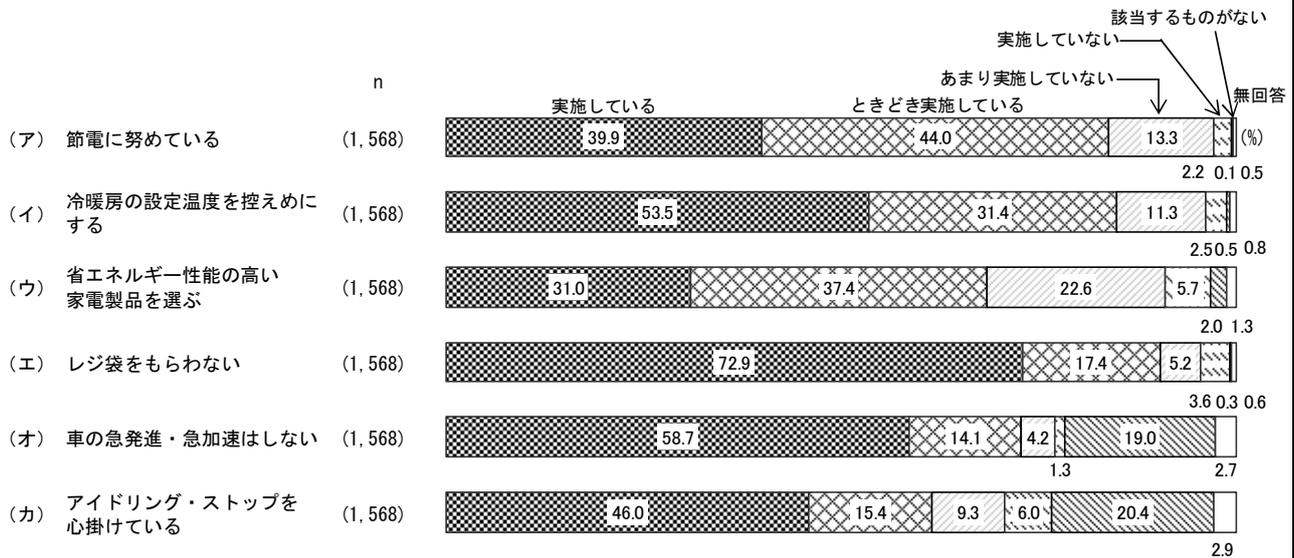
（6）普段の生活で行っている環境保全の取組

◇『実施している（計）』が最も高いのは〈レジ袋をもらわない〉で9割

問6 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表1-16＞普段の生活で行っている環境保全の取組

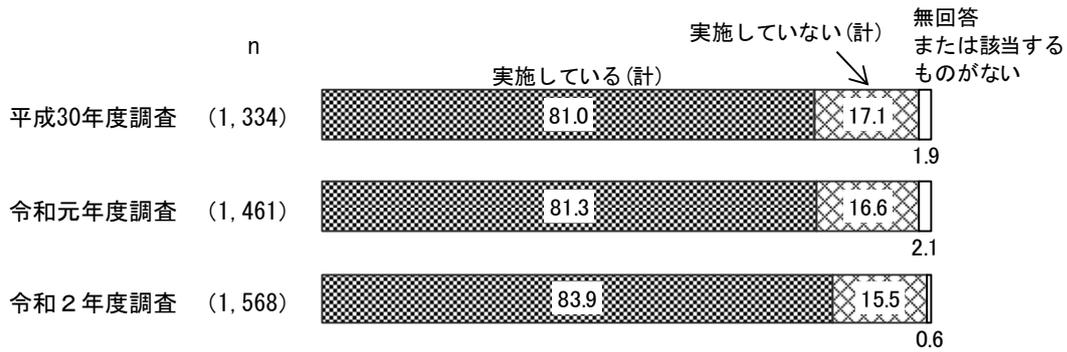


普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している（計）』が最も高いのは、「(エ) レジ袋をもらわない」(90.3%)が9割、以下、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(84.9%)と「(ア) 節電に努めている」(83.9%)で8割台半ば、「(オ) 車の急発進・急加速はしない」(72.8%)が7割超えて続く。

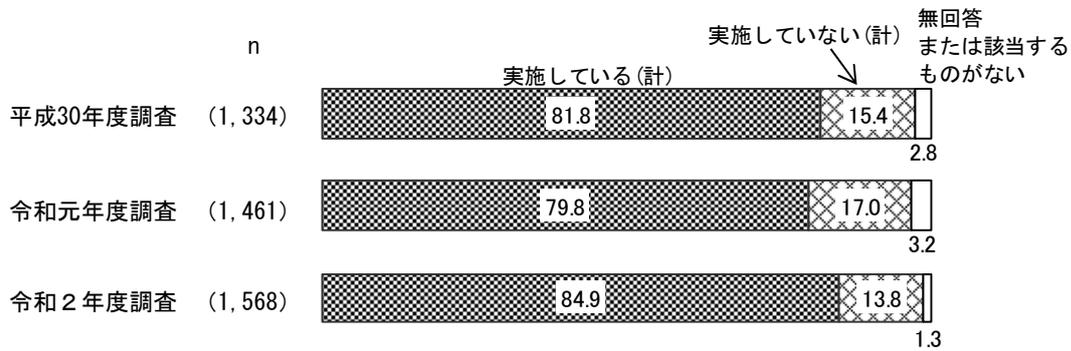
一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』が最も高いのは、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(28.3%)で約3割となっており、以下、「(ア) 節電に努めている」(15.5%)と「(カ) アイドリング・ストップを心掛けている」(15.3%)が1割台半ばで続く。(図表1-16)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

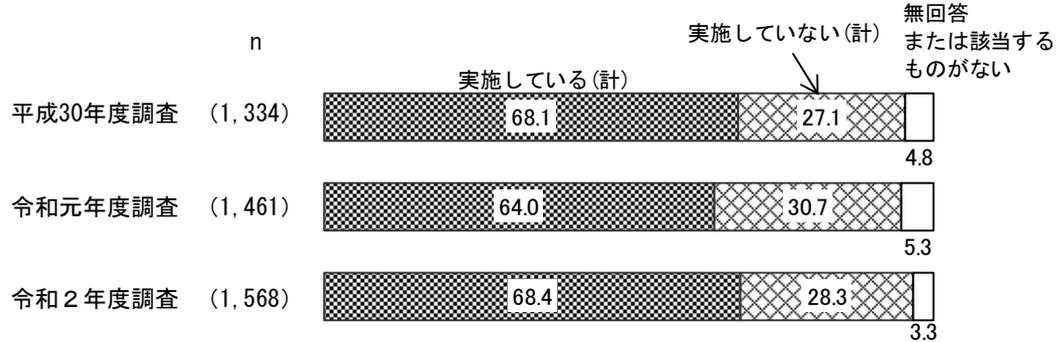
(ア) 節電に努めている



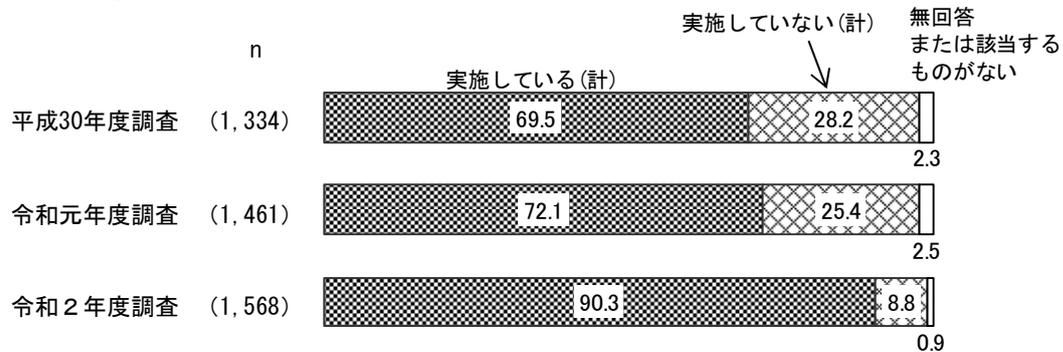
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする



(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

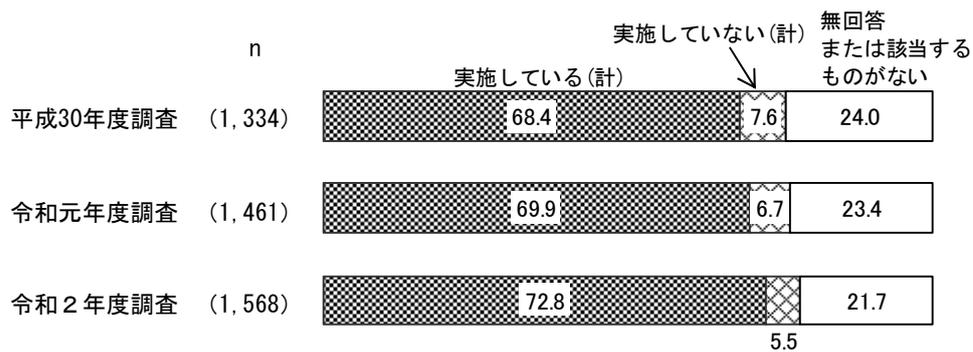


(エ) レジ袋をもらわない

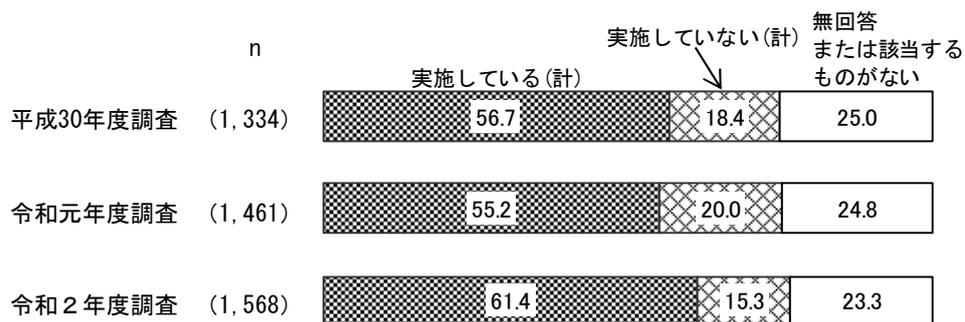


第60回県政に関する世論調査（R2年度）

(オ) 車の急発進・急加速はしない



(カ) アイドリング・ストップを心掛けている



【地域別】

地域別にみると、「(オ)車の急発進・急加速はしない」の『実施している(計)』は“夷隅地域”(95.8%)が9割台半ばで高くなっている。

「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の『実施している(計)』は“君津地域”(74.1%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は“葛南地域”(18.8%)が約2割で高くなっている。

(図表1-17)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)節電に努めている」の『実施している(計)』は女性の65歳以上(91.2%)が9割を超えて高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(36.1%)が3割台半ば、男性の30代(32.3%)が3割を超えて高くなっている。

「(イ)冷暖房の設定温度を控えめにする」の『実施している(計)』は女性の65歳以上(91.2%)が9割を超え、男性の65歳以上(89.9%)が約9割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(33.3%)が3割を超え、男性の30代(24.2%)と女性の20代(24.3%)が2割台半ばで高くなっている。

「(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施している(計)』は女性の60～64歳(84.1%)が8割台半ば、女性の50代(77.1%)が約8割、男性の65歳以上(75.0%)と女性の65歳以上(76.5%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(50.0%)と男性の30代(50.0%)が5割、女性の20代(47.3%)が約5割、女性の30代(39.8%)が約4割で高くなっている。

「(エ)レジ袋をもらわない」の『実施している(計)』は女性の50代(98.8%)と女性の60～64歳(97.6%)が約10割、女性の65歳以上(95.8%)が9割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の30代(29.0%)が約3割、男性の40代(18.4%)が約2割、男性の50代(14.9%)が1割台半ばで高くなっている。

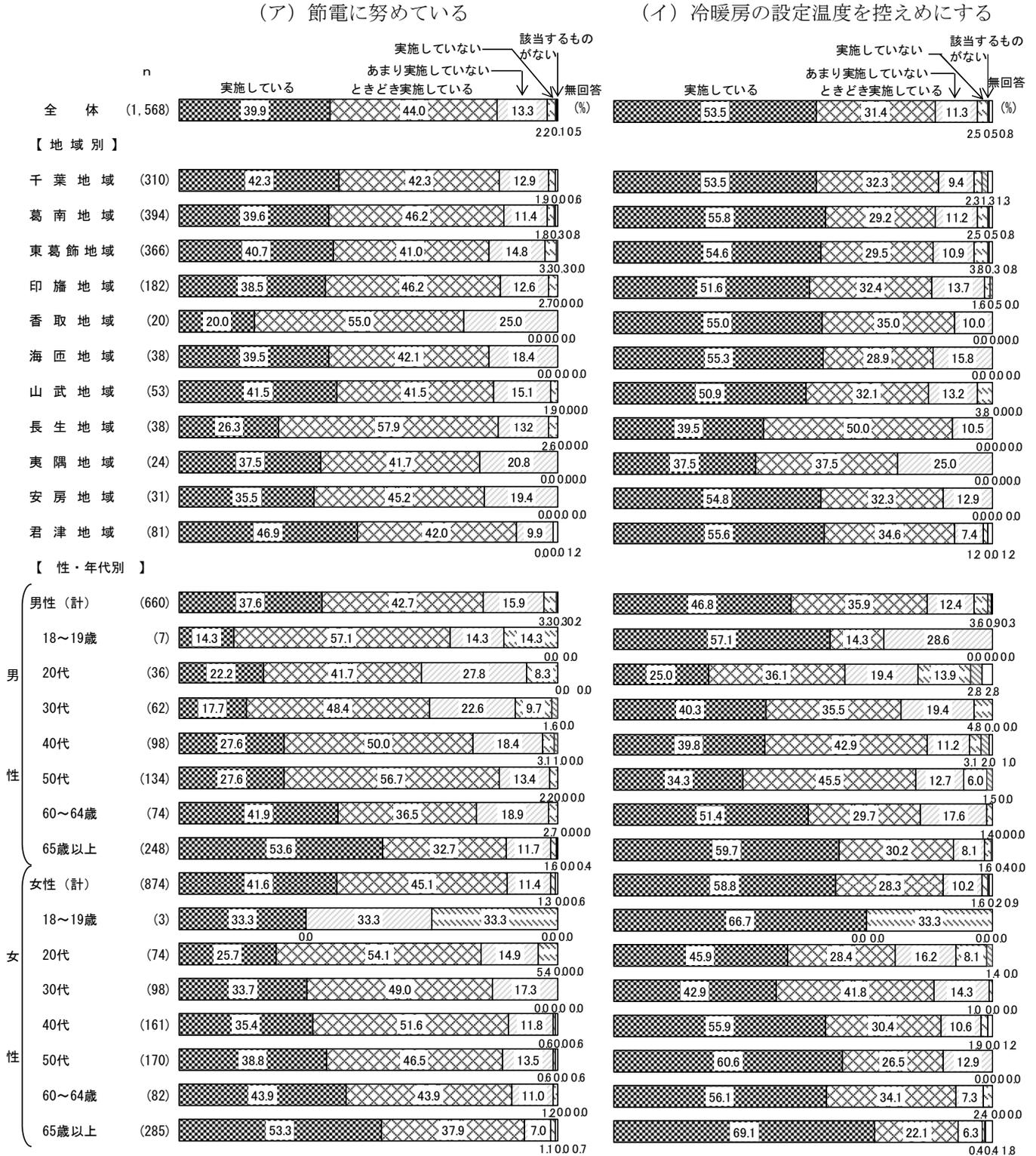
「(オ)車の急発進・急加速はしない」の『実施している(計)』は男性の60～64歳(83.8%)が8割台半ば、男性の50代(82.8%)と男性の65歳以上(81.0%)が8割を超えて高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の40代(14.3%)が1割台半ばで高くなっている。

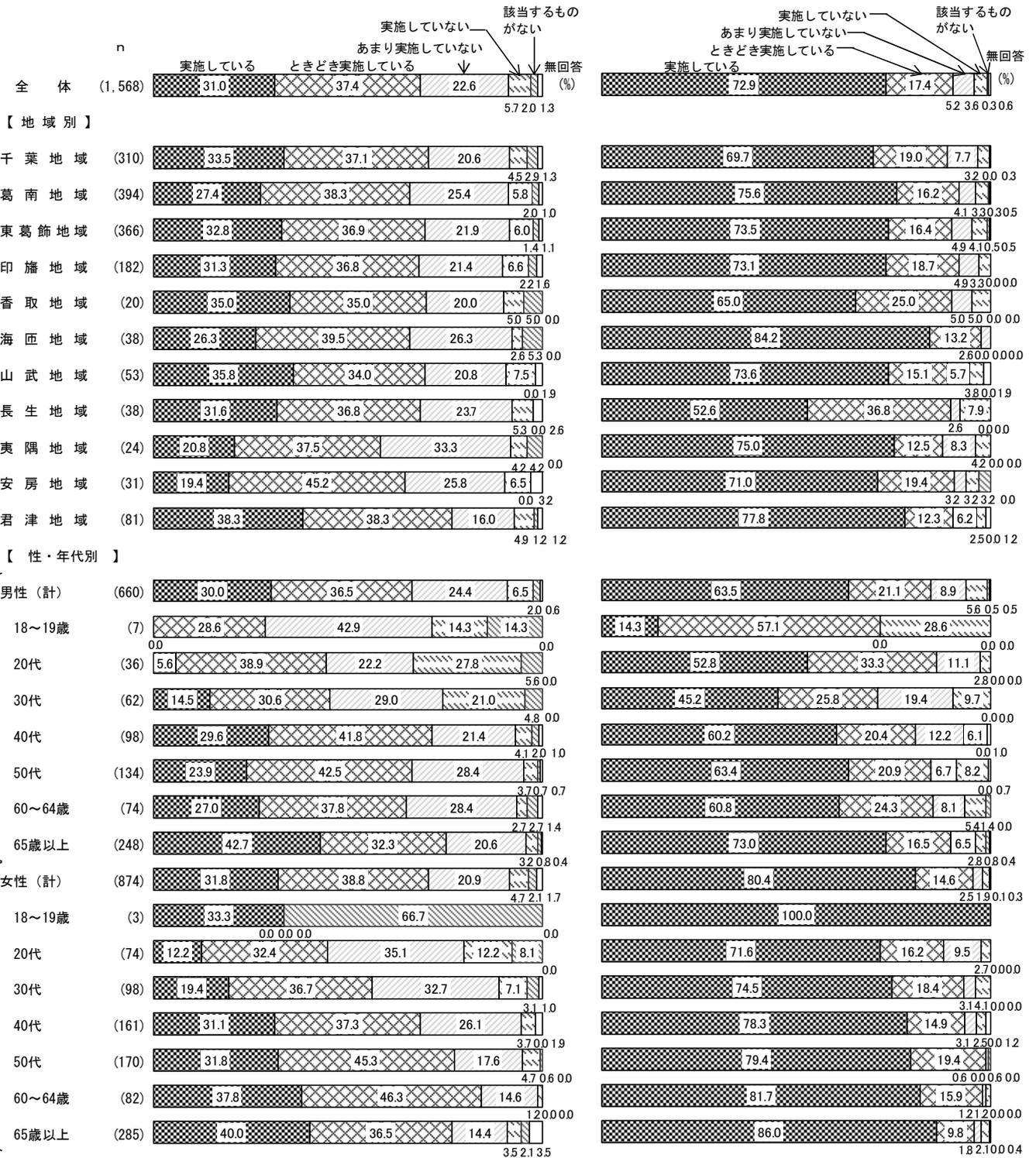
「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の『実施している(計)』は女性の60～64歳(72.0%)が7割を超え、男性の65歳以上(69.0%)が約7割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の40代(34.7%)が3割台半ば、男性の50代(24.6%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1-17)

<図表1-17> 普段の生活で行っている環境保全の取組／地域別、性・年代別

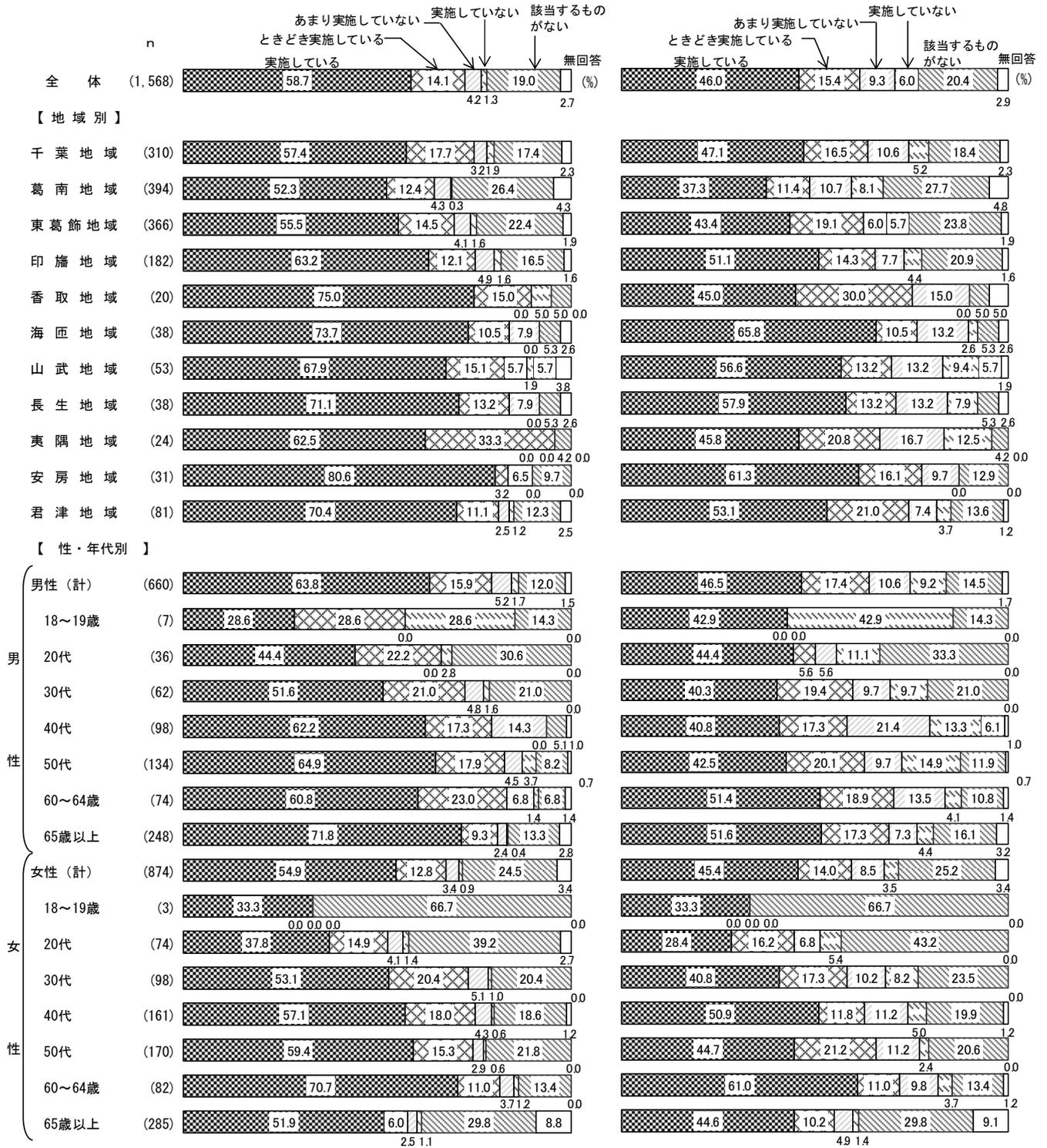


(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ (エ) レジ袋をもらわない



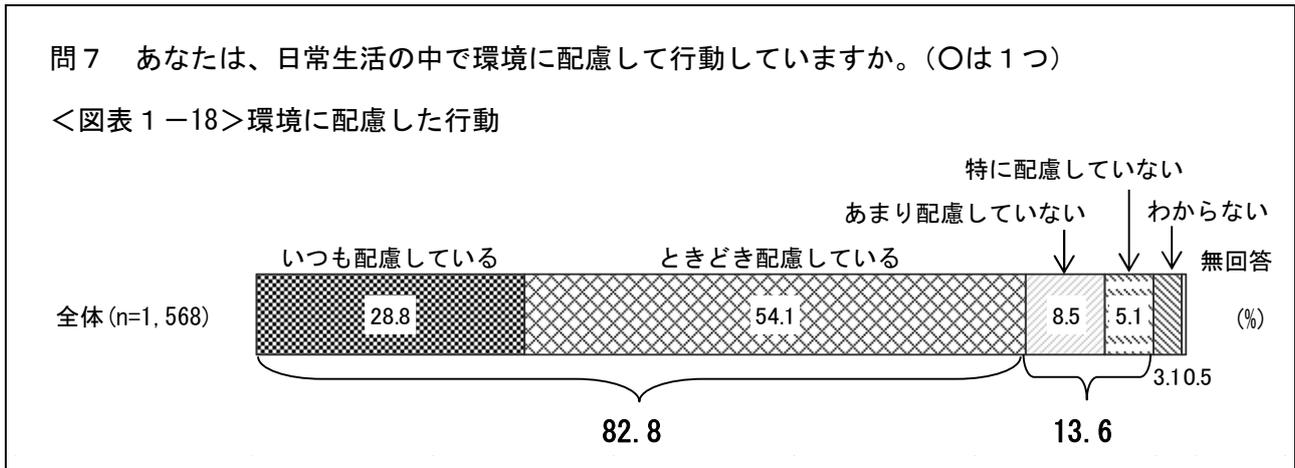
(オ) 車の急発進・急加速はしない

(カ) アイドリング・ストップを心掛けている



（7）環境に配慮した行動

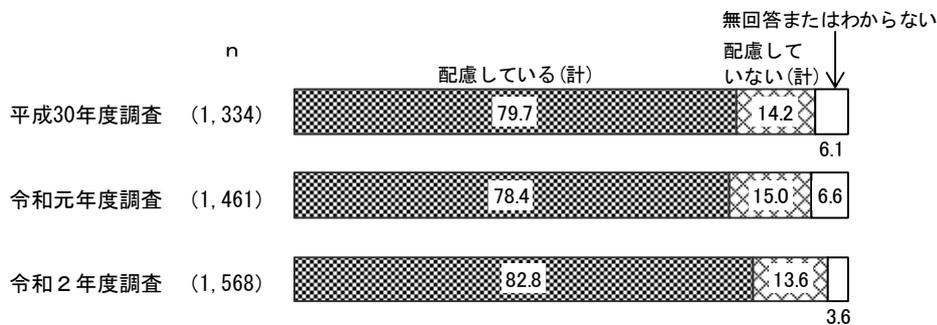
◇『配慮している（計）』が8割を超える



日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」（28.8%）と「ときどき配慮している」（54.1%）を合わせた『配慮している（計）』（82.8%）が8割を超えて高くなっている。

一方、「あまり配慮していない」（8.5%）と「特に配慮していない」（5.1%）を合わせた『配慮していない（計）』（13.6%）が1割台半ばとなっている。（図表1-18）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

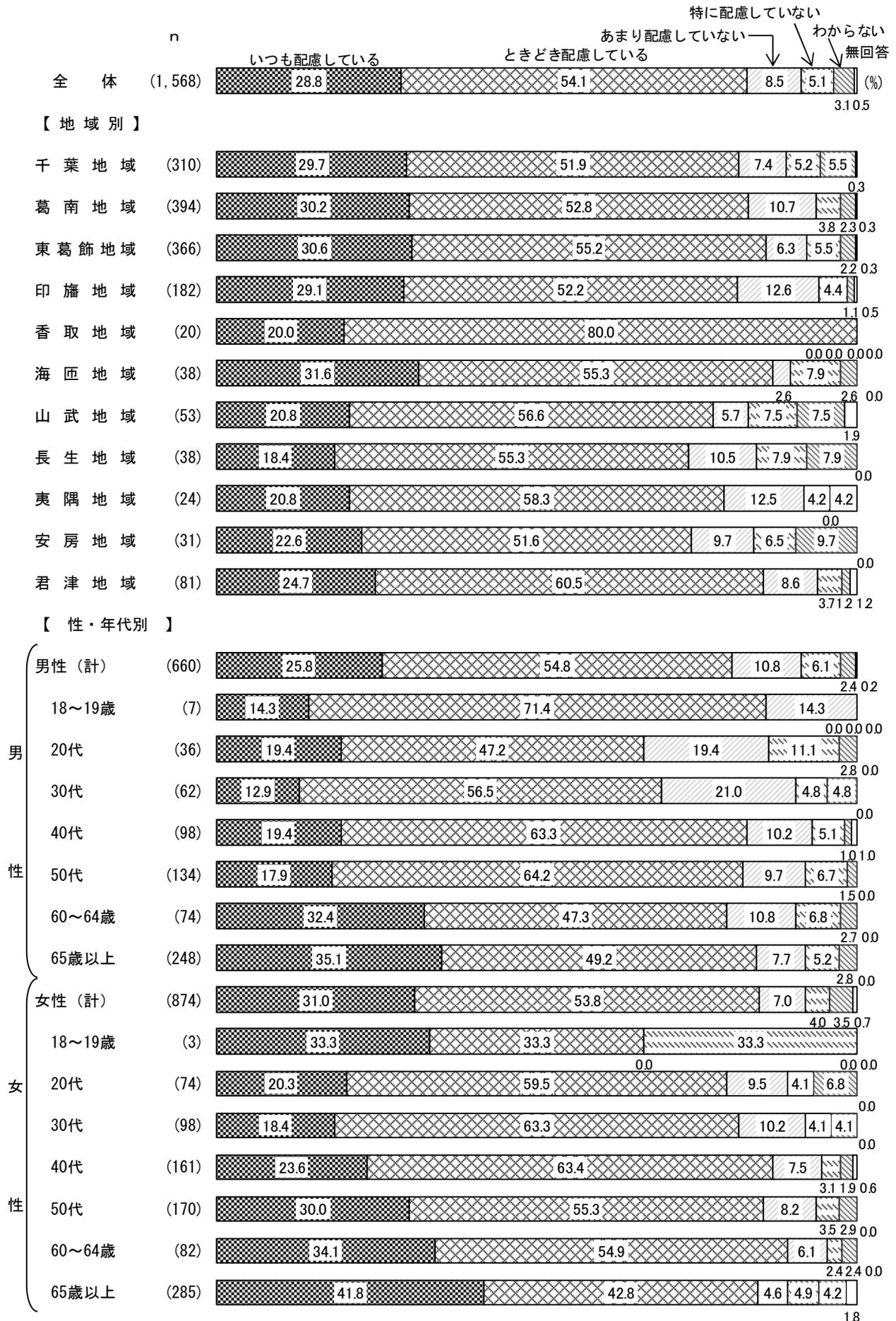
地域別にみると、『配慮している（計）』は“香取地域”（100.0%）が10割で高くなっている。

（図表1-19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『配慮していない（計）』は男性の20代（30.6%）が3割、男性の30代（25.8%）が2割台半ばで高くなっている。（図表1-19）

<図表1-19>環境に配慮した行動／地域別、性・年代別

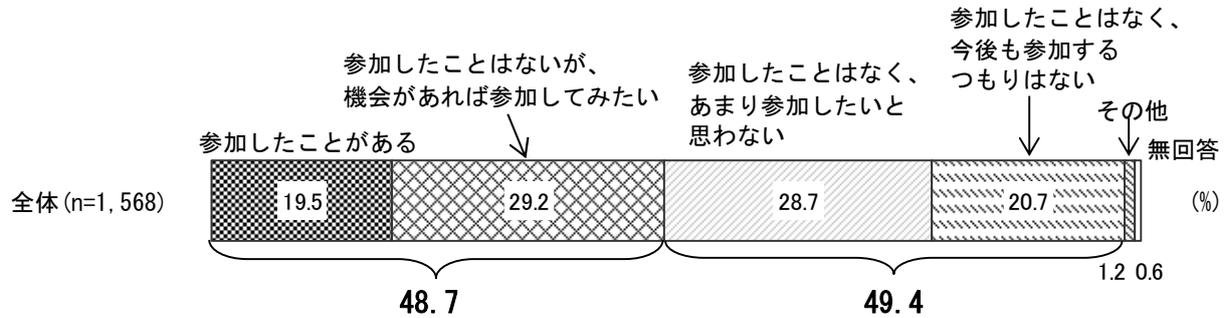


（8）環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況

◇『参加意向あり（計）』が約5割

問8 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（○は1つ）

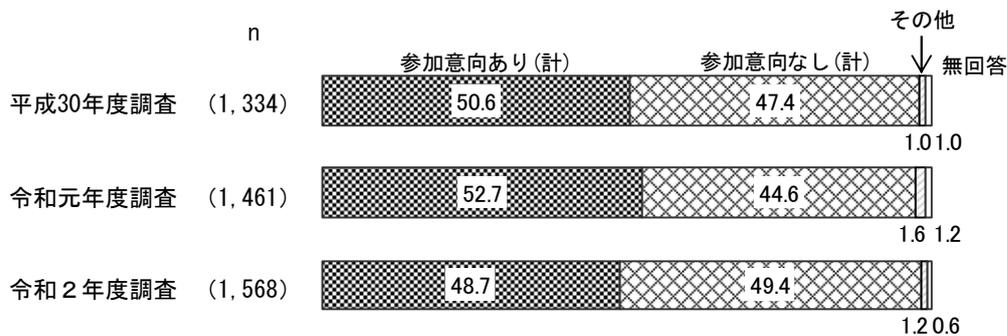
<図表1-20>環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」（19.5%）が約2割となっており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（29.2%）を合わせた『参加意向あり（計）』（48.7%）が約5割となっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」（28.7%）と「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」（20.7%）を合わせた『参加意向なし（計）』（49.4%）が約5割となっている。（図表1-20）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

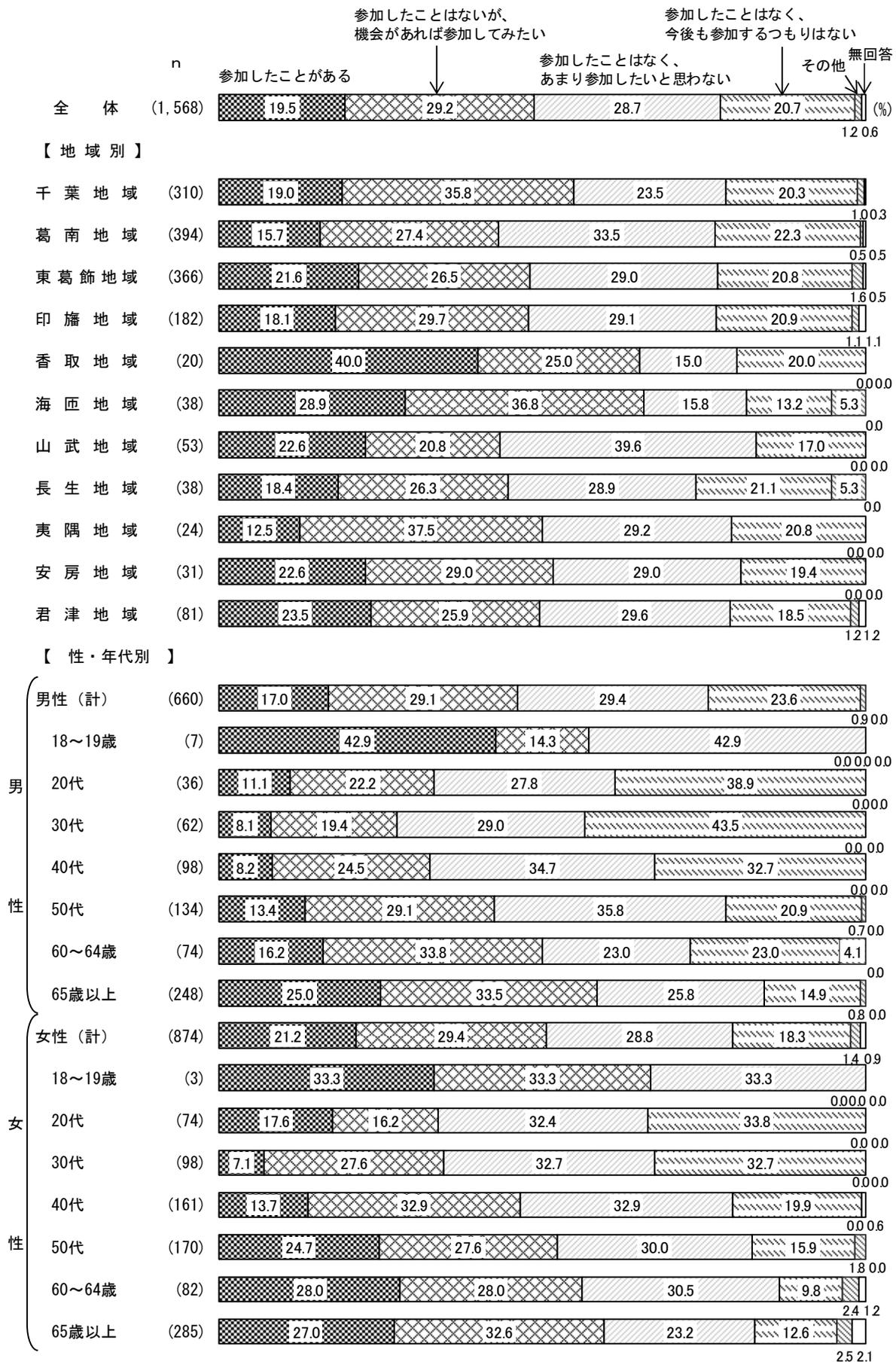
地域別にみると、『参加意向あり（計）』は“海匝地域”（65.8%）が6割台半ば、“千葉地域”（54.8%）が5割台半ばで高くなっている。一方、『参加意向なし（計）』は“葛南地域”（55.8%）が5割台半ばと高くなっている。（図表1-21）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加意向あり（計）』は男性の65歳以上（58.5%）と女性の65歳以上（59.6%）が約6割で高くなっている。

一方、『参加意向なし（計）』は男性の30代（72.6%）が7割を超え、男性の40代（67.3%）が約7割、男性の20代（66.7%）と女性の20代（66.2%）、女性の30代（65.3%）が6割台半ばで高くなっている。（図表1-21）

<図表1-21>環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況／地域別、性・年代別



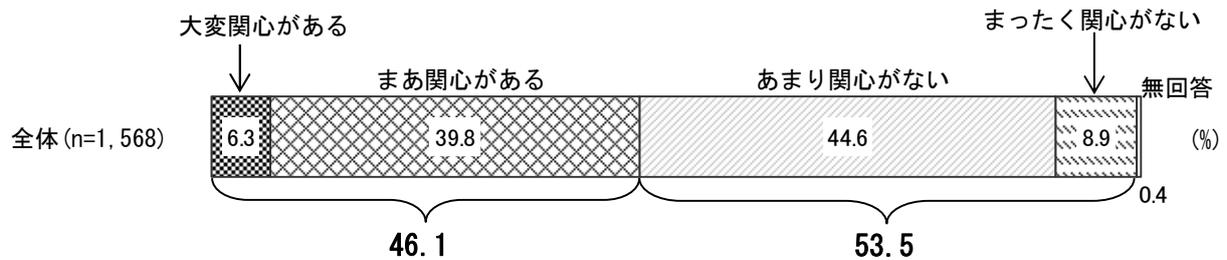
（9）市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある（計）』が4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）を指します。

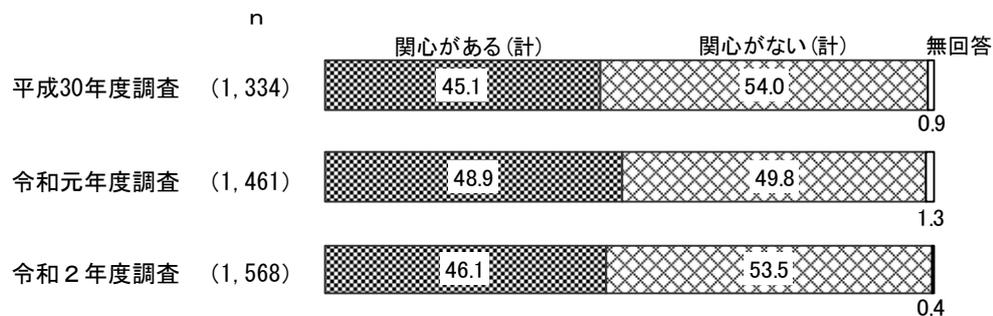
<図表1-22>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.3%)と「まあ関心がある」(39.8%)を合わせた『関心がある(計)』(46.1%)が4割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」(44.6%)と「まったく関心がない」(8.9%)を合わせた『関心がない(計)』(53.5%)が5割台半ばとなっている。(図表1-22)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『関心がある(計)』は“千葉地域”(52.6%)が5割を超えて高くなっている。

(図表1-23)

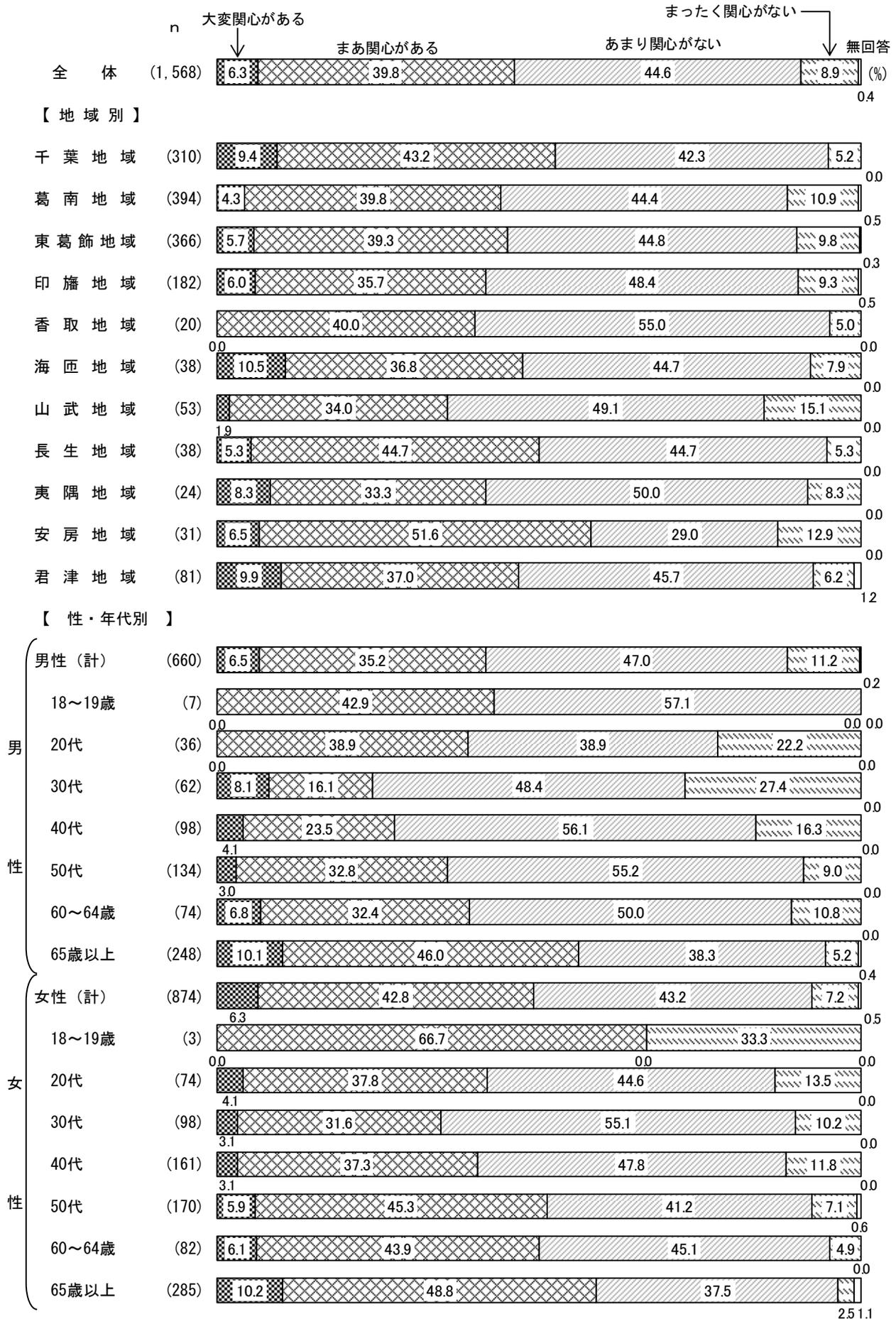
【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある(計)』は女性の65歳以上(58.9%)が約6割、男性の65歳以上(56.0%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『関心がない(計)』は男性の30代(75.8%)が7割台半ば、男性の40代(72.4%)が7割を超え、男性の50代(64.2%)と女性の30代(65.3%)が6割台半ばで高くなっている。

(図表1-23)

<図表1-23>市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



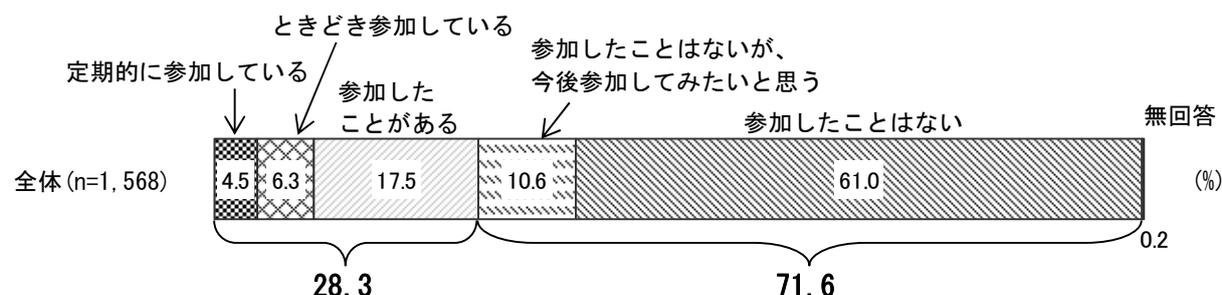
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある（計）』が約3割

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

＜図表1-24＞市民活動団体の活動への参加経験

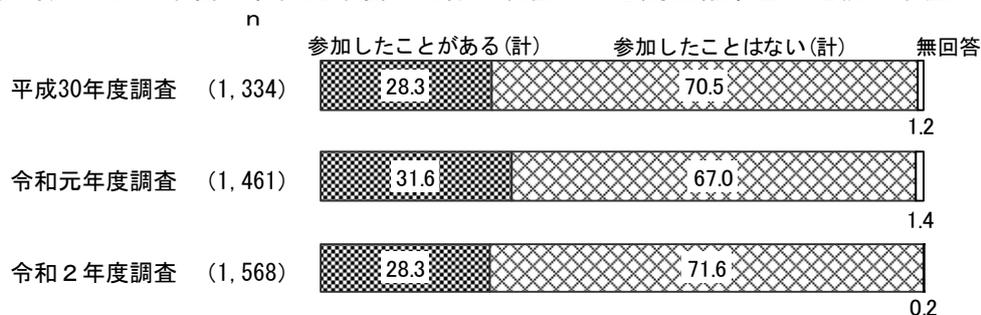


市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（4.5%）、「ときどき参加している」（6.3%）、「参加したことがある」（17.5%）の3つを合わせた『参加したことがある（計）』（28.3%）が約3割となっている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（10.6%）と「参加したことはない」（61.0%）を合わせた『参加したことはない（計）』（71.6%）が7割を超えて高くなっている。

（図表1-24）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『参加したことがある（計）』は“安房地域”（48.4%）が約5割で高くなっている。

一方、『参加したことはない（計）』は“葛南地域”（77.2%）が約8割で高くなっている。

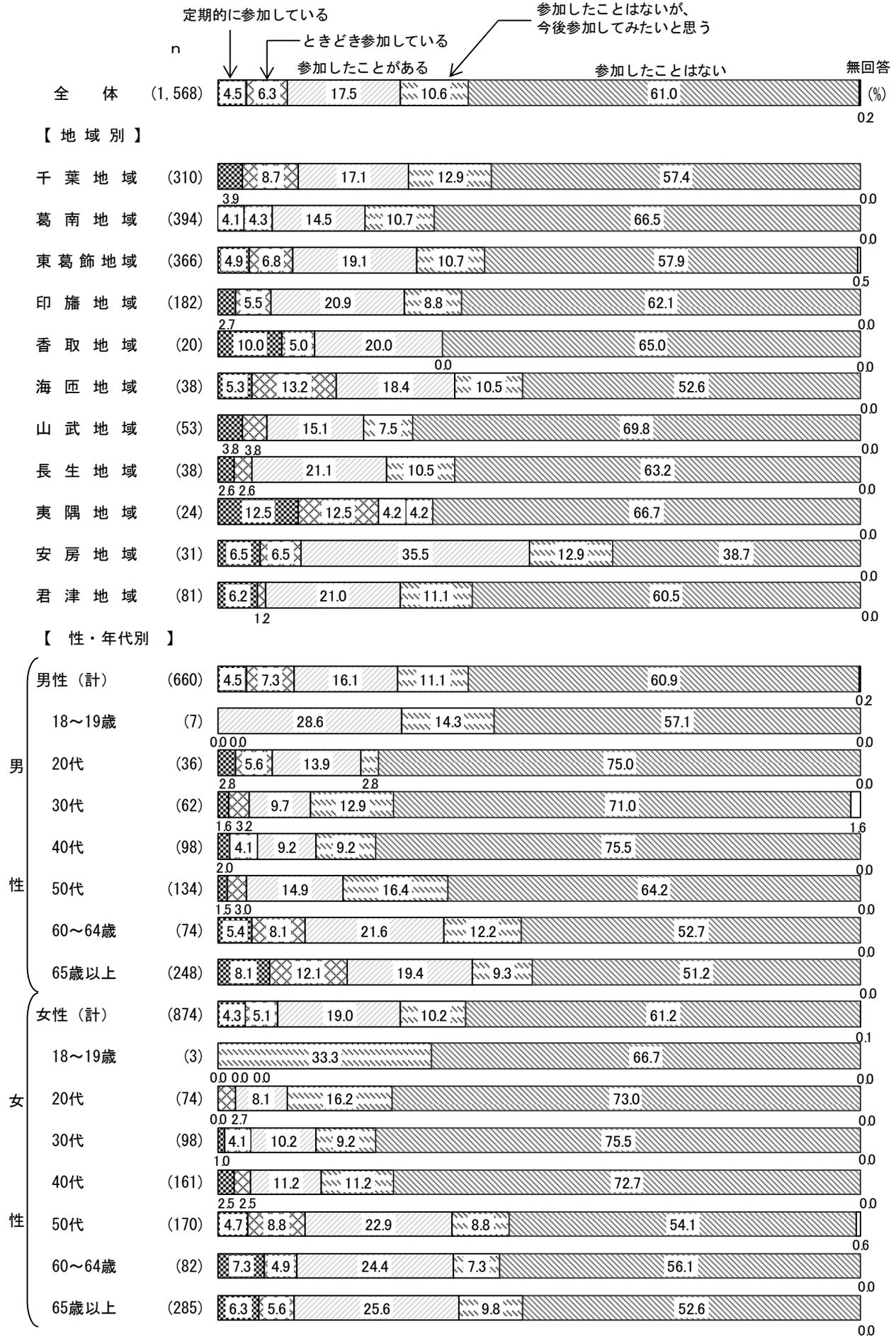
（図表1-25）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある（計）』は男性の65歳以上（39.5%）と女性の65歳以上（37.5%）が約4割、女性の50代（36.5%）が3割台半ばで高くなっている。

一方、『参加したことはない（計）』は女性の20代（89.2%）が約9割、男性の30代（83.9%）、男性の40代（84.7%）、女性の30代（84.7%）、女性の40代（83.9%）が8割台半ば、男性の50代（80.6%）が8割で高くなっている。（図表1-25）

<図表1-25>市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



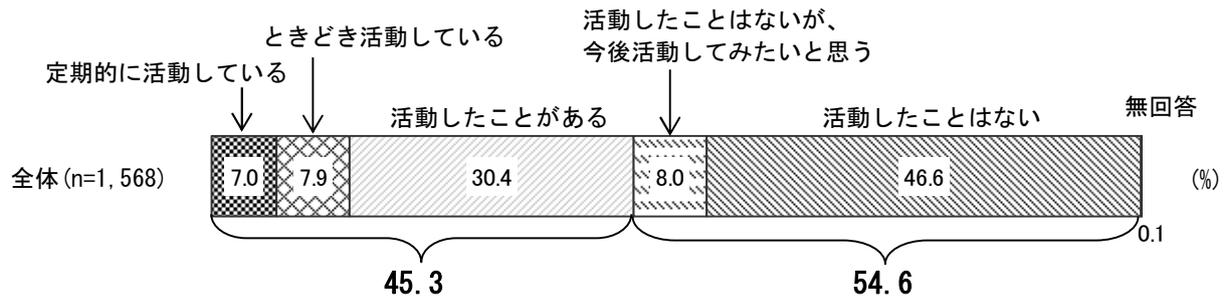
(11) ボランティア活動経験

◇『活動したことがある（計）』が4割台半ば

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTAの活動や学校行事の手伝い、子供会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

<図表1-26> ボランティア活動経験

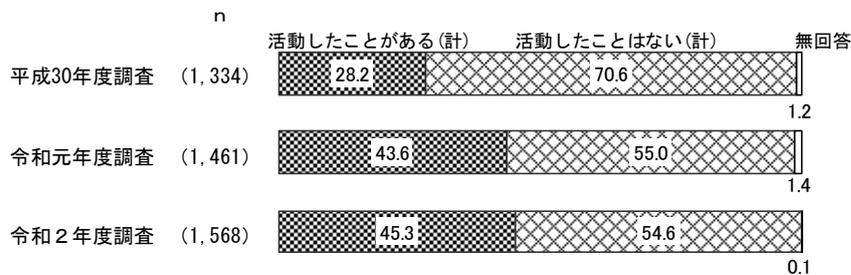


ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」（7.0%）、「ときどき活動している」（7.9%）、「活動したことがある」（30.4%）の3つを合わせた『活動したことがある（計）』（45.3%）が4割台半ばとなっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」（8.0%）と「活動したことはない」（46.6%）を合わせた『活動したことはない（計）』（54.6%）が5割台半ばとなっている。

（図表1-26）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



（※）令和元年度調査から「ボランティア活動」の説明を変更した。平成30年度の説明は以下のとおりである。

「ここでいう『ボランティア活動』とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。」

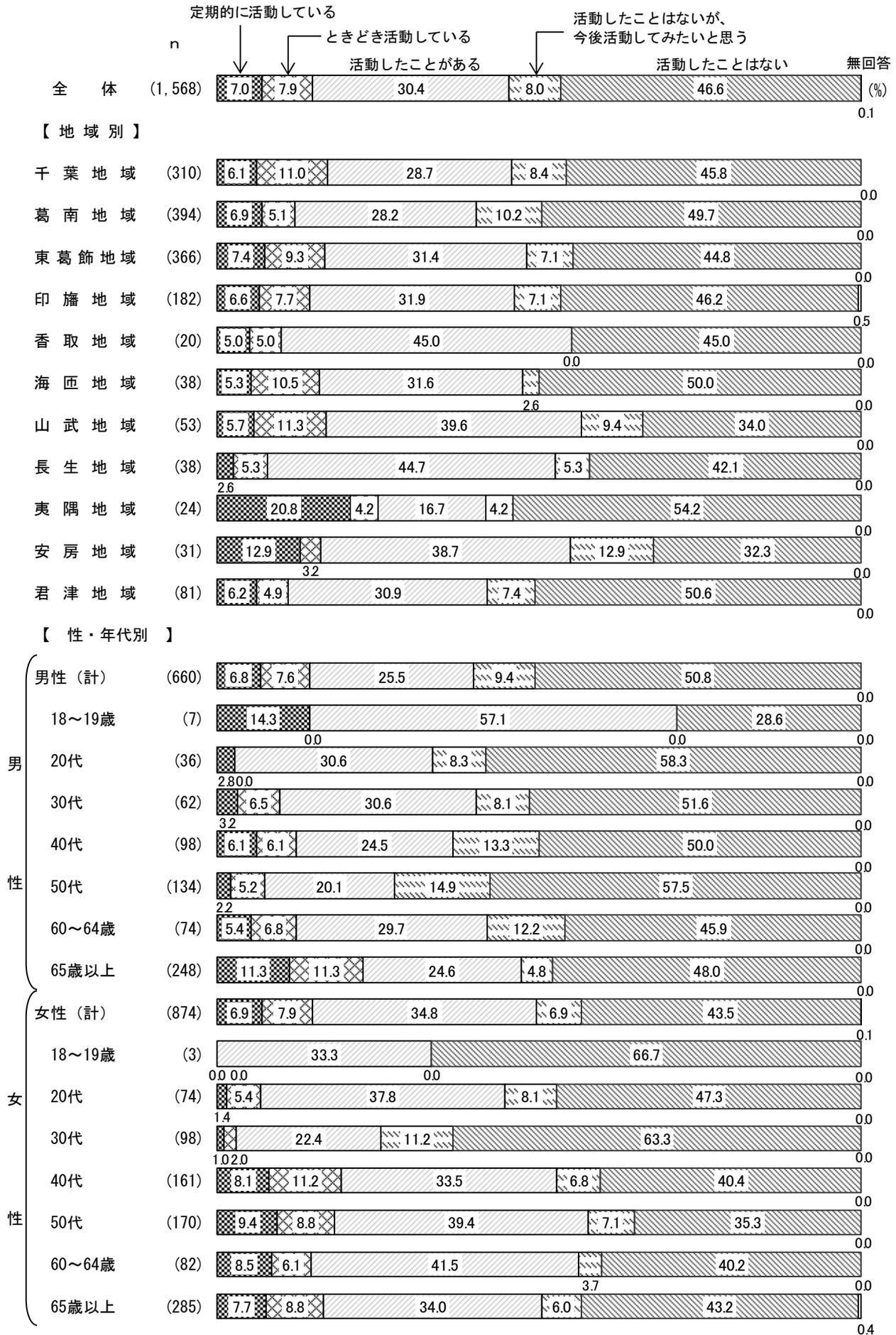
【地域別】

地域別にみると、『活動したことはない（計）』は“葛南地域”（59.9%）が約6割で高くなっている。（図表1-27）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『活動したことがある（計）』は女性の50代（57.6%）が約6割、女性の60～64歳（56.1%）が5割台半ば、女性の40代（52.8%）が5割を超え、女性の65歳以上（50.5%）が5割で高くなっている。一方、『活動したことはない（計）』は女性の30代（74.5%）が7割台半ば、男性の50代（72.4%）が7割を超えて高くなっている。（図表1-27）

<図表1-27> ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



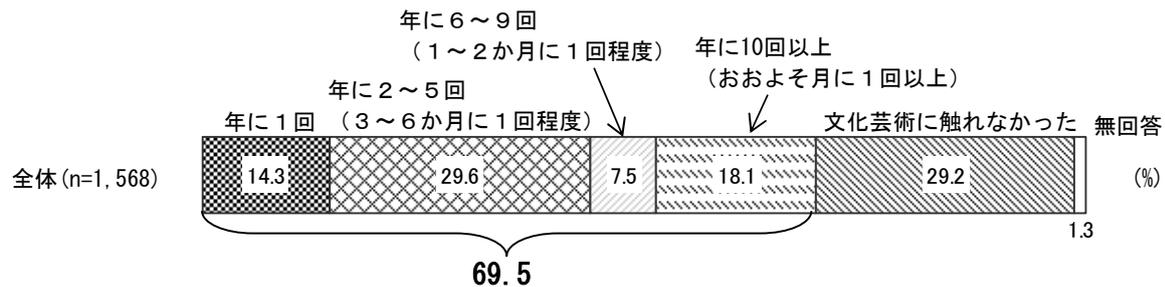
(12) この1年間の文化芸術に触れた頻度

◇『触れたことがある（計）』が約7割

問12 あなたは、この1年間に何回くらい文化芸術に触れましたか。（○は1つ）

※ ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。「触れる」とは映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞（オンラインでの鑑賞を含む）、地域の祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。

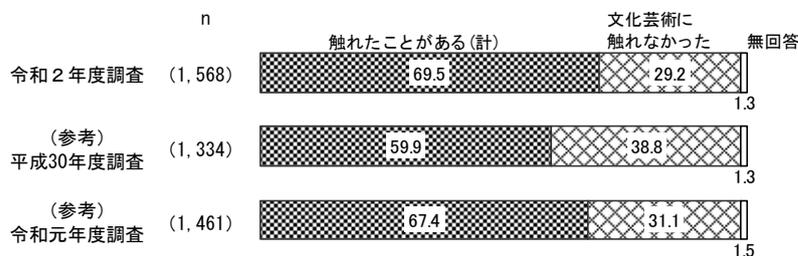
<図表1-28>この1年間の文化芸術に触れた頻度



この1年間で何回くらい文化芸術に触れたか聞いたところ、「年に1回」(14.3%)、「年に2~5回(3~6か月に1回程度)」(29.6%)、「年に6~9回(1~2か月に1回程度)」(7.5%)、「年に10回以上(おおよそ月に1回以上)」(18.1%)の4つを合わせた『触れたことがある(計)』(69.5%)が約7割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」(29.2%)が約3割となっている。(図表1-28)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の類似の項目による調査結果との比較(単位:%)



(※) 平成30年度・令和元年度調査で、「あなたは、県内の施設などでこの1年間に何回くらい文化芸術に触れましたか。(○は1つ)」と質問した結果を参考に示した。

また、令和元年度・令和2年度にそれぞれ「文化芸術」の説明を変更した。平成30年度の説明は以下のとおりである。

「ここでいう『文化芸術』とは、映画(アニメ含む)、音楽(クラシックやポップス等)、美術、文芸(マンガ含む)、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。『触れる』とは映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。」

令和元年度の説明は以下のとおりである。

「ここでいう「文化芸術」とは、映画(アニメ含む)、音楽(クラシックやポップス等)、美術(写真・デジタルアート含む)、文芸(マンガ含む)、ダンス、茶道・華道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。「触れる」とは映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。」

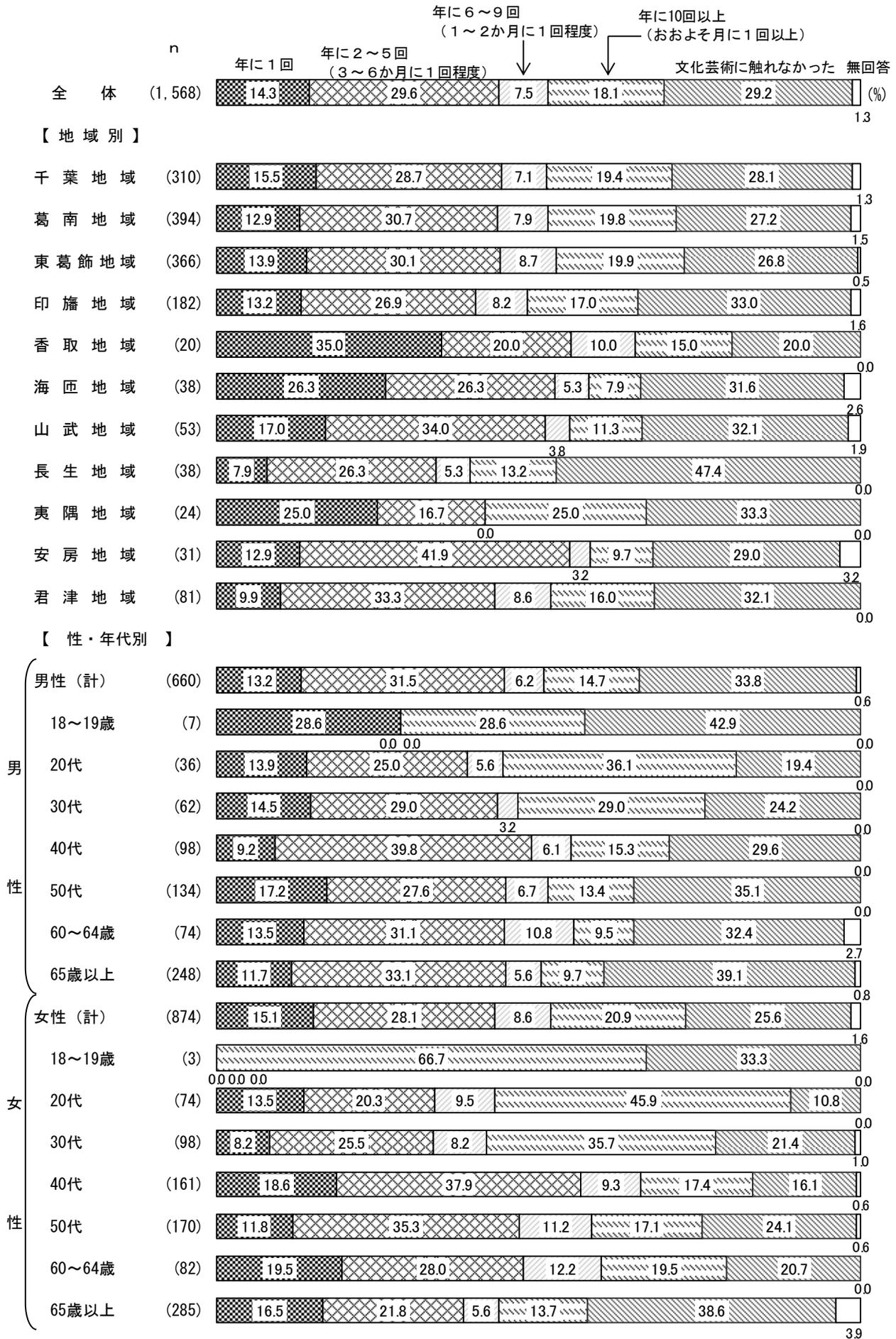
【地域別】

地域別にみると、「文化芸術に触れなかった」は「長生地域」(47.4%)が約5割で高くなっている。(図表1-29)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『触れたことがある(計)』は女性の20代(89.2%)が約9割、女性の40代(83.2%)が8割を超え、女性の60~64歳(79.3%)が約8割で高くなっている。(図表1-29)

<図表1-29>この1年間の文化芸術に触れた頻度／地域別、性・年代別



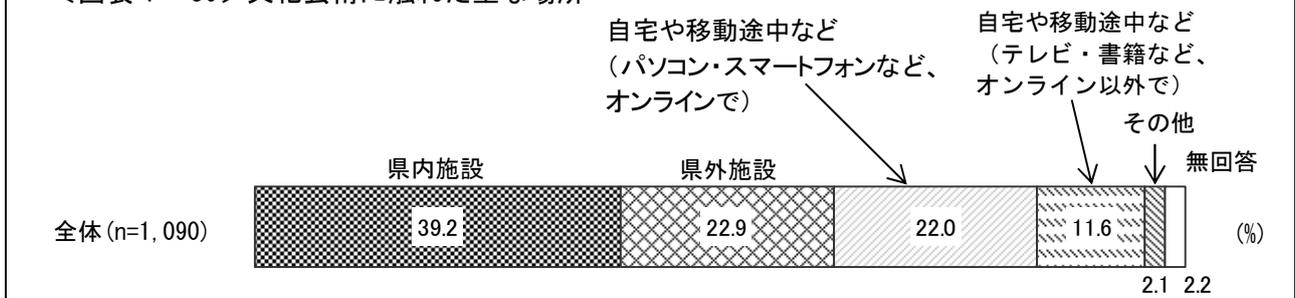
（12-1）文化芸術に触れた主な場所

◇「県内施設」が約4割

（問12で「年に1回」「年に2～5回（3～6か月に1回程度）」「年に6～9回（1～2か月に1回程度）」「年に10回以上（おおよそ月に1回以上）」とお答えの方に）

問12-1 あなたは、文化芸術を主にどこで鑑賞（体験）しましたか。（〇はいくつでも）

<図表1-30>文化芸術に触れた主な場所



『触れたことがある（計）』と回答した1,090人を対象に、文化芸術に触れた主な場所を聞いたところ、「県内施設」（39.2%）が約4割で最も高く、以下、「県外施設」（22.9%）、「自宅や移動途中など（パソコン・スマートフォンなど、オンラインで）」（22.0%）が続く。（図表1-30）

【地域別】

地域別にみると、「県外施設」は“葛南地域”（30.2%）が3割で高くなっている。

（図表1-31）

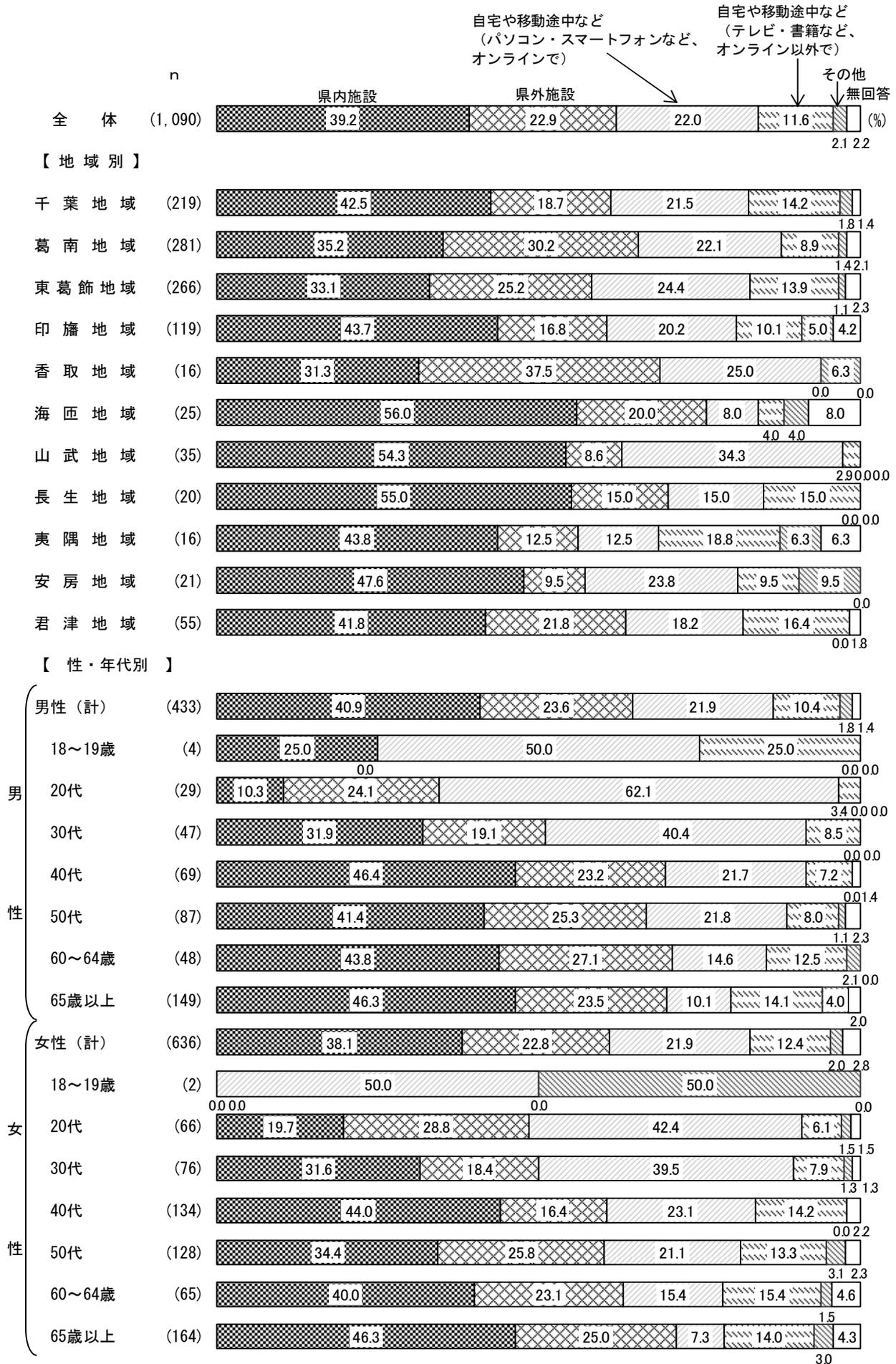
【性・年代別】

性・年代別にみると、「県内施設」は女性の65歳以上（46.3%）が4割台半ばで高くなっている。

「自宅や移動途中など（パソコン・スマートフォンなど、オンラインで）」は男性の20代（62.1%）が6割を超え、女性の20代（42.4%）が4割を超え、男性の30代（40.4%）が4割、女性の30代（39.5%）が約4割で高くなっている。

（図表1-31）

<図表1-31>文化芸術に触れた主な場所／地域別、性・年代別

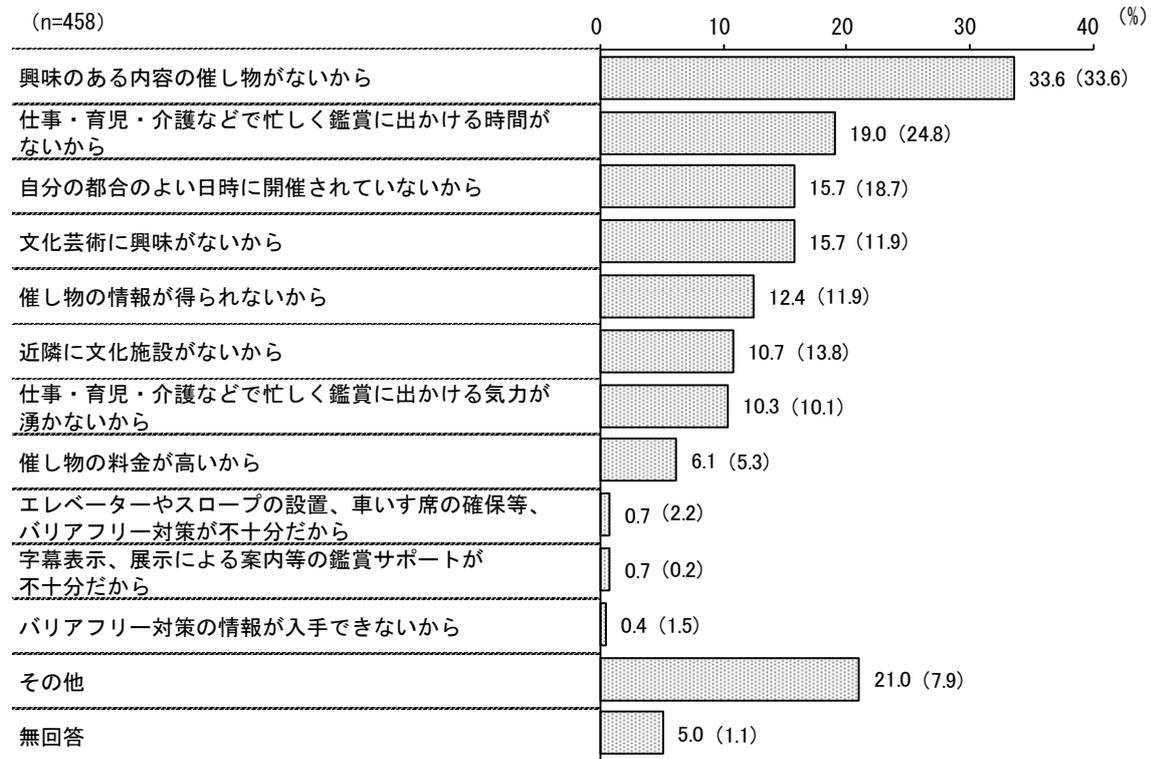


（12-2）文化芸術に触れなかった理由

◇「興味のある内容の催し物がないから」が3割台半ば

（問12で「文化芸術に触れなかった」とお答えの方に）
問12-2 その主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

<図表1-32>文化芸術に触れなかった理由（複数回答）

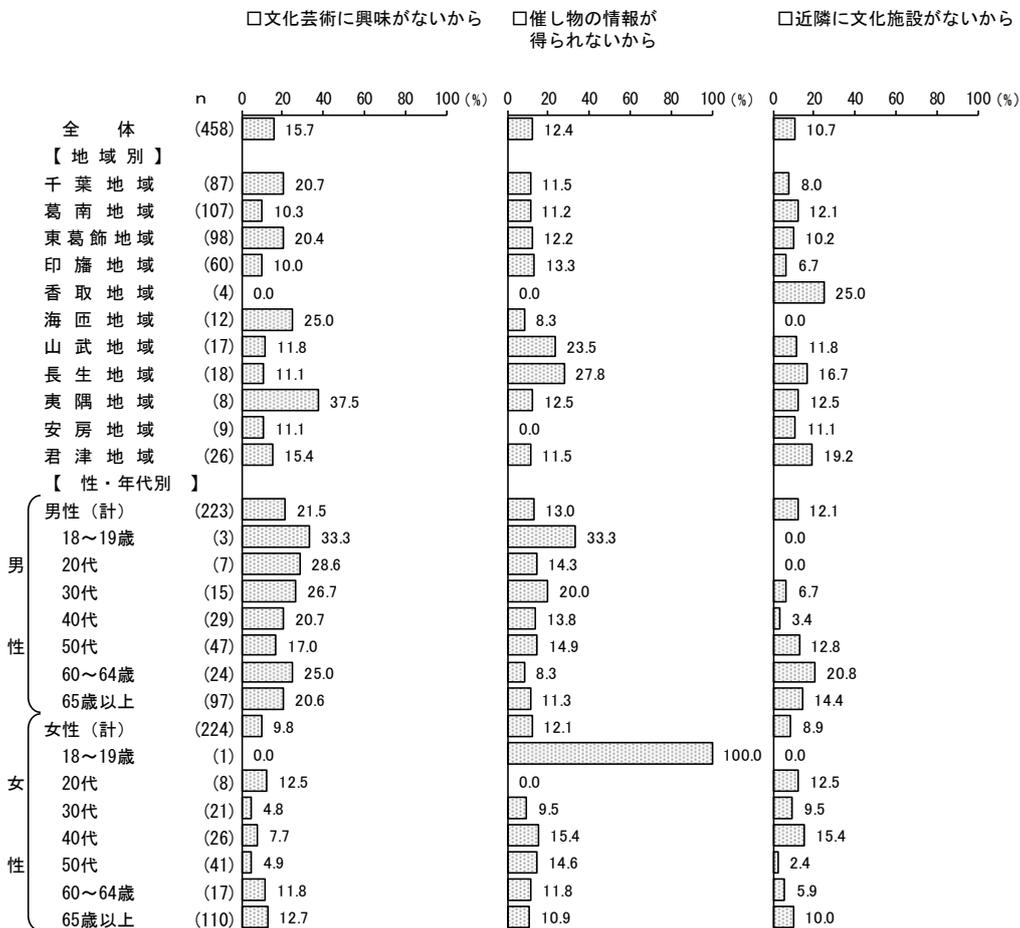
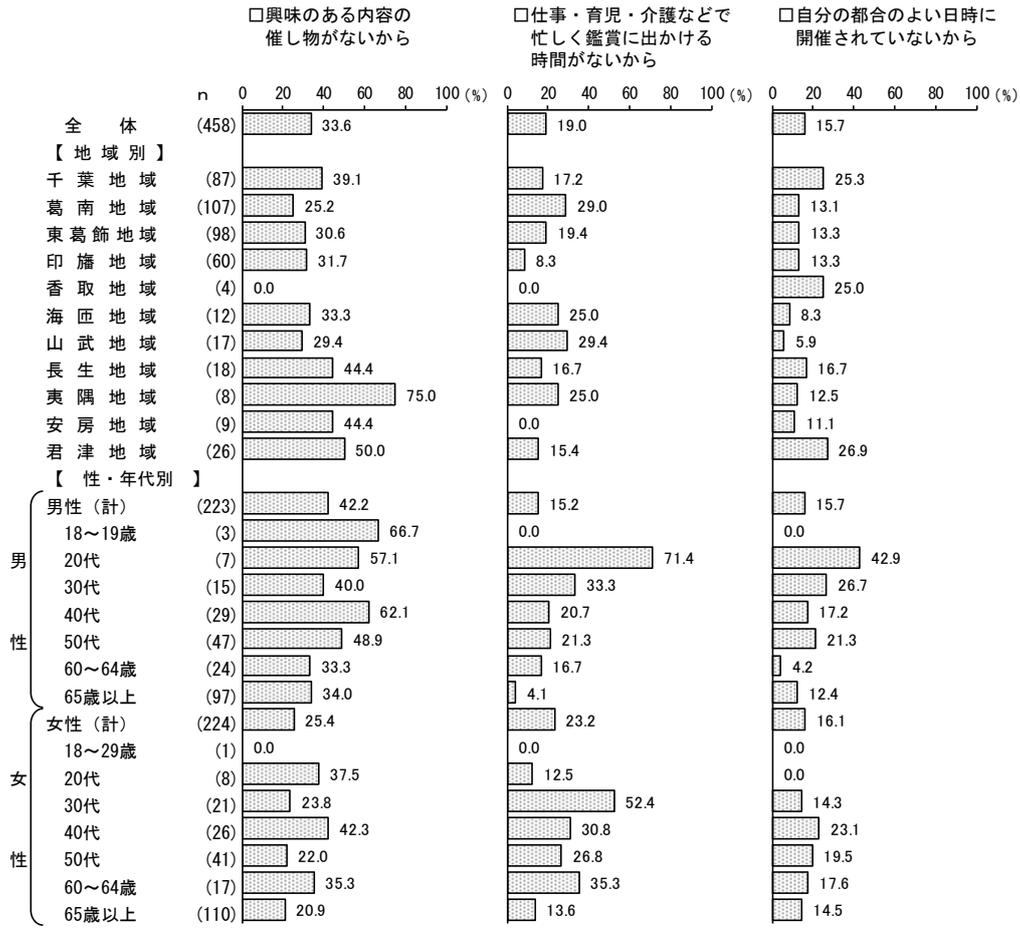


注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 455

「文化芸術に触れなかった」と回答した458人を対象に、文化芸術に触れなかった理由を聞いたところ、「興味のある内容の催し物がないから」（33.6%）が3割台半ばで最も高く、以下、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから」（19.0%）、「自分の都合のよい日時に開催されていないから」と「文化芸術に興味がないから」（15.7%）が続く。（図表1-32）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。
（8ページ「報告書の見方（6）」を参照）
（図表1-33）

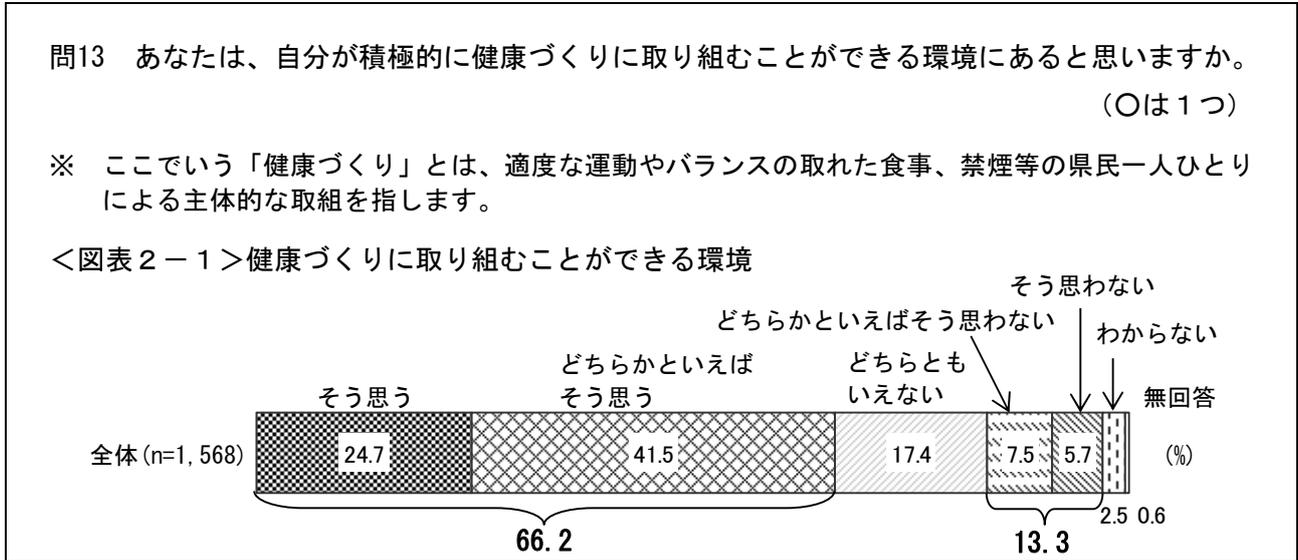
<図表1-33>文化芸術に触れなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



2 健康について

（1）健康づくりに取り組むことができる環境

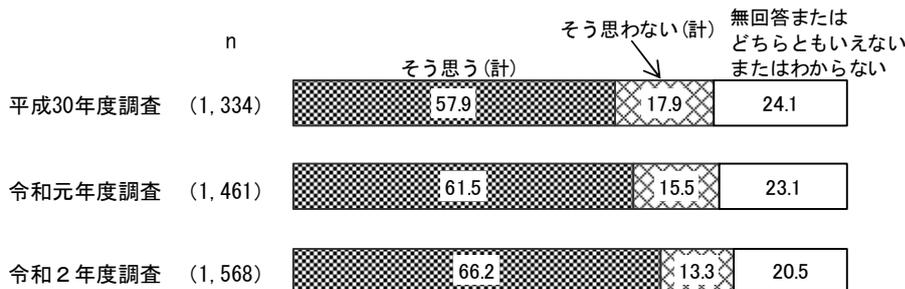
◇『そう思う（計）』が6割台半ば



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（24.7%）と「どちらかといえばそう思う」（41.5%）を合わせた『そう思う（計）』（66.2%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.5%）と「そう思わない」（5.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（13.3%）が1割を超えている。（図表2-1）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

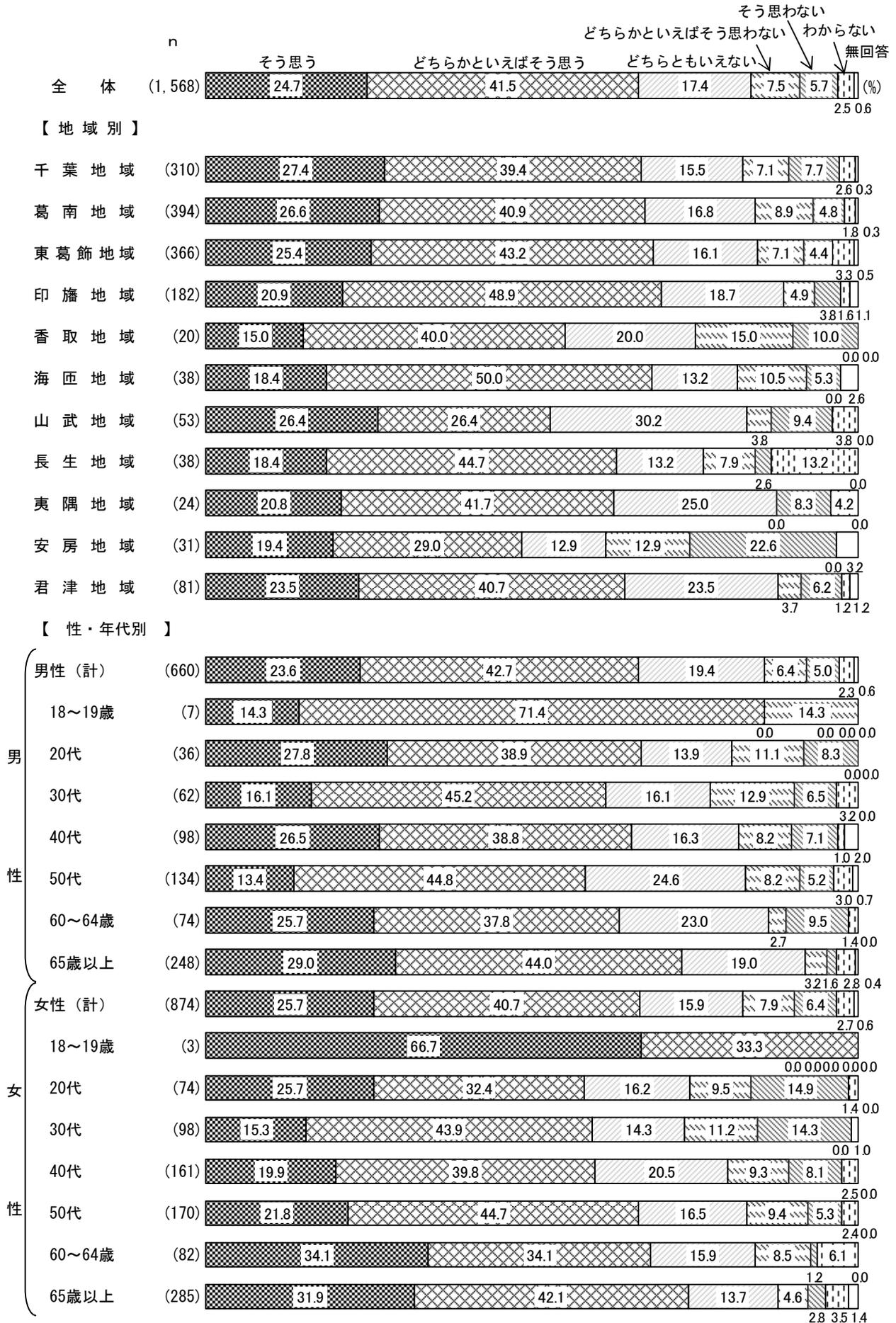
地域別にみると、『そう思わない（計）』は“安房地域”（35.5%）が3割台半ばで高くなっている。（図表2-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の65歳以上（74.0%）が7割台半ば、男性65歳以上（73.0%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の20代（24.3%）と女性の30代（25.5%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-2）

<図表2-2>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



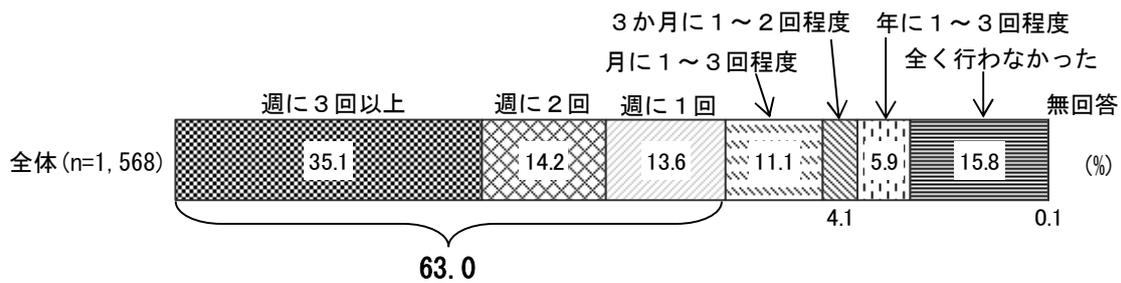
（2）1年間に行った運動の程度

◇『週1回以上運動した（計）』が6割を超える

問14 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。（○は1つ）

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、自転車の利用、階段昇降、散歩、ぶらぶら歩き、通勤時の一駅歩き等の比較的軽い運動やスポーツを含みます。

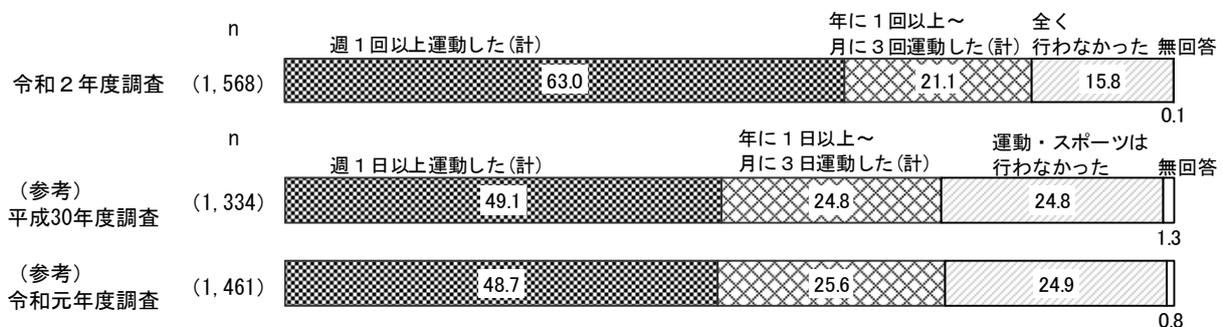
<図表2-3> 1年間に行った運動の程度



この1年間にどの程度運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に3回以上」（35.1%）、「週に2回」（14.2%）、「週に1回」（13.6%）の3つを合わせた『週1回以上運動した（計）』（63.0%）が6割を超えている。

一方、「全く行わなかった」（15.8%）が1割台半ばとなっている。（図表2-3）

【参考】平成30年度・令和元年度の類似の項目による調査結果との比較（単位：％）



（※）平成30年度・令和元年度調査で、「あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。（○は1つ）」

※ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。」と質問した結果を参考に示した。

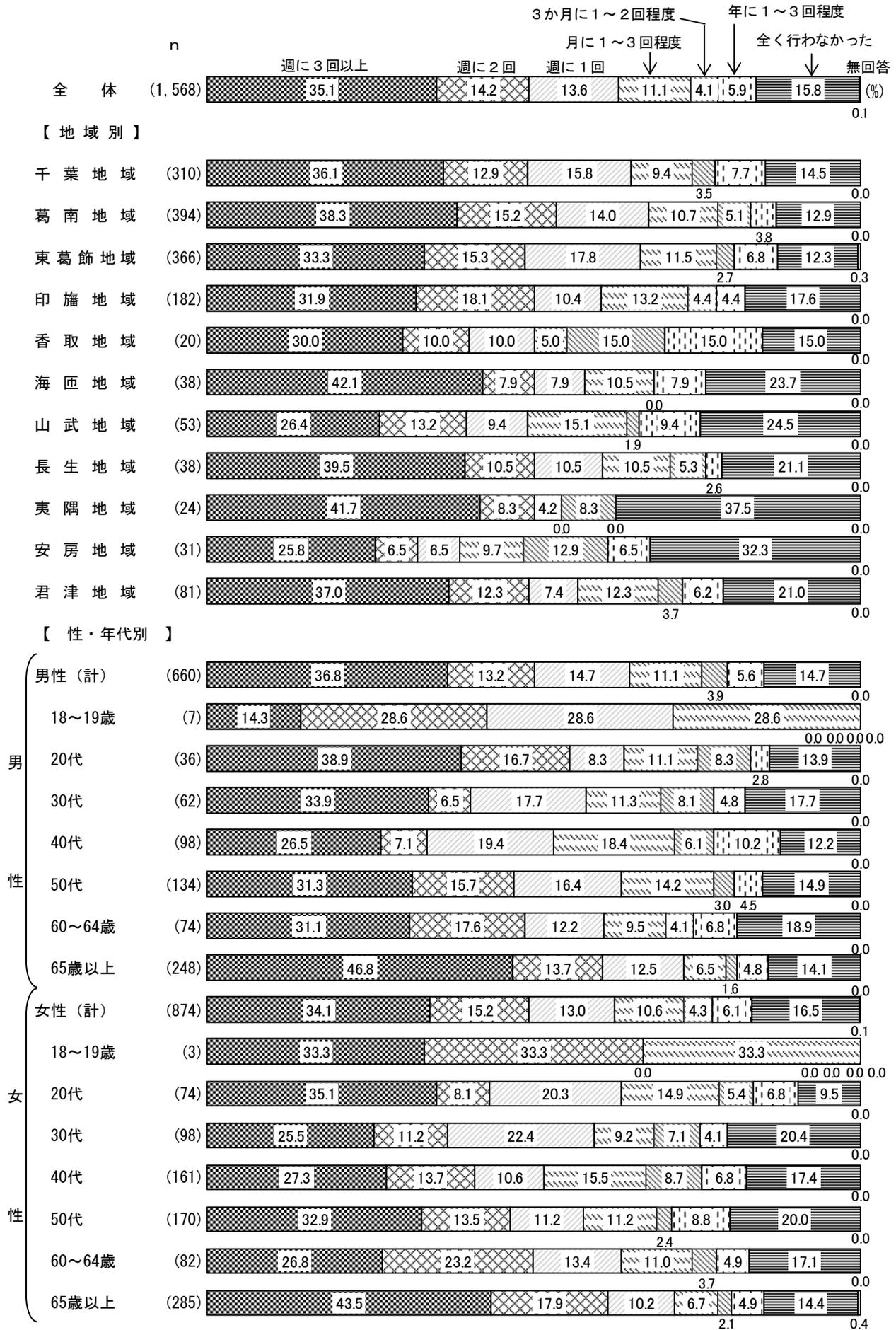
【地域別】

地域別にみると、『週1回以上運動した（計）』は“葛南地域”（67.5%）が約7割で高くなっている。一方、「全く行わなかった」は“夷隅地域”（37.5%）が約4割、“安房地域”（32.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1回以上運動した（計）』は男性の65歳以上（73.0%）と女性の65歳以上（71.6%）が7割を超えて高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4> 1年間に行った運動の程度／地域別、性・年代別

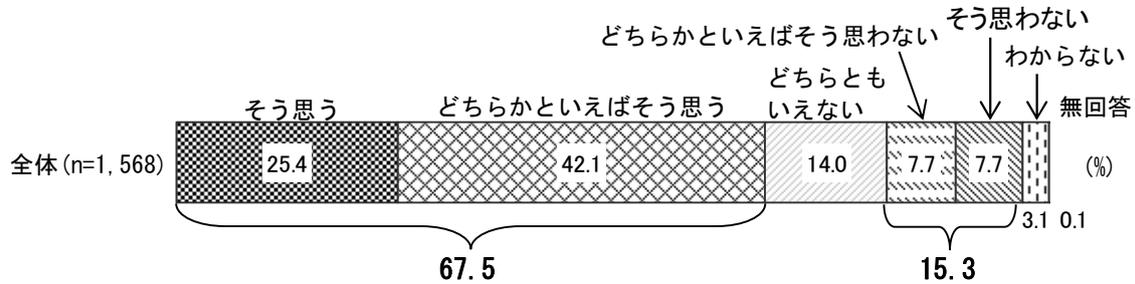


（3）安心して受診できる医療体制

◇『そう思う（計）』が約7割

問15 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
（○は1つ）

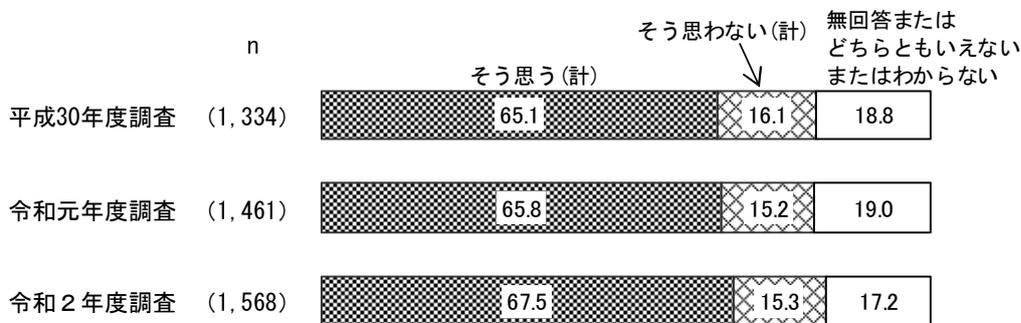
<図表2-5>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（25.4%）と「どちらかといえばそう思う」（42.1%）を合わせた『そう思う（計）』（67.5%）が約7割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.7%）と「そう思わない」（7.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（15.3%）が1割台半ばとなっている。（図表2-5）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

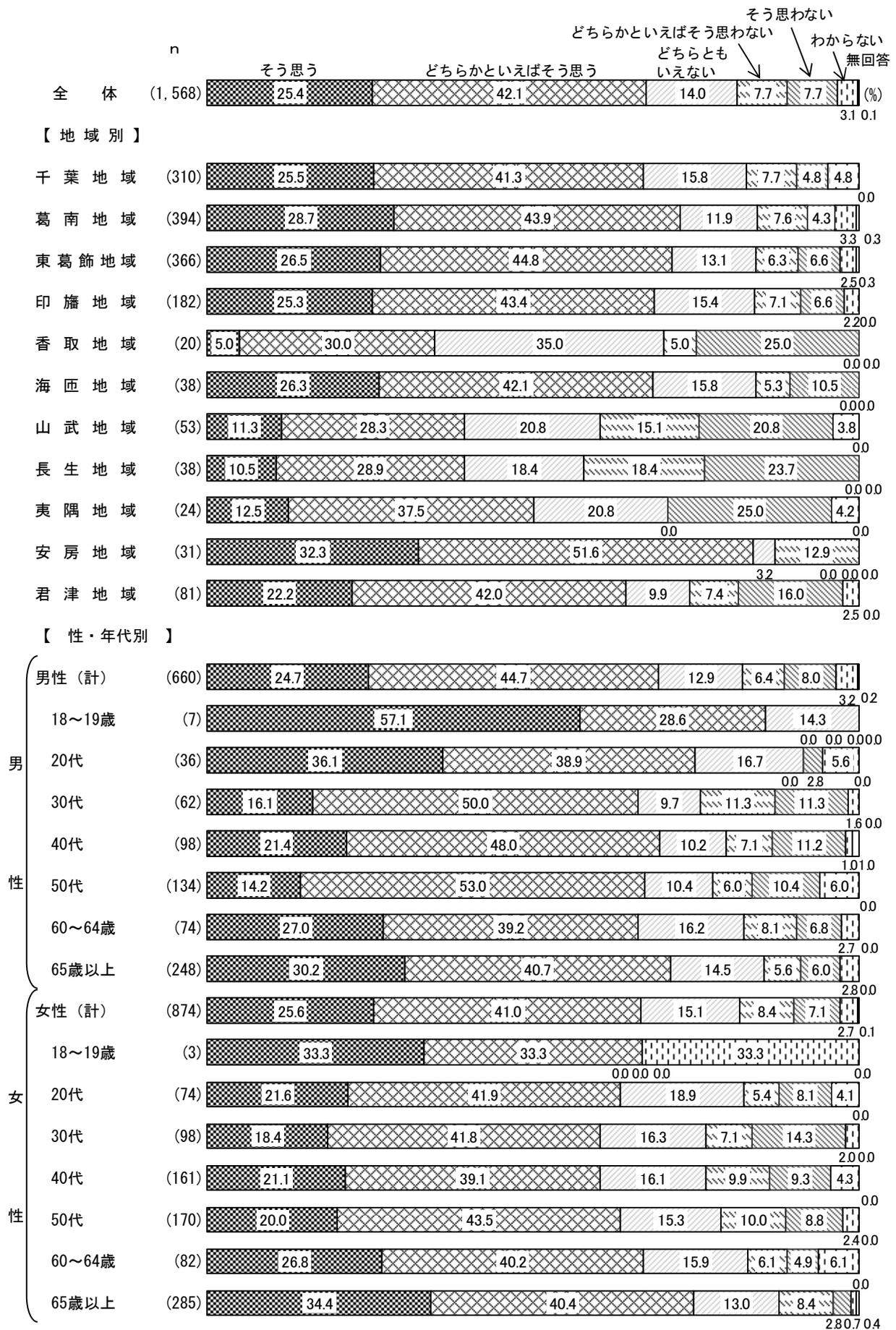
地域別にみると、『そう思う（計）』は“安房地域”（83.9%）が8割台半ば、“葛南地域”（72.6%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“長生地域”（42.1%）が4割を超え、“山武地域”（35.8%）が3割台半ば、“君津地域”（23.5%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の65歳以上（74.7%）が7割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

<図表2-6>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



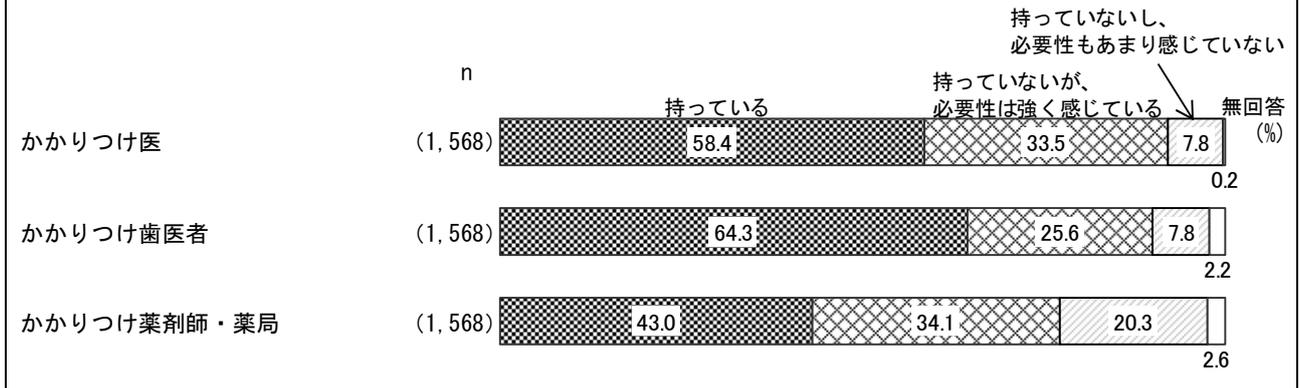
（４）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割台半ば、かかりつけ医を持っているが約6割

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師、歯科医師、薬剤師・薬局を「かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医」等をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表2-7＞かかりつけ医の有無



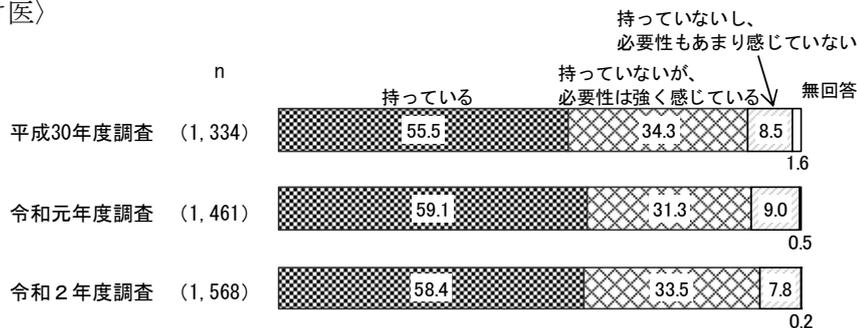
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（64.3%）が6割台半ば、〈かかりつけ医〉（58.4%）が約6割、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（43.0%）が4割を超えている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（34.1%）と〈かかりつけ医〉（33.5%）が3割台半ばとなっている。

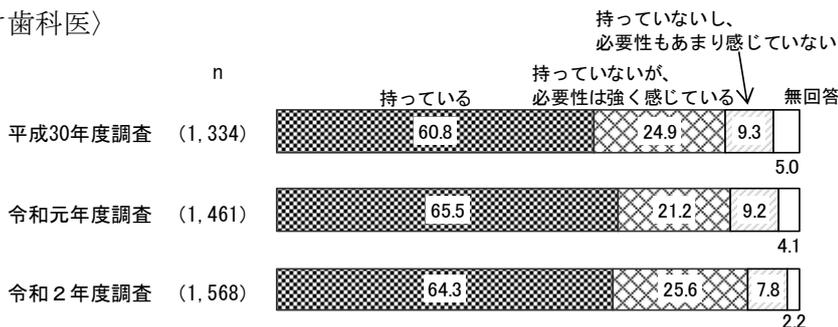
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（20.3%）が2割となっている。（図表2-7）

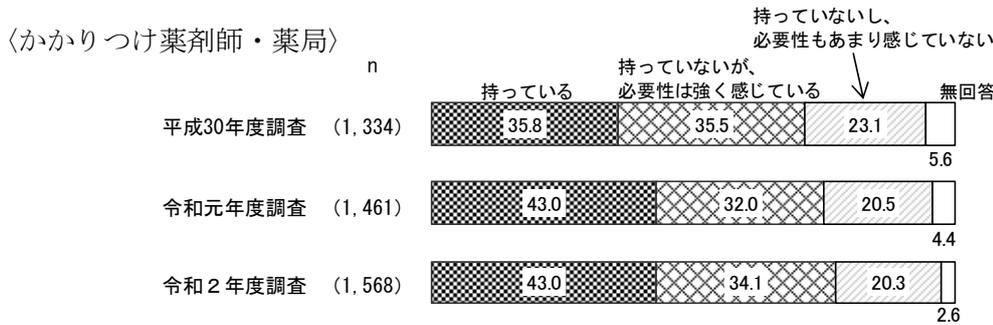
【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉





【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“海匠地域”（81.6%）が8割を超え、“山武地域”（71.7%）が7割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っていないが、必要性は強く感じている」は“安房地域”（41.9%）が4割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は“長生地域”（63.2%）が6割を超えて高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は“安房地域”（54.8%）が5割台半ば、“東葛飾地域”（38.5%）が約4割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“東葛飾地域”（24.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は男性の65歳以上（79.8%）と女性の65歳以上（79.6%）が約8割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（53.1%）が5割を超え、男性の40代（50.0%）が5割、男性の30代（48.4%）と女性の40代（47.8%）が約5割、男性の50代（41.8%）が4割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（24.2%）が2割台半ば、女性の20代（20.3%）が2割、女性の30代（15.3%）が1割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は男性の65歳以上（76.6%）と女性の65歳以上（74.4%）が7割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（44.4%）と男性の30代（46.8%）が4割台半ば、男性の40代（42.9%）が4割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は女性の20代（20.3%）が2割、男性の30代（19.4%）が約2割、男性の20代（16.7%）が1割台半ば、男性の40代（13.3%）が1割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（62.5%）が6割を超え、男性の65歳以上（59.7%）が約6割で高くなっている。

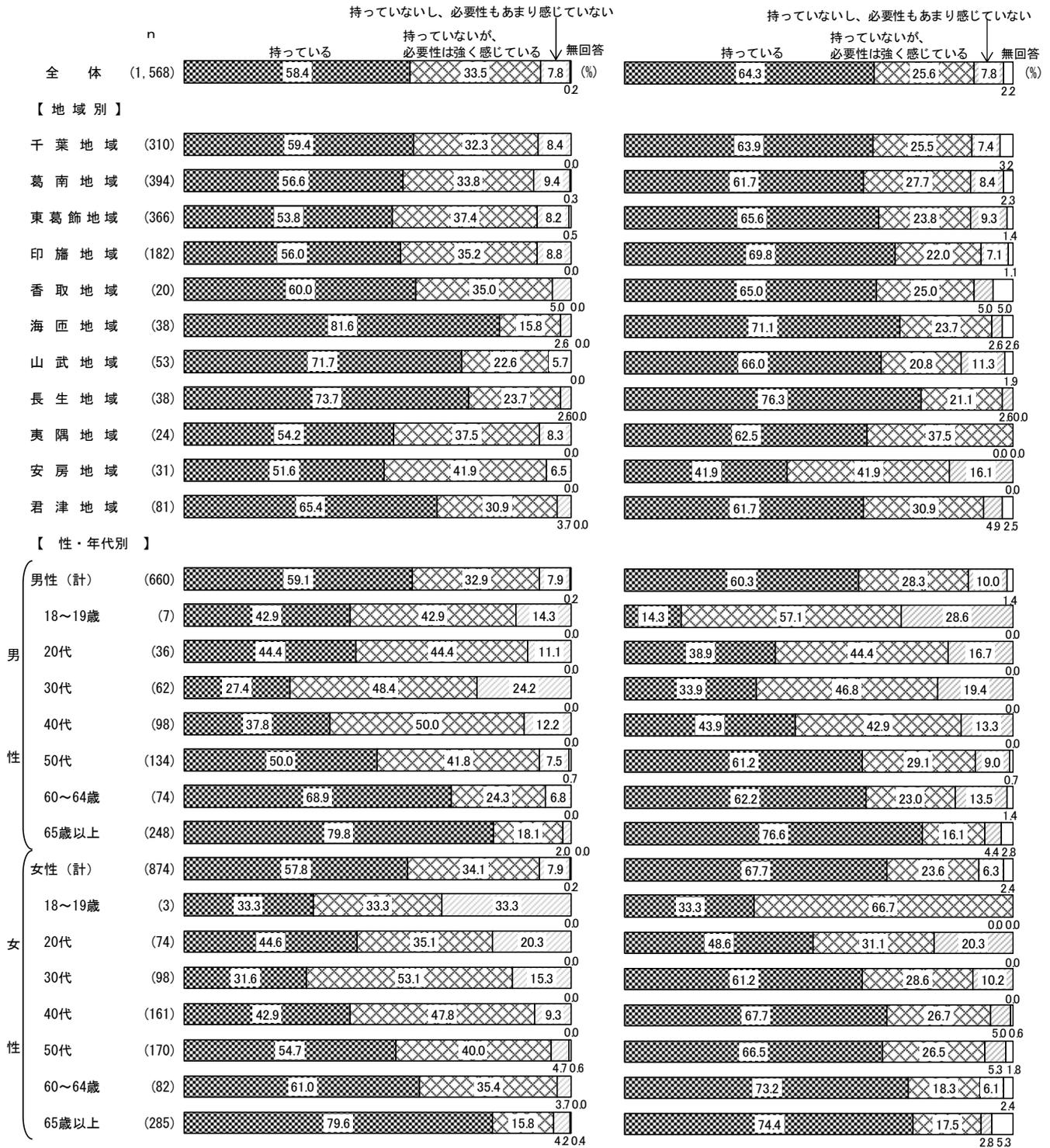
「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（52.8%）が5割を超え、男性の40代（49.0%）と女性の30代（48.0%）が約5割、男性の30代（46.8%）と女性の40代（43.5%）が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（38.7%）が約4割、女性の20代（33.8%）が3割台半ば、男性の40代（30.6%）が3割、女性の30代（28.6%）が約3割で高くなっている。（図表2-8）

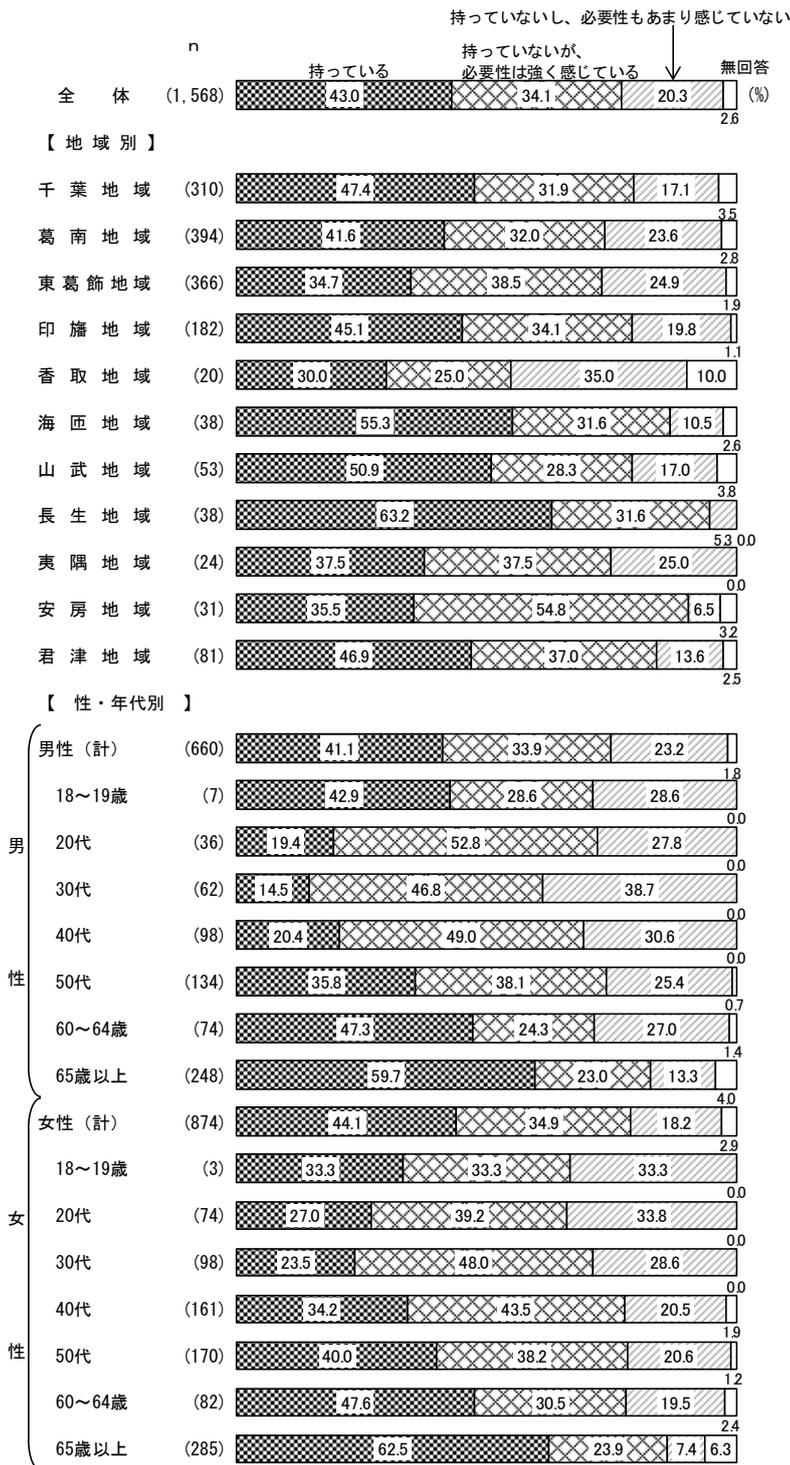
<図表2-8>かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別

〈かかりつけ医〉

〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



3 福祉について

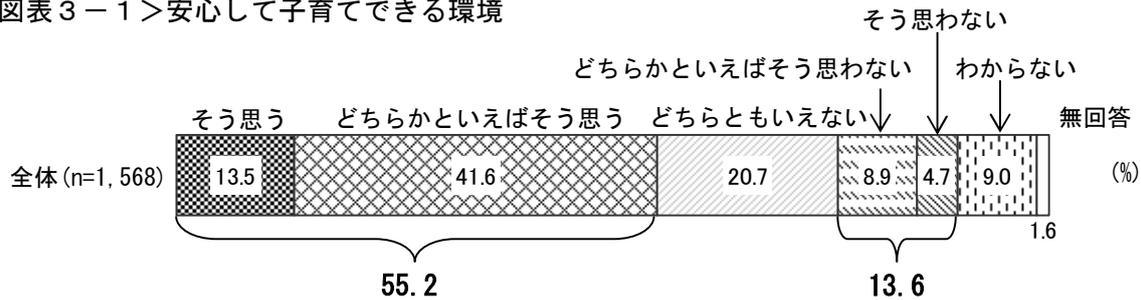
(1) 安心して子育てできる環境

◇『そう思う（計）』が5割台半ば

問17 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。（○は1つ）

※ この設問では、「子育て」をおおむね18歳までの子どもを育てることと定義しています。

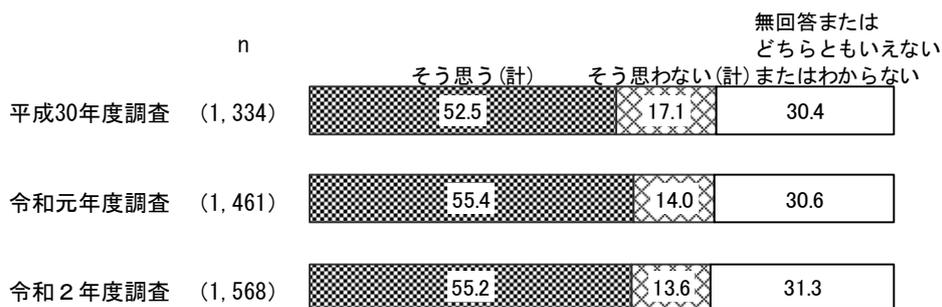
<図表3-1>安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（13.5%）と「どちらかといえばそう思う」（41.6%）を合わせた『そう思う（計）』（55.2%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.9%）と「そう思わない」（4.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（13.6%）が1割台半ばとなっている。（図表3-1）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

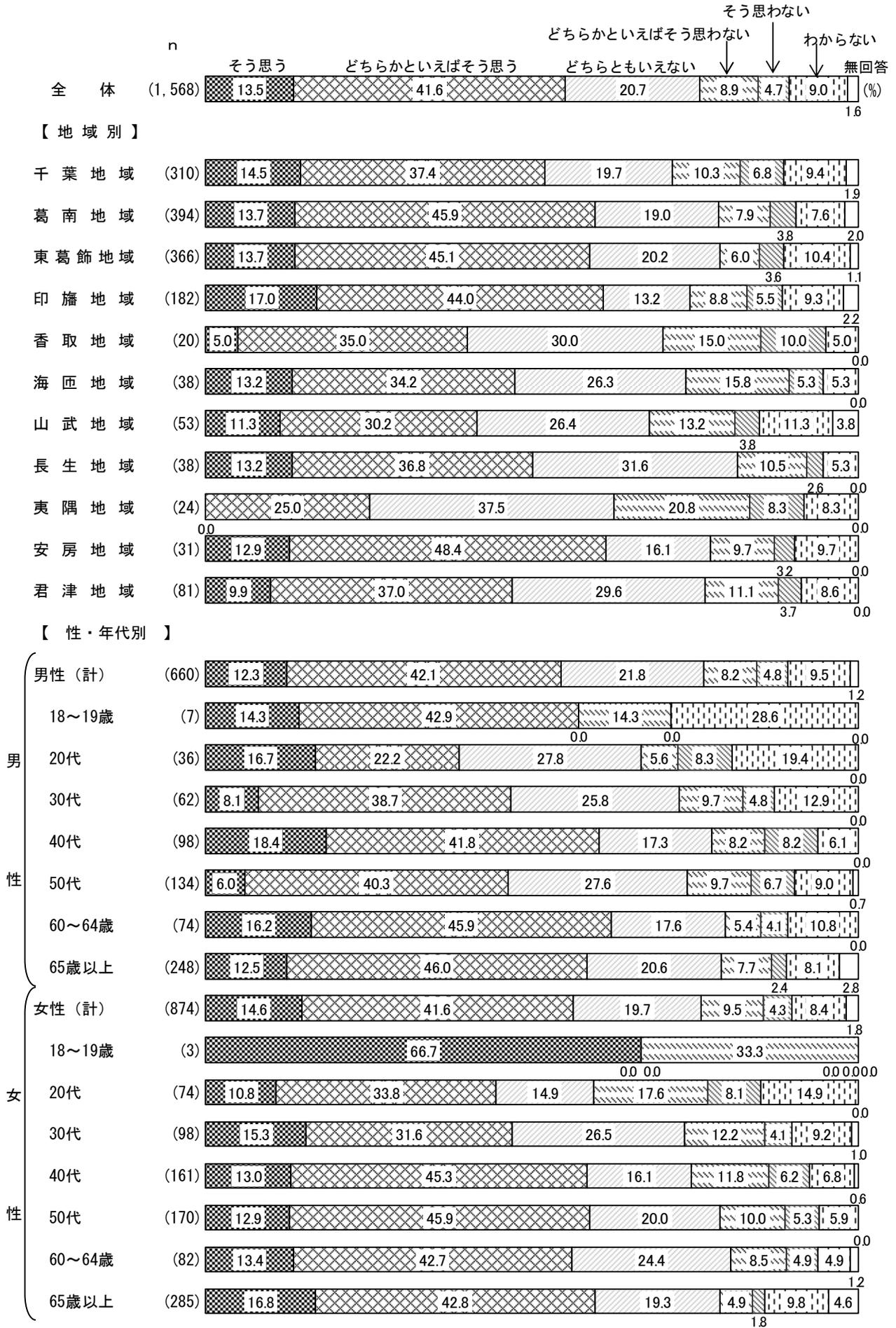
地域別にみると、『そう思う（計）』は“葛南地域”（59.6%）が約6割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“夷隅地域”（29.2%）が約3割、“千葉地域”（17.1%）が約2割で高くなっている。（図表3-2）

【性・年代別】

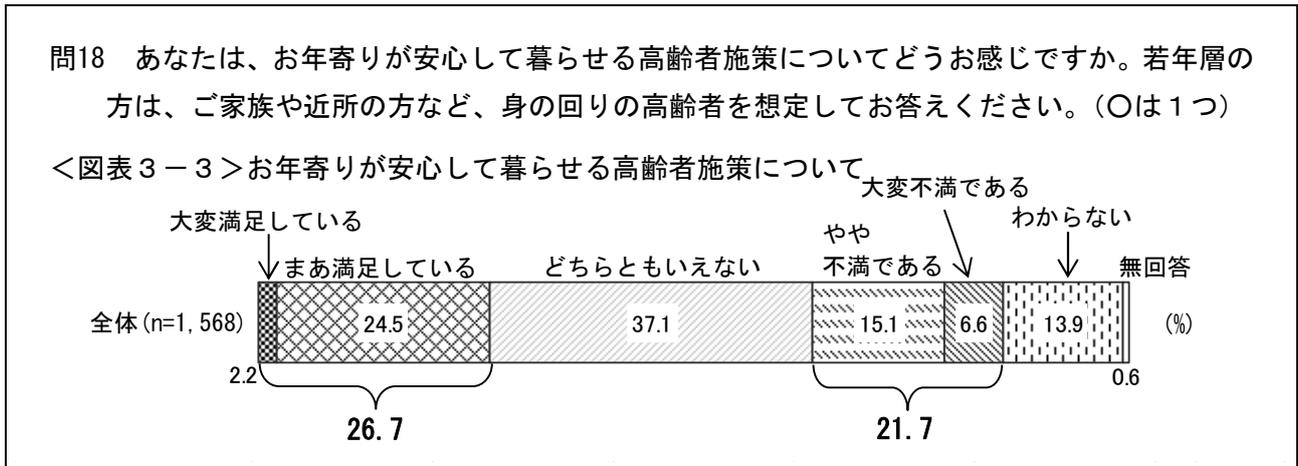
性・年代別にみると、『そう思わない（計）』は女性の20代（25.7%）が2割台半ばで高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2>安心して子育てできる環境／地域別、性・年代別



（2）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計）』が2割台半ば



お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(2.2%)と「まあ満足している」(24.5%)を合わせた『満足している(計)』(26.7%)が2割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」(15.1%)と「大変不満である」(6.6%)を合わせた『不満である(計)』(21.7%)が2割を超えている。(図表3-3)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

	n	満足している(計)	不満である(計)	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成30年度調査	(1,334)	23.1	27.0	49.9
令和元年度調査	(1,461)	22.8	24.4	52.8
令和2年度調査	(1,568)	26.7	21.7	51.6

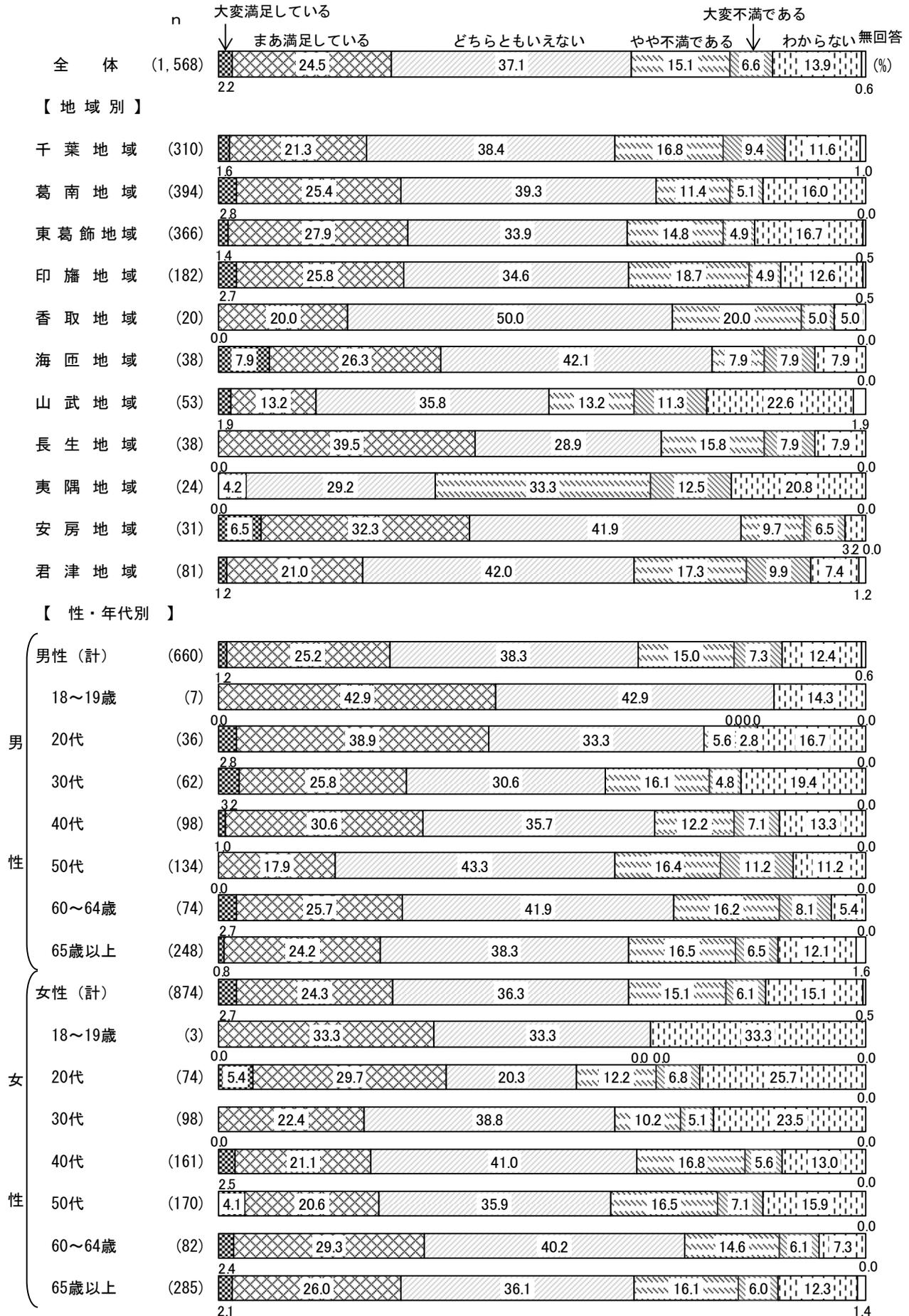
【地域別】

地域別にみると、『不満である(計)』は“夷隅地域”(45.8%)が4割台半ば、“千葉地域”(26.1%)が2割台半ばで高くなっている。(図表3-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している(計)』は男性の20代(41.7%)が4割を超えて高くなっている。(図表3-4)

<図表3-4>お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別

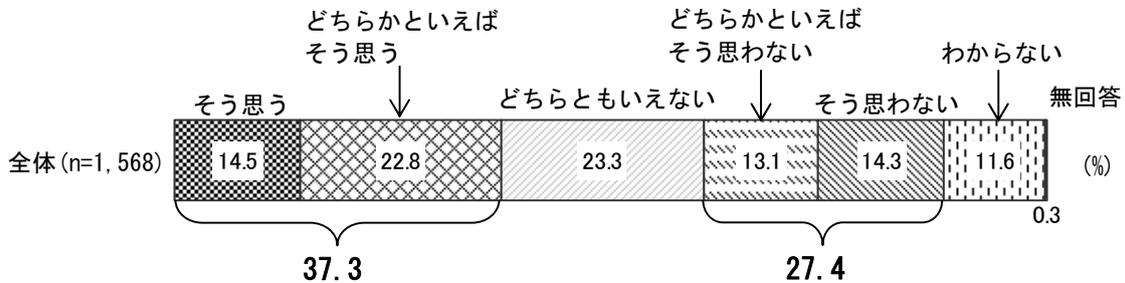


（3）介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか

◇『そう思う（計）』が約4割

問19 あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。（○は1つ）

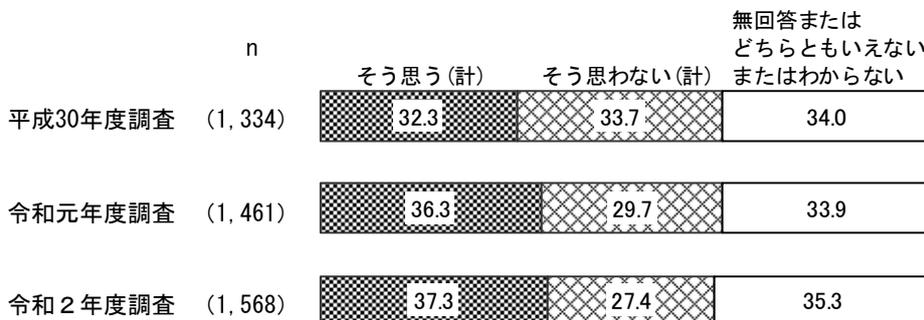
<図表3-5> 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか



自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられると思うか聞いたところ、「そう思う」（14.5%）と「どちらかといえばそう思う」（22.8%）を合わせた『そう思う（計）』（37.3%）が約4割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（13.1%）と「そう思わない」（14.3%）を合わせた『そう思わない（計）』（27.4%）は約3割となっている。（図表3-5）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“海匠地域”（55.3%）が5割台半ば、“東葛飾地域”（43.2%）が4割を超えて高くなっている。

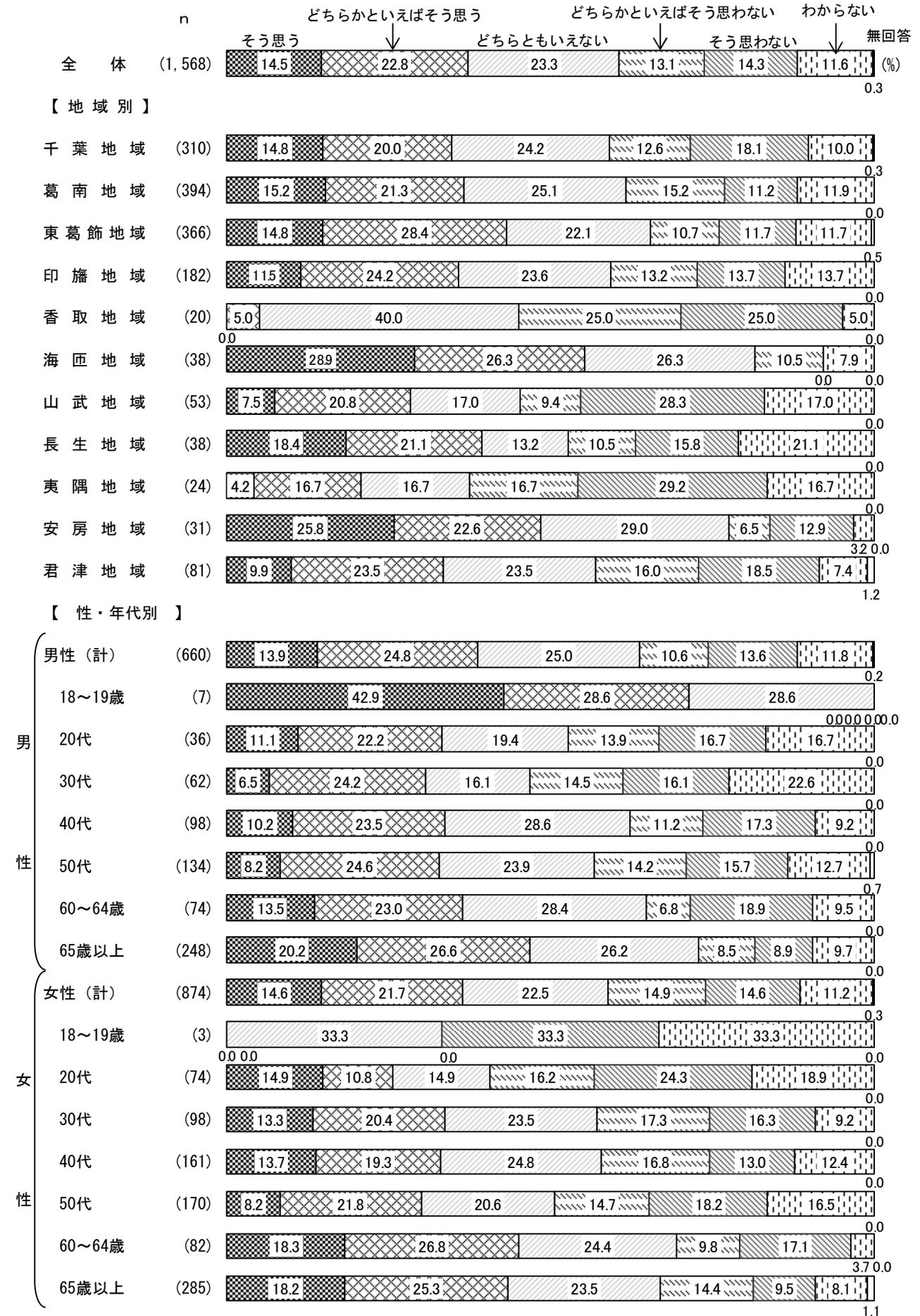
一方、『そう思わない（計）』は“香取地域”（50.0%）が5割、“夷隅地域”（45.8%）が4割台半ばで高くなっている。（図表3-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると『そう思う（計）』は男性の65歳以上（46.8%）と女性の65歳以上（43.5%）が4割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の20代（40.5%）が4割で高くなっている。（図表3-6）

<図表3-6>介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか／地域別、性・年代別

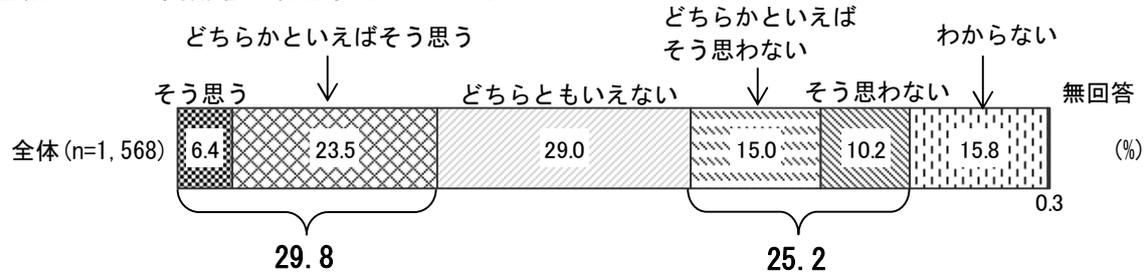


（４）高齢者の社会参加について

◇『そう思う（計）』が約3割

問20 あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。（○は1つ）

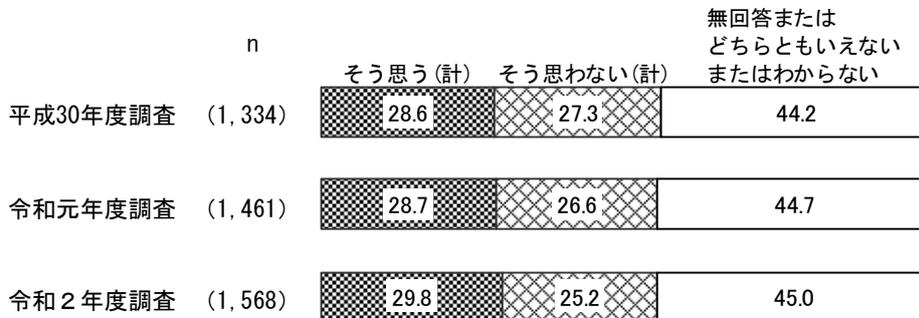
＜図表3-7＞高齢者の社会参加について



高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思うか聞いたところ、「そう思う」（6.4％）と「どちらかといえばそう思う」（23.5％）を合わせた『そう思う（計）』（29.8％）が約3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（15.0％）と「そう思わない」（10.2％）を合わせた『そう思わない（計）』（25.2％）が2割台半ばとなっている。（図表3-7）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



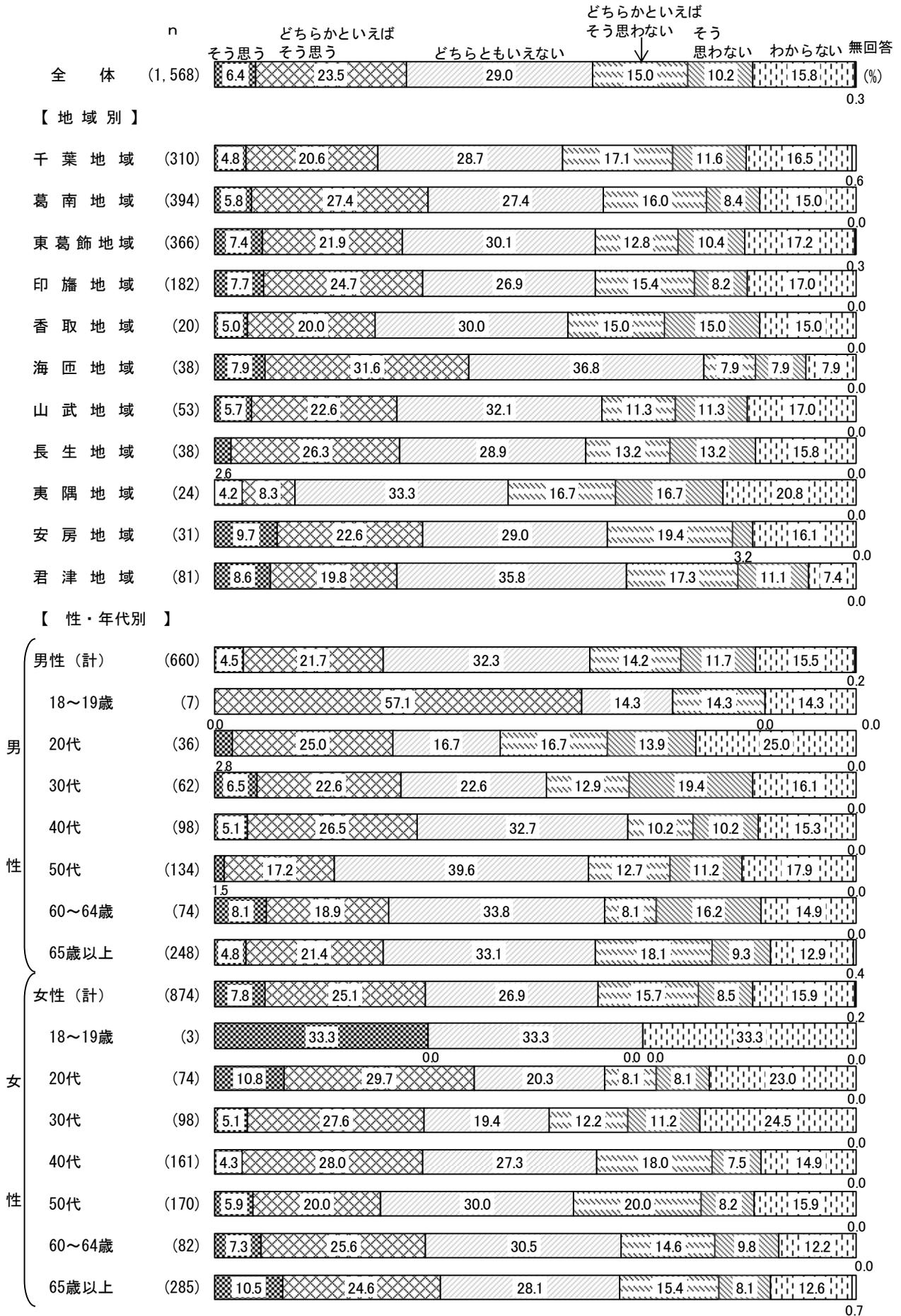
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表3-8）

【性・年代別】

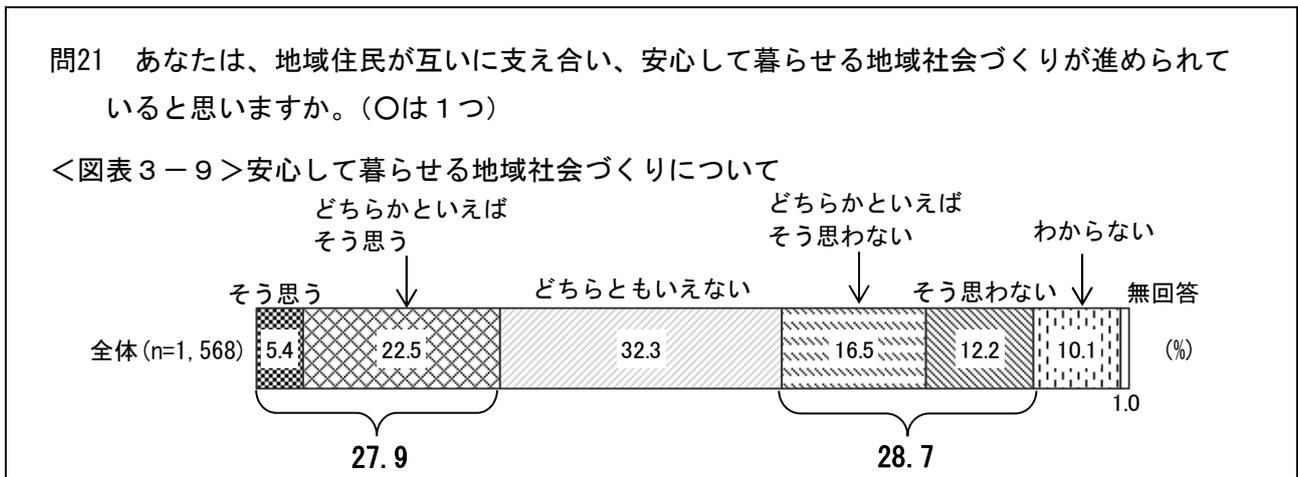
性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の20代（40.5％）が4割、女性の65歳以上（35.1％）が3割台半ばで高くなっている。（図表3-8）

<図表3-8>高齢者の社会参加について／地域別、性・年代別



（5）安心して暮らせる地域社会づくりについて

◇『そう思う（計）』が約3割



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.4%)と「どちらかといえばそう思う」(22.5%)を合わせた『そう思う(計)』(27.9%)が約3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.5%)と「そう思わない」(12.2%)を合わせた『そう思わない(計)』(28.7%)が約3割となっている。(図表3-9)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

	n	そう思う(計)	そう思わない(計)	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成30年度調査	(1,334)	29.5	30.8	39.7
令和元年度調査	(1,461)	29.4	28.8	41.8
令和2年度調査	(1,568)	27.9	28.7	43.4

【地域別】

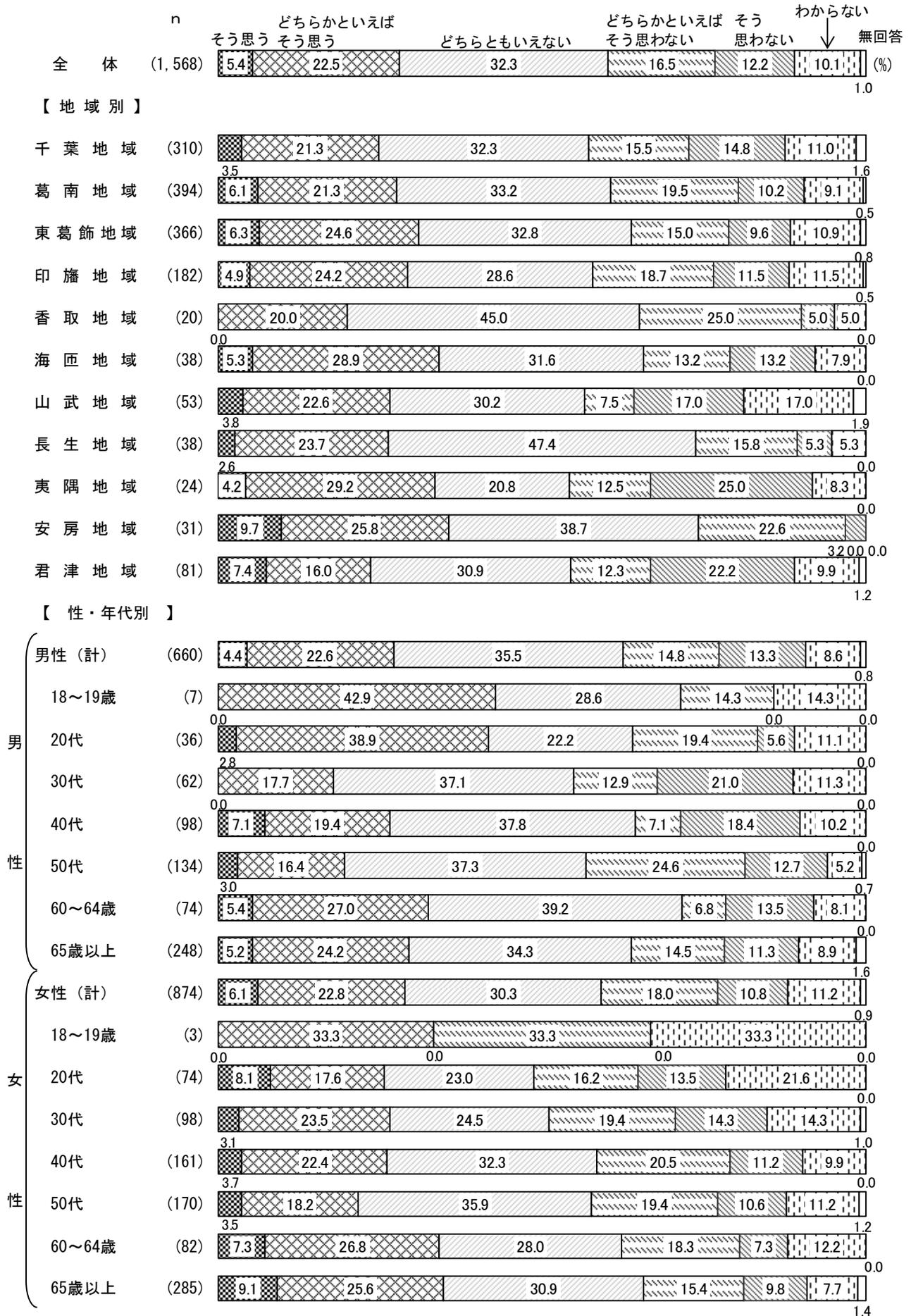
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表3-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は女性の65歳以上(34.7%)が3割台半ばで高くなっている。

『そう思わない(計)』は男性の50代(37.3%)が約4割で高くなっている。(図表3-10)

<図表3-10>安心して暮らせる地域社会づくりについて／地域別、性・年代別

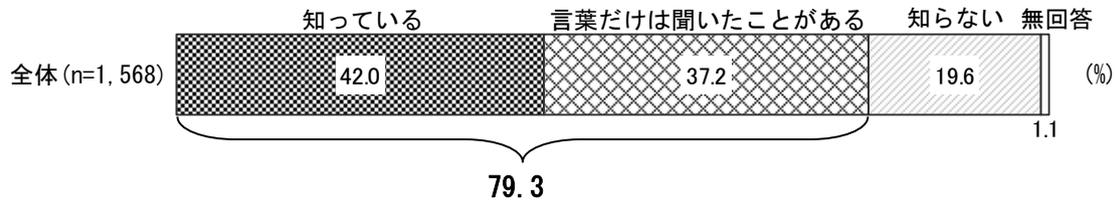


（6）「共生社会」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が約8割

問22 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、
支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。（○は1つ）

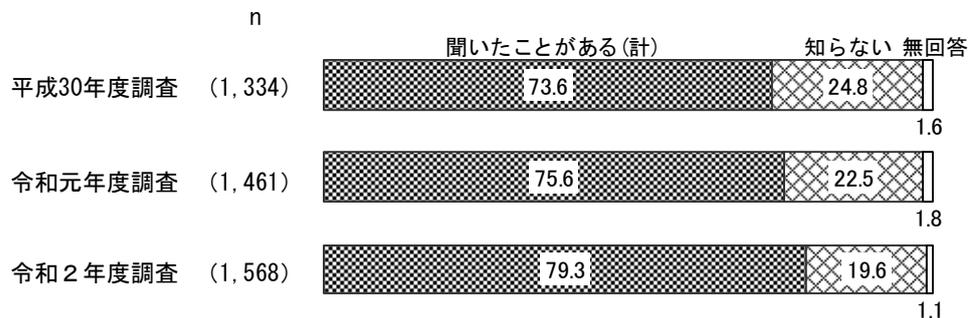
<図表3-11> 「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（42.0%）と「言葉だけは聞いたことがある」（37.2%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（79.3%）が約8割で高くなっている。

一方、「知らない」（19.6%）が約2割となっている。（図表3-11）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



（※）令和元年度調査から、「共生社会」の説明『「共生社会」とは、具体的には、人々の生活や心において『障害者』という区切りのない社会です。』を削除した。

【地域別】

地域別にみると、「知らない」は“山武地域”（34.0%）が3割台半ばで高くなっている。

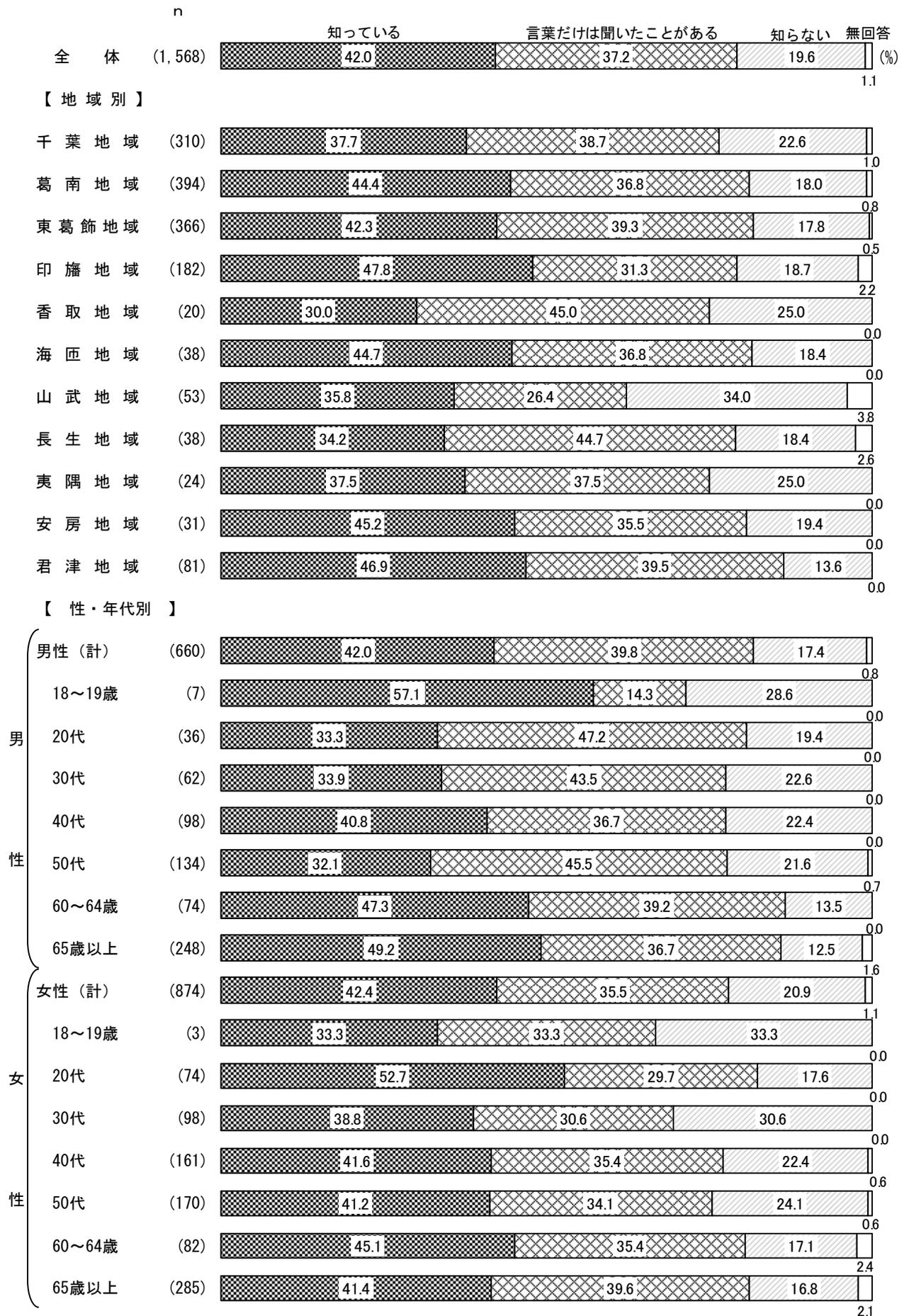
（図表3-12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は男性の65歳以上（85.9%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は女性の30代（30.6%）が3割で高くなっている。（図表3-12）

<図表3-12> 「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別

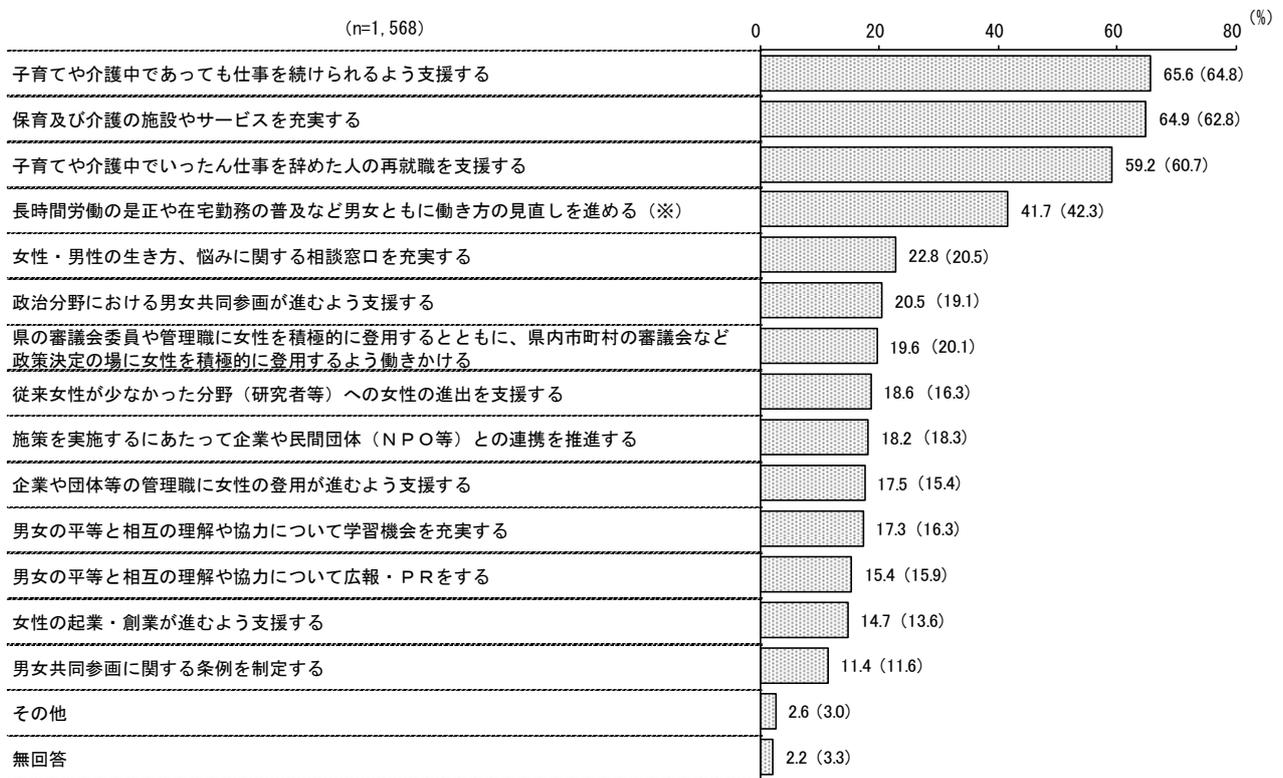


（7）男女共同参画社会を実現するための取組

◇「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が6割台半ば

問23 あなたは、男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（○はいくつでも）

<図表3-13>男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

（※）令和元年度調査では、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」

男女共同参画社会を実現するために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」（65.6%）が6割台半ばで最も高く、以下、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」（64.9%）、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（59.2%）が続く。（図表3-13）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表3-14）

【性・年代別】

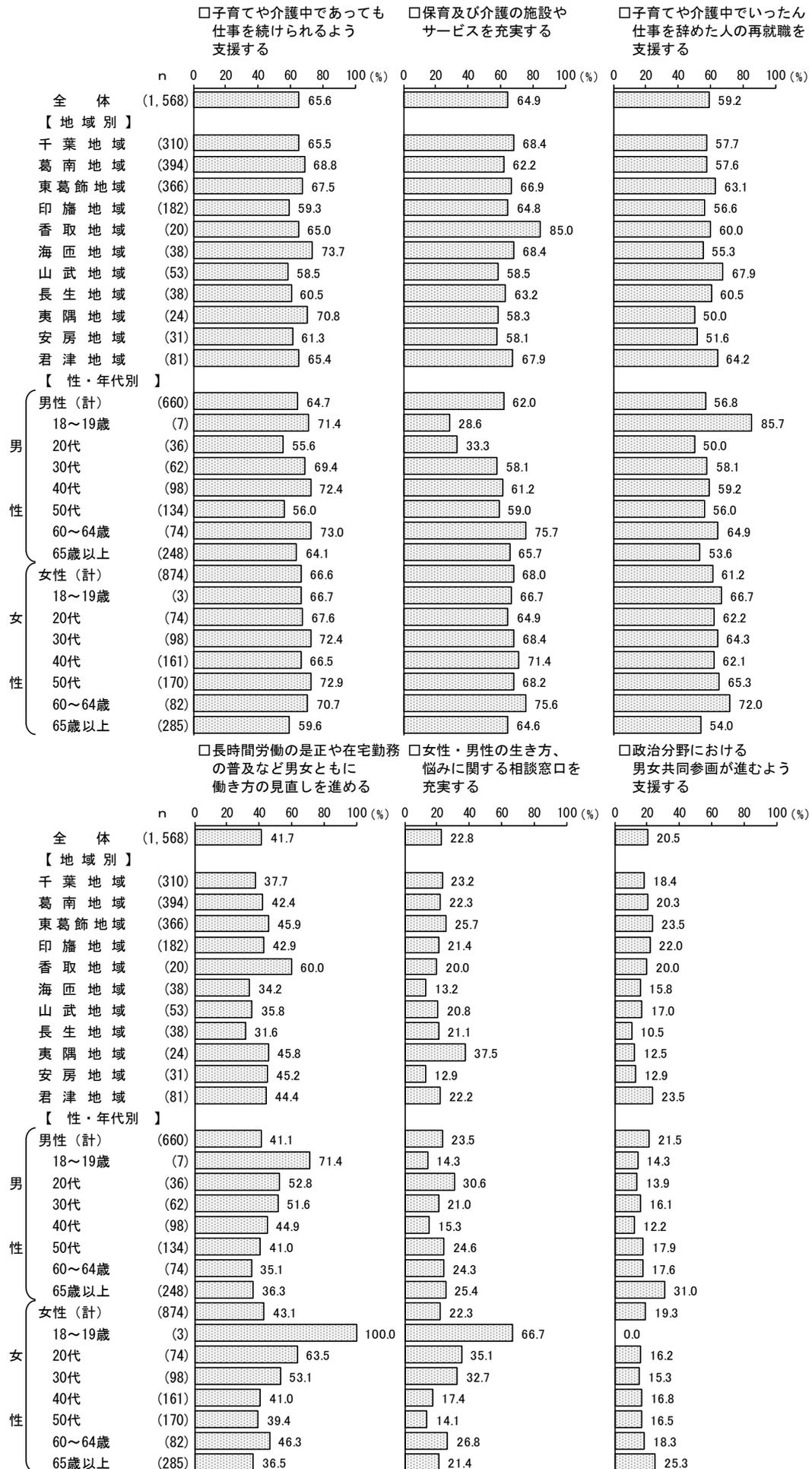
性・年代別にみると、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」は女性の50代（72.9%）が7割を超えて高くなっている。

「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は男性の60～64歳（75.7%）と女性の60～64歳（75.6%）が7割台半ばで高くなっている。

「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は女性の60～64歳（72.0%）が7割を超えて高くなっている。

「長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は女性の20代（63.5%）が6割台半ば、女性の30代（53.1%）が5割を超えて高くなっている。（図表3-14）

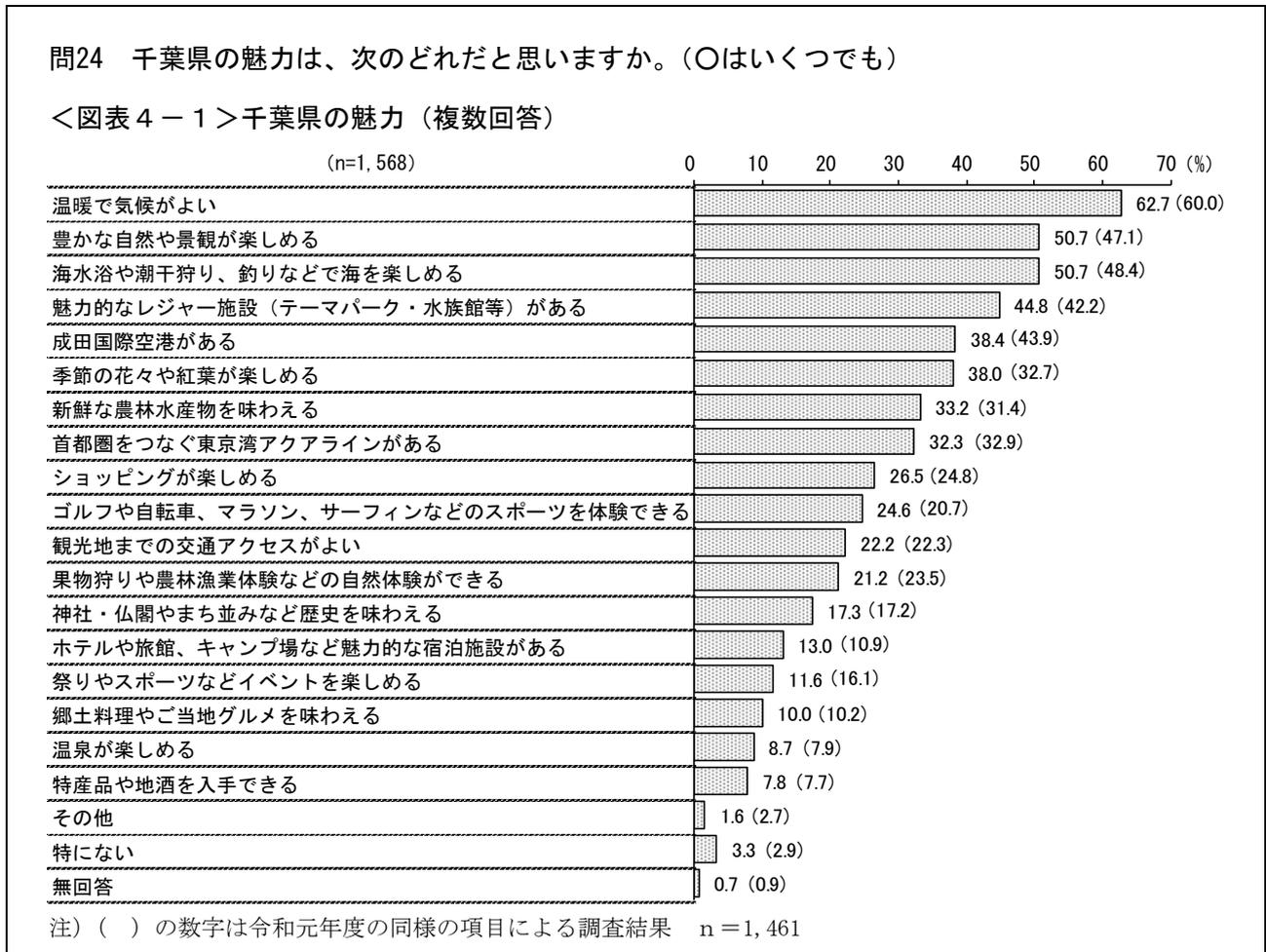
＜図表3-14＞男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



4 観光について

（1）千葉県の魅力

◇「温暖で気候がよい」が6割を超える



千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」（62.7%）が6割を超えて最も高く、以下、「豊かな自然や景観が楽しめる」と「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」（50.7%）、「魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある」（44.8%）が続く。

（図表4-1）

【地域別】

地域別にみると、「温暖で気候がよい」は“安房地域”（87.1%）が約9割、“海匝地域”（84.2%）が8割台半ば、“長生地域”（81.6%）と“君津地域”（81.5%）が8割を超え、“千葉地域”（69.4%）が約7割で高くなっている。

「豊かな自然や景観が楽しめる」は“夷隅地域”（83.3%）が8割を超えて高くなっている。

「魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある」は“葛南地域”（51.0%）が5割を超えて高くなっている。（図表4-2）

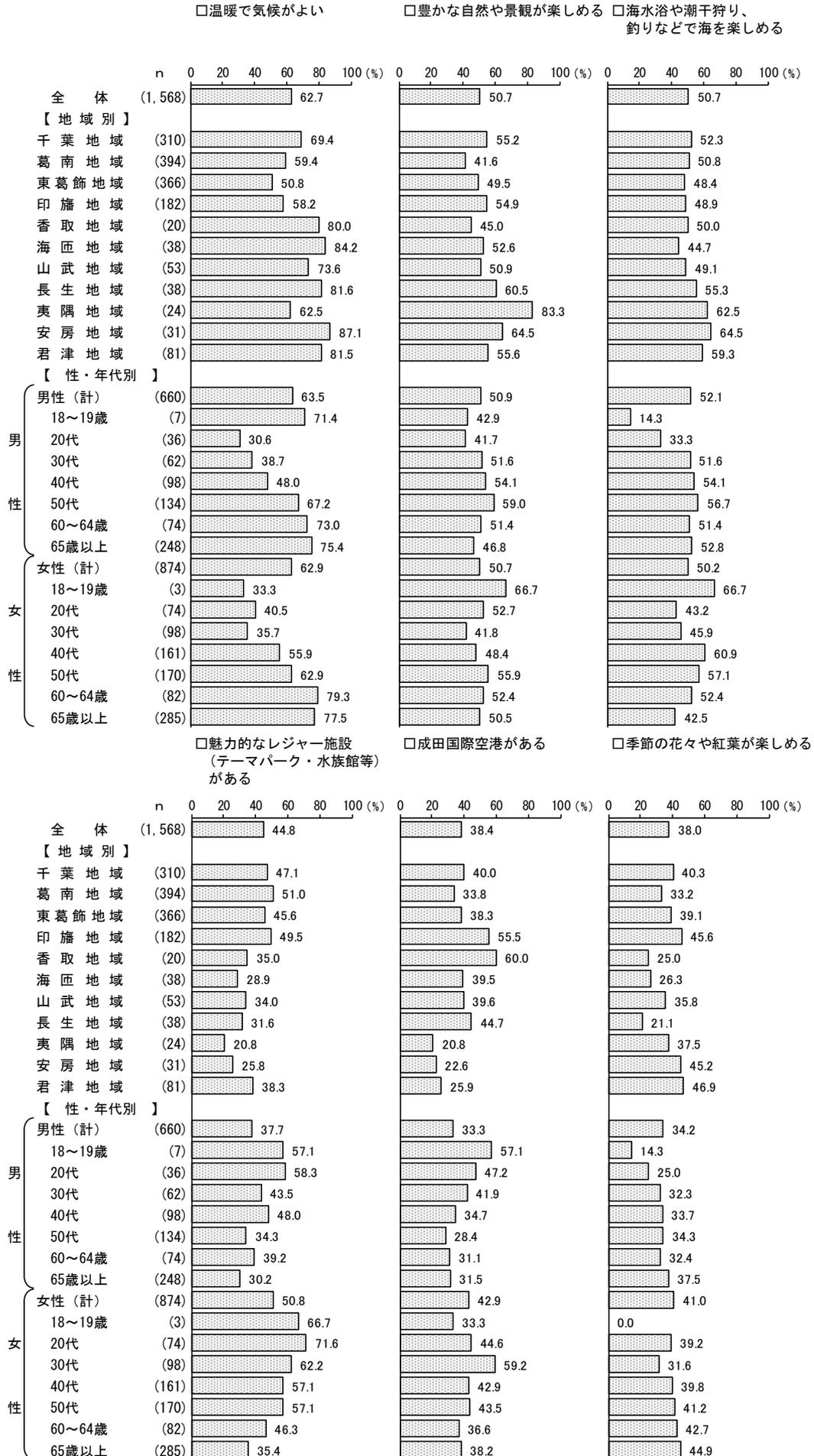
【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」は女性の60～64歳（79.3%）と女性の65歳以上（77.5%）が約8割、男性の65歳以上（75.4%）が7割台半ばで高くなっている。

「豊かな自然や景観が楽しめる」は男性の50代（59.0%）が約6割で高くなっている。

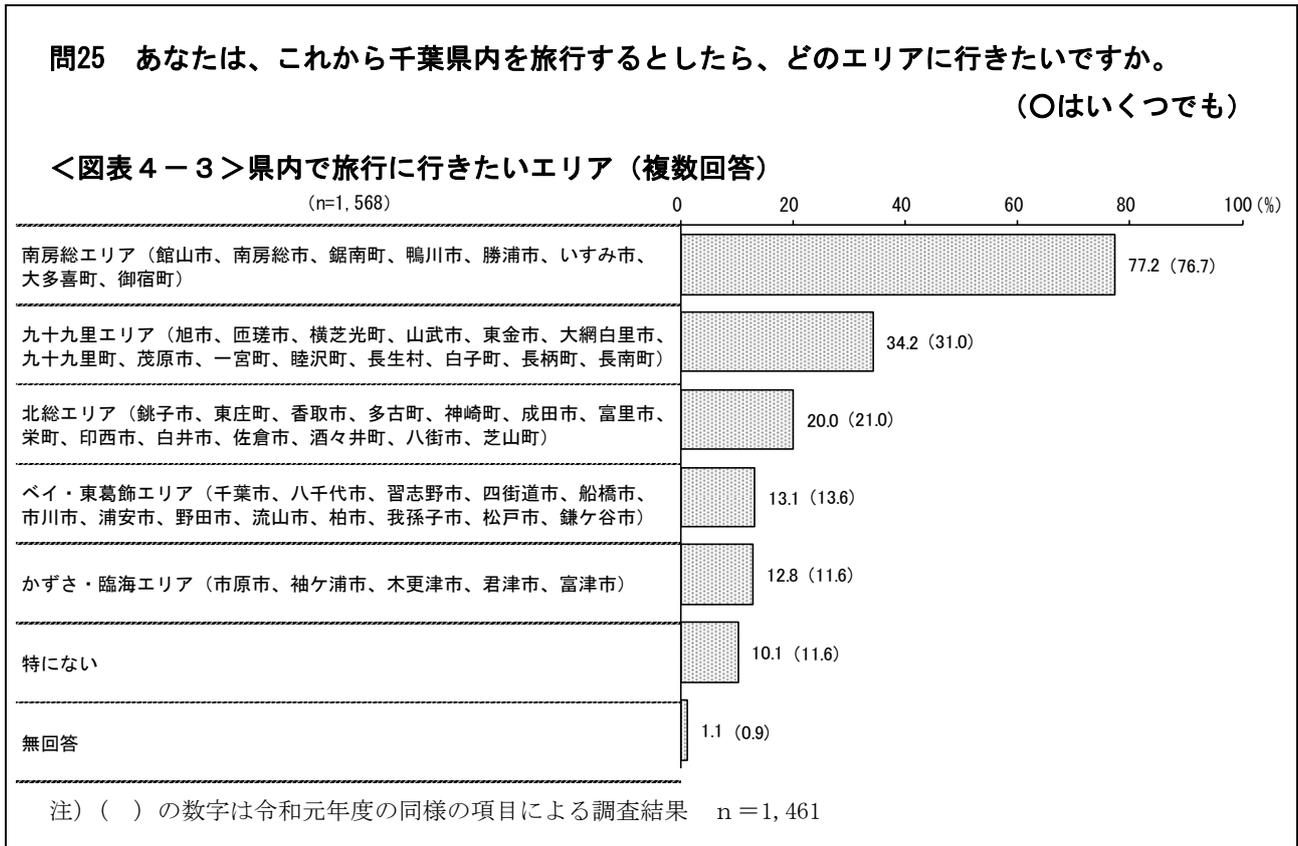
「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」は女性の40代（60.9%）が6割で高くなっている。（図表4-2）

＜図表4-2＞千葉県の魅力（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



（2）県内で旅行に行きたいエリア

◇「南房総エリア」が約8割



県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」(77.2%)が約8割で最も高く、以下、「九十九里エリア」(34.2%)、「北総エリア」(20.0%)、「ベイ・東葛飾エリア」(13.1%)、「かずさ・臨海エリア」(12.8%)が続く。(図表4-3)

【地域別】

地域別にみると、「南房総エリア」は“印旛地域”(84.1%)が8割台半ば、“千葉地域”(82.6%)が8割を超えて高くなっている。

「九十九里エリア」は“東葛飾地域”(41.3%)が4割を超えて高くなっている。

「ベイ・東葛飾エリア」は“安房地域”(32.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

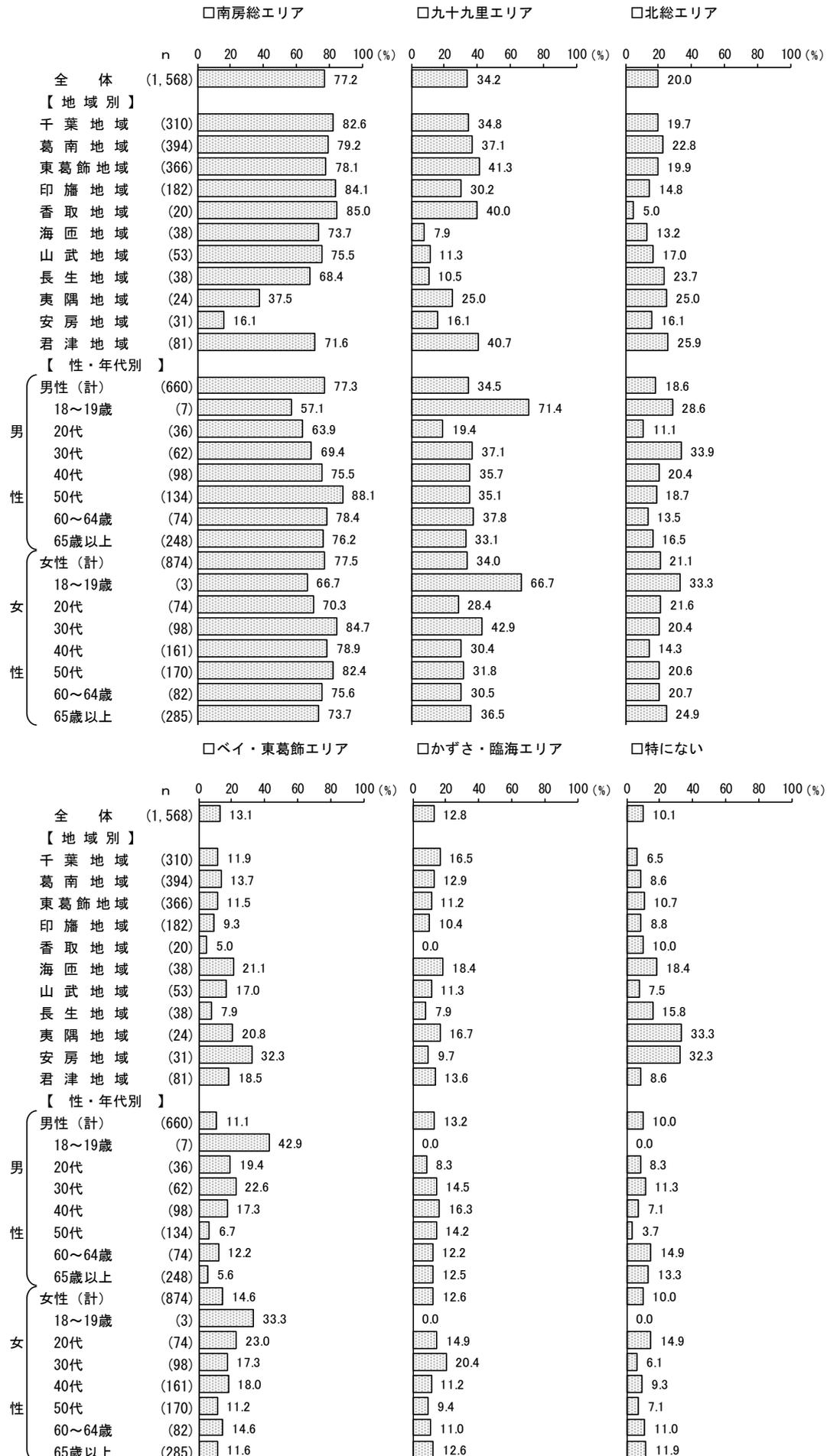
性・年代別にみると、「南房総エリア」は男性の50代(88.1%)が約9割で高くなっている。

「北総エリア」は男性の30代(33.9%)が3割台半ば、女性の65歳以上(24.9%)が2割台半ばで高くなっている。

「ベイ・東葛飾エリア」は男性の30代(22.6%)と女性の20代(23.0%)が2割を超え、女性の40代(18.0%)が約2割で高くなっている。

「かずさ・臨海エリア」は女性の30代(20.4%)が2割で高くなっている。(図表4-4)

＜図表4-4＞県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）／地域別、性・年代別

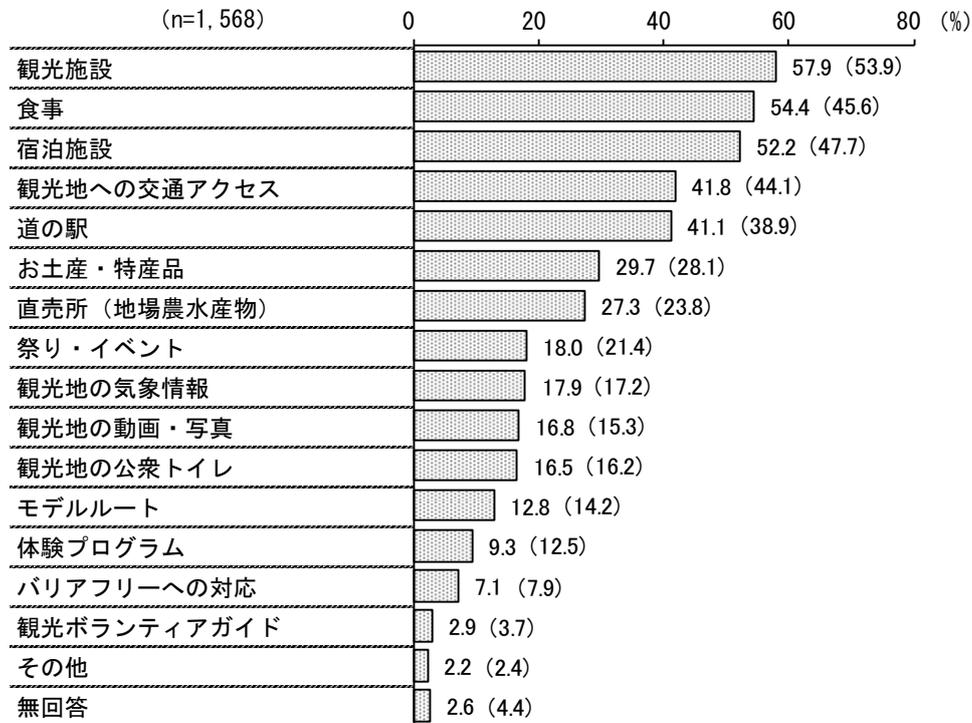


（3）県内を観光する際に事前に知りたい情報

◇「観光施設」が約6割

問26 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。（〇はいくつでも）

<図表4-5> 県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「観光施設」（57.9%）が約6割で最も高く、以下、「食事」（54.4%）、「宿泊施設」（52.2%）が続く。（図表4-5）

【地域別】

地域別にみると、「宿泊施設」は“葛南地域”（57.9%）が約6割で高くなっている。

「観光地への交通アクセス」は“東葛飾地域”（46.7%）が4割台半ばで高くなっている。

「直売所（地場農水産物）」は“夷隅地域”（50.0%）が5割で高くなっている。（図表4-6）

【性・年代別】

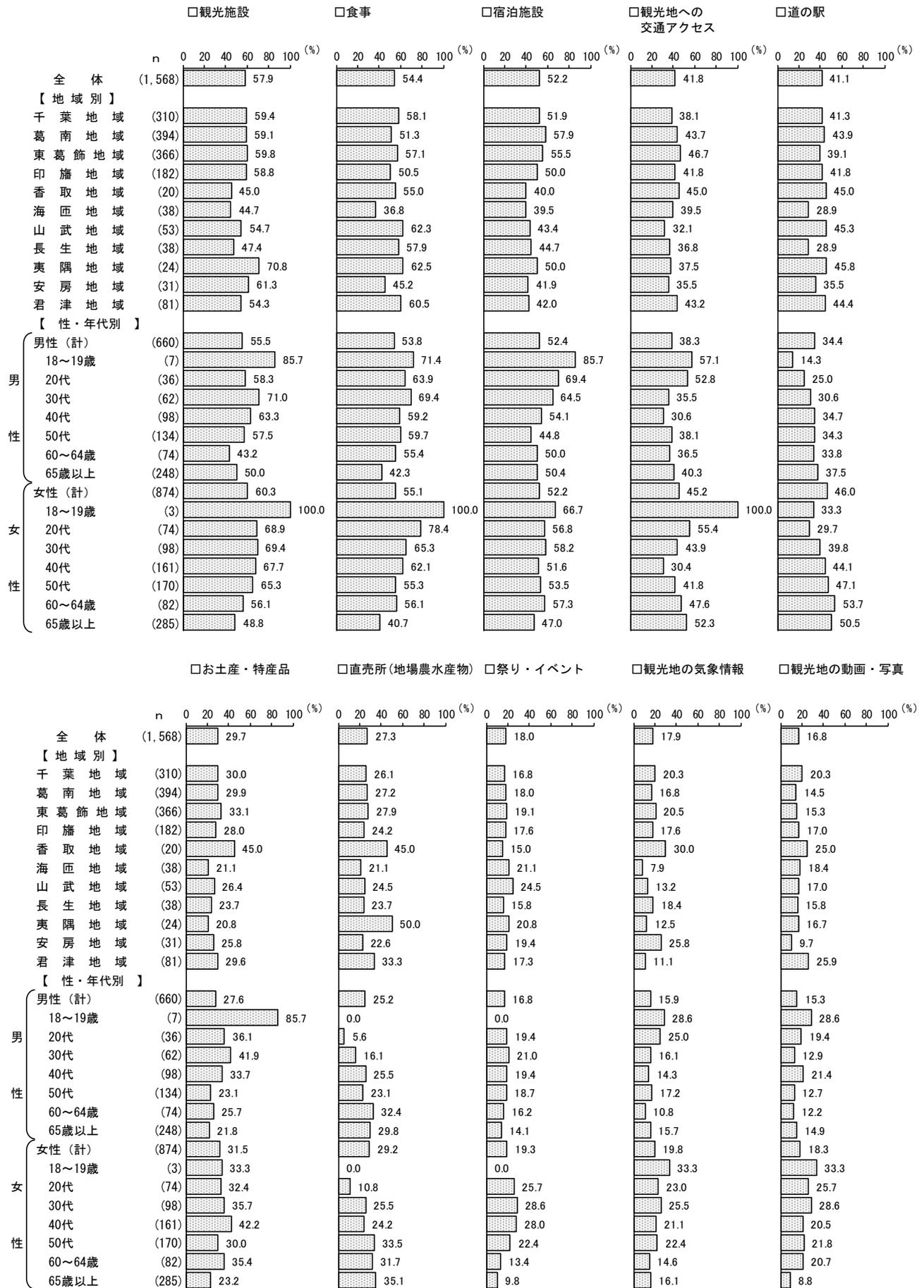
性・年代別にみると、「観光施設」は男性の30代（71.0%）が7割を超え、女性の20代（68.9%）、女性の30代（69.4%）、女性の40代（67.7%）が約7割、女性の50代（65.3%）が6割台半ばで高くなっている。

「食事」は女性の20代（78.4%）が約8割、男性の30代（69.4%）が約7割、女性の30代（65.3%）が6割台半ば、女性の40代（62.1%）が6割を超えて高くなっている。

「宿泊施設」は男性の20代（69.4%）が約7割、男性の30代（64.5%）が6割台半ばで高くなっている。

「観光地への交通アクセス」は女性の20代（55.4%）が5割台半ば、女性の65歳以上（52.3%）が5割を超えて高くなっている。（図表4-6）

＜図表4-6＞県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）



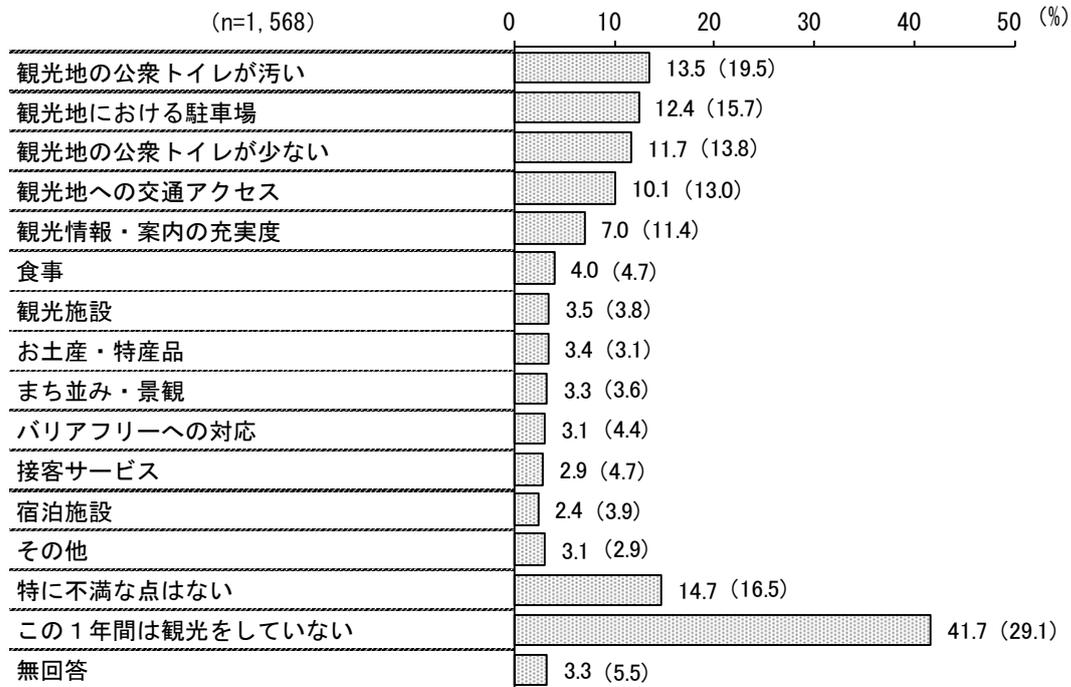
（４）この１年間に県内を観光した際の不満

◇「観光地の公衆トイレが汚い」が１割台半ば

問27 この１年間で千葉県内を観光した際に、不満を感じた点を教えてください。

（○はいくつでも）

<図表４－７>この１年間に県内を観光した際の不満（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,461

この１年間で県内を観光した際に不満を感じたことを聞いたところ、「観光地の公衆トイレが汚い」(13.5%)が１割台半ばで最も高く、以下、「観光地における駐車場」(12.4%)、「観光地の公衆トイレが少ない」(11.7%)、「観光地への交通アクセス」(10.1%)が続く。

また、「この１年間は観光をしていない」(41.7%)が４割を超えている。(図表４－７)

【地域別】

地域別にみると、「観光地の公衆トイレが汚い」は“千葉地域”(18.1%)が約２割で高くなっている。

「観光地における駐車場」は“千葉地域”(16.8%)が１割台半ばで高くなっている。

「観光地の公衆トイレが少ない」は“夷隅地域”(25.0%)が２割台半ばで高くなっている。

(図表４－８)

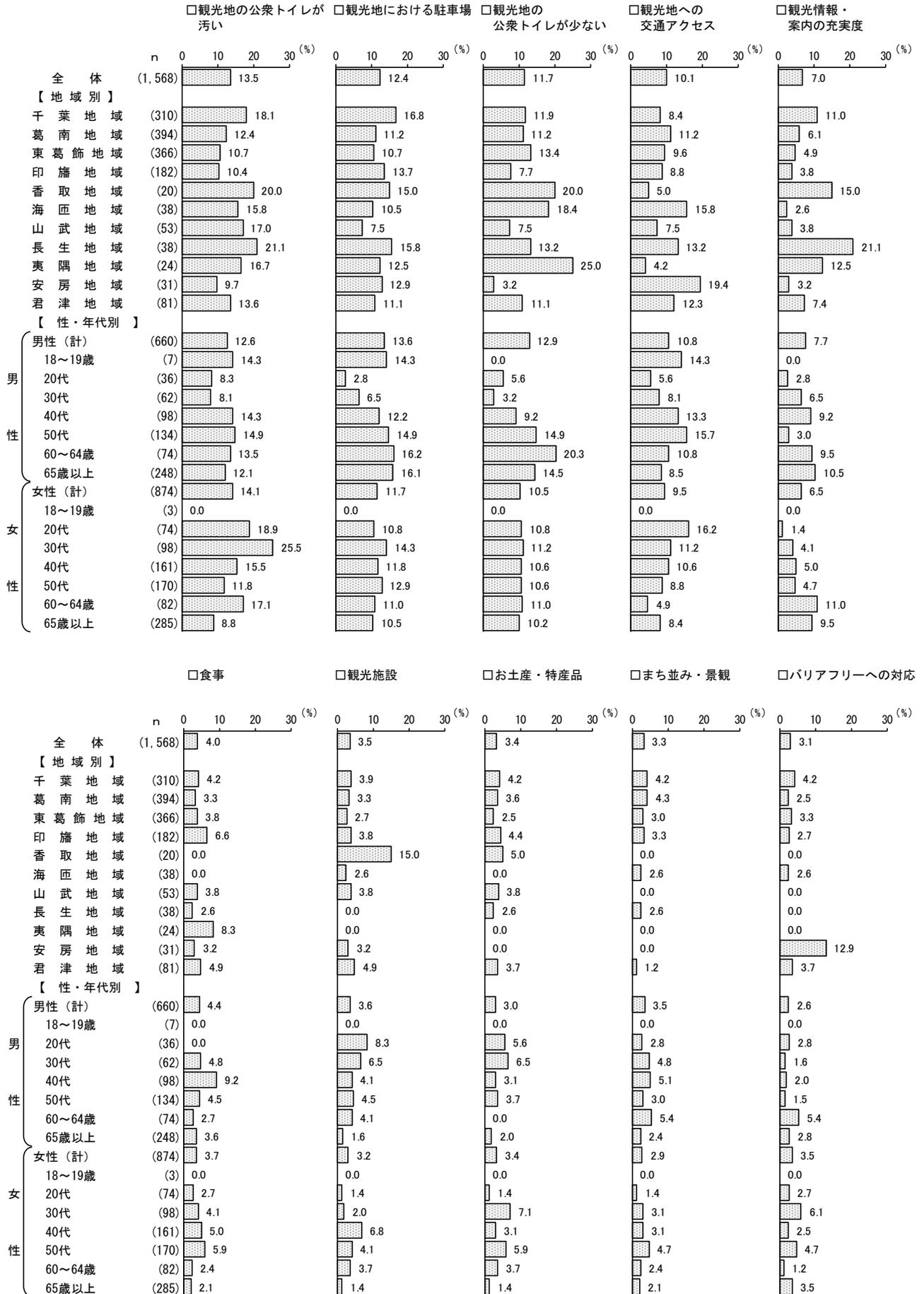
【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光地の公衆トイレが汚い」は女性の30代(25.5%)が２割台半ばで高くなっている。

「観光地の公衆トイレが少ない」は男性の60～64歳(20.3%)が２割で高くなっている。

(図表４－８)

＜図表4－8＞この1年間に県内を観光した際の不満（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）

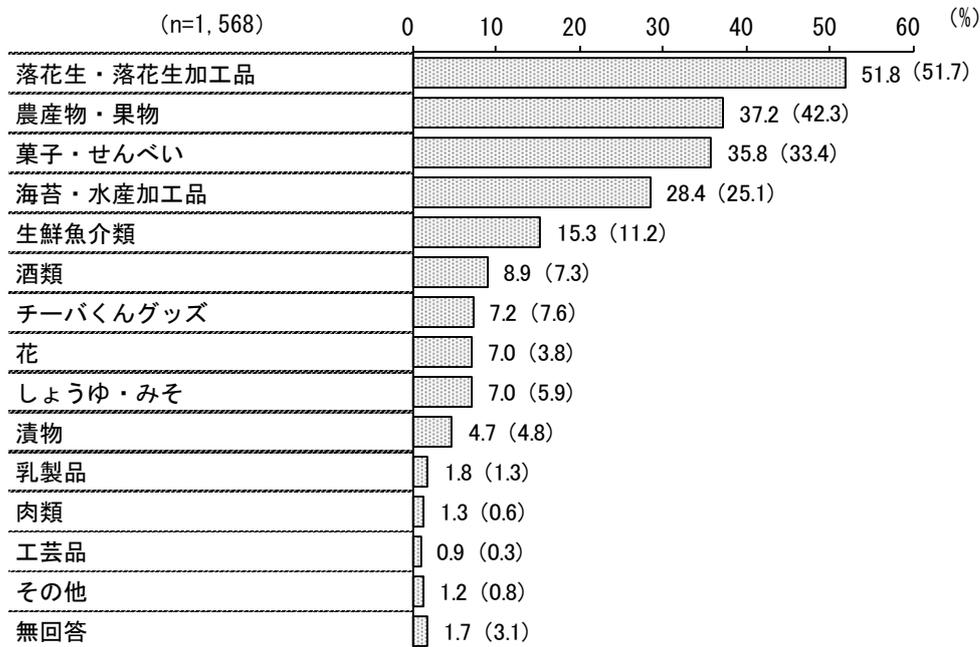


（5）県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

◇「落花生・落花生加工品」が5割を超える

問28 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。（○は3つまで）

＜図表4-9＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（3つまでの複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈るか3つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(51.8%)が5割を超えて最も高く、以下、「農産物・果物」(37.2%)、「菓子・せんべい」(35.8%)、「海苔・水産加工品」(28.4%)が続く。(図表4-9)

【地域別】

地域別にみると、「菓子・せんべい」は“香取地域”(70.0%)が7割、“東葛飾地域”(40.2%)が4割で高くなっている。

「海苔・水産加工品」は“君津地域”(63.0%)が6割を超え、“安房地域”(51.6%)が5割を超え、“千葉地域”(33.9%)が3割台半ばで高くなっている。

「生鮮魚介類」は、“安房地域”(51.6%)が5割を超え、“夷隅地域”(41.7%)が4割を超え、海匝地域”(31.6%)が3割を超え、“山武地域”(28.3%)が約3割で高くなっている。

(図表4-10)

【性・年代別】

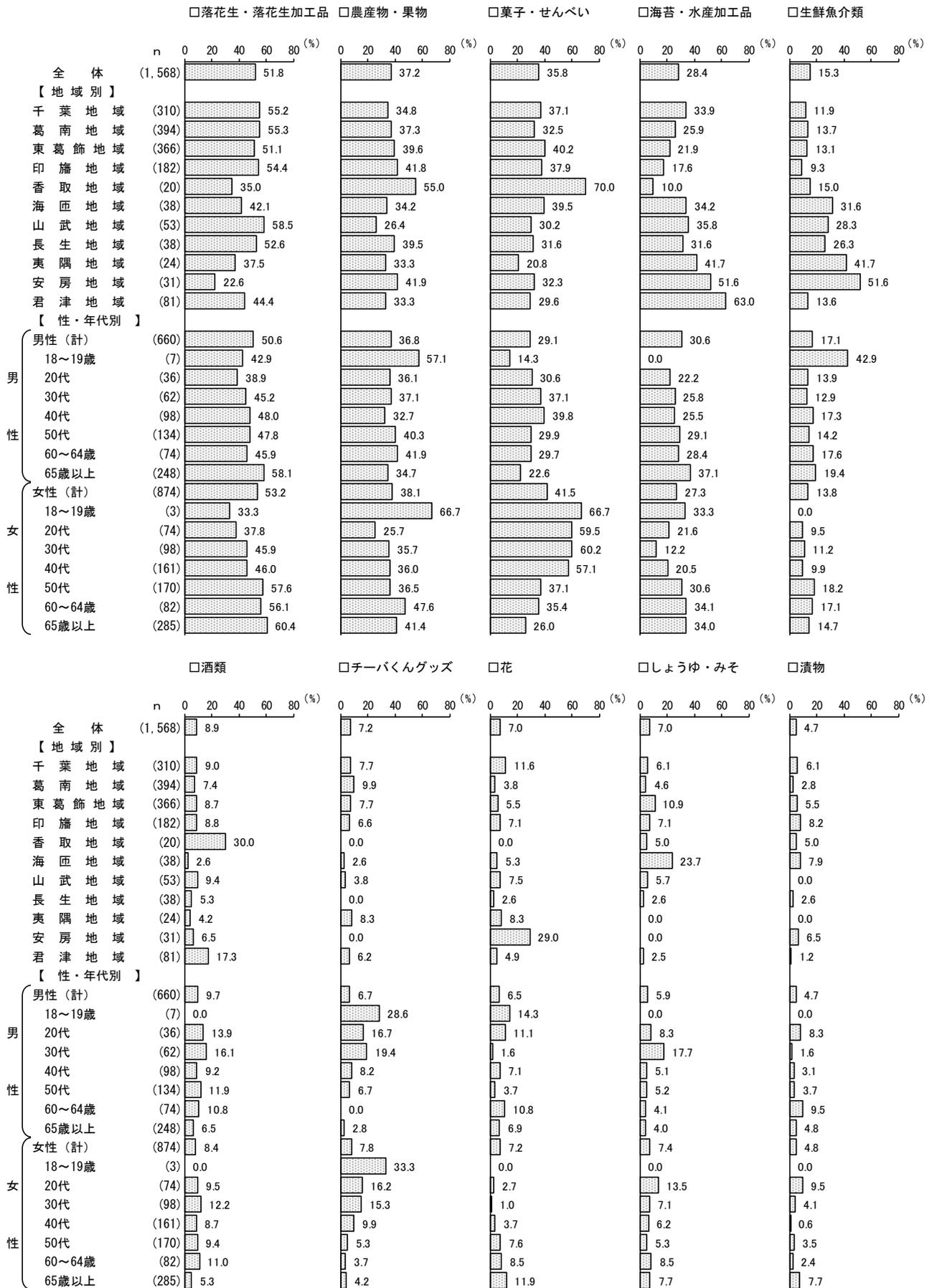
性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は女性の65歳以上(60.4%)が6割、男性の65歳以上(58.1%)が約6割で高くなっている。

「農産物・果物」は女性の60～64歳(47.6%)が約5割で高くなっている。

「菓子・せんべい」は女性の30代(60.2%)が6割、女性の20代(59.5%)と女性の40代(57.1%)が約6割で高くなっている。(図表4-10)

＜図表4-10＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（3つまでの複数回答）

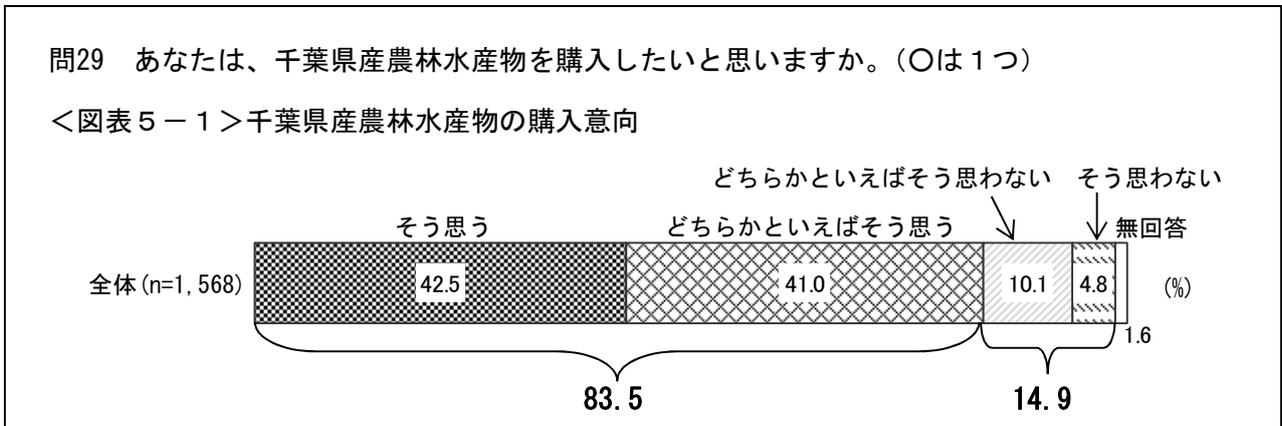
／地域別、性・年代別（上位10項目）



5 千葉県産農林水産物について

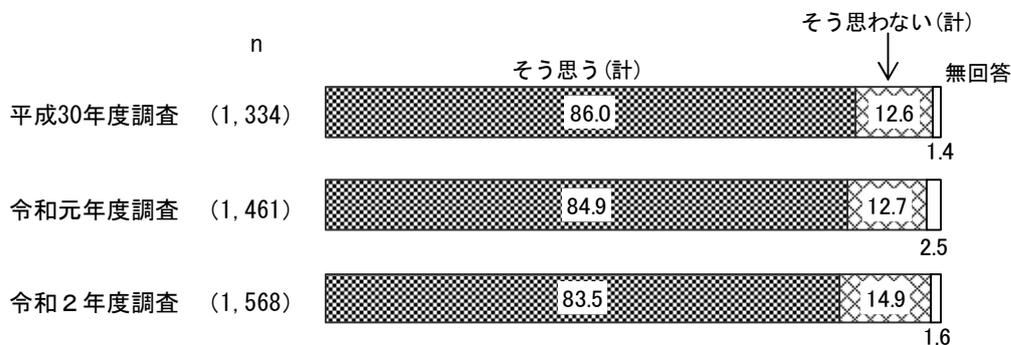
（1）千葉県産農林水産物の購入意向

◇『そう思う（計）』が8割台半ば



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（42.5%）と「どちらかといえばそう思う」（41.0%）を合わせた『そう思う（計）』（83.5%）が8割台半ばで高くなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（10.1%）と「そう思わない」（4.8%）を合わせた『そう思わない（計）』（14.9%）は1割台半ばとなっている。（図表5-1）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



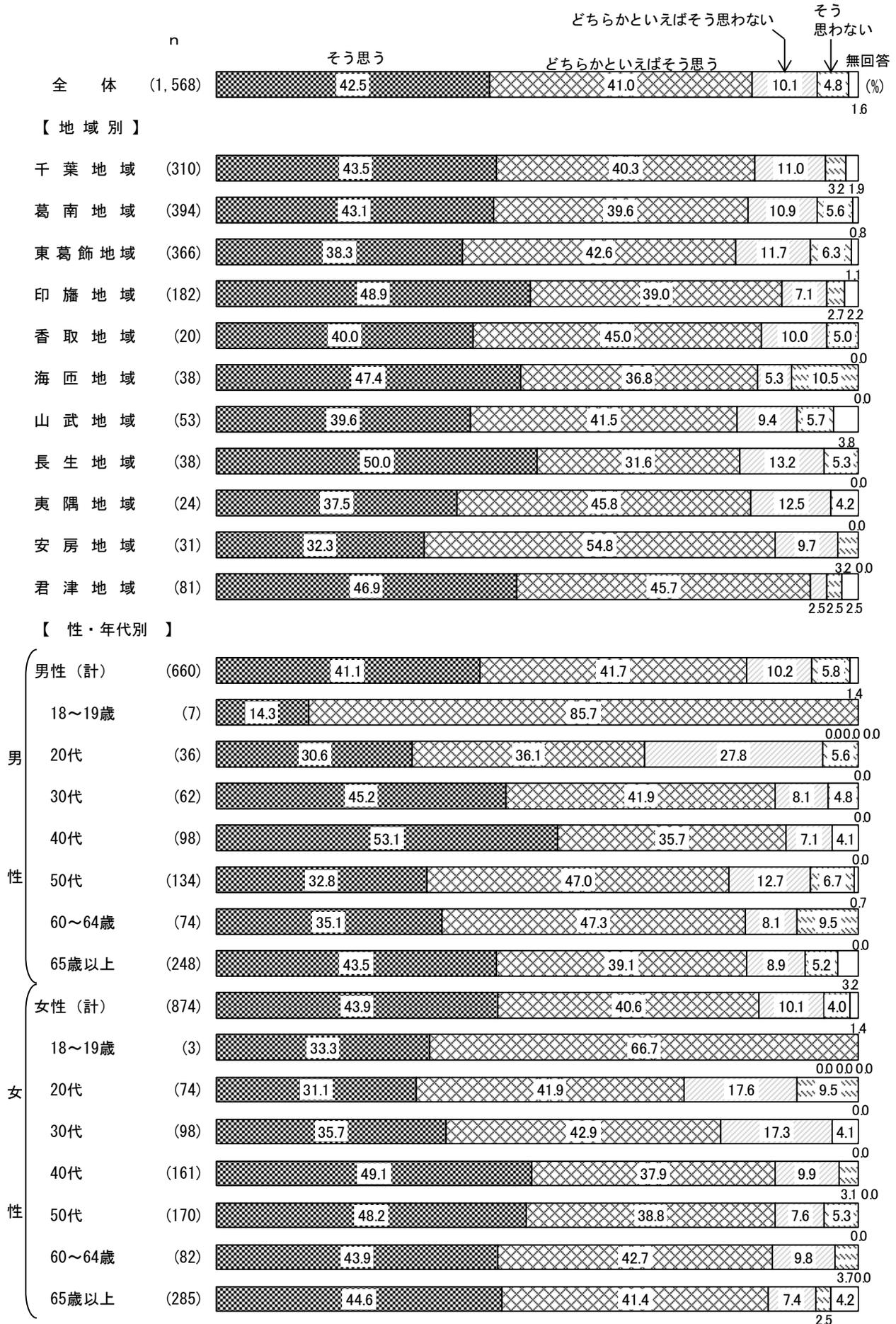
【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“君津地域”（92.6%）が9割を超えて高くなっている。
（図表5-2）

【性・年代別】

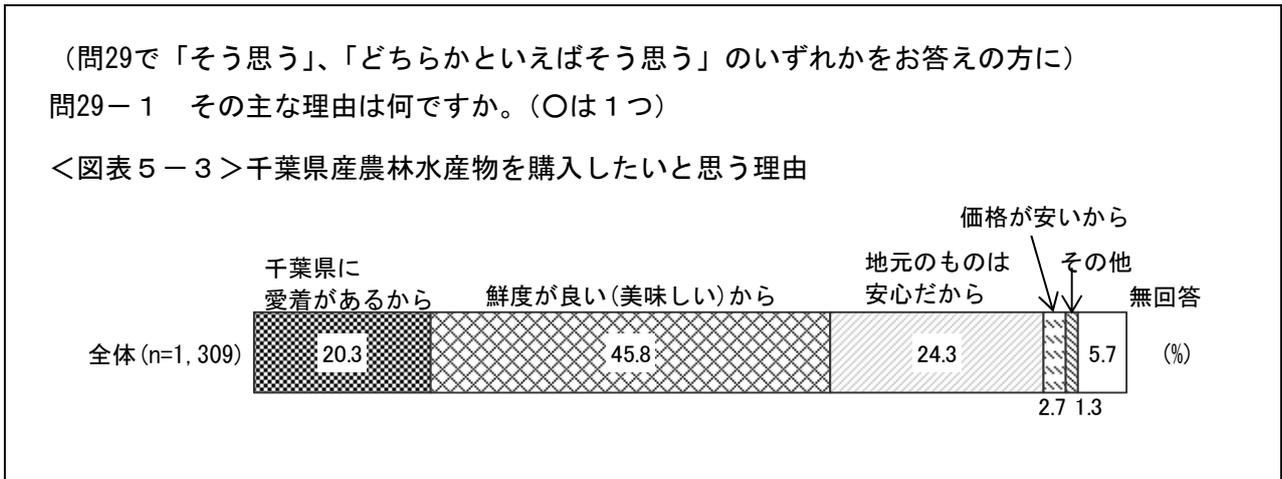
性・年代別にみると、『そう思わない（計）』は男性の20代（33.3%）が3割を超え、女性の20代（27.0%）が約3割で高くなっている。（図表5-2）

<図表5-2>千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別



（1-1）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

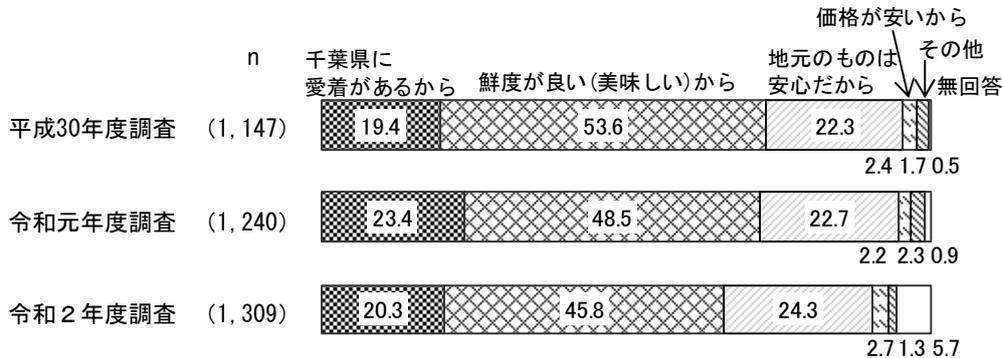
◇「鮮度が良い（美味しい）から」が4割台半ば



千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,309人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い（美味しい）から」（45.8%）が4割台半ばで最も高く、以下、「地元のものは安心だから」（24.3%）、「千葉県に愛着があるから」（20.3%）、「価格が安いから」（2.7%）が続く。

（図表5-3）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、「地元のものは安心だから」は“東葛飾地域”（30.1%）が3割で高くなっている。

「千葉県に愛着があるから」は“千葉地域”（25.4%）が2割台半ばで高くなっている。

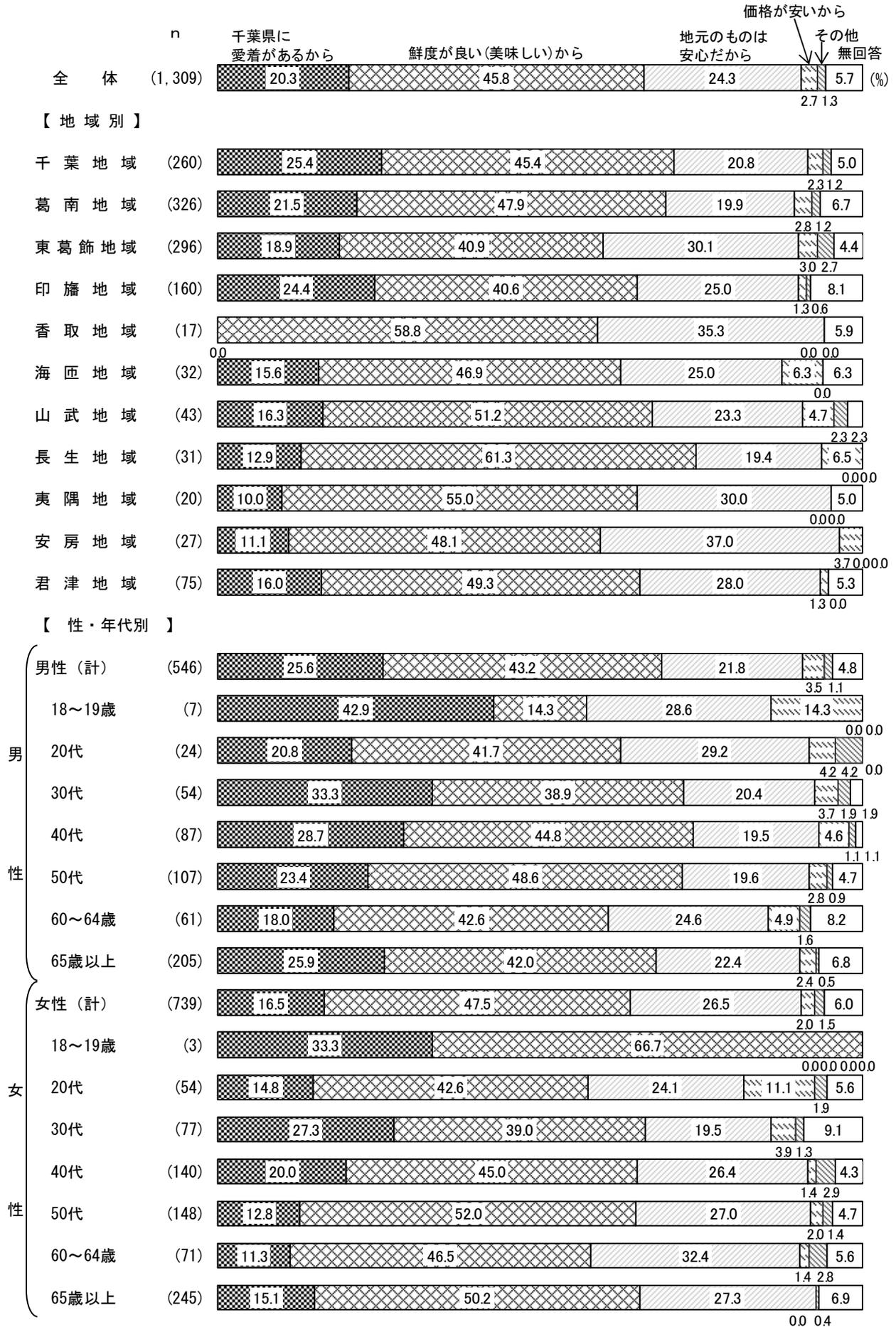
（図表5-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「千葉県に愛着があるから」は男性の30代（33.3%）が3割を超え、男性の40代（28.7%）が約3割、男性の65歳以上（25.9%）が2割台半ばで高くなっている。

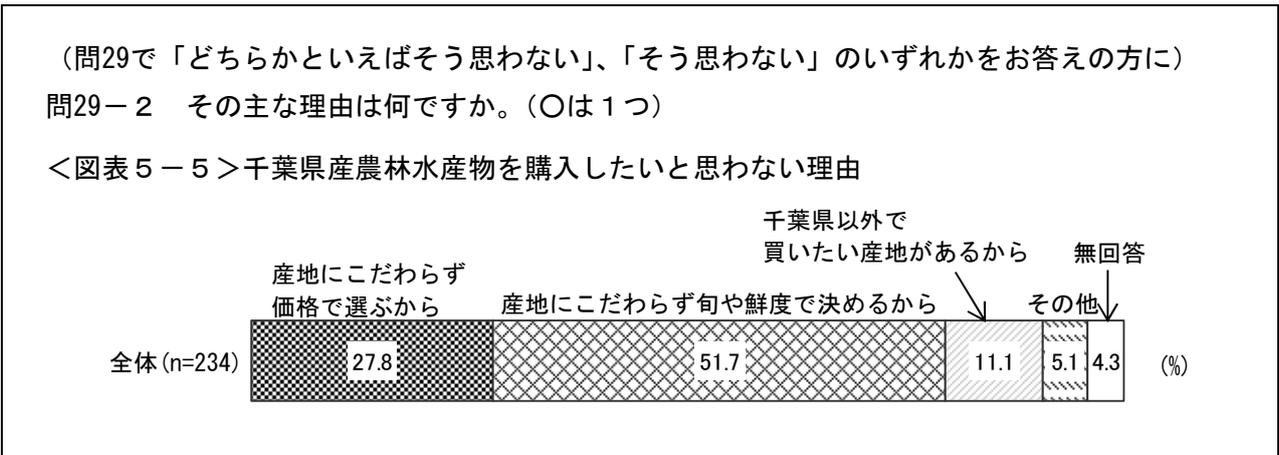
（図表5-4）

<図表5-4>千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由／地域別、性・年代別



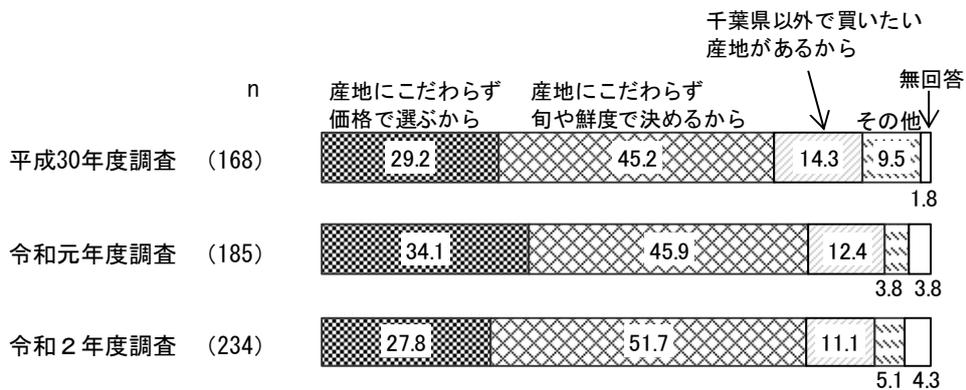
（1－2）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が5割を超える



千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した234人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」（51.7%）が5割を超えて最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」（27.8%）、「千葉県以外で買いたい産地があるから」（11.1%）が続く。（図表5－5）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

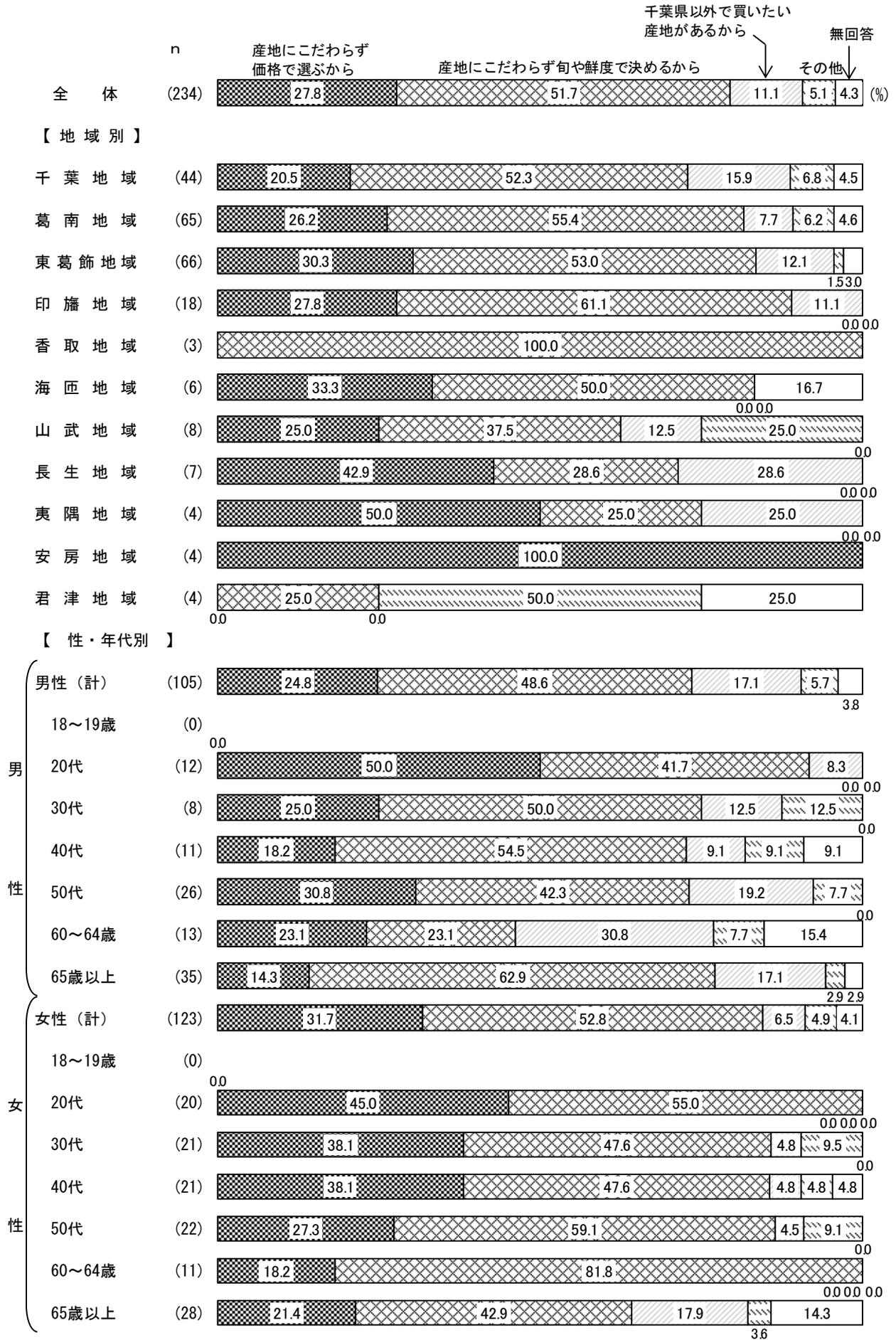


※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

（8ページ「報告書の見方（6）」を参照）

（図表5－6）

<図表5-6>千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



（2）環境にやさしい農産物や制度の認知度

◇「有機農産物」が約5割

問30 千葉県には、農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者や農産物を認証する制度があります。あなたは、以下の農産物や制度について聞いたことがありますか。

（〇はいくつでも）

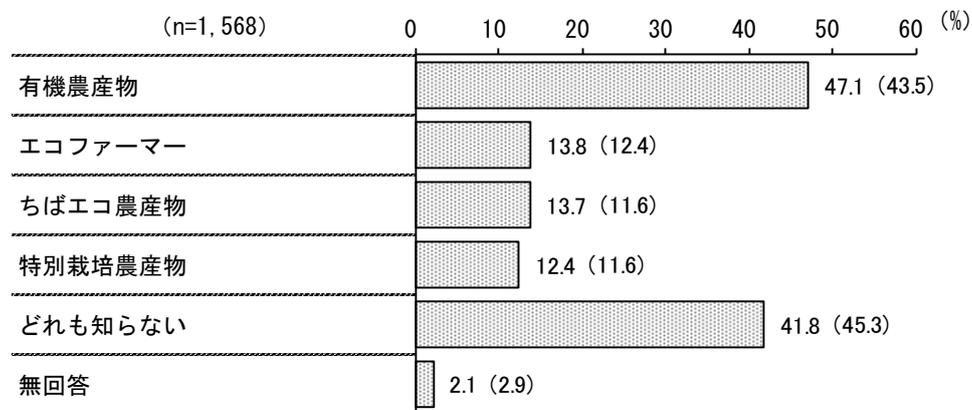
※「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、県が認証した農産物

「有機農産物」：JAS法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物

「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者

＜図表5-7＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者や農産物を認証する制度を聞いたことがあるか聞いたところ、「有機農産物」(47.1%)が約5割で最も高く、以下、「エコファーマー」(13.8%)、「ちばエコ農産物」(13.7%)、「特別栽培農産物」(12.4%)が続く。(図表5-7)

【地域別】

地域別にみると、「有機農産物」は“印旛地域”(56.0%)が5割台半ばで高くなっている。

「エコファーマー」は“印旛地域”(20.9%)が2割で高くなっている。

「ちばエコ農産物」は“海匠地域”(36.8%)が3割台半ば、“安房地域”(29.0%)が約3割、“山武地域”(26.4%)が2割台半ば、“君津地域”(22.2%)が2割を超えて高くなっている。

(図表5-8)

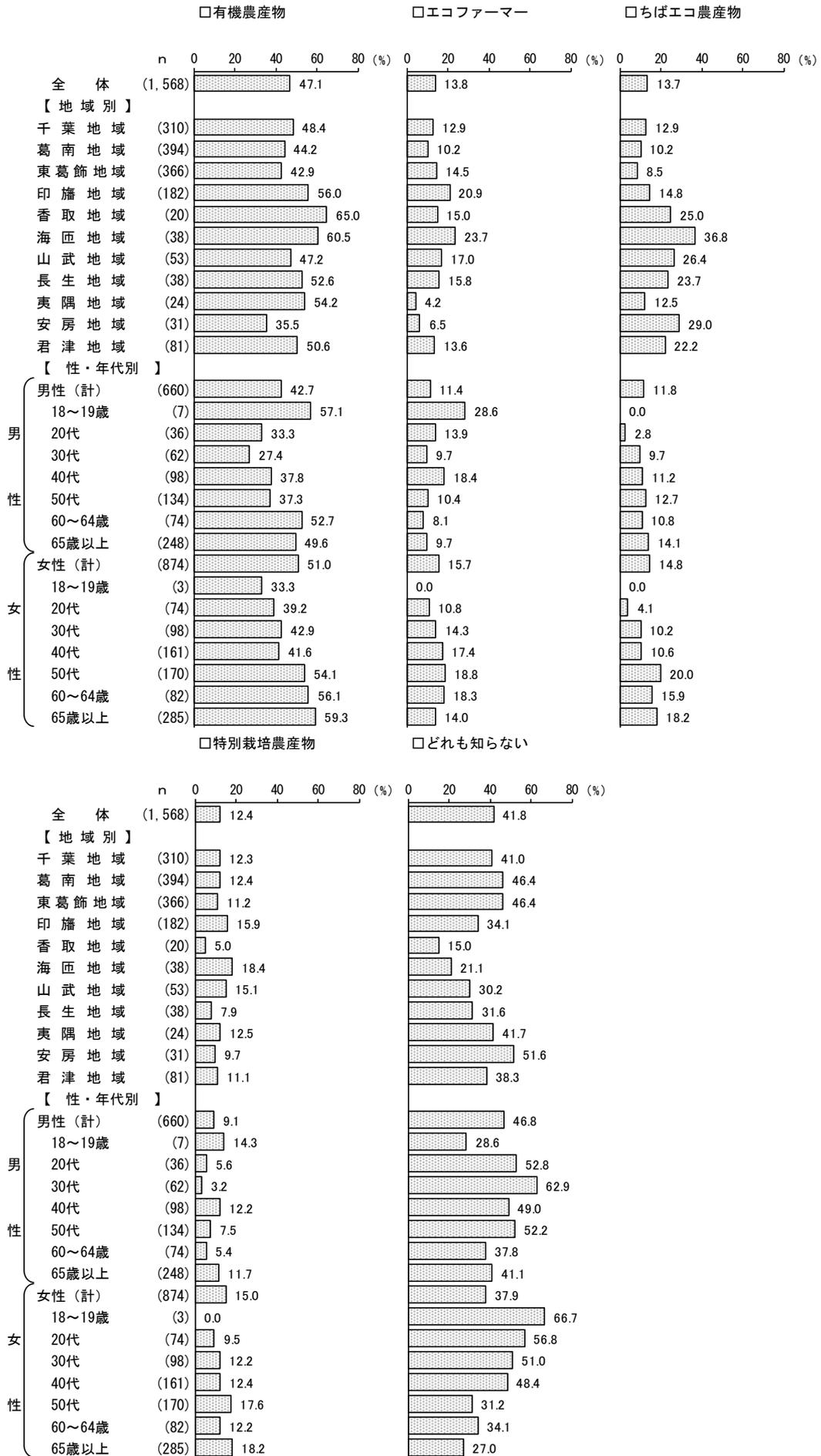
【性・年代別】

性・年代別にみると、「有機農産物」は女性の65歳以上(59.3%)が約6割で高くなっている。

「エコファーマー」は女性の50代(18.8%)が約2割で高くなっている。

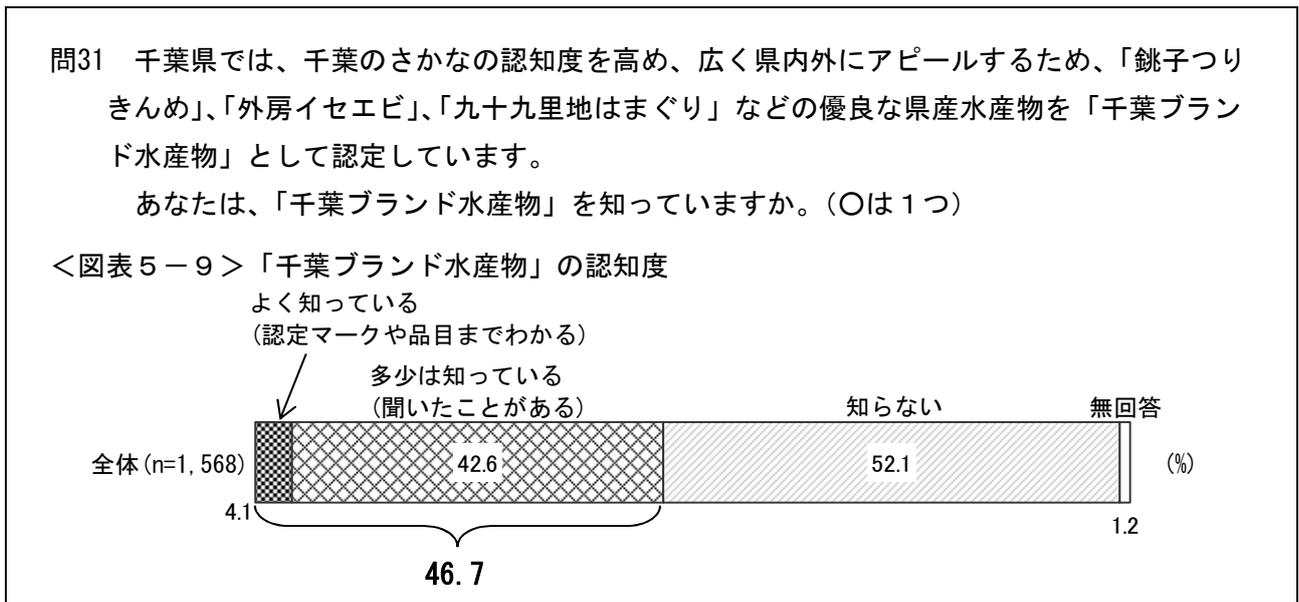
「ちばエコ農産物」は女性の50代(20.0%)が2割、女性の65歳以上(18.2%)が約2割で高くなっている。(図表5-8)

＜図表5－8＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）／地域別、性・年代別



（3）「千葉ブランド水産物」の認知度

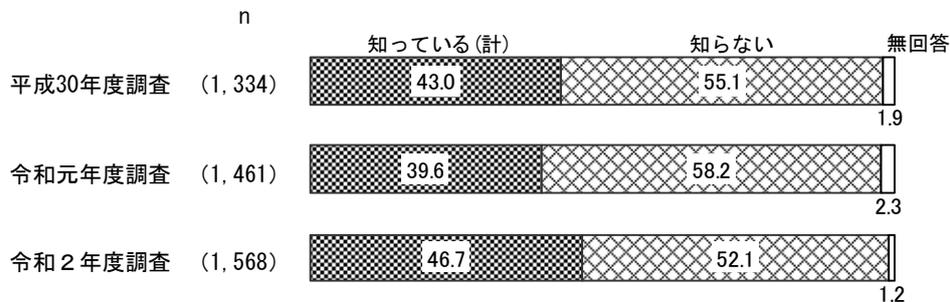
◇『知っている（計）』が4割台半ば



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている（認定マークや品目までわかる）」（4.1%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（42.6%）を合わせた『知っている（計）』（46.7%）が4割台半ばとなっている。

一方、「知らない」（52.1%）が5割を超えている。（図表5-9）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“海匝地域”（84.2%）が8割台半ば、“安房地域”（74.2%）が7割台半ば、“夷隅地域”（70.8%）が7割で高くなっている。

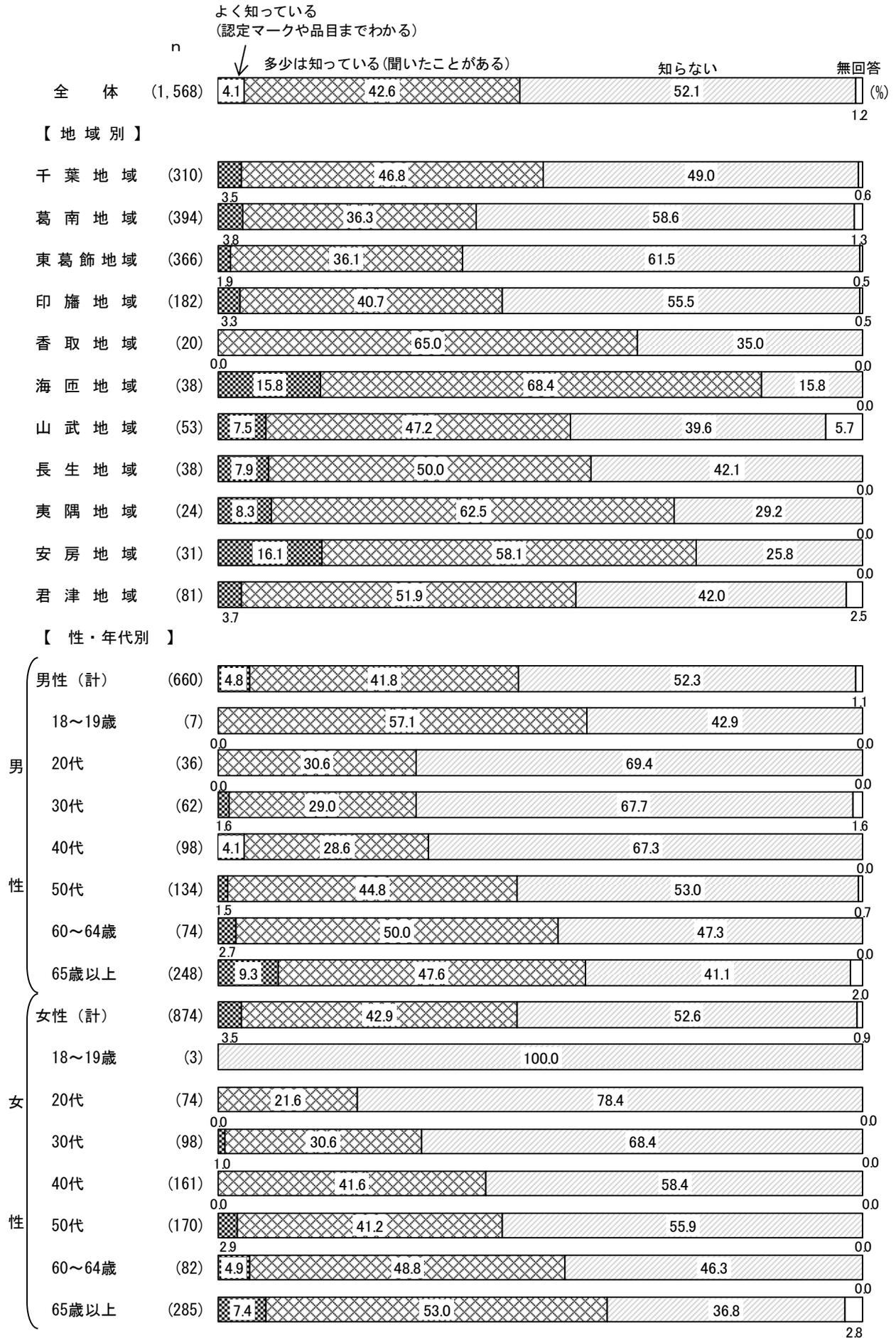
一方、「知らない」は“東葛飾地域”（61.5%）が6割を超え、“葛南地域”（58.6%）が約6割で高くなっている。（図表5-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の65歳以上（60.4%）が6割、男性の65歳以上（56.9%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は女性の20代（78.4%）が約8割、男性の20代（69.4%）、男性の30代（67.7%）、男性の40代（67.3%）、女性の30代（68.4%）が約7割で高くなっている。（図表5-10）

<図表5-10> 「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



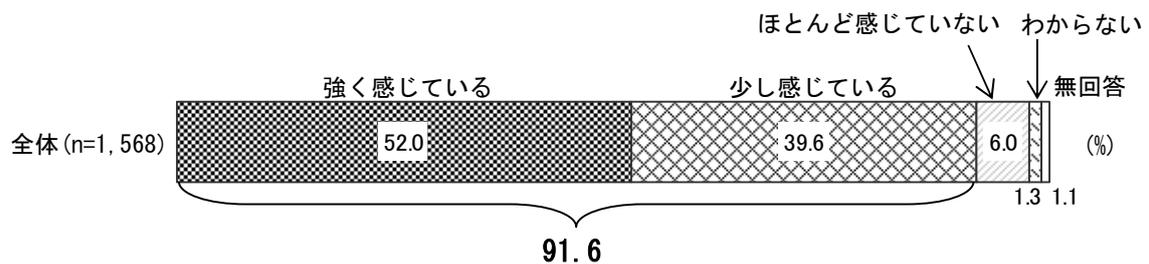
6 防災に関する取り組みについて

(1) 大地震や風水害への不安

◇『感じている（計）』が9割を超える

問32 平成23年の東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、揺れや津波により大きな被害が出ました。さらに、令和元年に発生した房総半島台風等の一連の災害では、浸水害や土砂災害など大きな被害が出ました。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。（○は1つ）

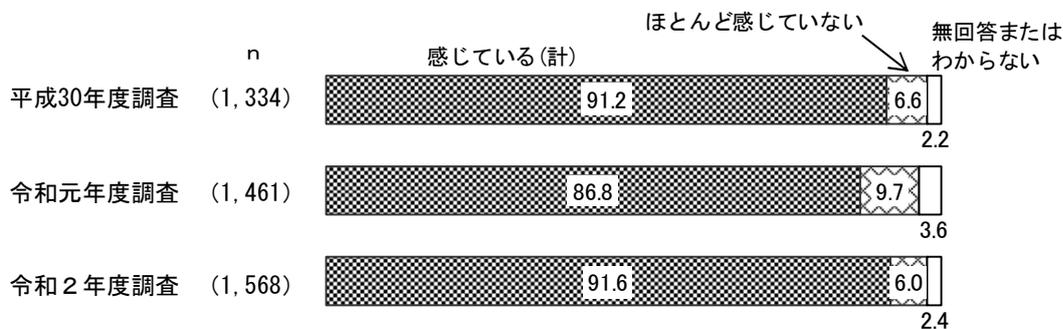
<図表6-1>大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」（52.0%）と「少し感じている」（39.6%）を合わせた『感じている（計）』（91.6%）が9割を超えている。

一方、「ほとんど感じていない」（6.0%）が1割未満となっている。（図表6-1）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



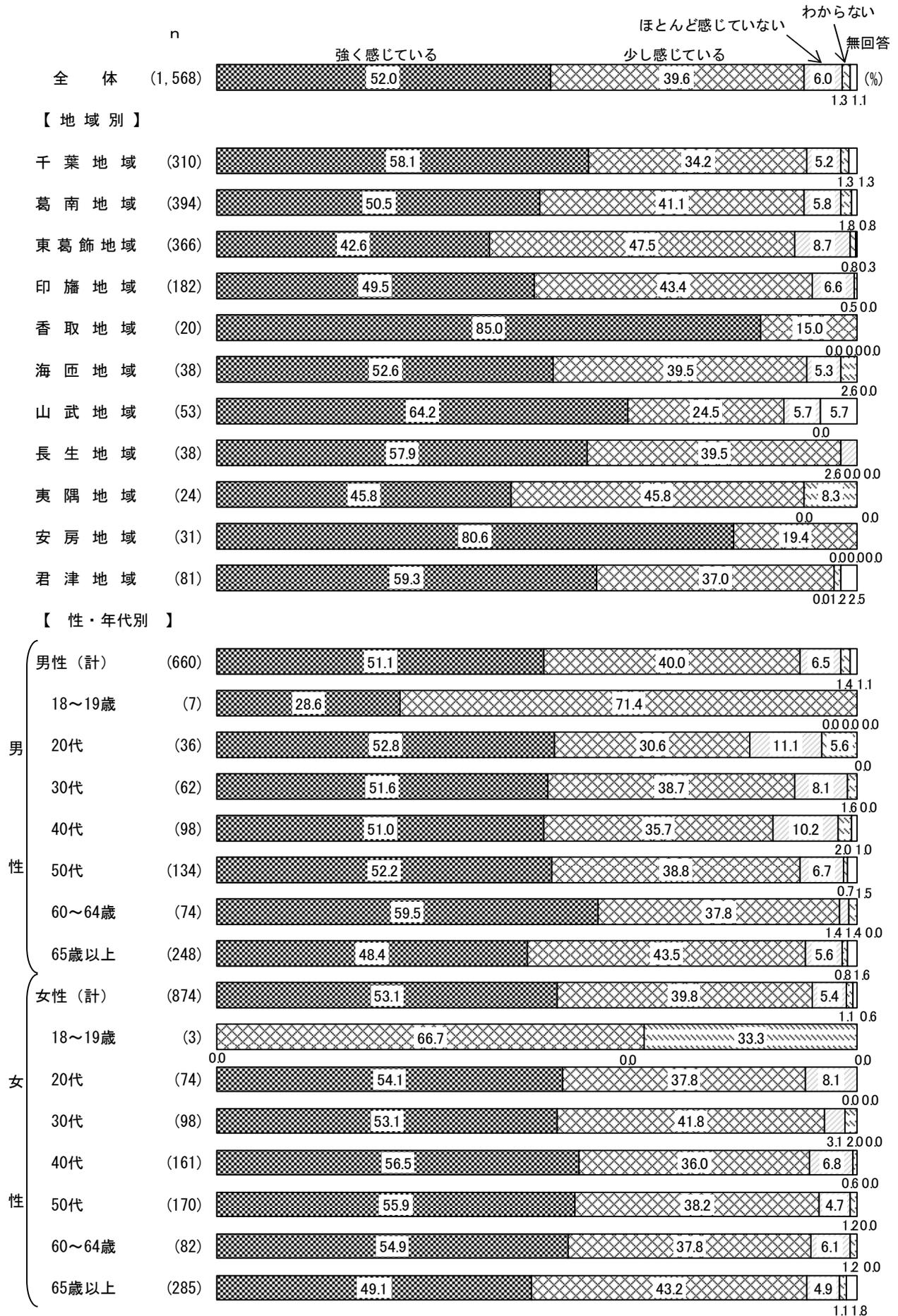
【地域別】

地域別にみると、「強く感じている」は“香取地域”（85.0%）が8割台半ば、“安房地域”（80.6%）が8割、“千葉地域”（58.1%）が約6割で高くなっている。（図表6-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表6-2）

<図表6-2>大地震や風水害への不安／地域別、性・年代別



（2）水害・土砂災害の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝える方法の認知度

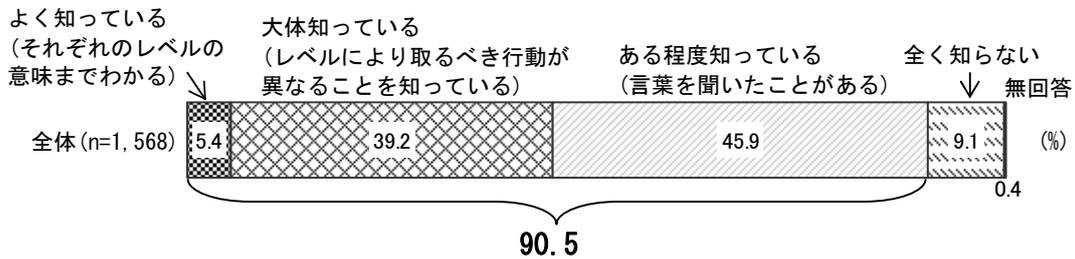
◇『知っている（計）』が9割

問33 水害・土砂災害の防災情報の伝え方が、レベル3で「危険な場所から高齢者等は避難」、レベル4で「危険な場所から全員避難」といった、5段階の「警戒レベル」を用いる方法で行われております。

あなたは、各警戒レベルの意味や、その際に取りべき行動について知っていますか。

（○は1つ）

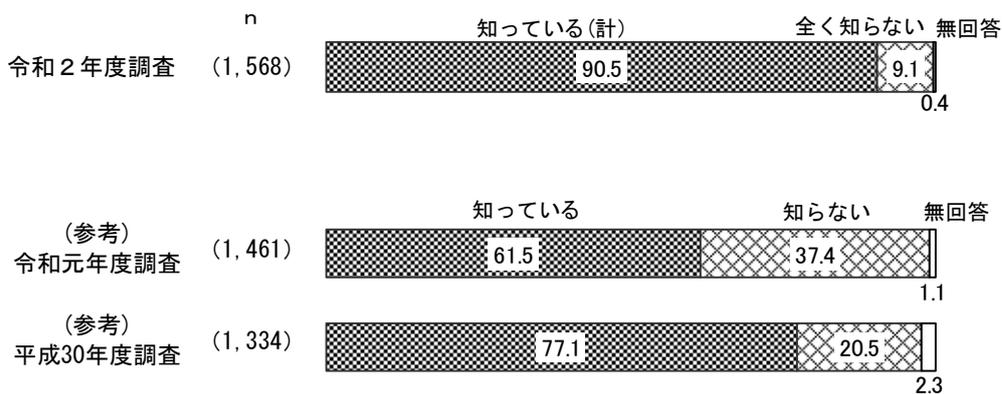
＜図表6-3＞水害・土砂災害の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝える方法の認知度



水害・土砂災害の防災情報の伝え方で、各警戒レベルの意味や、その際に取りべき行動についてを知っているか聞いたところ、「よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）」（5.4%）と「大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）」（39.2%）、「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）」（45.9%）の3つを合わせた『知っている（計）』（90.5%）が9割となっている。

一方、「全く知らない」（9.1%）が約1割となっている。（図表6-3）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の類似の項目による調査結果（単位：%）



（※）平成30年度調査で、「市町村では、災害から住民を守るために『避難勧告』や『避難指示』を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。（○は1つ）」と質問した結果を参考に示した。

（※）令和元年度調査で、「水害・土砂災害の防災情報の伝え方が、レベル3で「高齢者等は避難」、レベル4で「全員避難」といった、5段階の「警戒レベル」を用いる方法に変わりました。あなたは、そのことを知っていますか。（○は1つ）」と質問した結果を参考に示した。

【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“長生地域”（100.0%）が10割で高くなっている。

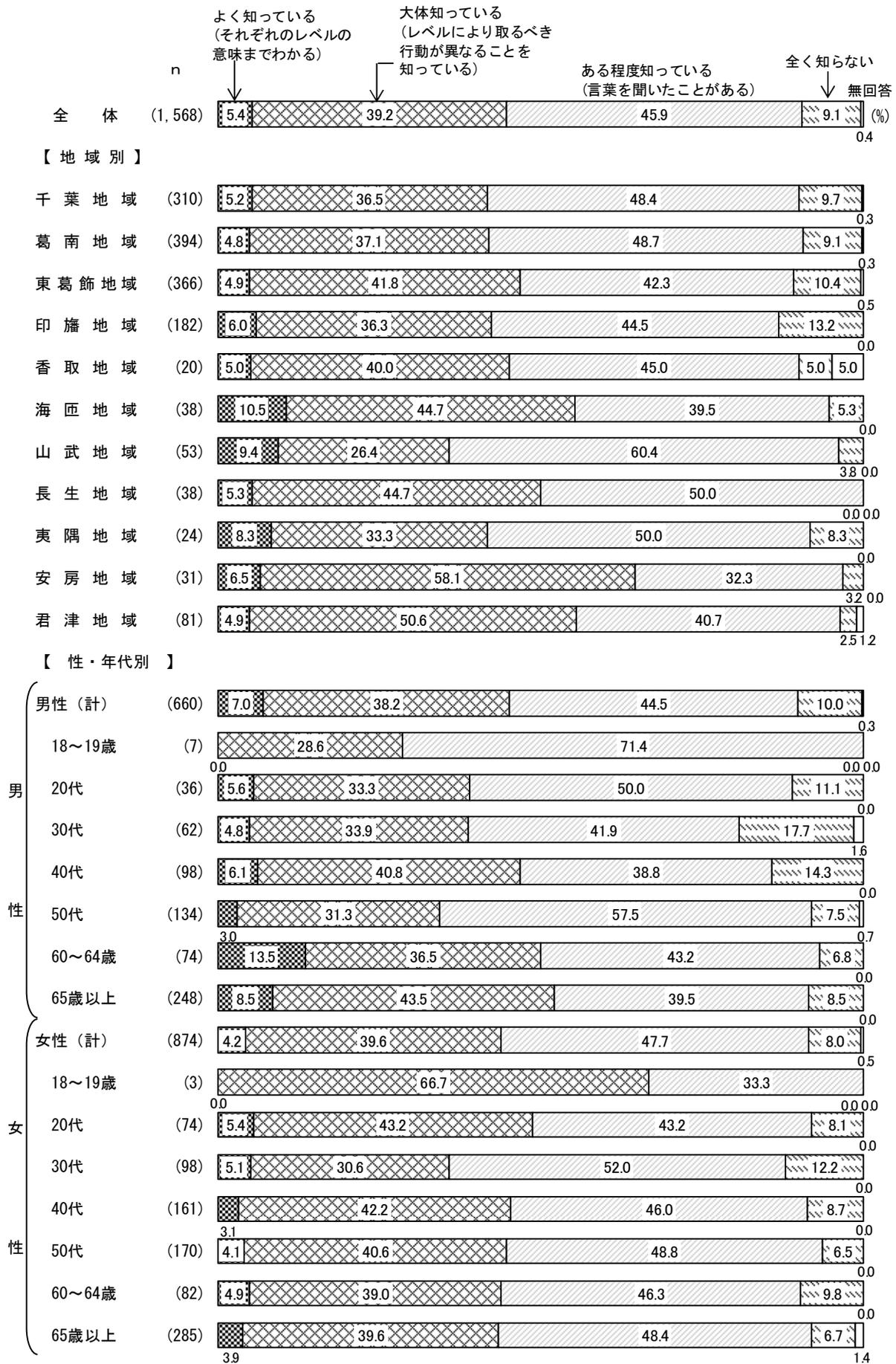
（図表6－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「全く知らない」は男性の30代（17.7%）が約2割で高くなっている。

（図表6－4）

＜図表6-4＞水害・土砂災害の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝える方法の認知度
／地域別、性・年代別

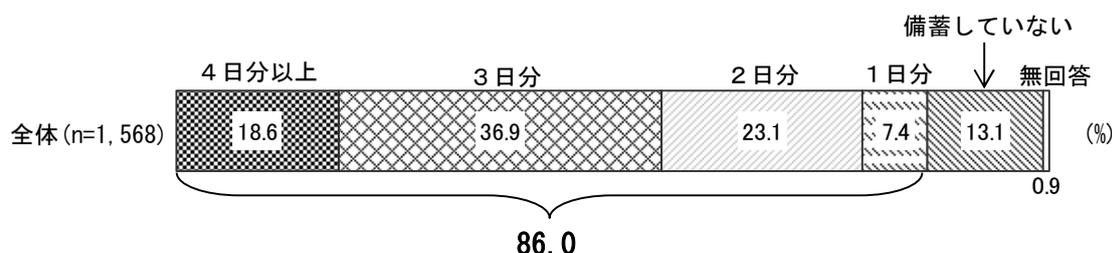


（3）飲料水や食料の備蓄状況

◇『備蓄している（計）』が8割台半ば

問34 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。（○は1つ）

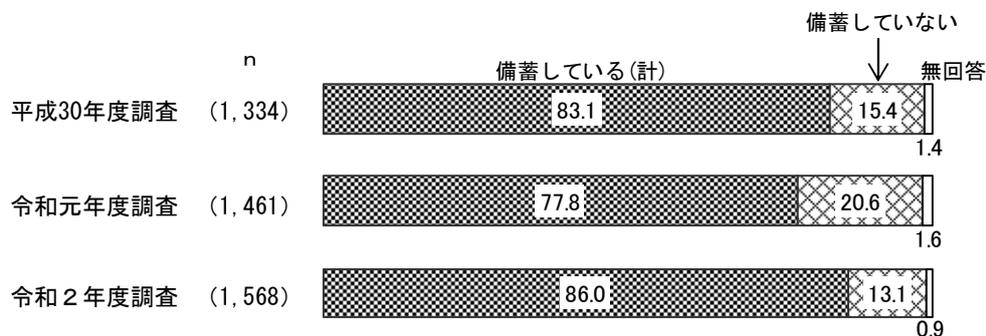
<図表6-5>飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「4日分以上」（18.6%）、「3日分」（36.9%）、「2日分」（23.1%）、「1日分」（7.4%）の4つを合わせた『備蓄している（計）』（86.0%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「備蓄していない」（13.1%）が1割を超えている。（図表6-5）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

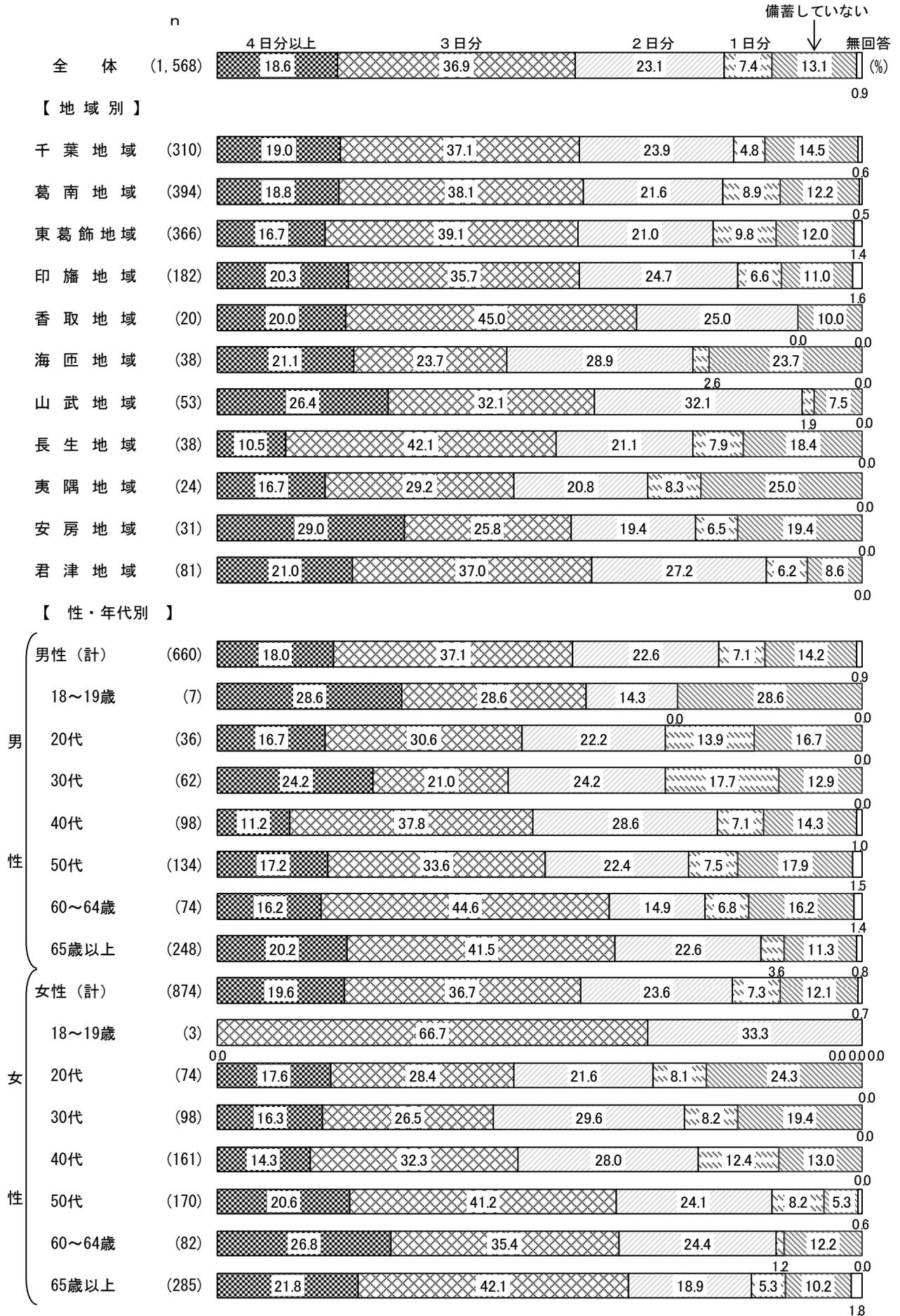
地域別にみると、「備蓄していない」は“海匠地域”（23.7%）が2割台半ばで高くなっている。（図表6-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『備蓄している（計）』は女性の50代（94.1%）が9割台半ばで高くなっている。

一方、「備蓄していない」は女性の20代（24.3%）が2割台半ばで高くなっている。（図表6-6）

<図表6-6>飲料水や食料の備蓄状況／地域別、性・年代別



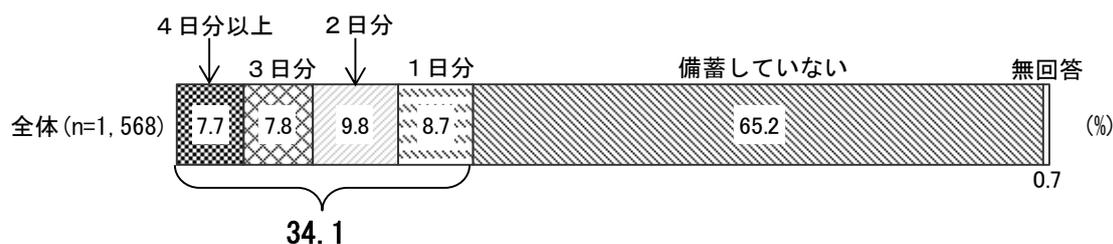
（４）災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄状況

◇『備蓄している（計）』が3割台半ば

問35 大規模な災害が発生した場合、断水や停電、給排水管の損壊、し尿処理施設の被災により、水洗トイレが使用できなくなることが予想されます。あなたは、災害に備えて、家庭での災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）をおよそ何日分、備蓄していますか。（○は1つ）

※1日分＝1人当たり1日5回分×家族の人数

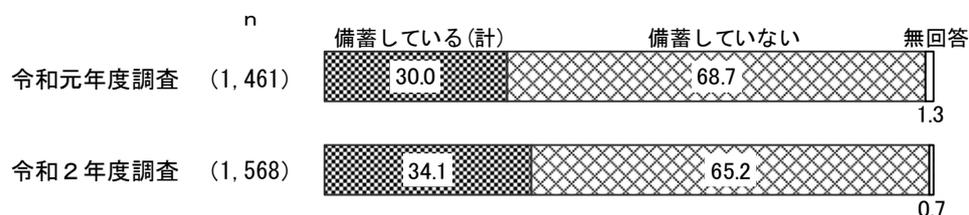
<図表6-7>災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄状況



災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄状況を聞いたところ、「4日分以上」（7.7%）、「3日分」（7.8%）、「2日分」（9.8%）、「1日分」（8.7%）の4つを合わせた『備蓄している（計）』（34.1%）が3割台半ばとなっている。

一方、「備蓄していない」（65.2%）が6割台半ばとなっている。（図表6-7）

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



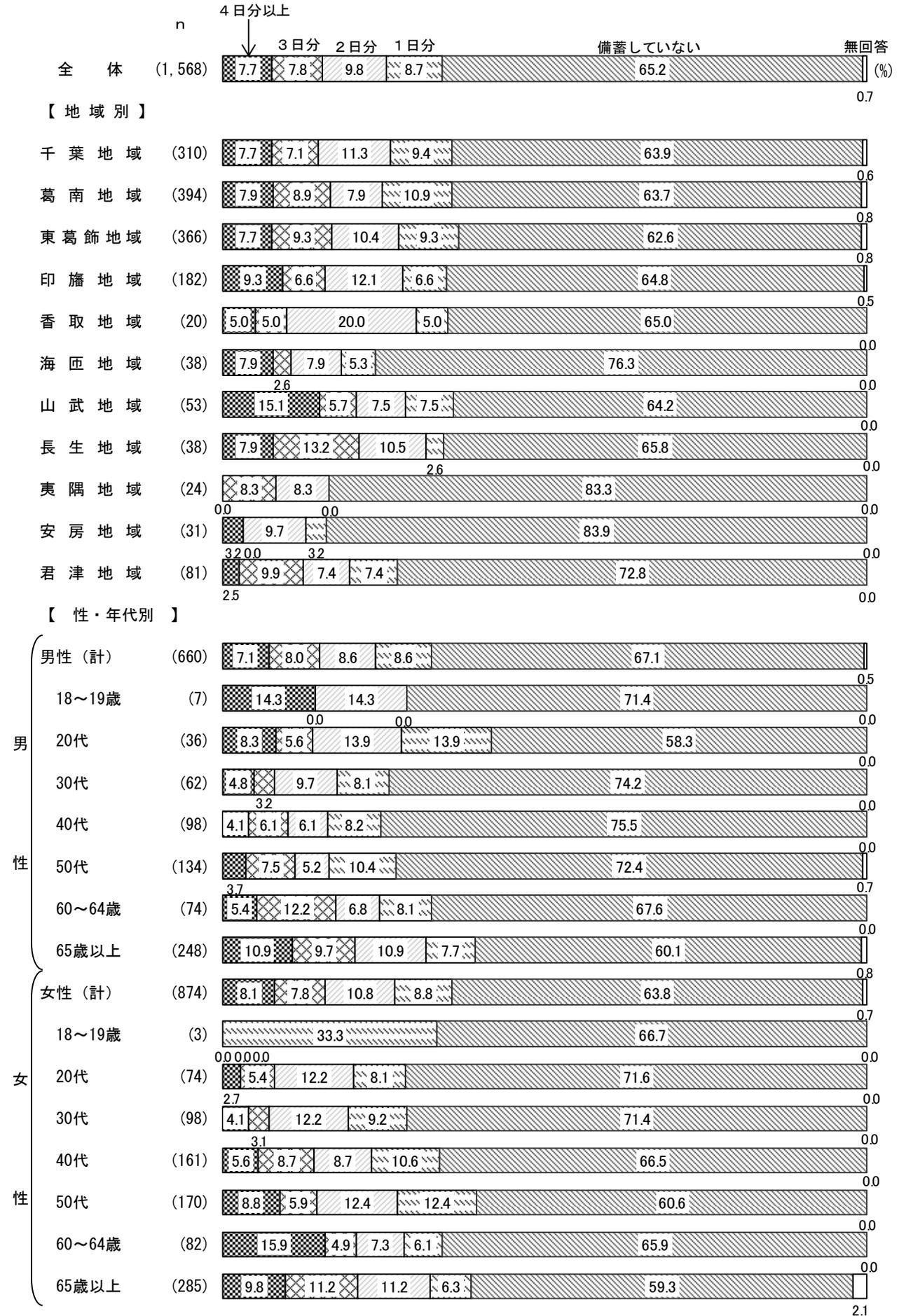
【地域別】

地域別にみると、「備蓄していない」は“安房地域”（83.9%）が8割台半ばで高くなっている。（図表6-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「備蓄していない」は男性の40代（75.5%）が7割台半ばで高くなっている。（図表6-8）

<図表6-8>災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄状況／地域別、性・年代別



（5）災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

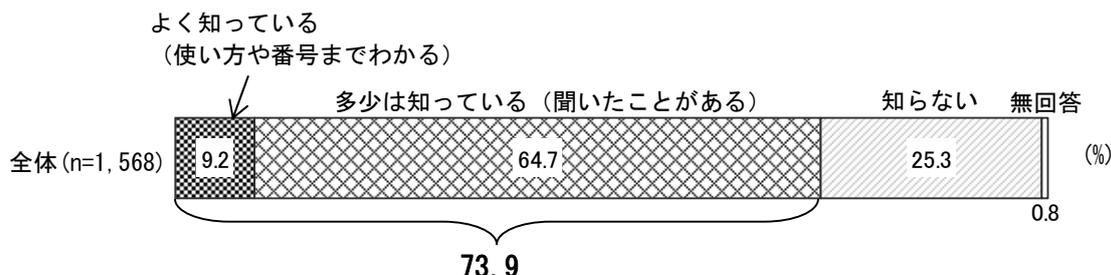
◇『知っている（計）』が7割台半ば

問36 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

（○は1つ）

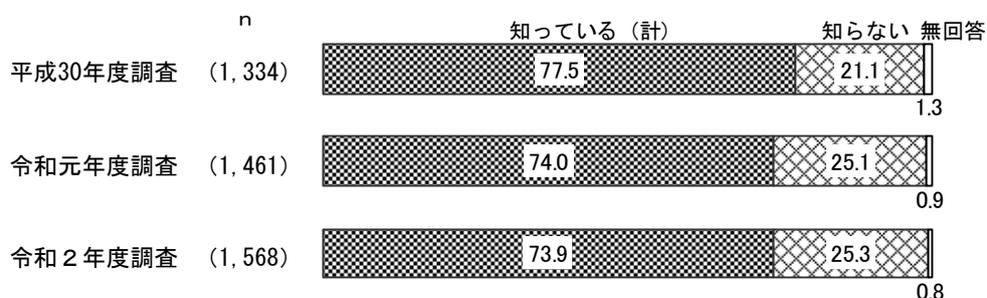
<図表6-9>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルを知っているか聞いたところ、「よく知っている（使い方や番号までわかる）」(9.2%)と「多少は知っている（聞いたことがある）」(64.7%)を合わせた『知っている（計）』(73.9%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」(25.3%)が2割台半ばとなっている。(図表6-9)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“東葛飾地域” (78.1%) が約8割で高くなっている。

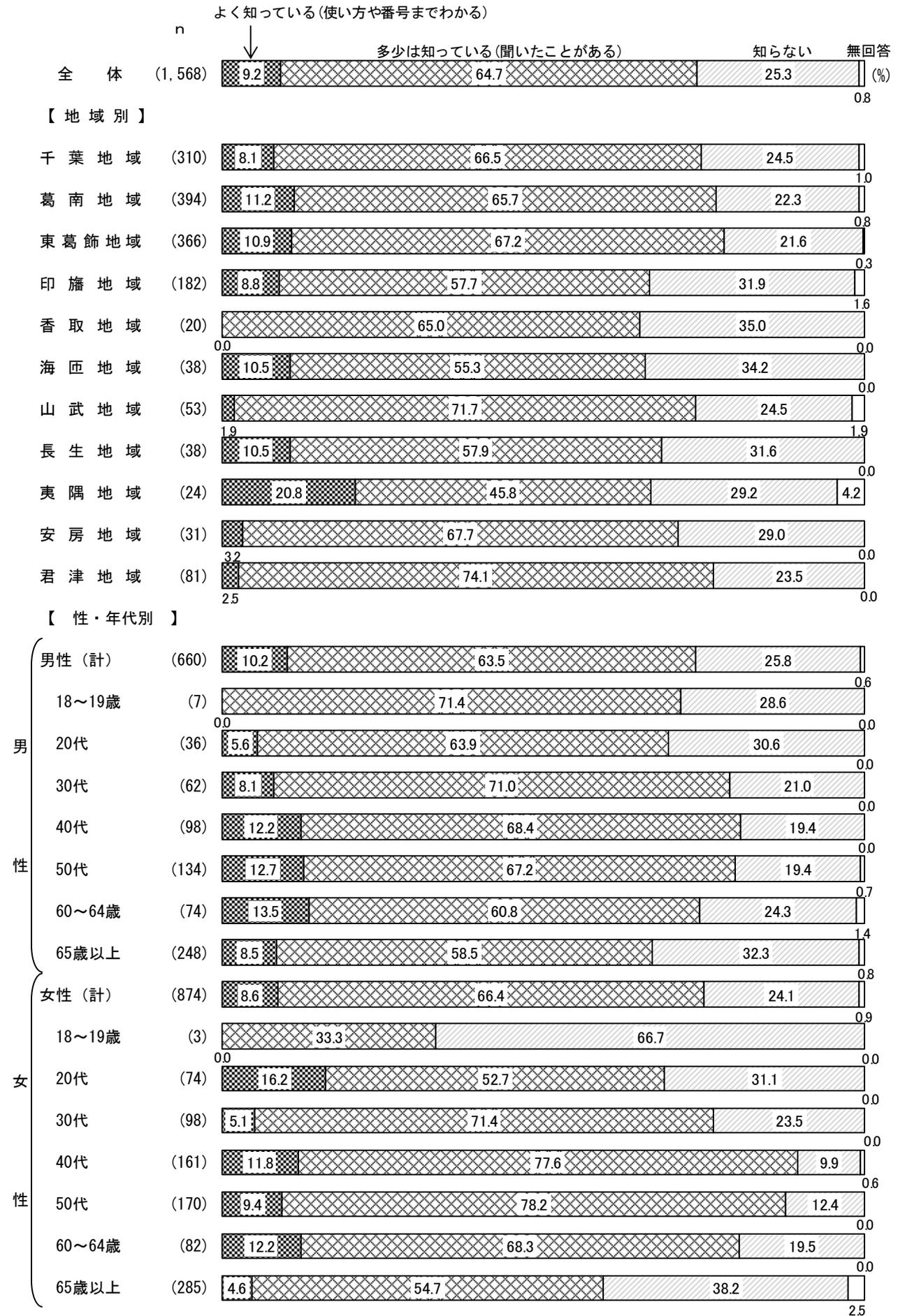
(図表6-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の40代 (89.4%) と女性の50代 (87.6%) が約9割で高くなっている。

一方、「知らない」は女性の65歳以上 (38.2%) が約4割、男性の65歳以上 (32.3%) が3割を超えて高くなっている。(図表6-10)

<図表6-10>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度／地域別、性・年代別

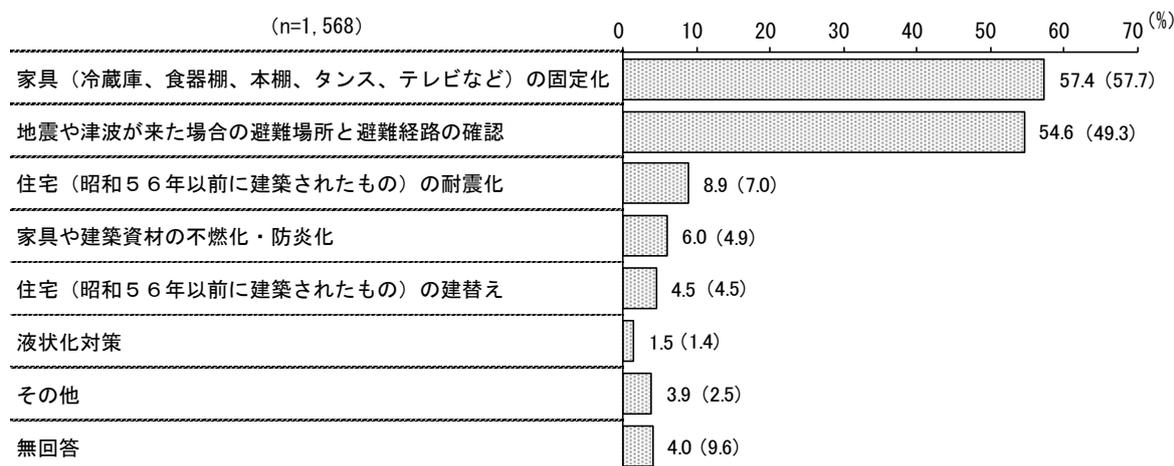


（6）地震の被害を防ぐための対策

◇「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約6割

問37 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。（○はいくつでも）

<図表6-11>地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

地震の被害を防ぐため、どのような対策を行っている（行う予定）か聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（57.4%）が約6割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難場所と避難経路の確認」（54.6%）、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」（8.9%）が続く。（図表6-11）

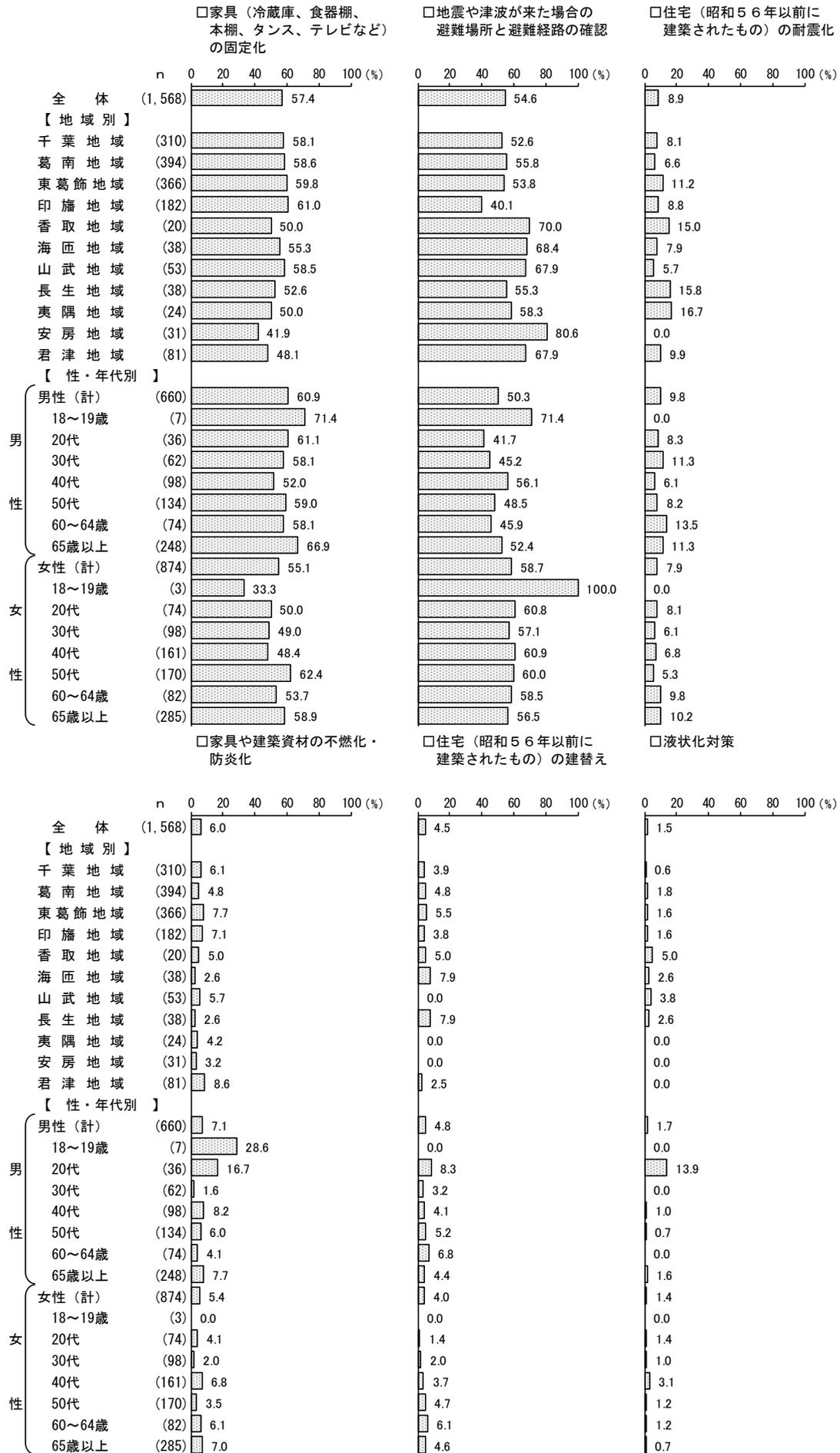
【地域別】

地域別にみると、「地震や津波が来た場合の避難場所と避難経路の確認」は“安房地域”（80.6%）が8割、“山武地域”（67.9%）と“君津地域”（67.9%）が約7割で高くなっている。（図表6-12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の65歳以上（66.9%）が6割台半ばで高くなっている。（図表6-12）

<図表6-12>地震の被害を防ぐための対策（複数回答）／地域別、性・年代別



7 地方分権について

(1) 地方分権改革を進めることについて

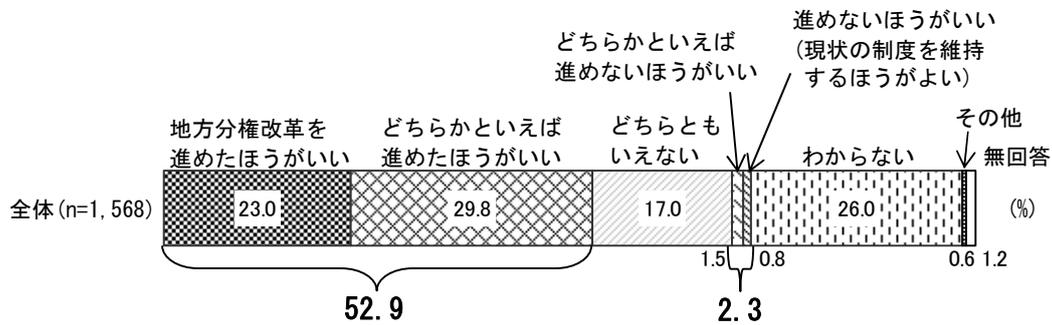
◇『進めたほうがいい（計）』が5割を超える

問38 地域で抱える課題が多様化・複雑化する中、創意工夫により地域の実情に応じた課題解決を図り、住民サービスの向上につなげるため、県では、国に対して事務・権限や税財源の移譲を求めるとともに、「提案募集方式」(※)を通じて地方の創意工夫による制度改革を提案するなど、地方分権改革の推進に取り組んでいます。

あなたは、この地方分権改革を進めることについて、どう思いますか。(○は1つ)

※ 「提案募集方式」とは、国が個々の地方公共団体等から地方分権に関する制度改革の提案を広く募集し、それらの提案の実現に向けて検討を行う制度のことです。

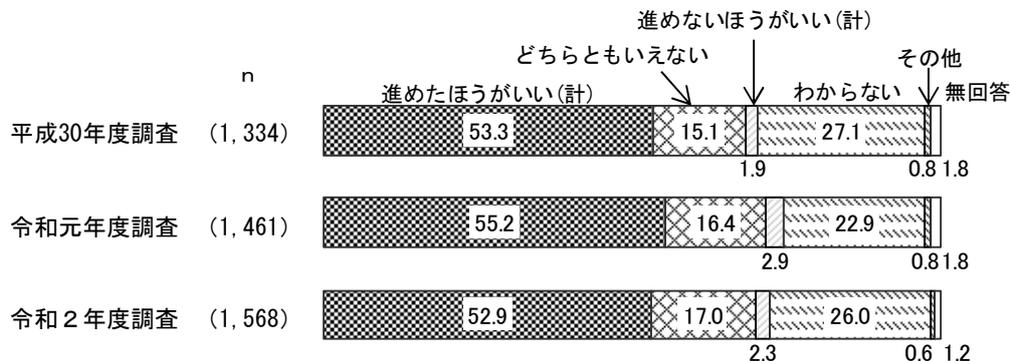
<図表7-1>地方分権改革を進めることについて



地方分権改革を進めることについて聞いたところ、「地方分権改革を進めたほうがいい」(23.0%)と「どちらかといえば進めたほうがいい」(29.8%)を合わせた『進めたほうがいい(計)』(52.9%)が5割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえば進めないほうがいい」(1.5%)と「進めないほうがいい(現状の制度を維持するほうがよい)」(0.8%)を合わせた『進めないほうがいい(計)』(2.3%)はわずかとなっている。(図表7-1)

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



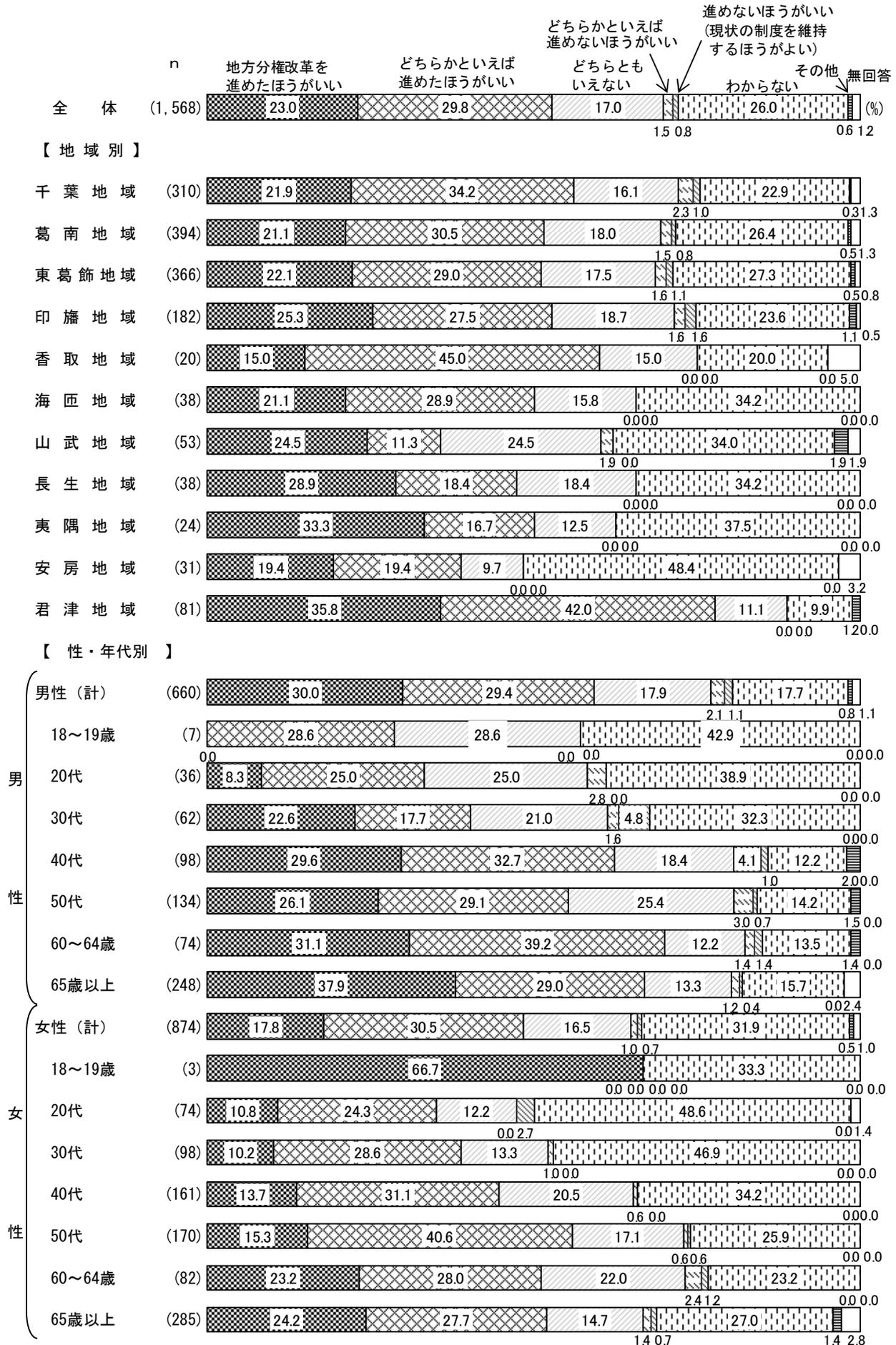
【地域別】

地域別にみると、『進めたほうがいい(計)』は“君津地域”(77.8%)が約8割で高くなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『進めたほうがいい(計)』は男性の60~64歳(70.3%)が7割、男性の65歳以上(66.9%)が6割台半ばで高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2> 地方分権改革を進めることについて／地域別、性・年代別

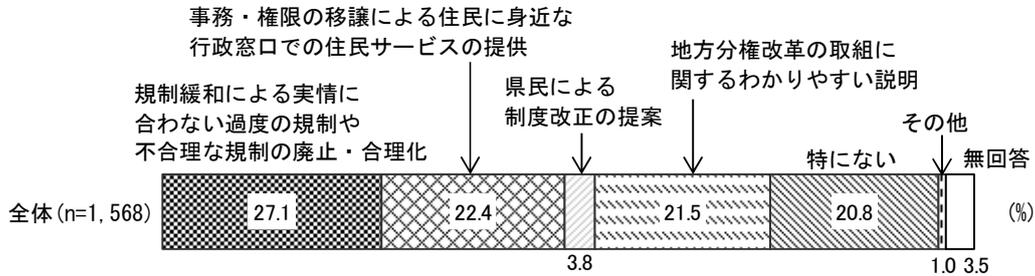


（2）地方分権改革で期待する主な効果

◇「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」が約3割

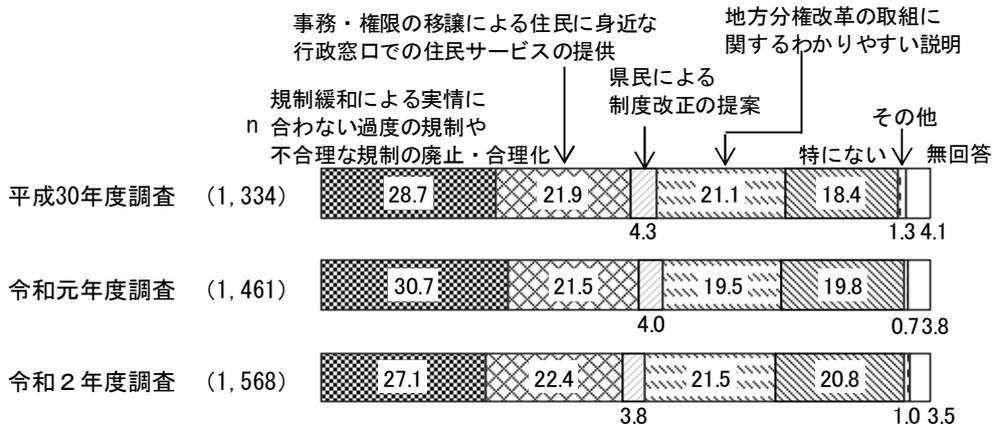
問39 あなたは、県が進める地方分権改革の取組について、何を期待しますか。（○は1つ）

＜図表7-3＞地方分権改革で期待する主な効果



県が進める地方分権改革の取組について期待する効果を聞いたところ、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」(27.1%) が約3割で最も高く、以下、「事務・権限の移譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」(22.4%)、「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」(21.5%)が続く。(図表7-3)

〔参考〕平成30年度、令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「事務・権限の移譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」は“千葉地域”(27.1%)が約3割で高くなっている。(図表7-4)

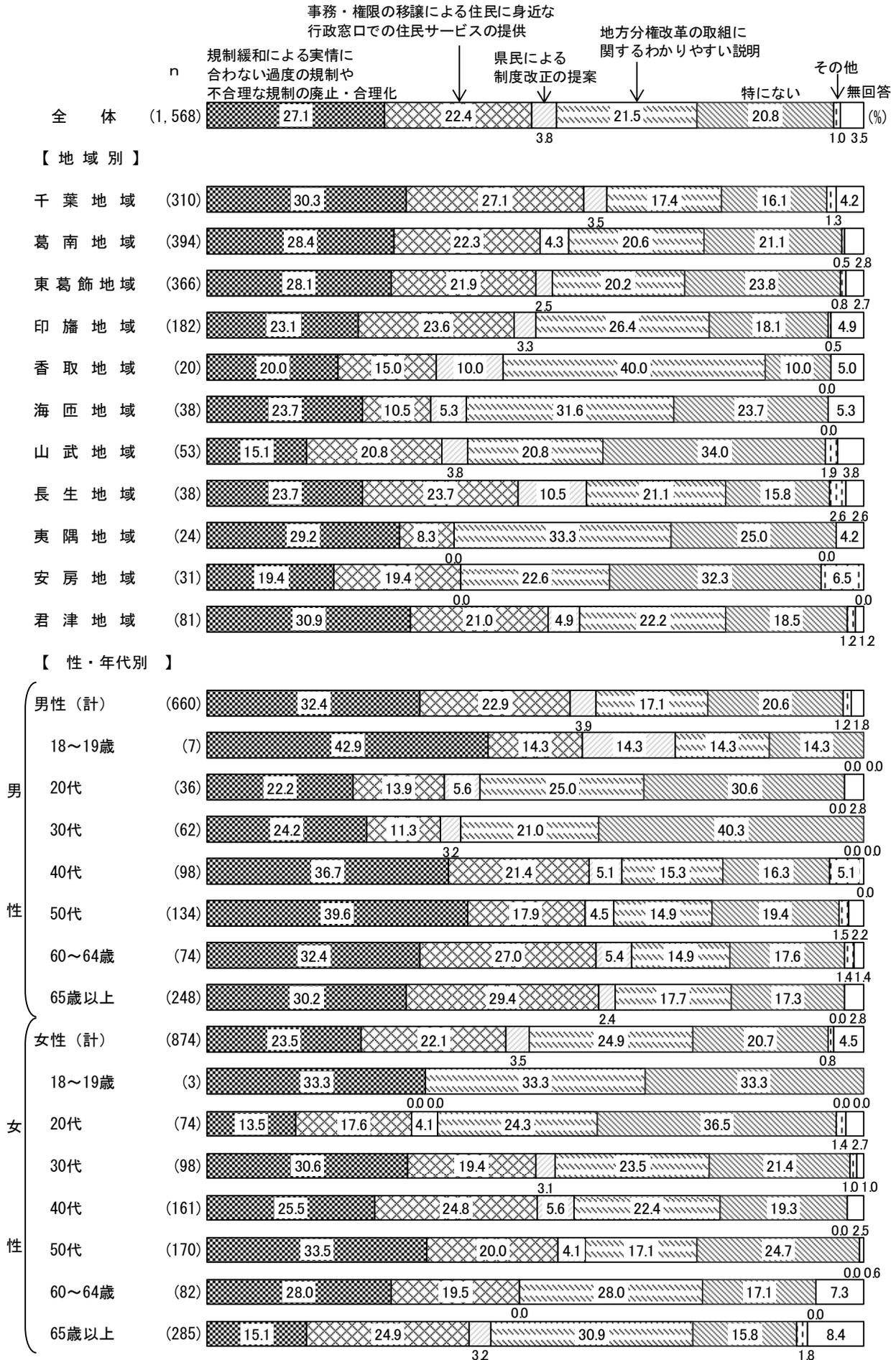
【性・年代別】

性・年代別にみると、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」は男性の50代(39.6%)が約4割、男性の40代(36.7%)と女性の50代(33.5%)が3割台半ばで高くなっている。

「事務・権限の移譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」は男性の65歳以上(29.4%)が約3割で高くなっている。

「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」は女性の65歳以上(30.9%)が3割で高くなっている。(図表7-4)

<図表7-4> 地方分権改革で期待する主な効果／地域別、性・年代別



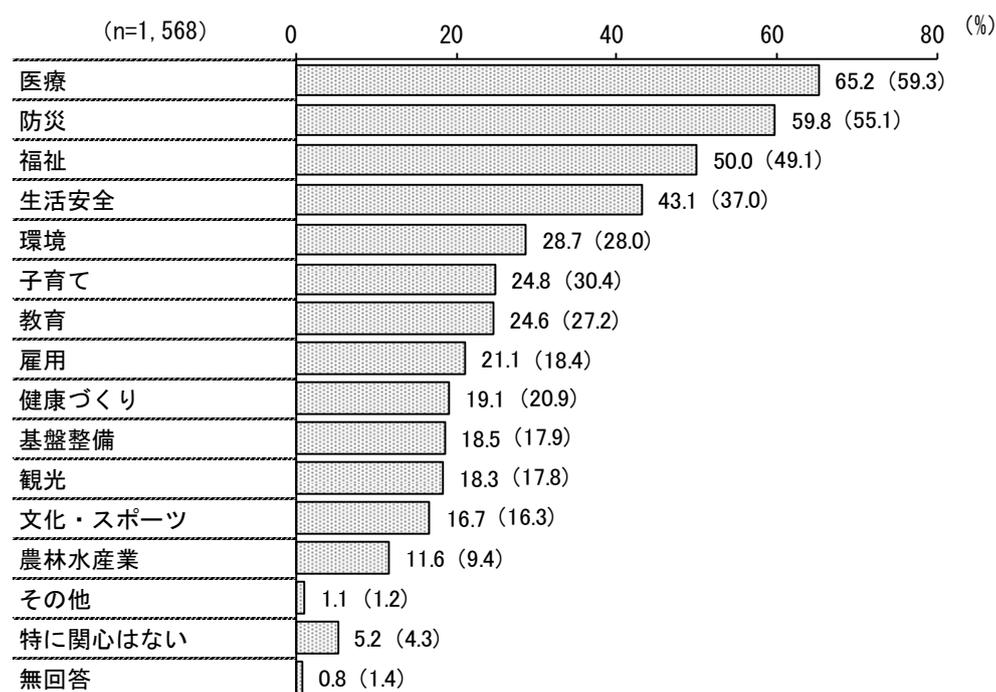
8 広報・広聴活動について

（1）関心のある県政分野

◇「医療」が6割台半ば

問40 あなたは、県のどのような施策や政策の分野について関心がありますか。（〇はいくつでも）

<図表8-1> 関心のある県政分野（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

関心のある県の施策や政策の分野を聞いたところ、「医療」（65.2%）が6割台半ばで最も高く、以下、「防災」（59.8%）、「福祉」（50.0%）、「生活安全」（43.1%）が続く。（図表8-1）

【地域別】

地域別にみると、「生活安全」は“東葛飾地域”（50.3%）が5割で高くなっている。

（図表8-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「医療」は女性の65歳以上（74.7%）が7割台半ばで高くなっている。

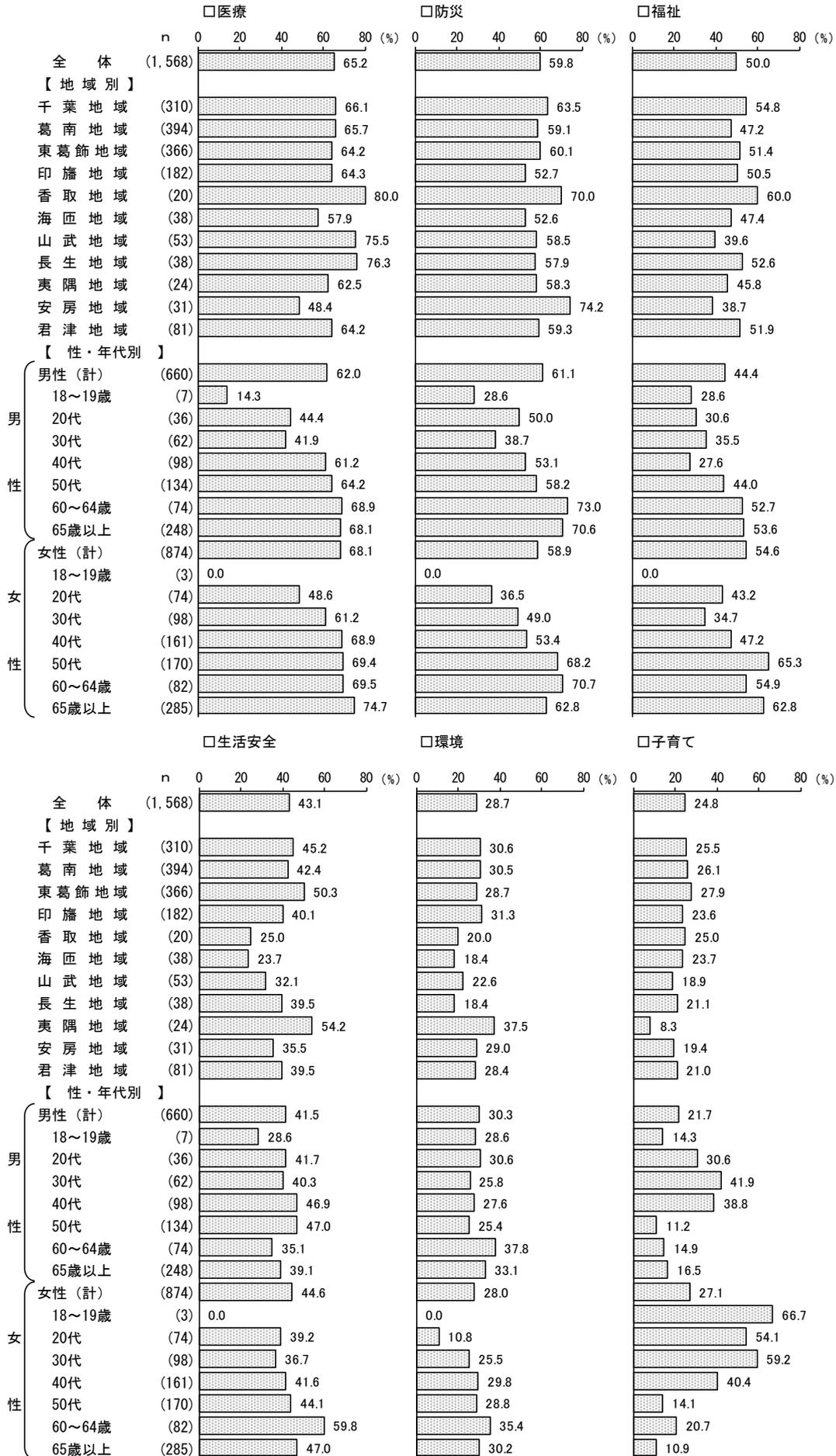
「防災」は男性の60～64歳（73.0%）が7割を超え、男性の65歳以上（70.6%）と女性の60～64歳（70.7%）が7割、女性の50代（68.2%）が約7割で高くなっている。

「福祉」は女性の50代（65.3%）が6割台半ば、女性の65歳以上（62.8%）が6割を超えて高くなっている。

「生活安全」は女性の60～64歳（59.8%）が約6割で高くなっている。

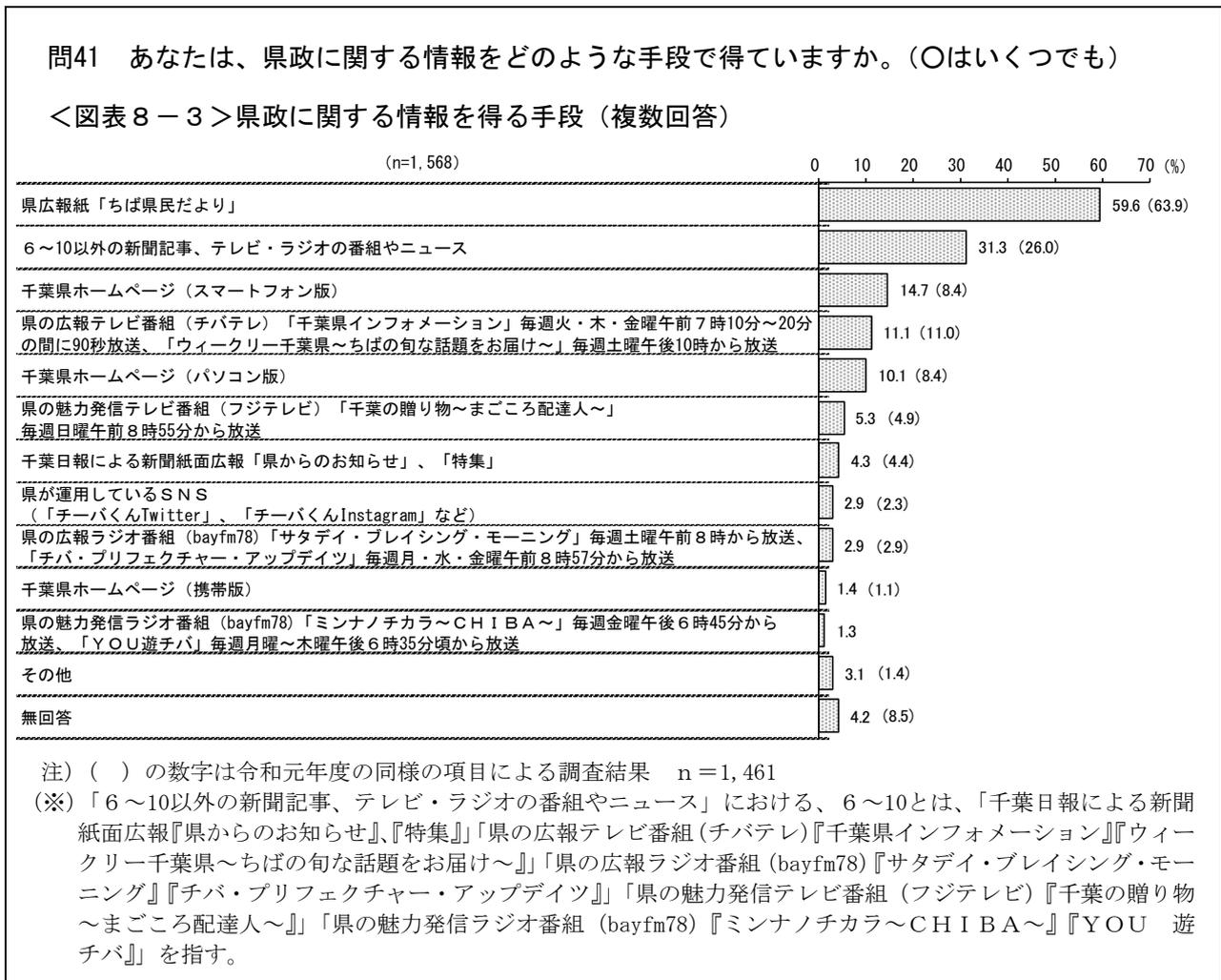
「子育て」は女性の30代（59.2%）が約6割、女性の20代（54.1%）が5割台半ば、男性の30代（41.9%）が4割を超え、女性の40代（40.4%）が4割、男性の40代（38.8%）が約4割で高くなっている。（図表8-2）

<図表8-2> 関心のある県政分野（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



（2）県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約6割



県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」（59.6%）が約6割で最も高く、以下、「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」（31.3%）、「千葉県ホームページ（スマートフォン版）」（14.7%）が続く。（図表8-3）

【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“香取地域”（90.0%）が9割、“海匠地域”（76.3%）が7割台半ば、“千葉地域”（68.7%）が約7割で高くなっている。

「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“長生地域”（50.0%）が5割で高くなっている。（図表8-4）

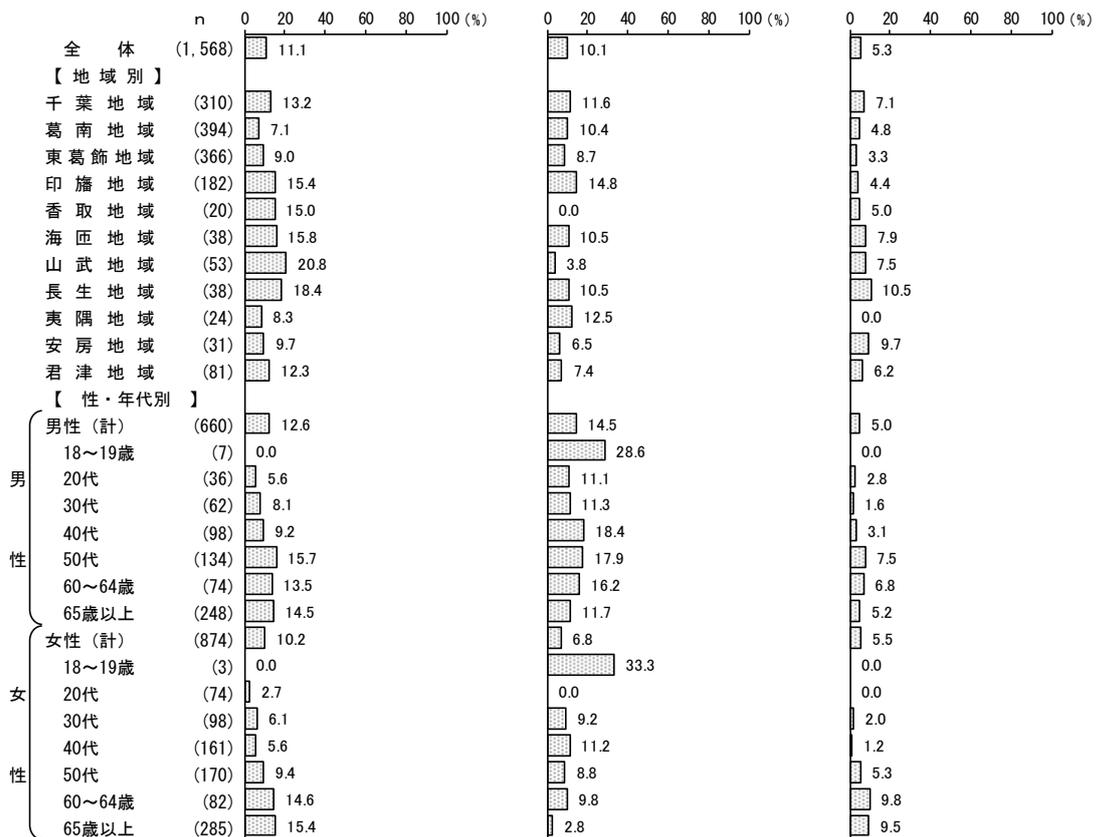
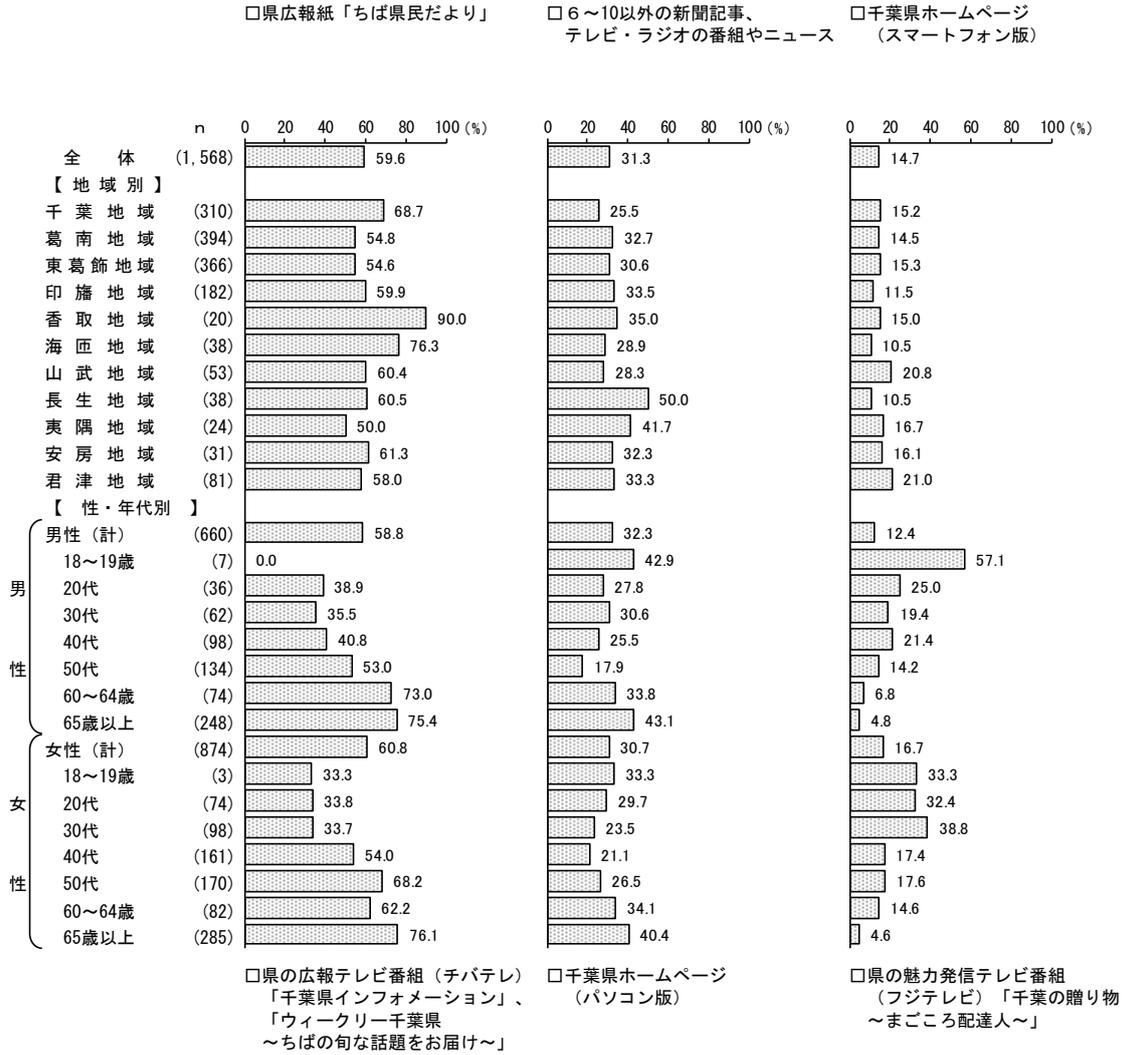
【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男性の65歳以上（75.4%）と女性の65歳以上（76.1%）が7割台半ば、男性の60～64歳（73.0%）が7割を超え、女性の50代（68.2%）が約7割で高くなっている。

「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上（43.1%）が4割を超え、女性の65歳以上（40.4%）が4割で高くなっている。

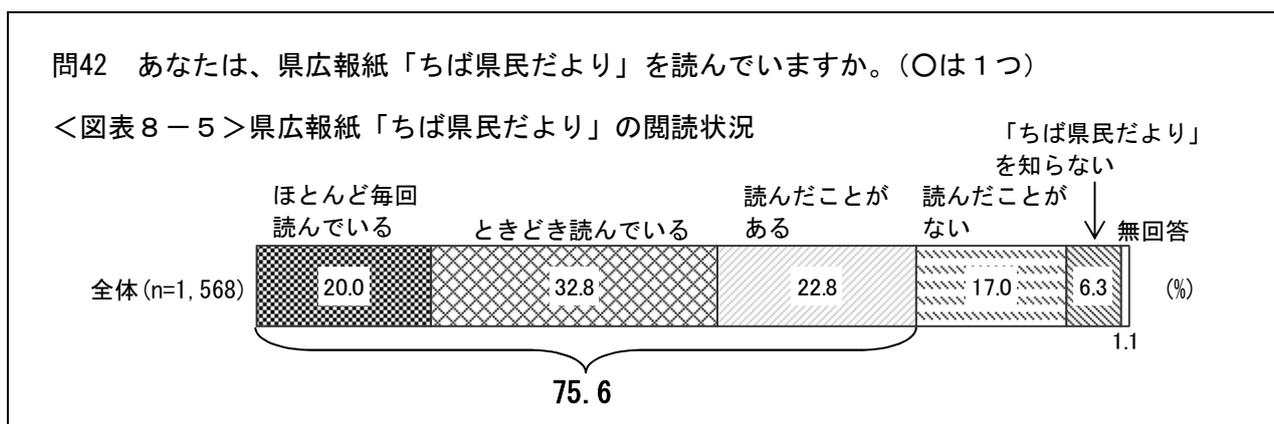
「千葉県ホームページ（スマートフォン版）」は女性の30代（38.8%）が約4割、女性の20代（32.4%）が3割を超えて高くなっている。（図表8-4）

＜図表8-4＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



（3）県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

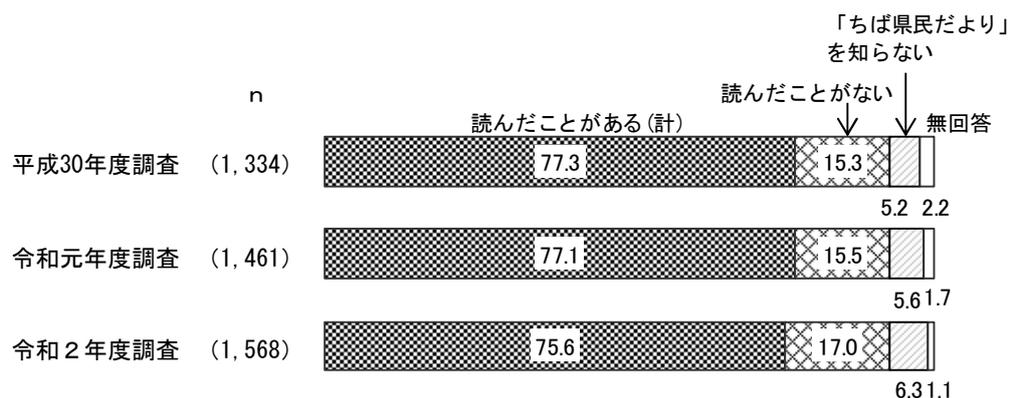
◇『読んだことがある（計）』が7割台半ば



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」（20.0%）、「ときどき読んでいる」（32.8%）、「読んだことがある」（22.8%）の3つを合わせた『読んだことがある（計）』（75.6%）が7割台半ばとなっている。

一方、「読んだことがない」（17.0%）が約2割、『ちば県民だより』を知らない（6.3%）が1割未満となっている。（図表8-5）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『読んだことがある（計）』は“香取地域”（100.0%）が10割、“海匝地域”（92.1%）が9割を超え、“千葉地域”（85.8%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「読んだことがない」は“東葛飾地域”（22.7%）と“葛南地域”（21.6%）が2割を超えて高くなっている。（図表8-6）

【性・年代別】

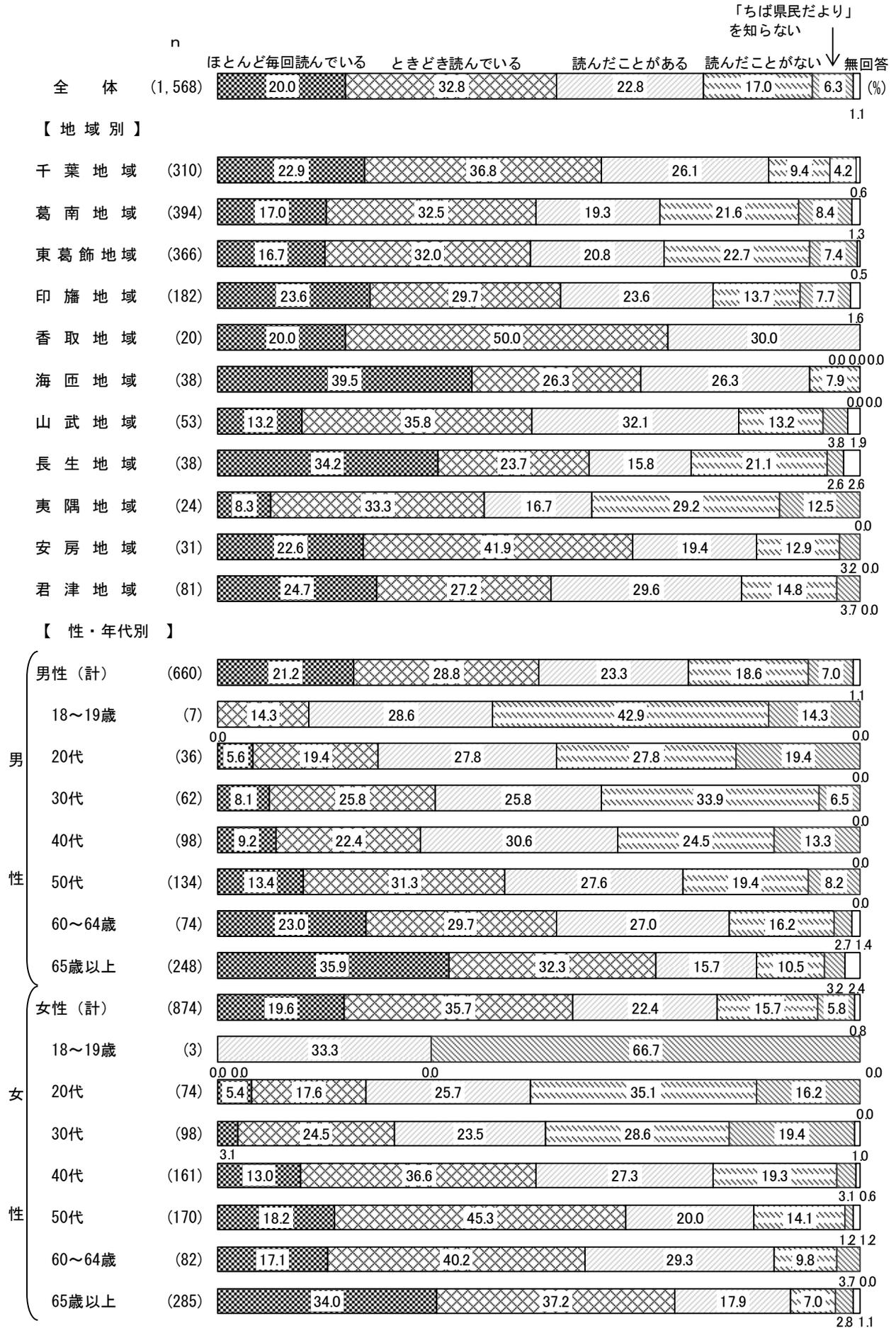
性・年代別にみると、『読んだことがある（計）』は女性の65歳以上（89.1%）が約9割、男性の65歳以上（83.9%）、女性の50代（83.5%）、女性の60～64歳（86.6%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「読んだことがない」は男性の30代（33.9%）と女性の20代（35.1%）が3割台半ば、女性の30代（28.6%）が約3割、男性の40代（24.5%）が2割台半ばで高くなっている。

『ちば県民だより』を知らないは男性の20代（19.4%）と女性の30代（19.4%）が約2割、女性の20代（16.2%）が1割台半ば、男性の40代（13.3%）が1割を超えて高くなっている。

（図表8-6）

<図表8-6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



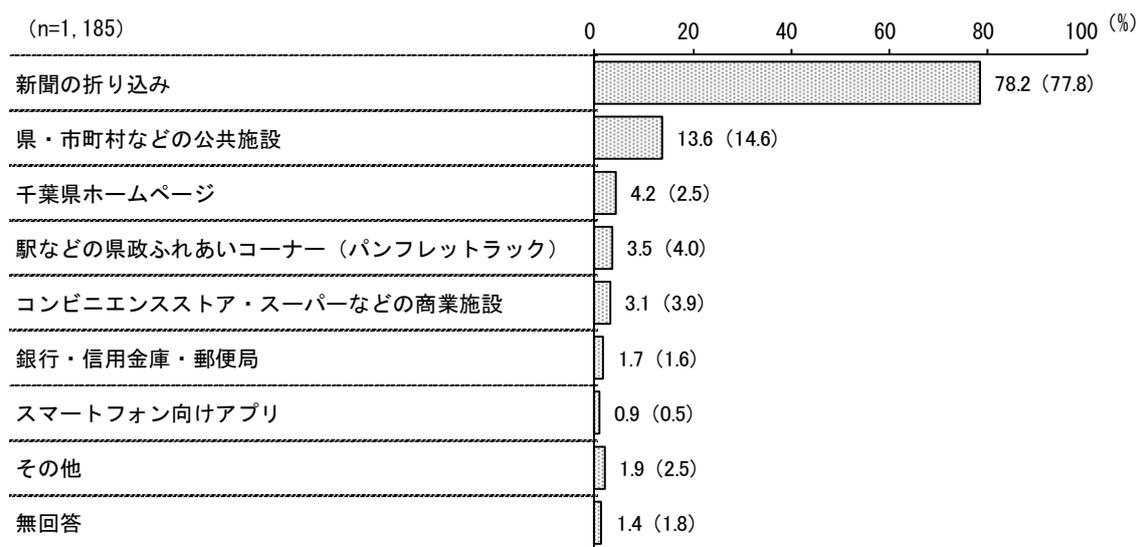
（3-1）「ちば県民だより」の入手場所について

◇「新聞の折り込み」が約8割

（問42で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「読んだことがある」のいずれかを
お答えの方に）

問42-1 県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。（○はいくつでも）

<図表8-7> 「ちば県民だより」の入手場所について（複数回答）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,127

県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「読んだことがある」と回答した1,185人を対象に、「ちば県民だより」をどこで入手しているか聞いたところ、「新聞の折り込み」（78.2%）が約8割で最も高く、以下、「県・市町村などの公共施設」（13.6%）、「千葉県ホームページ」（4.2%）が続く。（図表8-7）

【地域別】

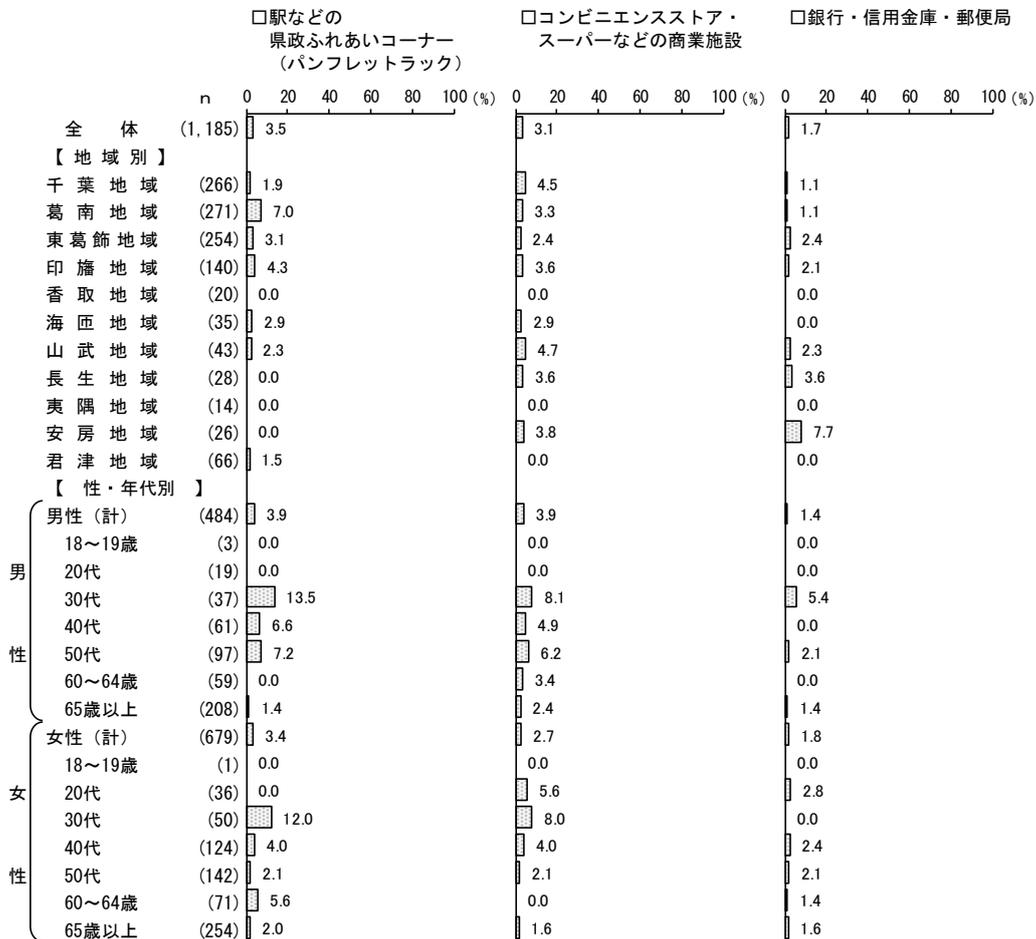
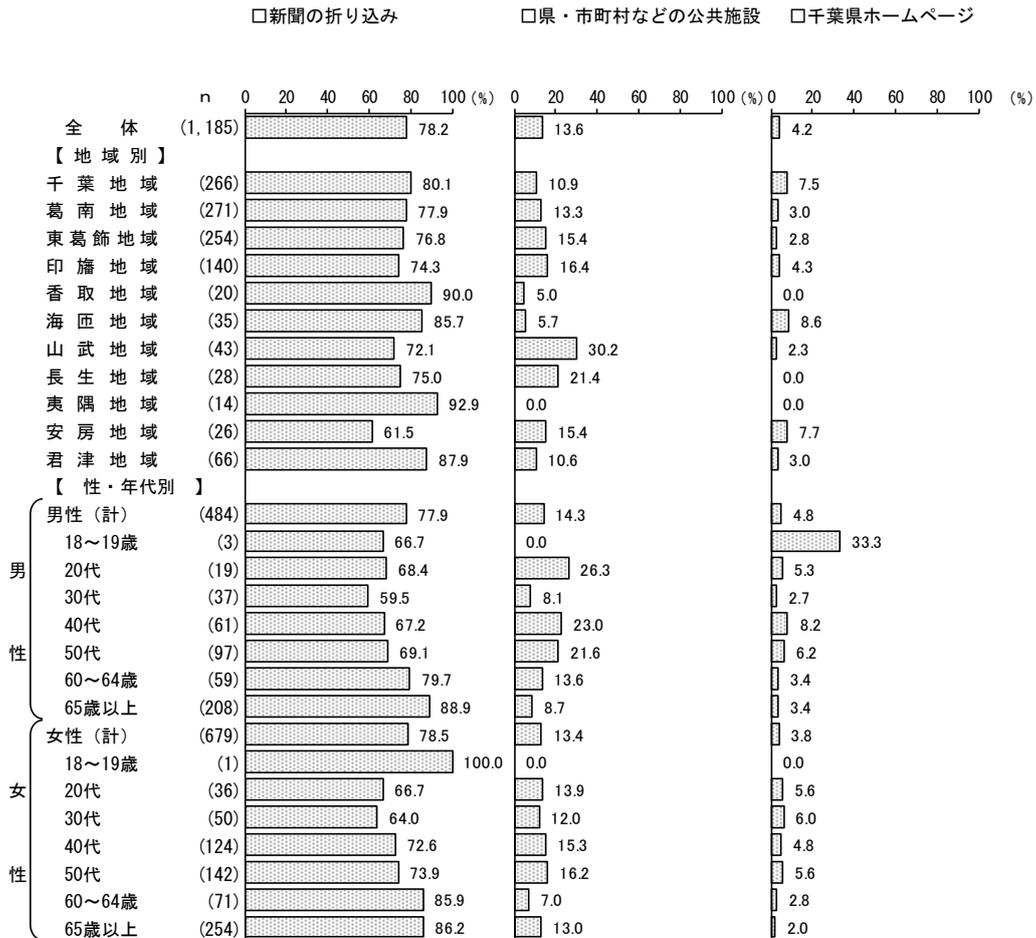
地域別にみると、「県・市町村などの公共施設」は“山武地域”（30.2%）が3割で高くなっている。（図表8-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞の折り込み」は男性の65歳以上（88.9%）が約9割、女性の65歳以上（86.2%）が8割台半ばで高くなっている。

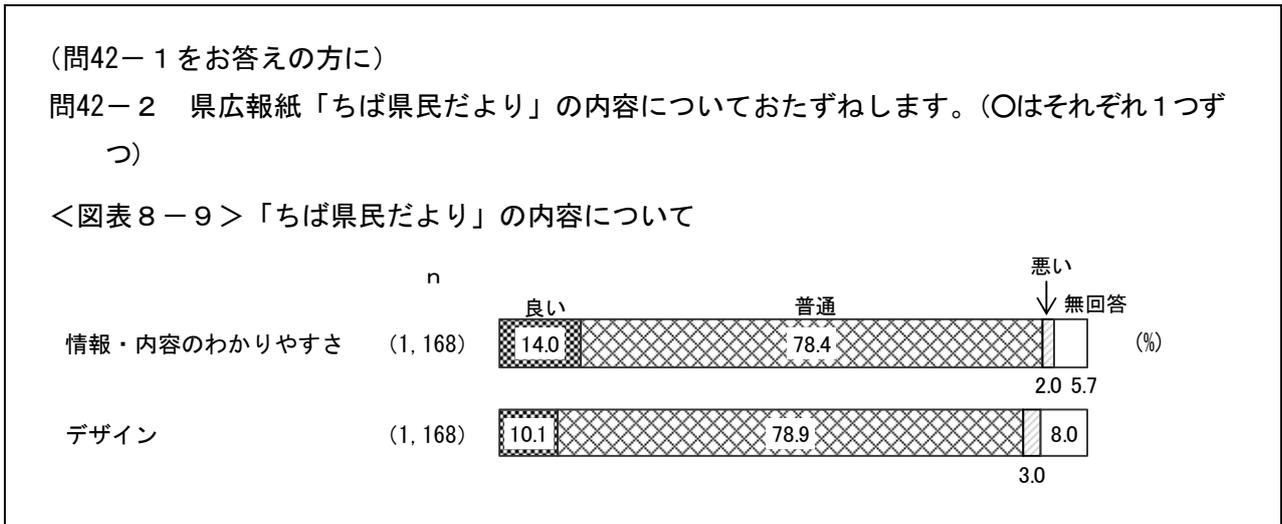
「県・市町村などの公共施設」は男性の40代（23.0%）と男性の50代（21.6%）が2割を超えて高くなっている。（図表8-8）

<図表8-8> 「ちば県民だより」の入手場所について(複数回答)／地域別、性・年代別(上位6項目)



（3-2）「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさでは「良い」が1割台半ば、デザインでは「良い」が1割



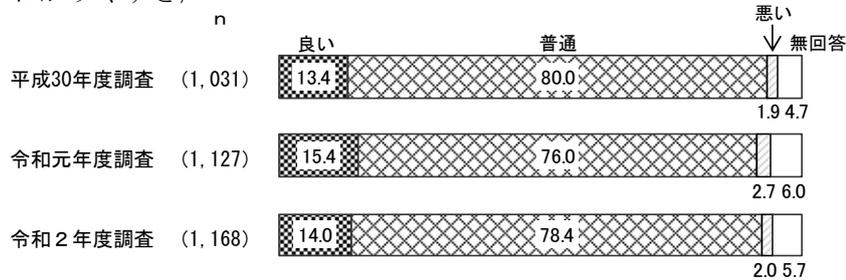
県広報紙「ちば県民だより」の入手場所を回答した1,168人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉の「良い」（14.0%）が1割台半ばで、「普通」（78.4%）が約8割となっている。

また、〈デザイン〉の「良い」（10.1%）が1割、「普通」（78.9%）が約8割となっている。

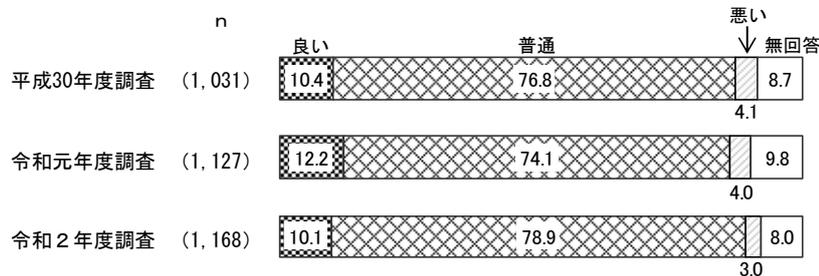
（図表8-9）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表8-10）

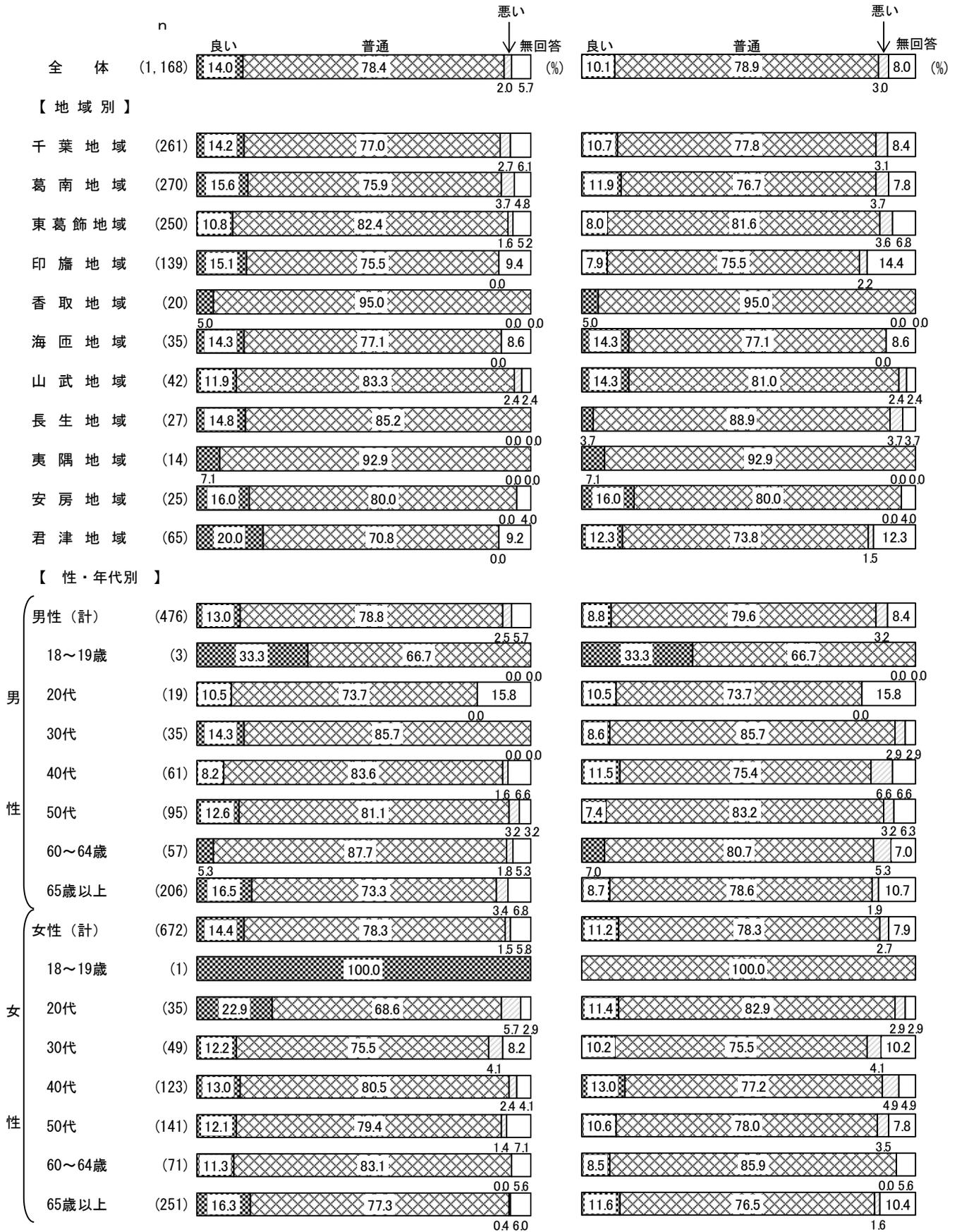
【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表8-10）

＜図表8-10＞「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

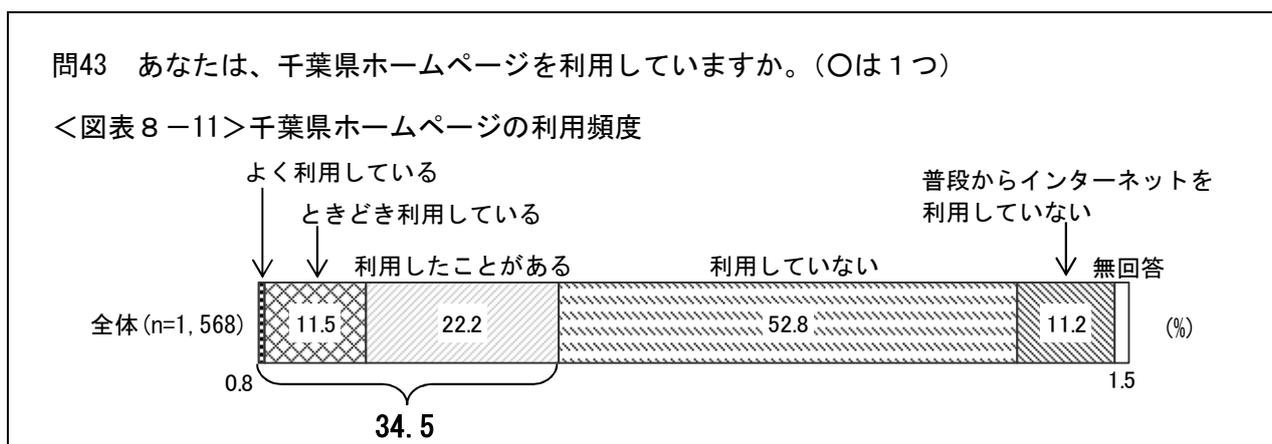
〈情報・内容のわかりやすさ〉

〈デザイン〉



（４）千葉県ホームページの利用頻度

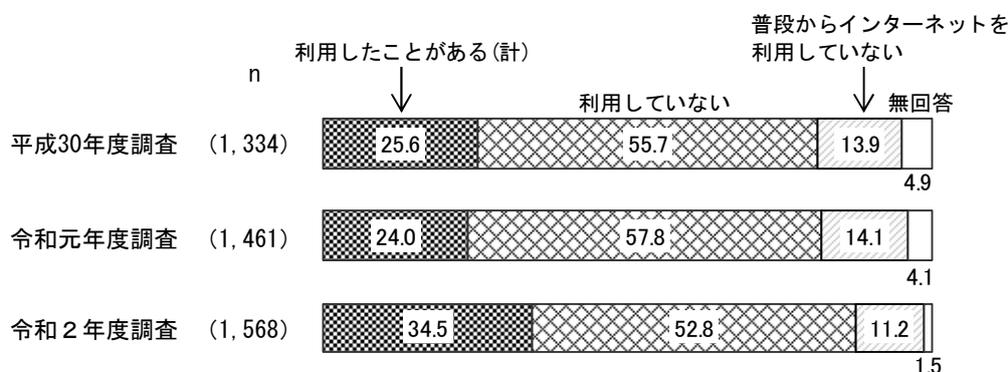
◇『利用したことがある（計）』が3割台半ば



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」（0.8%）、「ときどき利用している」（11.5%）、「利用したことがある」（22.2%）の3つを合わせた『利用したことがある（計）』（34.5%）が3割台半ばとなっている。

一方、「利用していない」（52.8%）が5割を超え、「普段からインターネットを利用していない」（11.2%）が1割を超えている。（図表8-11）

【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『利用したことがある（計）』は“千葉地域”（42.6%）が4割を超えて高くなっている。

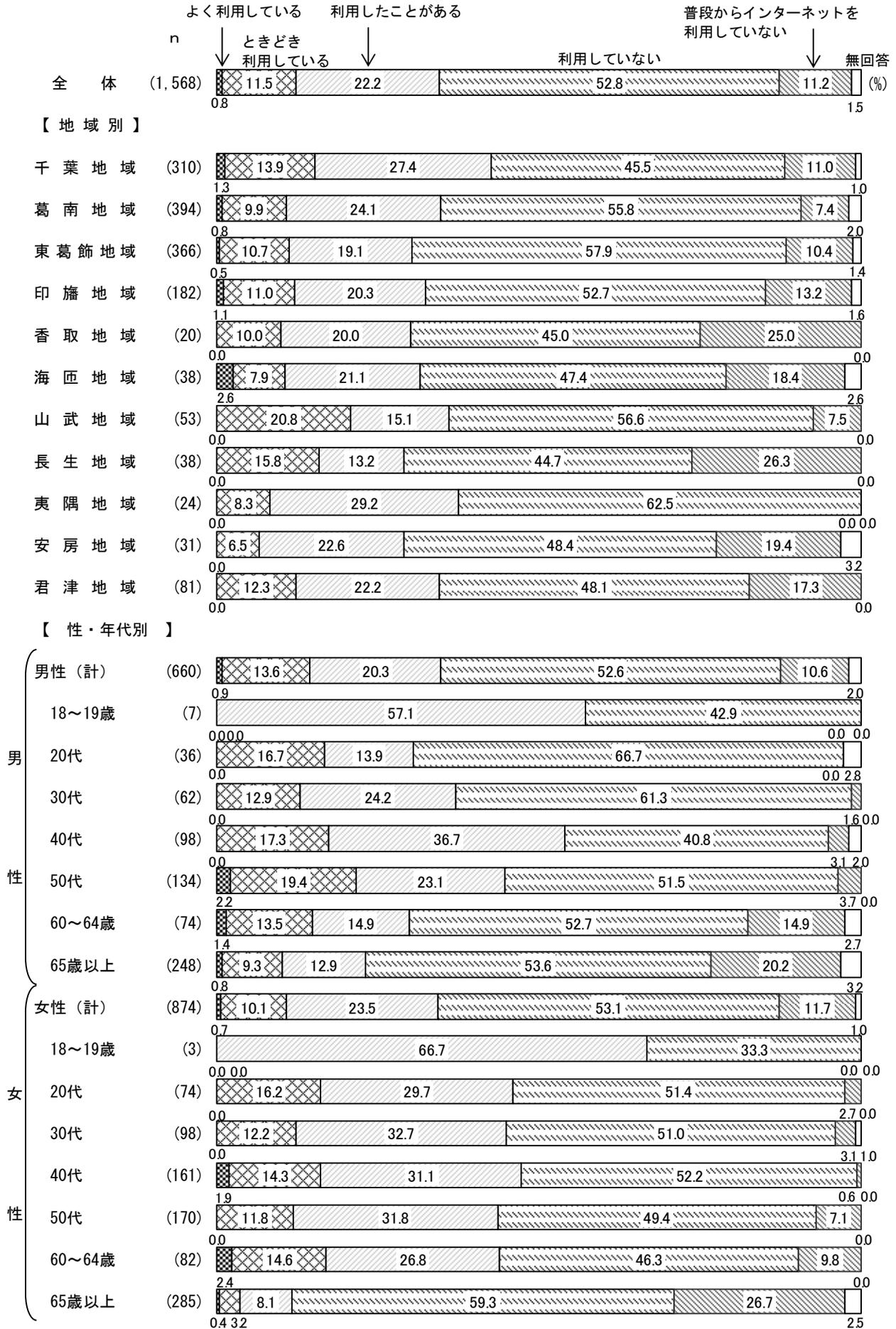
一方、「利用していない」は“東葛飾地域”（57.9%）が約6割で高くなっている。（図表8-12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したことがある（計）』は男性の40代（54.1%）が5割台半ば、女性の40代（47.2%）が約5割、男性の50代（44.8%）、女性の20代（45.9%）、女性の30代（44.9%）、女性の50代（43.5%）が4割台半ばで高くなっている。

一方、「利用していない」は女性の65歳以上（59.3%）が約6割で高くなっている。（図表8-12）

<図表8-12>千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



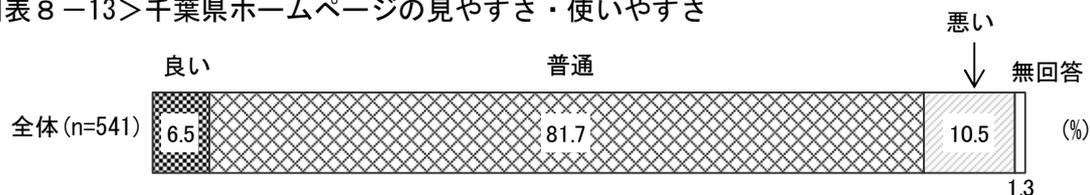
（4-1）千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ

◇「普通」が8割を超える

（問43で「よく利用している」、「ときどき利用している」、「利用したことがある」のいずれかをお答えの方に）

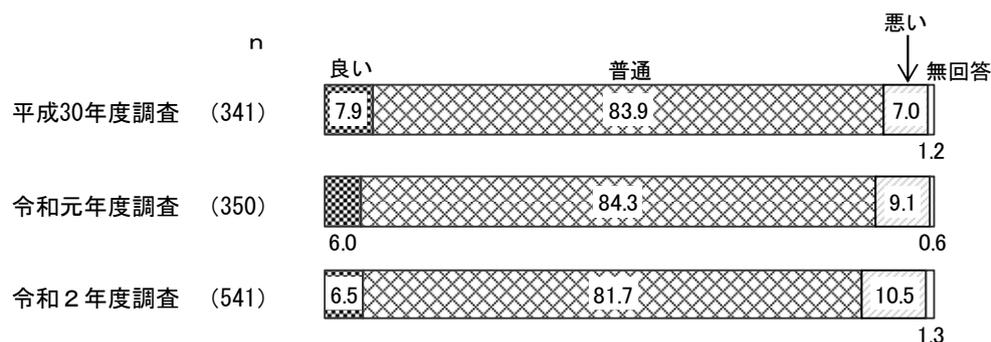
問43-1 千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさはいかがですか。（○は1つ）

＜図表8-13＞千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「利用したことがある」と回答した541人を対象に、千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさについて聞いたところ、「良い」(6.5%)が1割未満で、「普通」(81.7%)が8割を超えている。(図表8-13)

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

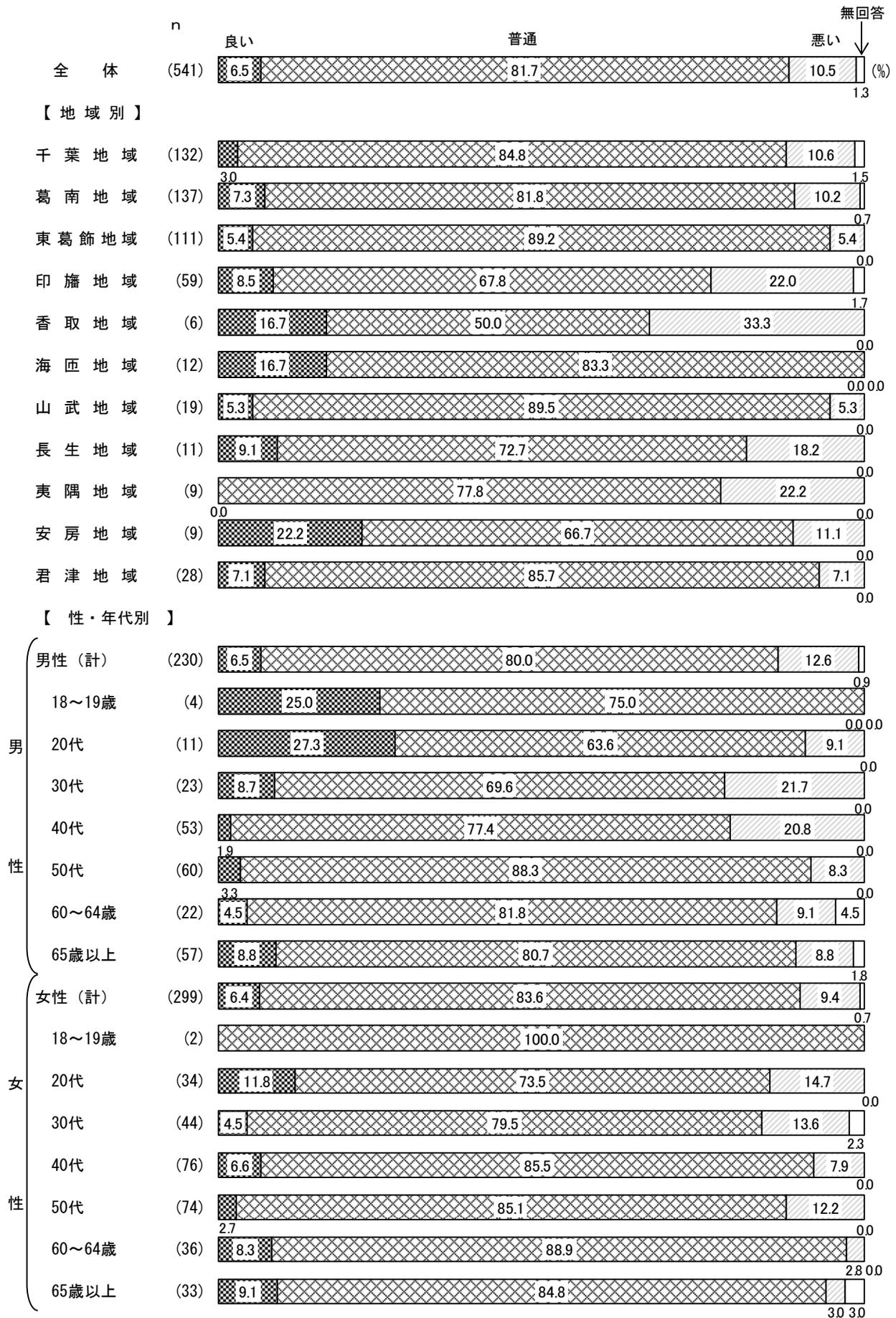


※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

(8ページ「報告書の見方(6)」を参照)

(図表8-14)

<図表8-14>千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ／地域別、性・年代別

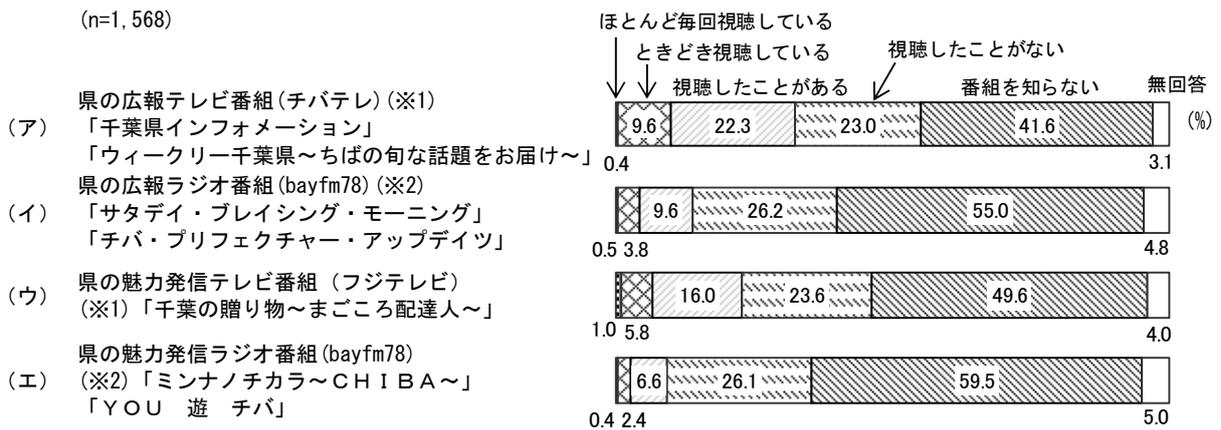


（5）県の広報・魅力発信番組の視聴状況

◇『視聴したことがある（計）』が最も高いのは〈県の広報テレビ番組（チバテレ）「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」で3割を超える

問44 県では、県の広報や魅力発信のため、テレビやラジオで様々な番組を放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表8-15＞県の広報・魅力発信番組の視聴状況



（※1）テレビ番組のうち、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」と、「千葉の贈り物～まごころ配達人～」は、県HPの「ちばコレchannel」においても視聴できます。
また、YouTube「千葉県公式PRチャンネル」でも、「ウィークリー千葉県」が視聴できます。
（※2）各ラジオ番組は、「radiko」などインターネット上のサービスでも視聴できます。

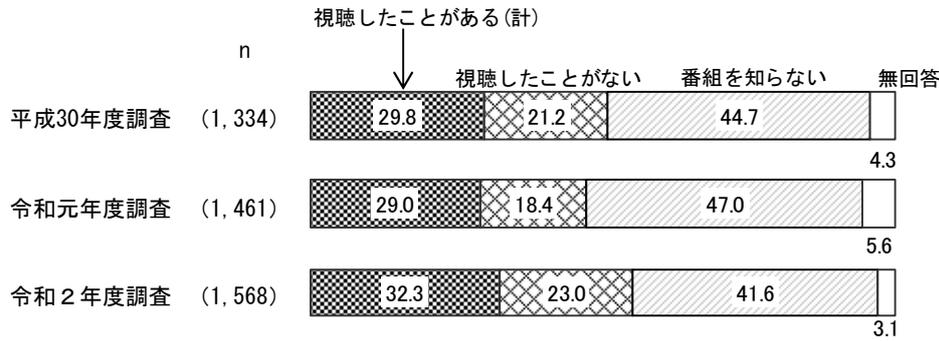
県の4つの広報番組の視聴状況を聞いたところ、「ほとんど毎回視聴している」、「ときどき視聴している」、「視聴したことがある」の3つを合わせた『視聴したことがある（計）』が最も高いのは、「(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」（32.3%）で3割を超えており、以下、「(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」（22.8%）が2割を超え、「(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデー・ブレイジング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』」（13.9%）が1割台半ばで続く。

一方、「視聴したことがない」が高いのは、「(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデー・ブレイジング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』」（26.2%）、「(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『MINNANOチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』」（26.1%）、「(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」（23.6%）が2割台半ばとなっている。

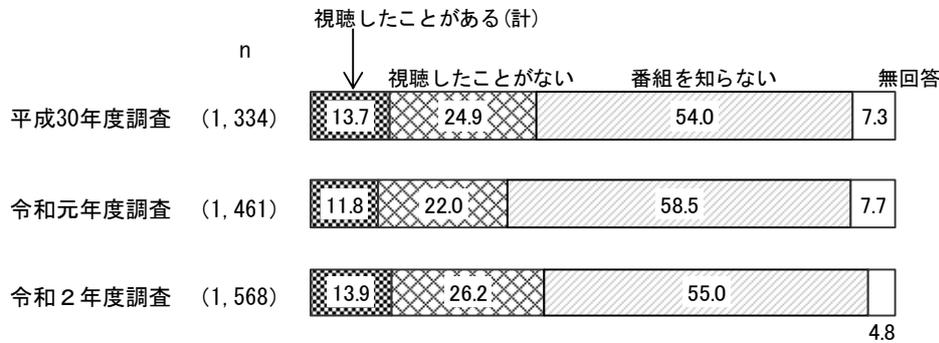
「番組を知らない」が最も高いのは、「(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『MINNANOチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』」（59.5%）で約6割となっている。（図表8-15）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

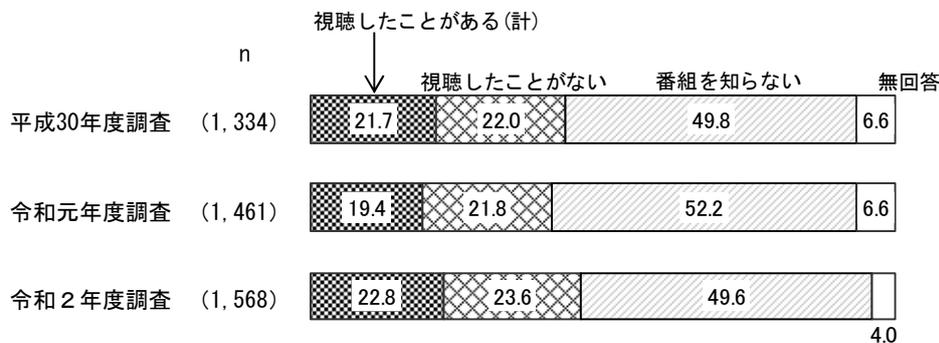
〈(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ）「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～〉



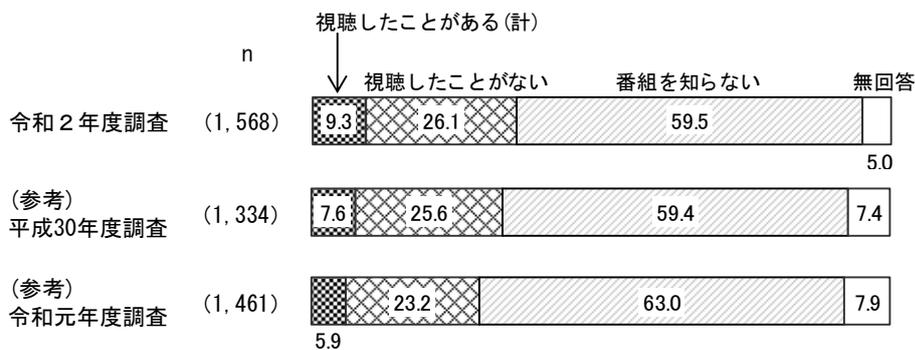
〈(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）「サタデイ・ブレイジング・モーニング」「チバ・プリフェクチャー・アップデートツ〉



〈(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）「千葉の贈り物～まごころ配達人～〉



〈(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）「みんなノチカラ～CHIBA～」「YOU 遊 チバ〉



(※) 平成30年度調査、令和元年度調査は、「県の魅力発信ラジオ番組（TBSラジオ）『千葉ドリーム！もぎたてラジオ』」について質問した結果を参考として示した。

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』の「視聴したことがない」は“君津地域”（32.1%）が3割を超えて高くなっている。

「番組を知らない」は“東葛飾地域”（46.7%）が4割台半ばで高くなっている。

「(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデイ・ブレイキング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』の『視聴したことがある（計）』は“山武地域”（24.5%）が2割台半ばで高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は“長生地域”（44.7%）が4割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』の「視聴したことがない」は“君津地域”（34.6%）が3割台半ばで高くなっている。

「(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『ミンナノチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』の『視聴したことがある（計）』は“山武地域”（18.9%）が約2割、“印旛地域”（14.3%）が1割台半ばで高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は“安房地域”（41.9%）が4割を超えて高くなっている。

（図表8-16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』の『視聴したことがある（計）』は女性の65歳以上（40.0%）が4割で高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は男性の65歳以上（29.0%）が約3割で高くなっている。

「番組を知らない」は男性の30代（59.7%）が約6割、女性の20代（56.8%）が5割台半ば、女性の30代（53.1%）が5割を超えて高くなっている。

「(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデイ・ブレイキング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』の『視聴したことがある（計）』は男性の50代（26.1%）が2割台半ばで高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は男性の65歳以上（31.9%）が3割を超えて高くなっている。

「番組を知らない」は女性の30代（68.4%）が約7割で高くなっている。

「(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』の『視聴したことがある（計）』は女性の60～64歳（32.9%）が3割を超え、女性の65歳以上（27.4%）が約3割で高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は男性の65歳以上（29.4%）が約3割で高くなっている。

「番組を知らない」は男性の30代（66.1%）と女性の20代（63.5%）が6割台半ば、女性の30代（60.2%）が6割で高くなっている。

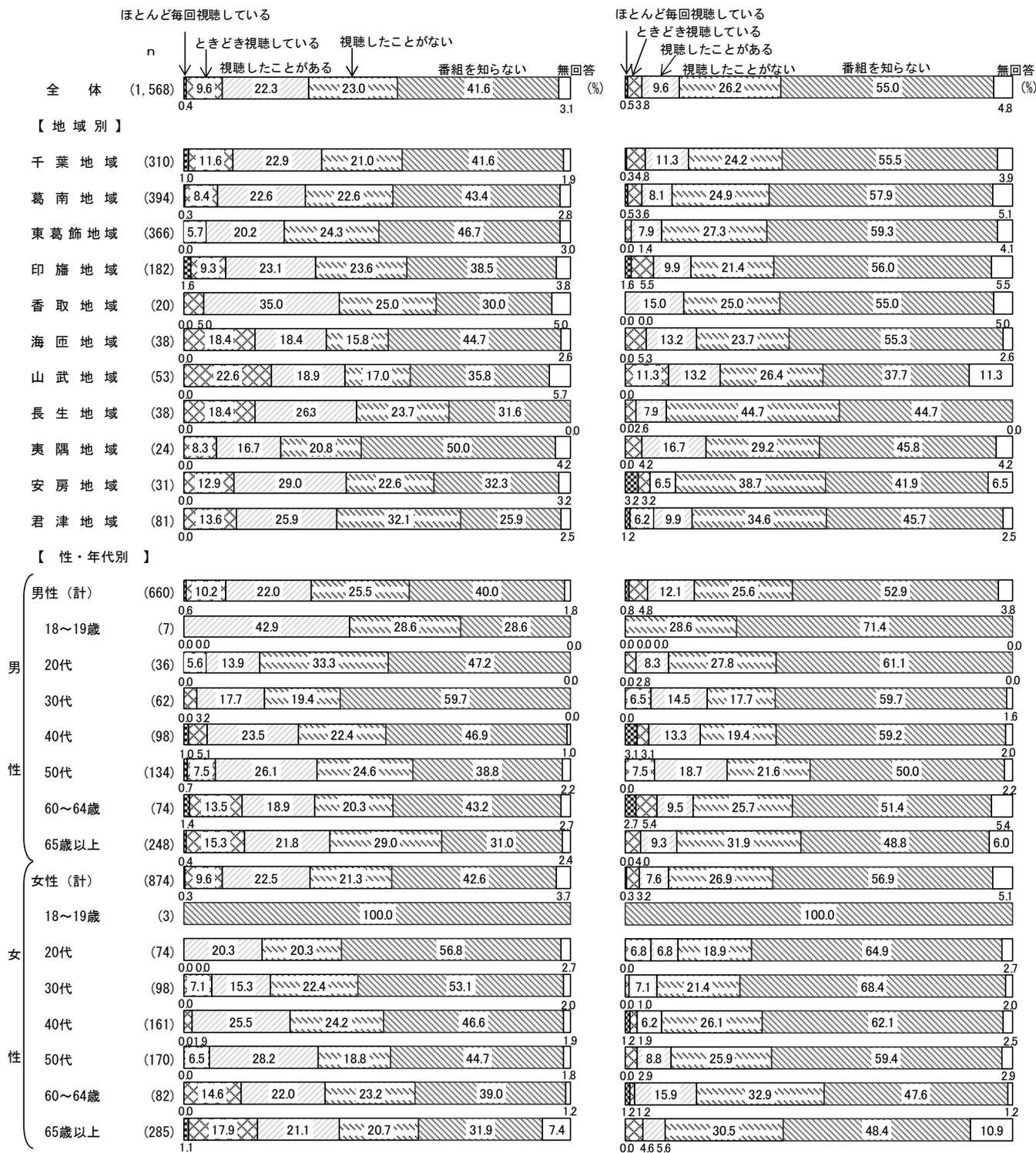
「(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『ミンナノチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』の『視聴したことがある（計）』は男性の50代（15.7%）、男性の60～64歳（16.2%）が1割台半ばで高くなっている。

一方、「視聴したことがない」は男性の65歳以上（31.9%）が3割を超えて高くなっている。

「番組を知らない」は女性の20代（71.6%）が7割を超え、女性の40代（68.3%）が約7割で高くなっている。（図表8-16）

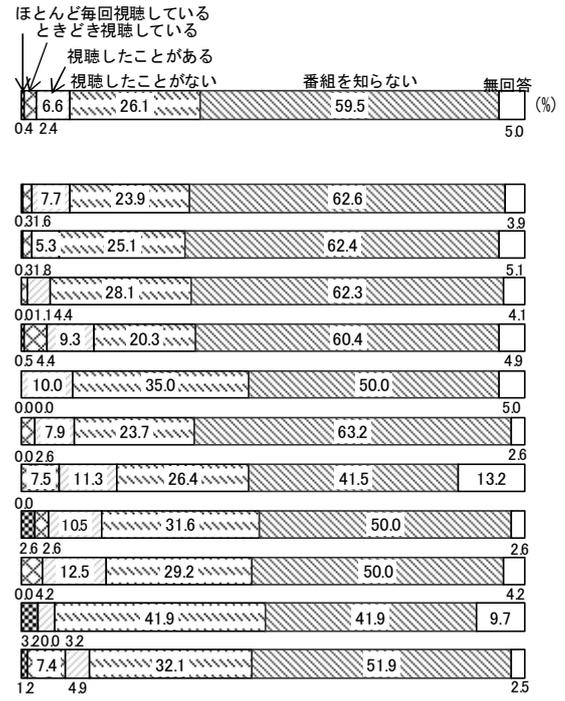
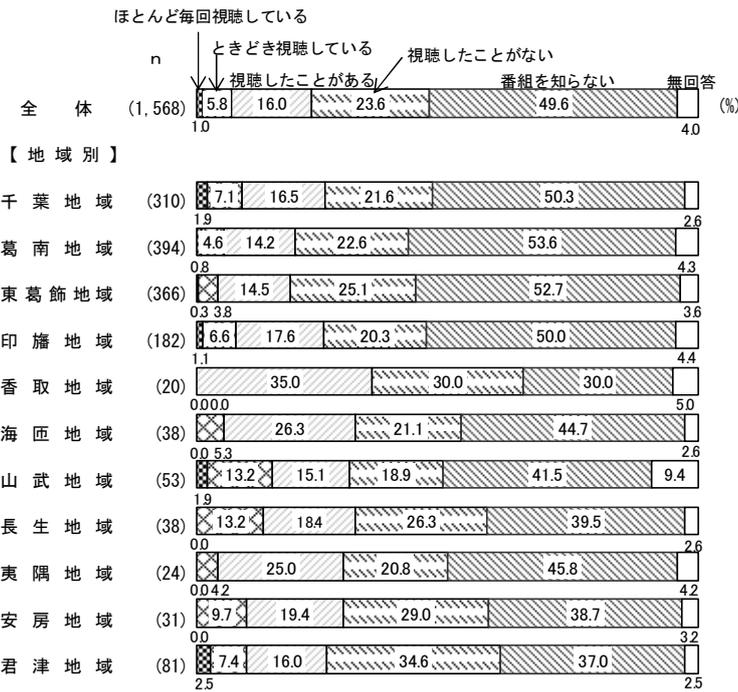
＜図表8-16＞県の広報・魅力発信番組の視聴状況／地域別、性・年代別

(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ） (イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）

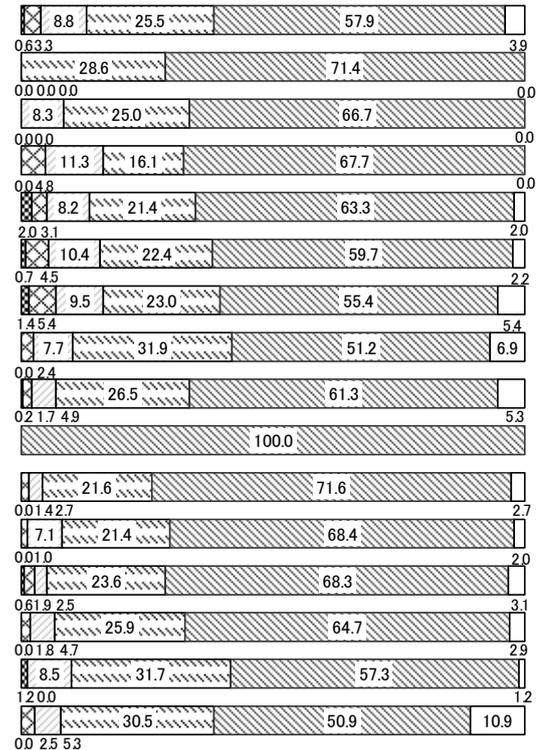
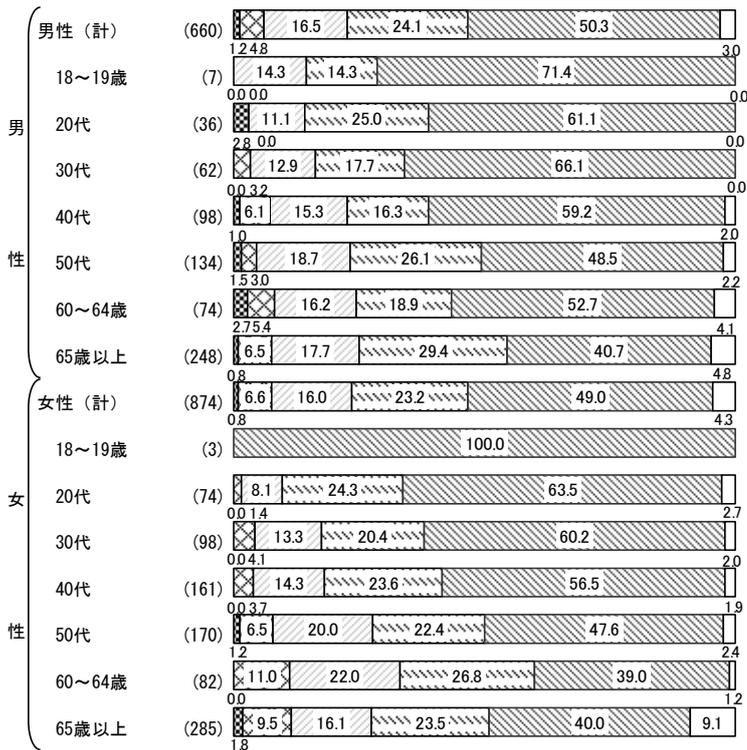


(ウ) 〈県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）〉

(エ) 〈県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）〉



【 性・年代別 】

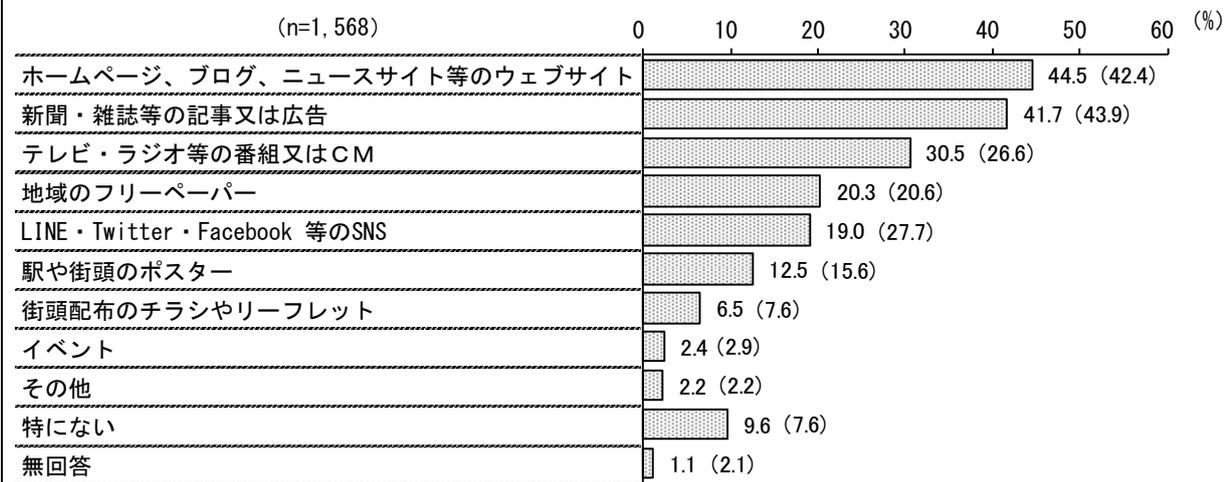


（6）情報の入手媒体

◇「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」が4割台半ば

問45 あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。（○はいくつでも）

＜図表8-17＞情報の入手媒体（複数回答）



注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしているか聞いたところ、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」(44.5%)が4割台半ばで最も高く、以下、「新聞・雑誌等の記事又は広告」(41.7%)、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(30.5%)、「地域のフリーペーパー」(20.3%)が続く。(図表8-17)

【地域別】

地域別にみると、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は“葛南地域”(49.7%)と“東葛飾地域”(49.5%)が約5割で高くなっている。

「新聞・雑誌等の記事又は広告」は“海匝地域”(60.5%)が6割で高くなっている。

「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は“君津地域”(42.0%)が4割を超えて高くなっている。

「地域のフリーペーパー」は“香取地域”(45.0%)が4割台半ばで高くなっている。

(図表8-18)

【性・年代別】

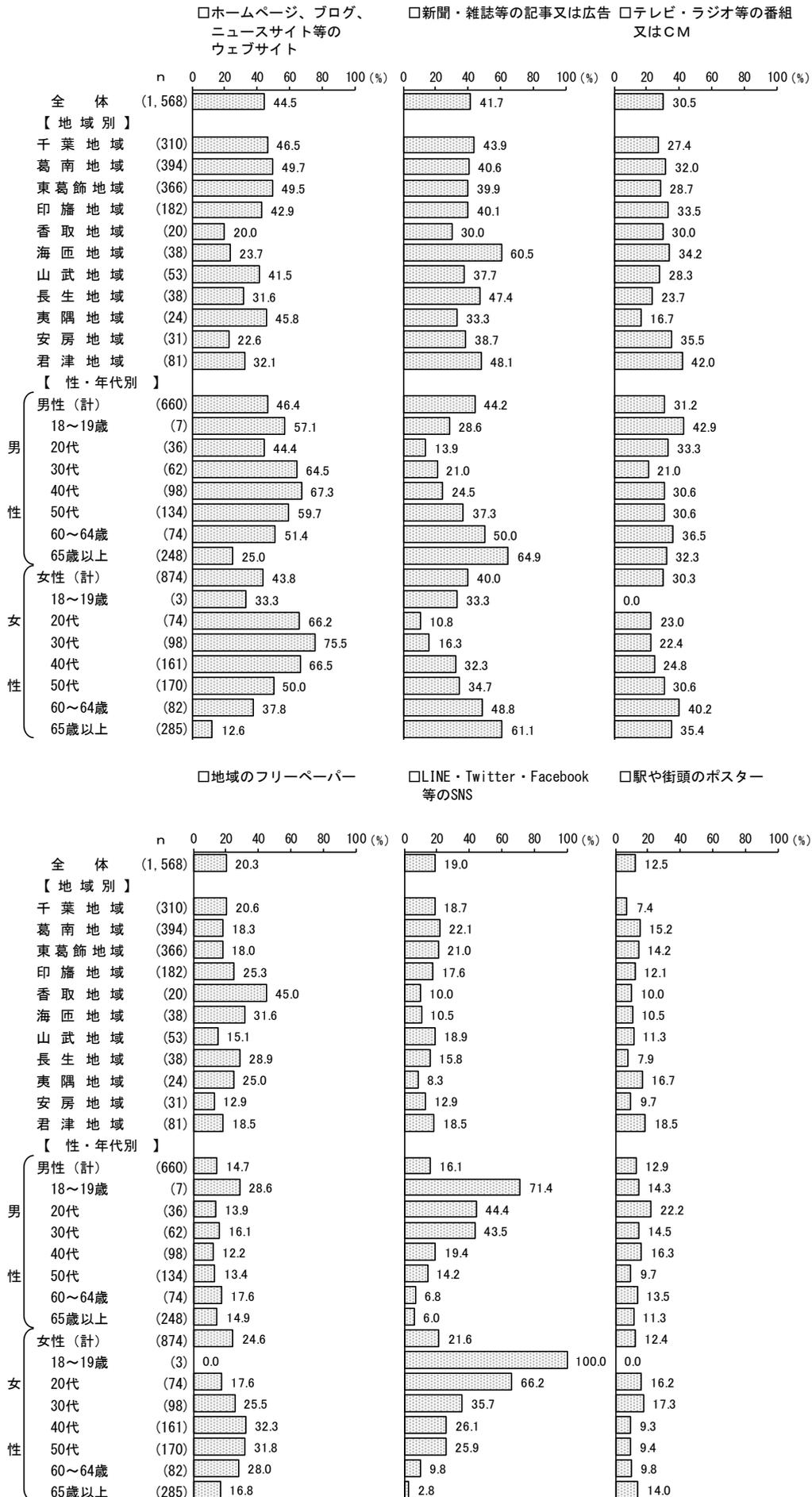
性・年代別にみると、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は女性の30代(75.5%)が7割台半ば、男性の40代(67.3%)が約7割、男性の30代(64.5%)、女性の20代(66.2%)、女性の40代(66.5%)が6割台半ば、男性の50代(59.7%)が約6割で高くなっている。

「新聞・雑誌等の記事又は広告」は男性の65歳以上(64.9%)が6割台半ば、女性の65歳以上(61.1%)が6割を超えて高くなっている。

「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は女性の60～64歳(40.2%)が4割、女性の65歳以上(35.4%)が3割台半ばで高くなっている。

「地域のフリーペーパー」は女性の40代(32.3%)と女性の50代(31.8%)が3割を超えて高くなっている。(図表8-18)

＜図表8-18＞情報の入手媒体（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



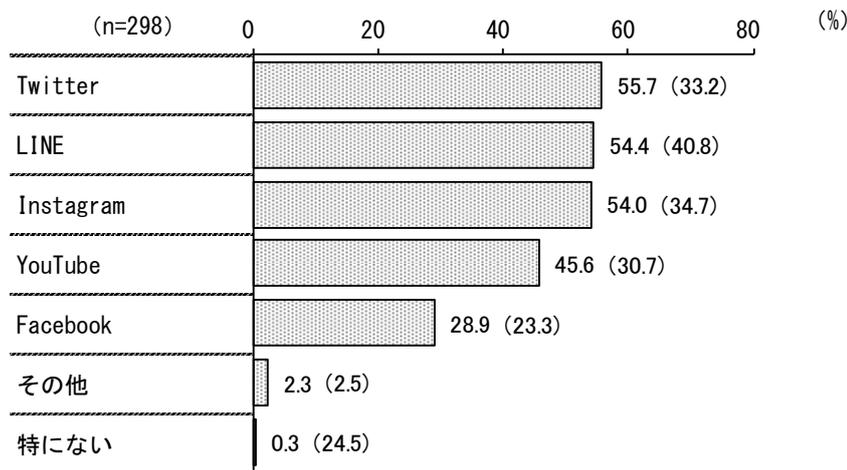
（6－1）SNSの種類

◇「Twitter」が5割台半ば

（問45で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」をお答えの方に）

問45－1 どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。（〇はいくつでも）

<図表8－19> SNSの種類（複数回答）

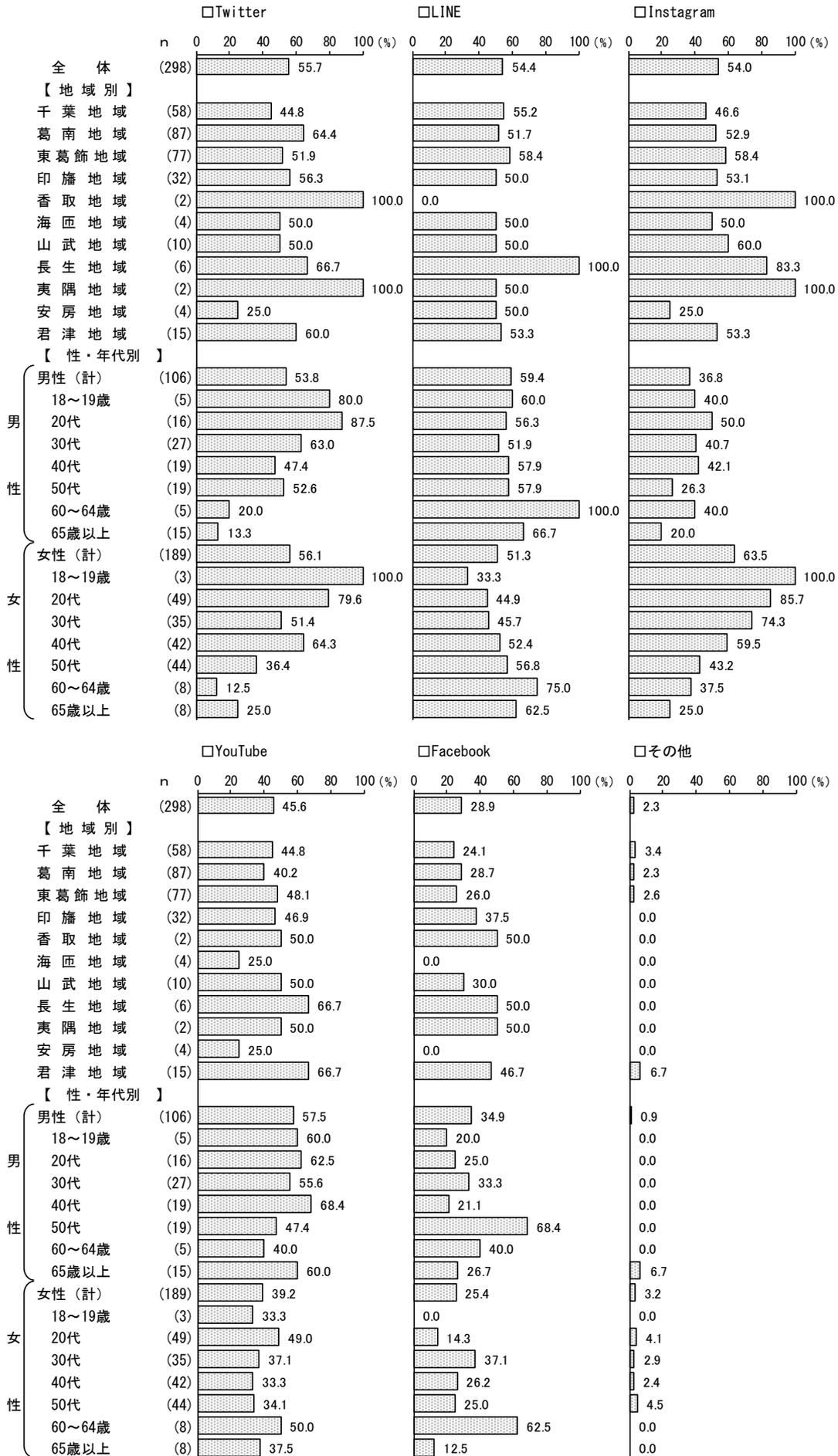


注) () の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=404

情報の入手媒体で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」と回答した298人を対象に、利用しているSNSの種類を聞いたところ、「Twitter」(55.7%)が5割台半ばで最も高く、以下、「LINE」(54.4%)、「Instagram」(54.0%)、「YouTube」(45.6%)が続く。(図表8－19)

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。
 (8ページ「報告書の見方(6)」を参照)
 (図表8－20)

＜図表8-20＞SNSの種類（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

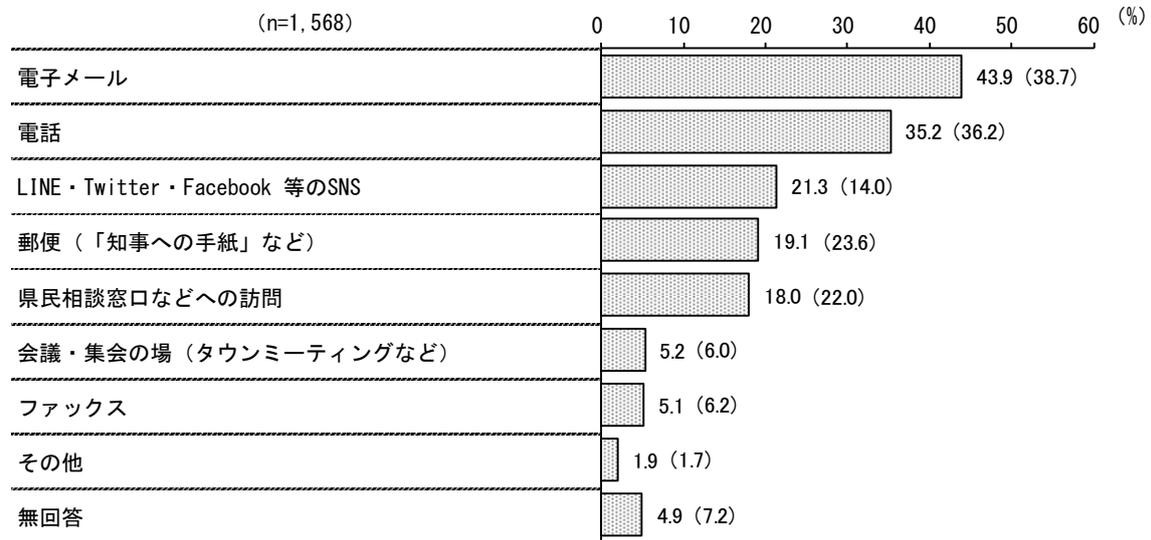


（7）県政への意見を述べる方法

◇「電子メール」が4割台半ば

問46 あなたは、県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で県に対するご意見を述べたいと思いますか。（〇は3つまで）

＜図表8-21＞県政への意見を述べる方法（3つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で意見を述べたいか3つまで選んでもらったところ、「電子メール」（43.9%）が4割台半ばで最も高く、以下、「電話」（35.2%）、「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」（21.3%）が続く。（図表8-21）

【地域別】

地域別にみると、「電子メール」は“葛南地域”（50.0%）が5割で高くなっている。

「郵便（『知事への手紙』など）」は“香取地域”（40.0%）が4割で高くなっている。

（図表8-22）

【性・年代別】

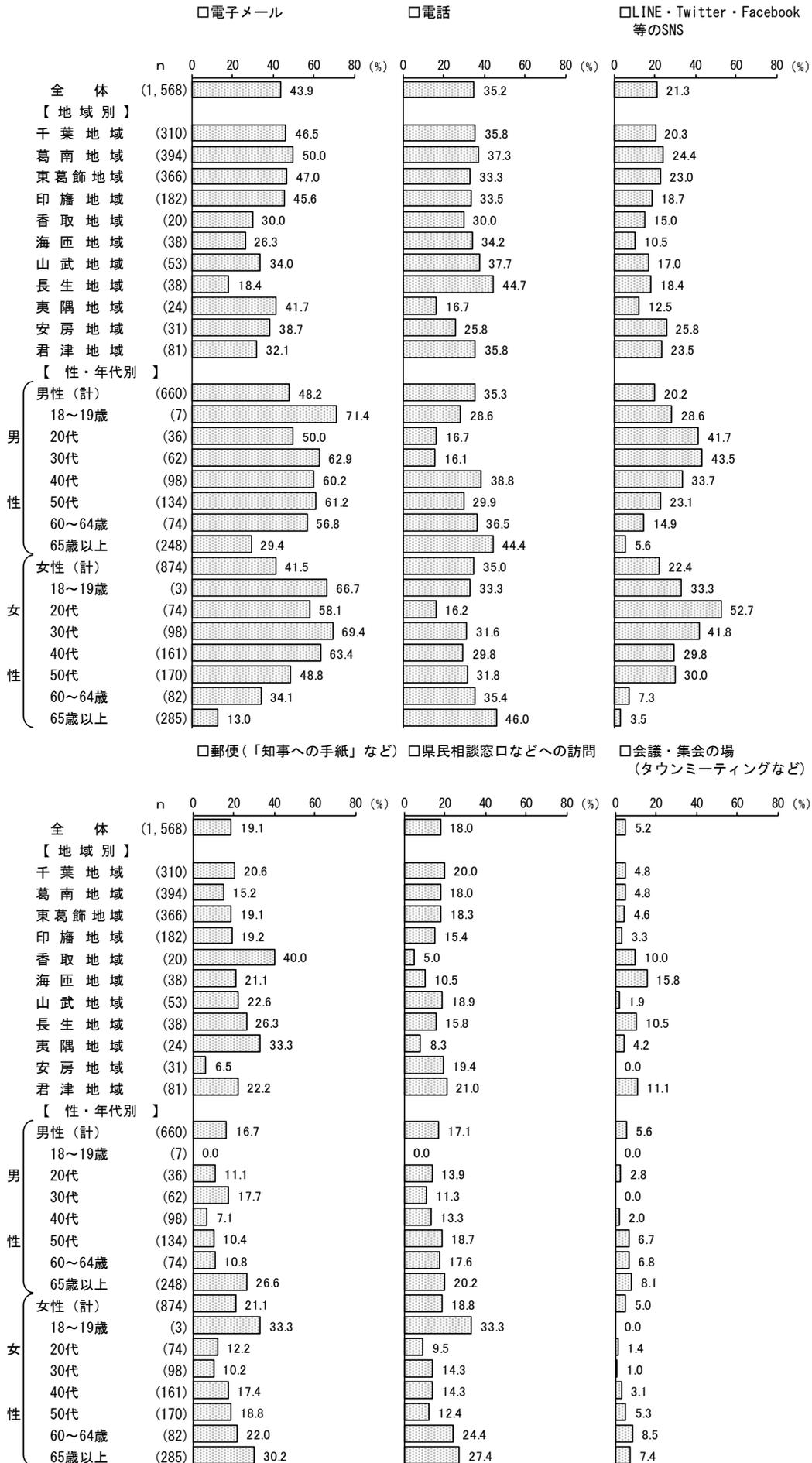
性・年代別にみると、「電子メール」は女性の30代（69.4%）が約7割、男性の30代（62.9%）、男性の50代（61.2%）、女性の40代（63.4%）が6割を超え、男性の40代（60.2%）が6割、女性の20代（58.1%）が約6割、男性の60～64歳（56.8%）が5割台半ばで高くなっている。

「電話」は男性の65歳以上（44.4%）と女性の65歳以上（46.0%）が4割台半ばで高くなっている。

「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」は女性の20代（52.7%）が5割を超え、男性の30代（43.5%）が4割台半ば、男性の20代（41.7%）と女性の30代（41.8%）が4割を超え、男性の40代（33.7%）が3割台半ば、女性の50代（30.0%）が3割、女性の40代（29.8%）が約3割で高くなっている。

「郵便（『知事への手紙』など）」は女性の65歳以上（30.2%）が3割、男性の65歳以上（26.6%）が2割台半ばで高くなっている。（図表8-22）

<図表8-22> 県政への意見を述べる方法（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



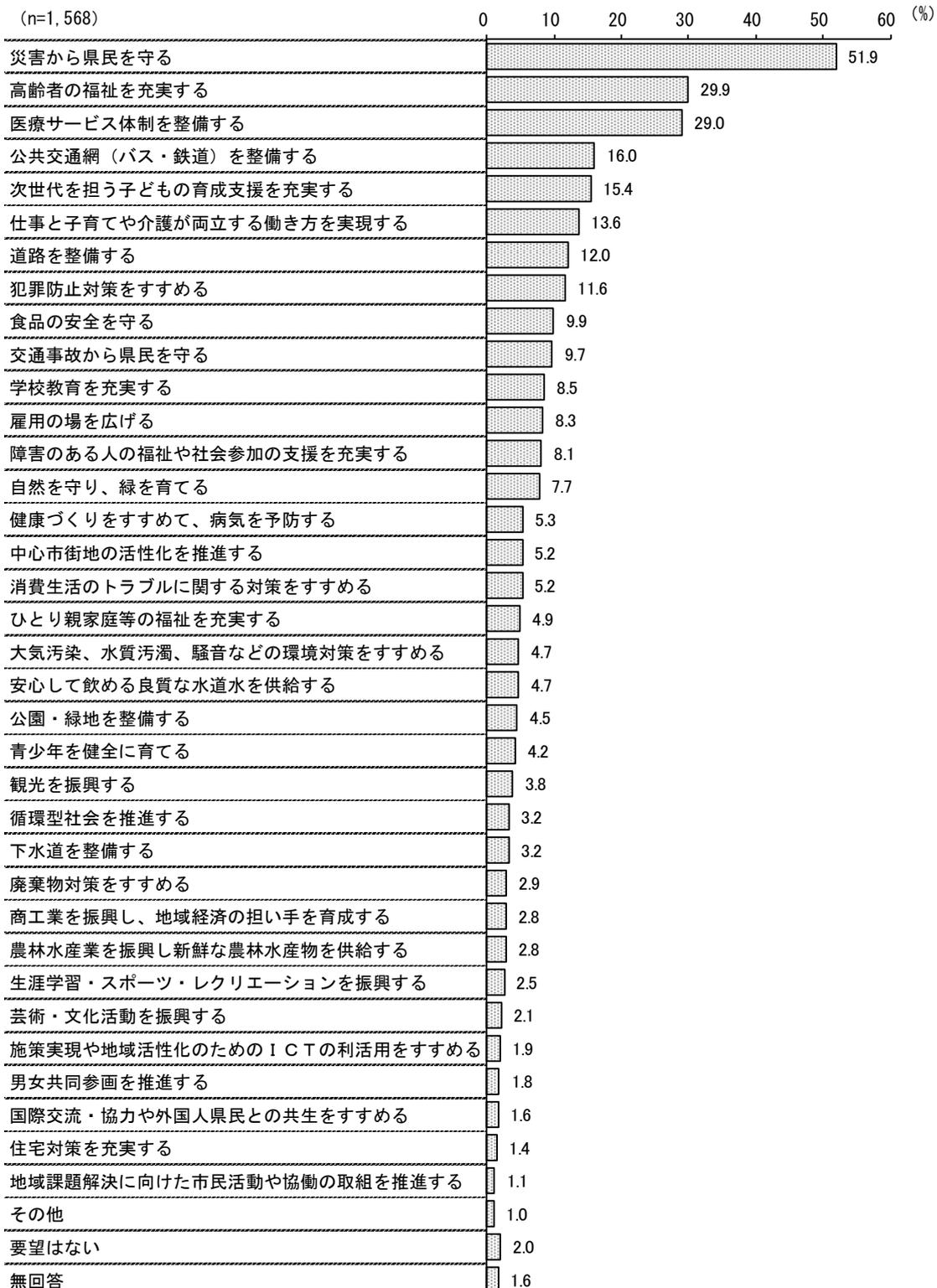
9 県政への要望

（1）県政への要望

◇「災害から県民を守る」が5割を超える

問47 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表9-1＞県政への要望（3つまでの複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」（51.9%）が1位で県民からの要望が特に高い。次いで「高齢者の福祉を充実する」（29.9%）が2位となっており、以下、「医療サービス体制を整備する」（29.0%）が3位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（16.0%）が4位、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（15.4%）が5位と続く。

（図表9-1）

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」はすべての地域で1位となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は“千葉地域”、“東葛飾地域”、“印旛地域”、“海匝地域”、“安房地域（同率）”、“君津地域”で2位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は“葛南地域”、“香取地域”、“山武地域”、“長生地域”、“夷隅地域”、“安房地域（同率）”で2位となっている。

「雇用の場を広げる」は“安房地域”で2位（同率）となっている。

（図表9-3～図表9-4）

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに1位は「災害から県民を守る」で変わりはないが、男性は「医療サービス体制を整備する」が2位、「高齢者の福祉を充実する」が3位、女性では「高齢者の福祉を充実する」が2位、「医療サービス体制を整備する」が3位と順位に違いが見られる。

また、女性では「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」が4位（男性は10位）、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が5位（男性は6位）で要望に男女で違いが見られる。

性・年代別にみると、「災害から県民を守る」はすべての性・年代で1位となっている。

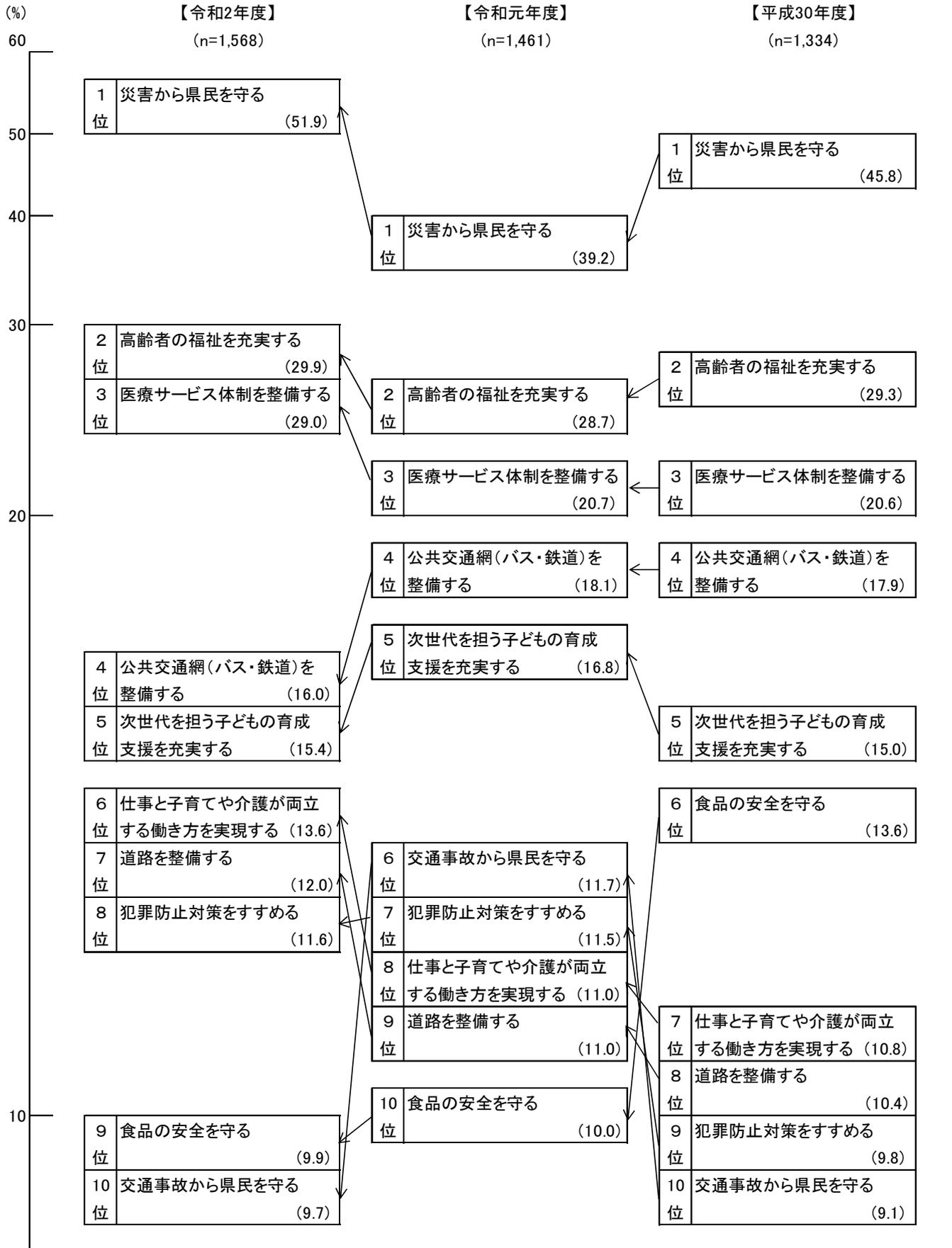
（図表9-5～図表9-6）

【参考】平成30年度以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表9-2）

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は令和元年度（39.2%）に引き続き1位（51.9%）で、12.7ポイント増加している。
2. 2位の「高齢者の福祉を充実する」（29.9%）、3位の「医療サービス体制を整備する」（29.0%）、4位の「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（16.0%）、5位の「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（15.4%）は令和元年度と同じ順位となっている。
3. 「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は令和元年度の8位（11.0%）から6位（13.6%）へ、「道路を整備する」は令和元年度の9位（11.0%）から7位（12.0%）へ順位を上げている。
4. 「交通事故から県民を守る」は令和元年度の6位（11.7%）から10位（9.7%）へ順位を下げている。

<図表9-2> 県政への要望（3つまでの複数回答）／上位10項目の推移



<図表9-3> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位）／地域別

属性	順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,568	災害から県民を守る (51.9)	高齢者の福祉を 充実する (29.9)	医療サービス体制を 整備する (29.0)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (16.0)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (15.4)
【地域別】							
千葉地域		310	災害から県民を守る (52.6)	高齢者の福祉を 充実する (33.2)	医療サービス体制を 整備する (30.0)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (15.5)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (14.2)
葛南地域		394	災害から県民を守る (49.7)	医療サービス体制を 整備する (29.2)	高齢者の福祉を 充実する (26.4)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (17.3)	仕事と子育てや介護 が両立する働き方を 実現する (17.0)
東葛飾地域		366	災害から県民を守る (52.5)	高齢者の福祉を 充実する (31.1)	医療サービス体制を 整備する (25.1)	犯罪防止対策をす すめる (15.6)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (14.8)
印旛地域		182	災害から県民を守る (47.3)	高齢者の福祉を 充実する (30.8)	医療サービス体制を 整備する (29.1)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (16.5)	公共交通網(バス・鉄 道)を整備する/食品 の安全を守る (13.7)
香取地域		20	災害から県民を守る (65.0)	医療サービス体制を 整備する (50.0)	高齢者の福祉を 充実する (30.0)	仕事と子育てや介護 が両立する働き方を 実現する (25.0)	公共交通網(バス・鉄 道)を整備する/農林 水産業を振興し新鮮 な農林水産物を供給 する/大気汚染、水質 汚濁、騒音などの環境 対策をすすめる/観光 を振興する (15.0)
海匝地域		38	災害から県民を守る (50.0)	高齢者の福祉を 充実する (28.9)	医療サービス体制を整備する/公共交通網(バス・鉄道)を整備 する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.4)		
山武地域		53	災害から県民を守る (60.4)	医療サービス体制を 整備する (47.2)	高齢者の福祉を 充実する (26.4)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (22.6)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (20.8)
長生地域		38	災害から県民を守る (60.5)	医療サービス体制を 整備する (42.1)	高齢者の福祉を 充実する (31.6)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (23.7)	道路を整備する (21.1)
夷隅地域		24	災害から県民を守る (45.8)	医療サービス体制を 整備する (37.5)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (33.3)	高齢者の福祉を 充実する (29.2)	交通事故から県民を 守る (20.8)
安房地域		31	災害から県民を守る (77.4)	医療サービス体制を整備する/高齢者の福祉を充実する/雇用の 場を広げる (25.8)		公共交通網(バス・鉄 道)を整備する/仕事と 子育てや介護が両立 する働き方を実現する (16.1)	
君津地域		81	災害から県民を守る (51.9)	高齢者の福祉を 充実する (30.9)	医療サービス体制を 整備する (25.9)	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (19.8)	次世代を担う子ども の育成支援を充実 する (14.8)

<図表9-4> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位）／地域別

属性	順位	n	6位	7位	8位	9位	10位	
全体		1,568	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.6)	道路を整備する (12.0)	犯罪防止対策をすすめる (11.6)	食品の安全を守る (9.9)	交通事故から県民を守る (9.7)	
【地域別】								
千葉地域		310	犯罪防止対策をすすめる (12.9)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (11.3)	交通事故から県民を守る/道路を整備する (10.3)		食品の安全を守る (9.7)	
葛南地域		394	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.5)	道路を整備する (14.2)	犯罪防止対策をすすめる (10.7)	学校教育を充実する (10.4)	交通事故から県民を守る (9.4)	
東葛飾地域		366	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (13.1)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (11.7)	道路を整備する/交通事故から県民を守る/食品の安全を守る (11.5)		
印旛地域		182	-	道路を整備する (12.1)	犯罪防止対策をすすめる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (11.5)		自然を守り、緑を育てる (9.9)	
香取地域		20	-	-	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/学校教育を充実する/雇用の場を広げる (10.0)			
海匝地域		38	道路を整備する (15.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (13.2)	雇用の場を広げる (10.5)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる/自然を守り、緑を育てる/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/中心市街地の活性化を推進する (7.9)		
山武地域		53	道路を整備する (13.2)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/雇用の場を広げる (11.3)	安心して飲める良質な水道水を供給する (9.4)	犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する (7.5)		
長生地域		38	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (18.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.8)	下水道を整備する (13.2)	健康づくりをすすめて、病気を予防する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (7.9)		
夷隅地域		24	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/健康づくりをすすめて、病気を予防する/雇用の場を広げる (16.7)				道路を整備する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる (12.5)	
安房地域		31	-	食品の安全を守る (12.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/観光を振興する/学校教育を充実する/中心市街地の活性化を推進する (9.7)			
君津地域		81	交通事故から県民を守る (13.6)	雇用の場を広げる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/犯罪防止対策をすすめる (11.1)		道路を整備する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.6)		

<図表9-5> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位）／性別、性・年代別

属性	順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,568	災害から県民を守る (51.9)	高齢者の福祉を充実する (29.9)	医療サービス体制を整備する (29.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.4)
【性・年代別】							
男性（計）		660	災害から県民を守る (56.1)	医療サービス体制を整備する (28.5)	高齢者の福祉を充実する (27.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.3)	道路を整備する (15.2)
18～19歳		7	災害から県民を守る (42.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/交通事故から県民を守る (28.6)		道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる/食品の安全を守る/自然を守り、緑を育てる/雇用の場を広げる/学校教育を充実する/青少年を健全に育てる (14.3)	
20代		36	災害から県民を守る (47.2)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (25.0)	医療サービス体制を整備する (19.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/交通事故から県民を守る/食品の安全を守る/観光を振興する (13.9)	
30代		62	災害から県民を守る (46.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (41.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (24.2)	医療サービス体制を整備する (22.6)	自然を守り、緑を育てる (21.0)
40代		98	災害から県民を守る (53.1)	医療サービス体制を整備する (28.6)	犯罪防止対策をすすめる (21.4)	道路を整備する (20.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.4)
50代		134	災害から県民を守る (56.7)	医療サービス体制を整備する (31.3)	高齢者の福祉を充実する (27.6)	道路を整備する (22.4)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (20.1)
60～64歳		74	災害から県民を守る (64.9)	高齢者の福祉を充実する (28.4)	医療サービス体制を整備する (25.7)	道路を整備する (18.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.9)
65歳以上		248	災害から県民を守る (58.5)	高齢者の福祉を充実する (39.9)	医療サービス体制を整備する (31.5)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (10.5)
女性（計）		874	災害から県民を守る (49.1)	高齢者の福祉を充実する (32.4)	医療サービス体制を整備する (29.4)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (17.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.9)
18～19歳		3	災害から県民を守る (66.7)	医療サービス体制を整備する/交通事故から県民を守る/自然を守り、緑を育てる/健康づくりをすすめて、病気を予防する/観光を振興する/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる/芸術・文化活動を振興する (33.3)			
20代		74	災害から県民を守る (39.2)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (28.4)		医療サービス体制を整備する (20.3)	犯罪防止対策をすすめる (18.9)
30代		98	災害から県民を守る (40.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (34.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (33.7)	医療サービス体制を整備する (32.7)	学校教育を充実する (18.4)
40代		161	災害から県民を守る (45.3)	医療サービス体制を整備する (28.6)	高齢者の福祉を充実する (23.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (20.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.6)
50代		170	災害から県民を守る (52.4)	高齢者の福祉を充実する (33.5)	医療サービス体制を整備する (31.2)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (16.5)	犯罪防止対策をすすめる (15.9)
60～64歳		82	災害から県民を守る (58.5)	医療サービス体制を整備する (37.8)	高齢者の福祉を充実する (35.4)	食品の安全を守る (18.3)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.6)
65歳以上		285	災害から県民を守る (51.6)	高齢者の福祉を充実する (51.2)	医療サービス体制を整備する (27.7)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.7)	食品の安全を守る (13.0)

<図表9-6> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位）／性別、性・年代別

順位 属性	n	6位	7位	8位	9位	10位
全体	1,568	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.6)	道路を整備する (12.0)	犯罪防止対策をすすめる (11.6)	食品の安全を守る (9.9)	交通事故から県民を守る (9.7)
【性・年代別】						
男性（計）	660	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.7)	犯罪防止対策をすすめる (12.6)	交通事故から県民を守る (12.1)	食品の安全を守る (9.1)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (8.9)
18～19歳	7	-				
20代	36	-		犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する/青少年を健全に育てる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/ひとり親家庭等の福祉を充実する (11.1)		
30代	62	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (19.4)	犯罪防止対策をすすめる (17.7)	中心市街地の活性化を推進する/道路を整備する/公園・緑地を整備する (16.1)		
40代	98	交通事故から県民を守る/食品の安全を守る (16.3)		高齢者の福祉を充実する (15.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.3)	
50代	134	交通事故から県民を守る (17.9)	犯罪防止対策をすすめる (12.7)	食品の安全を守る (11.2)	雇用の場を広げる (10.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (9.0)
60～64歳	74	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる (12.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (10.8)	交通事故から県民を守る/食品の安全を守る/消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/公園・緑地を整備する (6.8)		
65歳以上	248	道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる (10.1)		雇用の場を広げる (8.5)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.1)	交通事故から県民を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (7.7)
女性（計）	874	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (15.2)	犯罪防止対策をすすめる (11.1)	食品の安全を守る (10.3)	道路を整備する (9.8)	学校教育を充実する (9.7)
18～19歳	3	-				
20代	74	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.2)	学校教育を充実する (12.2)	交通事故から県民を守る/高齢者の福祉を充実する (10.8)		障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (9.5)
30代	98	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.3)	公園・緑地を整備する (14.3)	道路を整備する (13.3)	交通事故から県民を守る/雇用の場を広げる (11.2)	
40代	161	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (18.0)	学校教育を充実する (16.1)	道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる (12.4)		交通事故から県民を守る (10.6)
50代	170	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (15.3)	雇用の場を広げる (12.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する (10.0)	学校教育を充実する/食品の安全を守る (8.8)	
60～64歳	82	道路を整備する (13.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (11.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/雇用の場を広げる/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.5)		
65歳以上	285	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (9.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.4)	道路を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (7.7)		

（1-1）各政策への具体的な要望

問48 問47で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問47で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

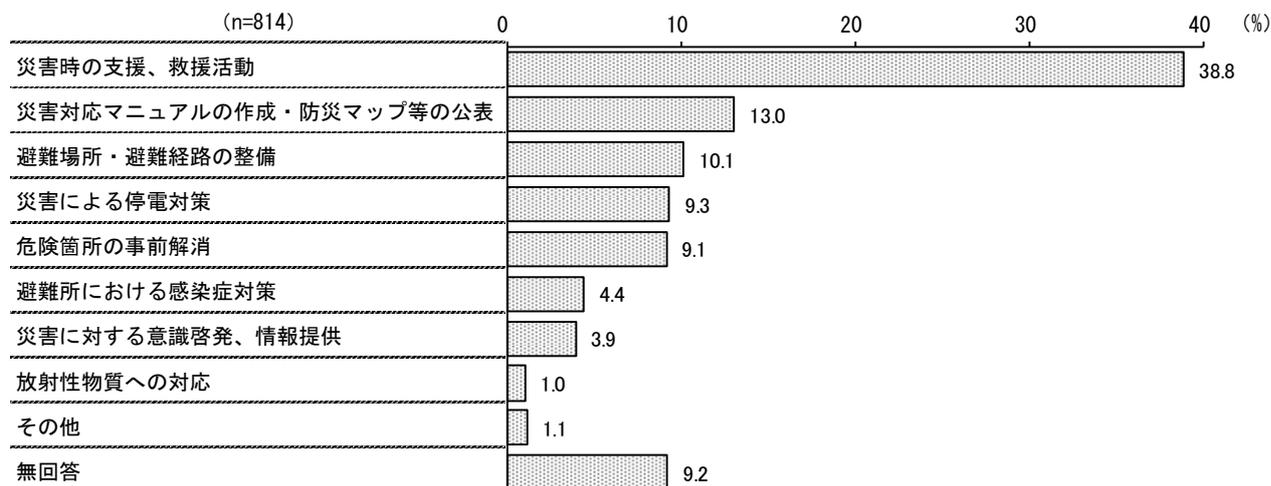
問47で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問47の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

1 災害から県民を守る（51.9%、1位）

「災害時の支援、救援活動」（38.8%）が約4割で最も高く、以下、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（13.0%）、「避難場所・避難経路の整備」（10.1%）が続く。

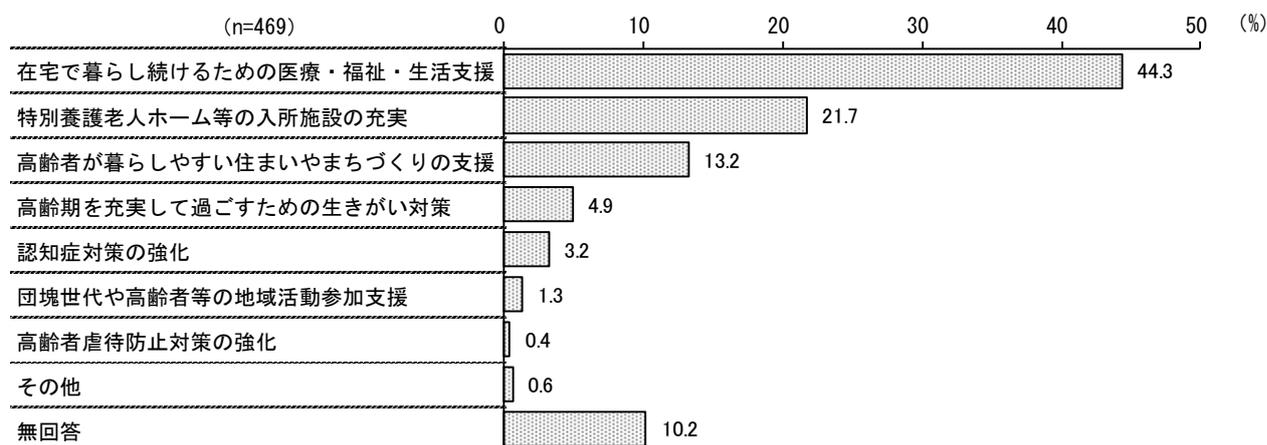
＜図表9-7＞災害から県民を守る



2 高齢者の福祉を充実する（29.9%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（44.3%）が4割台半ばで最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（21.7%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（13.2%）が続く。

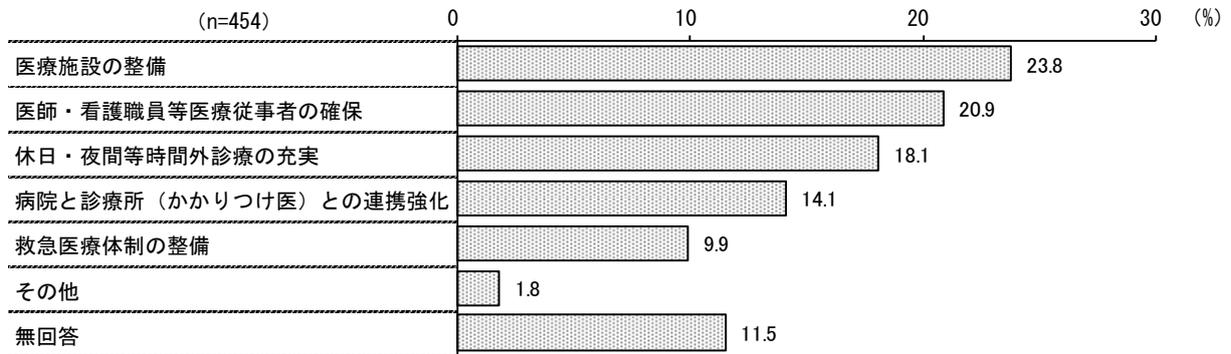
＜図表9-8＞高齢者の福祉を充実する



3 医療サービス体制を整備する（29.0%、3位）

「医療施設の整備」（23.8%）が2割台半ばで最も高く、以下、「医師・看護職員等医療従事者の確保」（20.9%）「休日・夜間等時間外診療の充実」（18.1%）が続く。

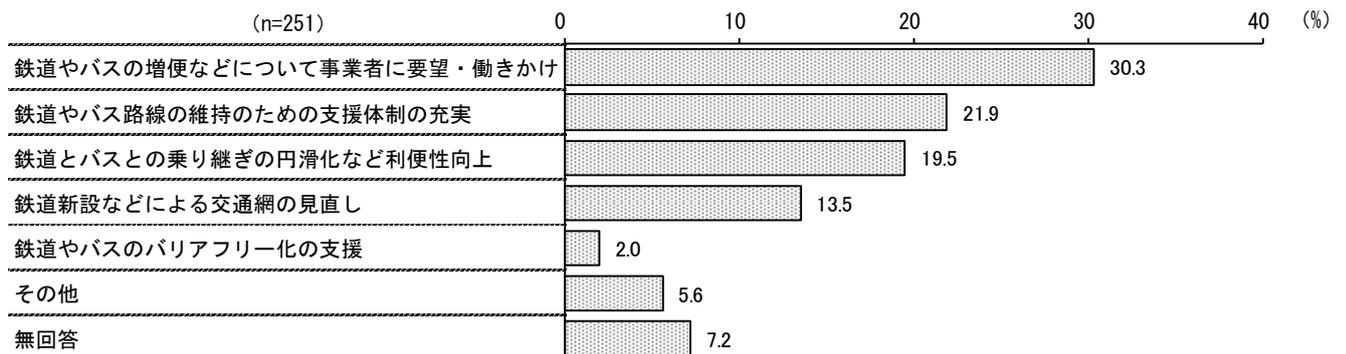
＜図表9-9＞医療サービス体制を整備する



4 公共交通網（バス・鉄道）を整備する（16.0%、4位）

「鉄道やバスの増便などについて事業者に要望・働きかけ」（30.3%）が3割で最も高く、以下、「鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実」（21.9%）、「鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上」（19.5%）が続く。

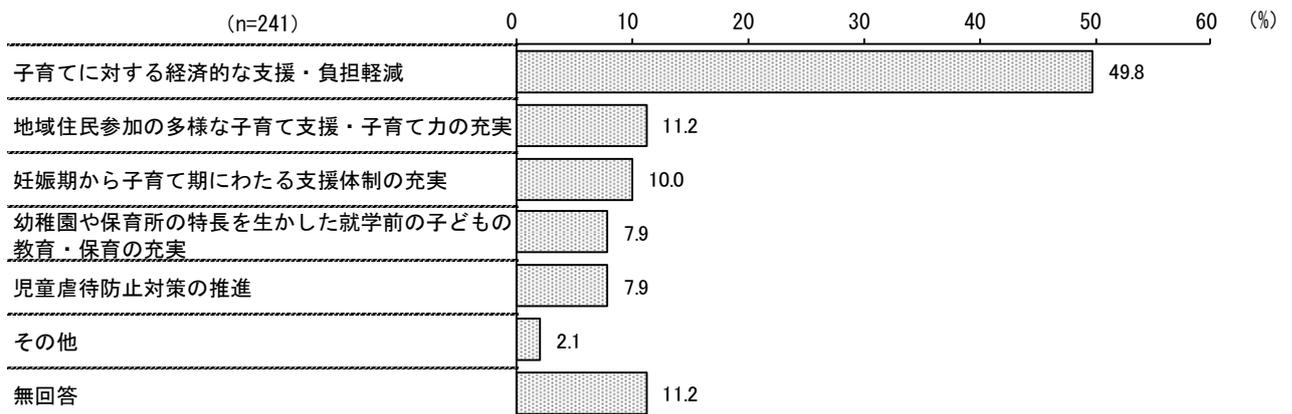
＜図表9-10＞公共交通網（バス・鉄道）を整備する



5 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（15.4%、5位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（49.8%）が約5割で最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（11.2%）、「妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実」（10.0%）が続く。

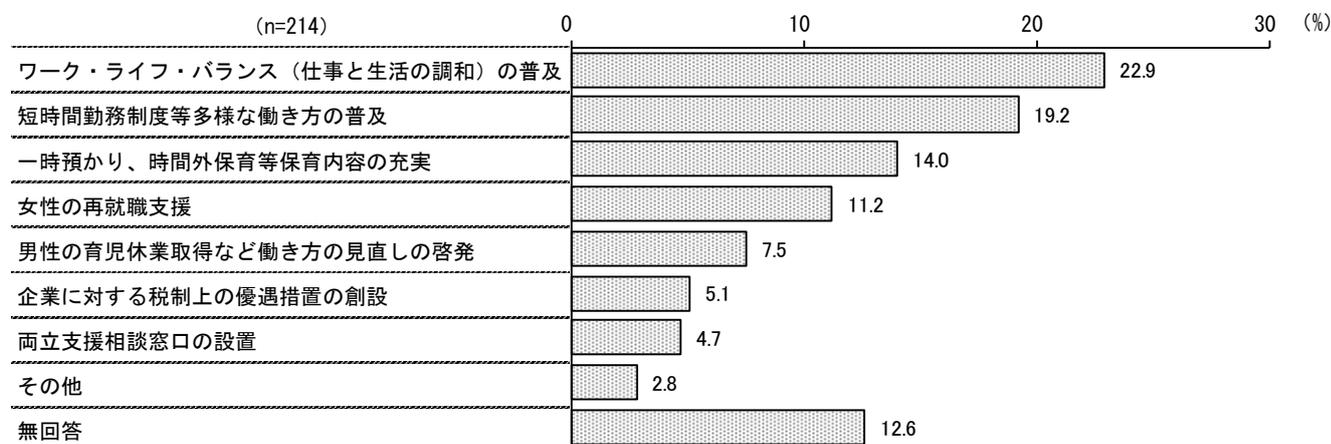
＜図表9-11＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



6 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する（13.6%、6位）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（22.9%）が2割を超えて最も高く、以下、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（19.2%）、「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（14.0%）が続く。

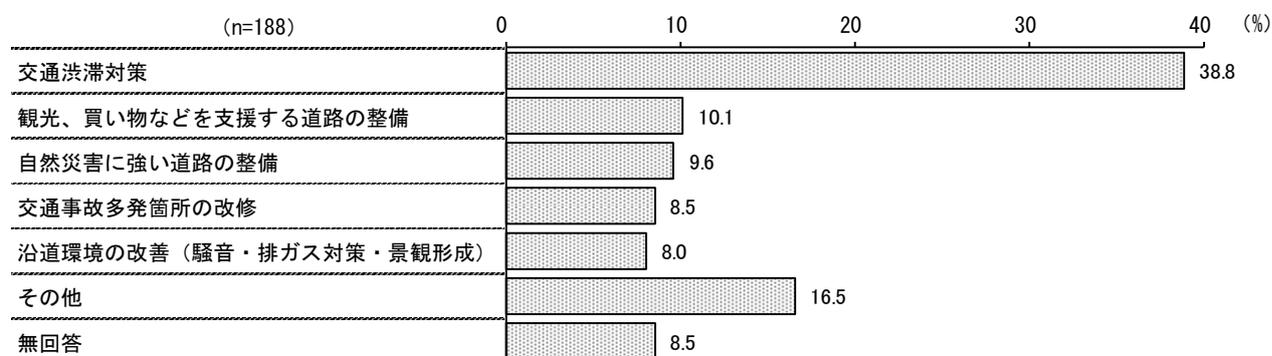
＜図表9-12＞仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する



7 道路を整備する（12.0%、7位）

「交通渋滞対策」（38.8%）が約4割で最も高く、以下、「観光、買い物などを支援する道路の整備」（10.1%）、「自然災害に強い道路の整備」（9.6%）が続く。

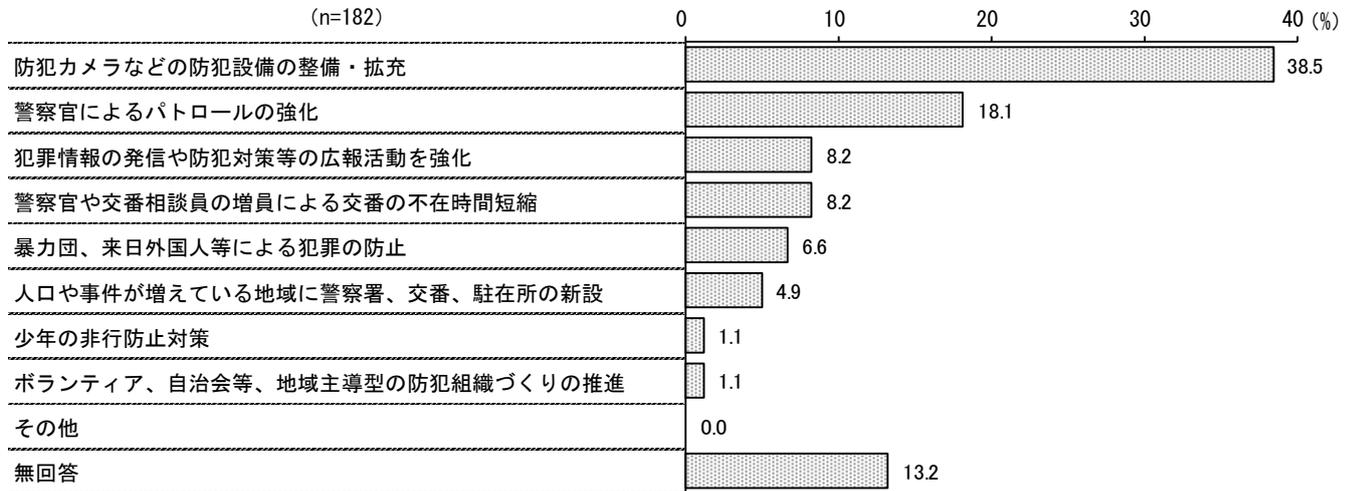
＜図表9-13＞道路を整備する



8 犯罪防止対策をすすめる（11.6%、8位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（38.5%）が約4割で最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（18.1%）、「犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化」と「警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮」（8.2%）が続く。

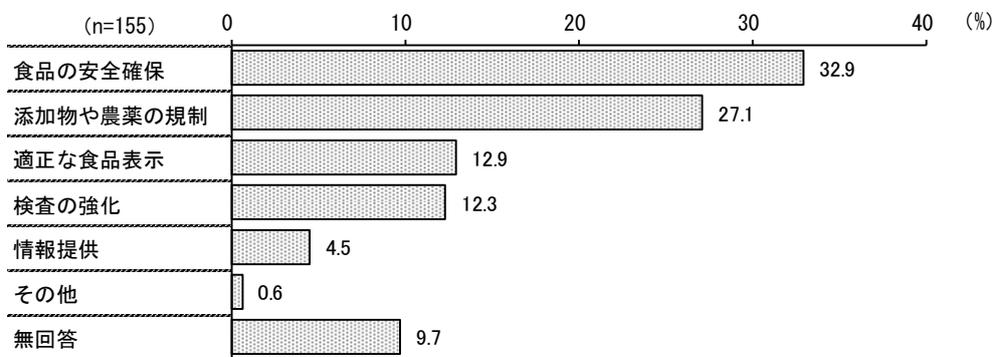
＜図表9-14＞犯罪防止対策をすすめる



9 食品の安全を守る（9.9%、9位）

「食品の安全確保」（32.9%）が3割を超えて最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（27.1%）、「適正な食品表示」（12.9%）が続く。

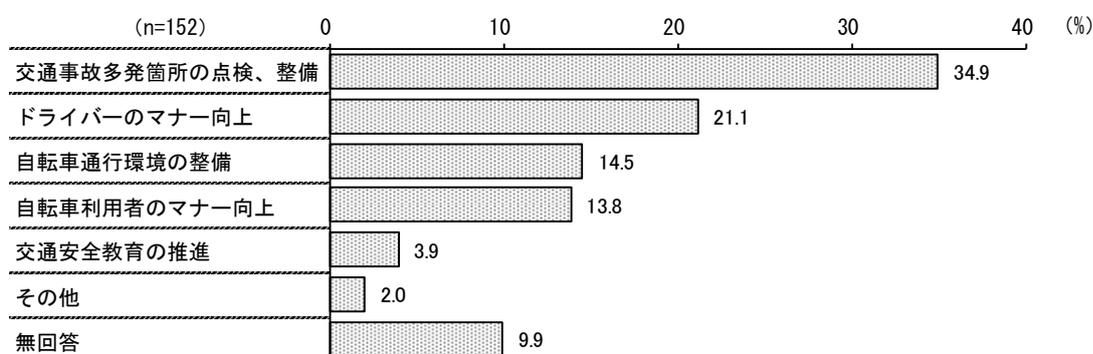
＜図表9-15＞食品の安全を守る



10 交通事故から県民を守る（9.7%、10位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（34.9%）が3割台半ばで最も高く、以下、「ドライバーのマナー向上」（21.1%）、「自転車通行環境の整備」（14.5%）が続く。

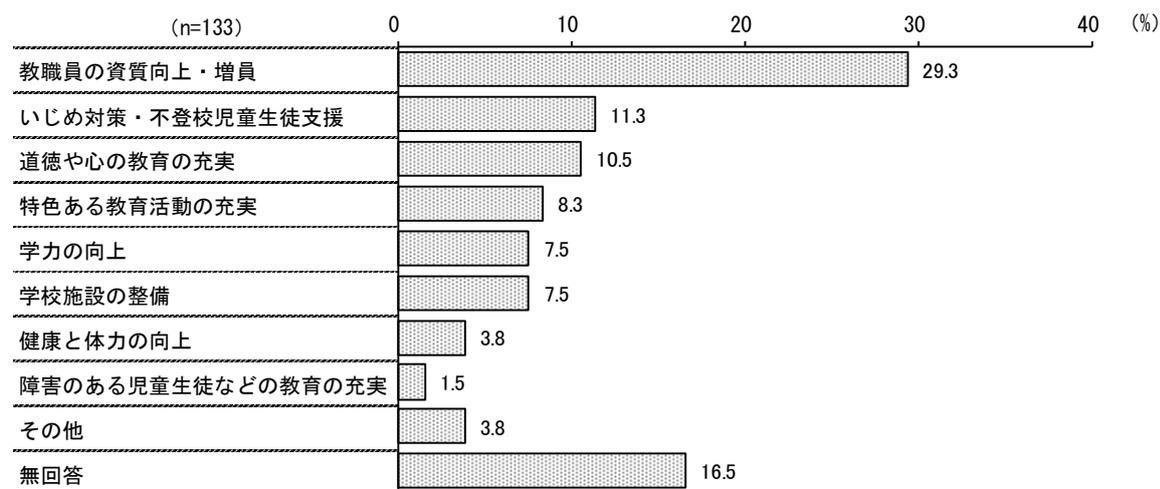
＜図表9-16＞交通事故から県民を守る



11 学校教育を充実する（8.5%、11位）

「教職員の資質向上・増員」（29.3%）が約3割で最も高く、以下、「いじめ対策・不登校児童生徒支援」（11.3%）、「道徳や心の教育の充実」（10.5%）が続く。

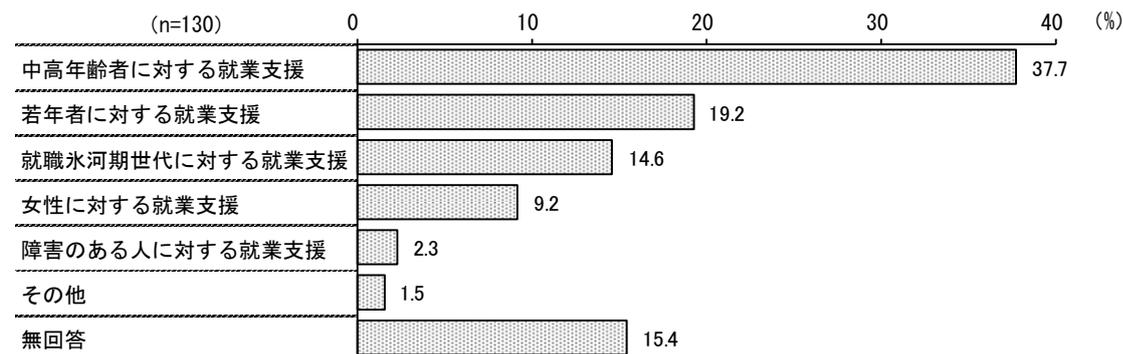
＜図表9-17＞学校教育を充実する



12 雇用の場を広げる（8.3%、12位）

「中高年齢者に対する就業支援」（37.7%）が約4割で最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（19.2%）、「就職氷河期世代に対する就業支援」（14.6%）が続く。

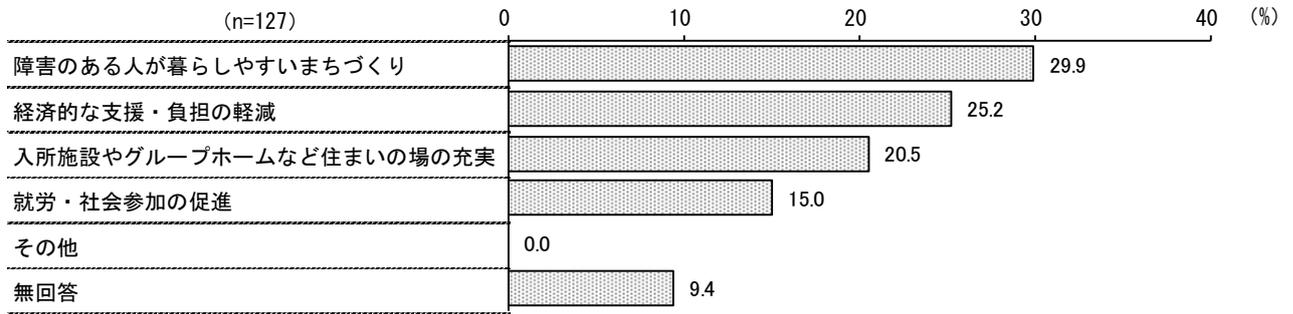
＜図表9-18＞雇用の場を広げる



13 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（8.1%、13位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（29.9%）が約3割で最も高く、以下、「経済的な支援・負担の軽減」（25.2%）、「入所施設やグループホームなど住まいの場の充実」（20.5%）が続く。

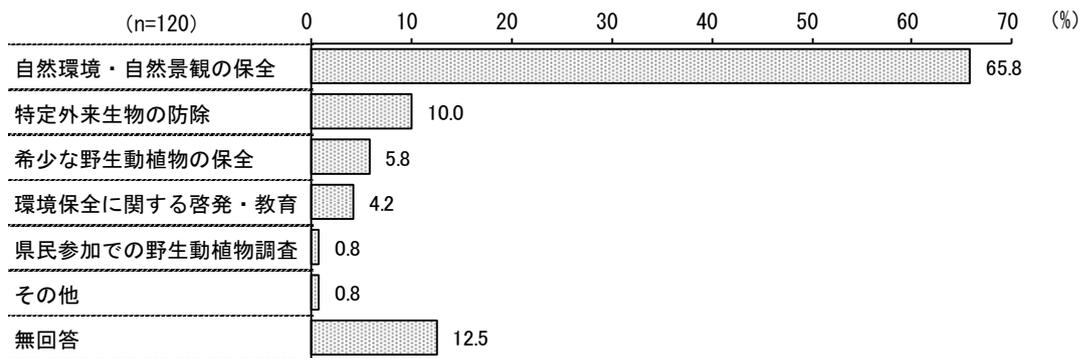
＜図表9-19＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



14 自然を守り、緑を育てる（7.7%、14位）

「自然環境・自然景観の保全」（65.8%）が6割台半ばで最も高く、以下、「特定外来生物の防除」（10.0%）、「希少な野生動植物の保全」（5.8%）が続く。

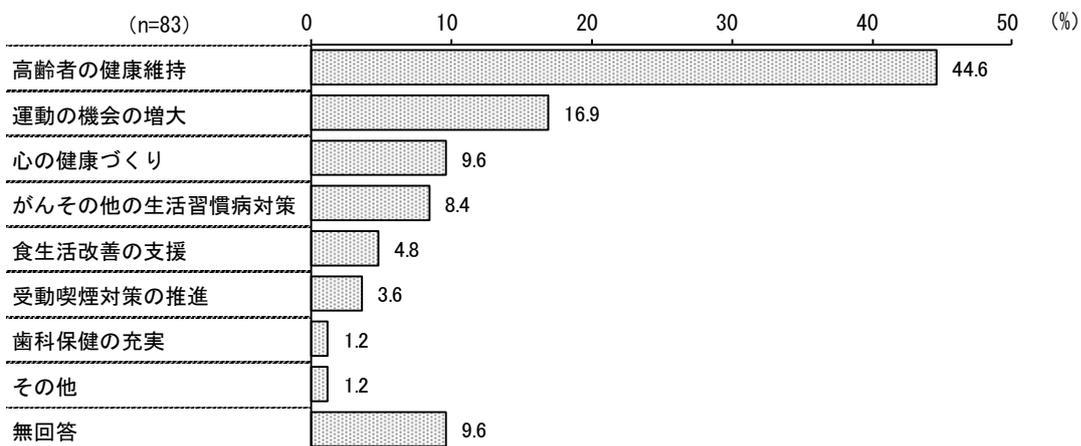
＜図表9-20＞自然を守り、緑を育てる



15 健康づくりをすすめて、病気を予防する（5.3%、15位）

「高齢者の健康維持」（44.6%）が4割台半ばで最も高く、以下、「運動の機会の増大」（16.9%）、「心の健康づくり」（9.6%）が続く。

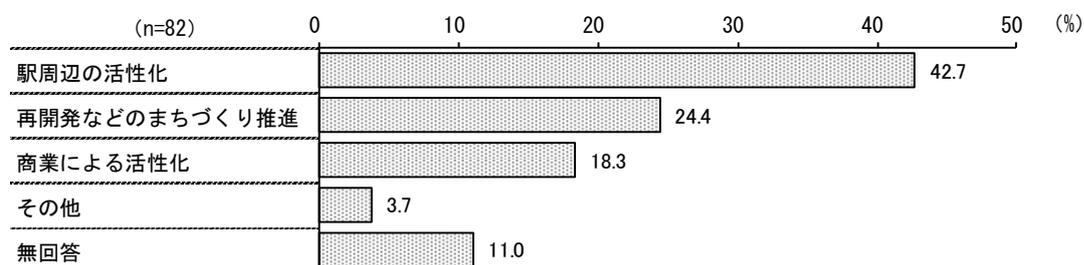
＜図表9-21＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



16 中心市街地の活性化を推進する（5.2%、16位）

「駅周辺の活性化」（42.7%）が4割を超えて最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（24.4%）、「商業による活性化」（18.3%）が続く。

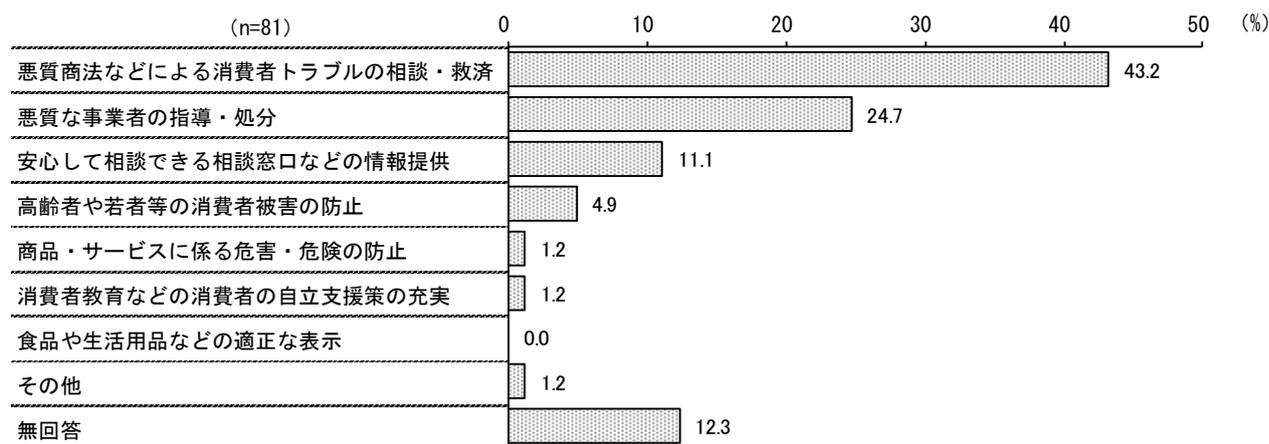
＜図表9-22＞中心市街地の活性化を推進する



17 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（5.2%、17位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（43.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（24.7%）、「安心して相談できる相談窓口などの情報提供」（11.1%）が続く。

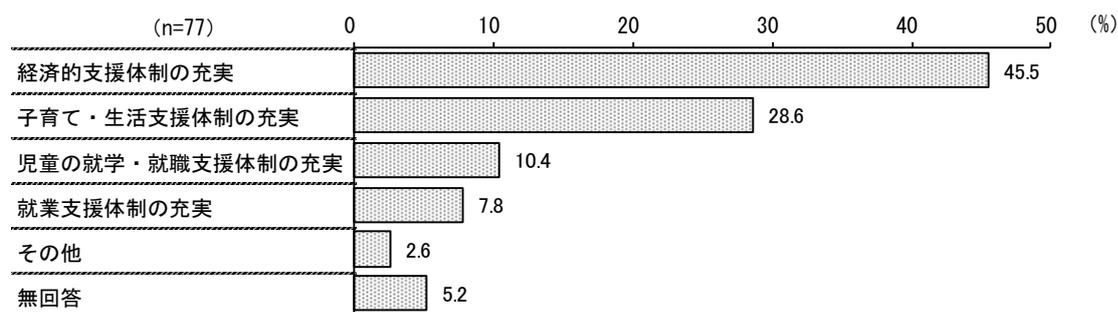
＜図表9-23＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



18 ひとり親家庭等の福祉を充実する（4.9%、18位）

「経済的支援体制の充実」（45.5%）が4割台半ばで最も高く、以下、「子育て・生活支援体制の充実」（28.6%）、「児童の就学・就職支援体制の充実」（10.4%）が続く。

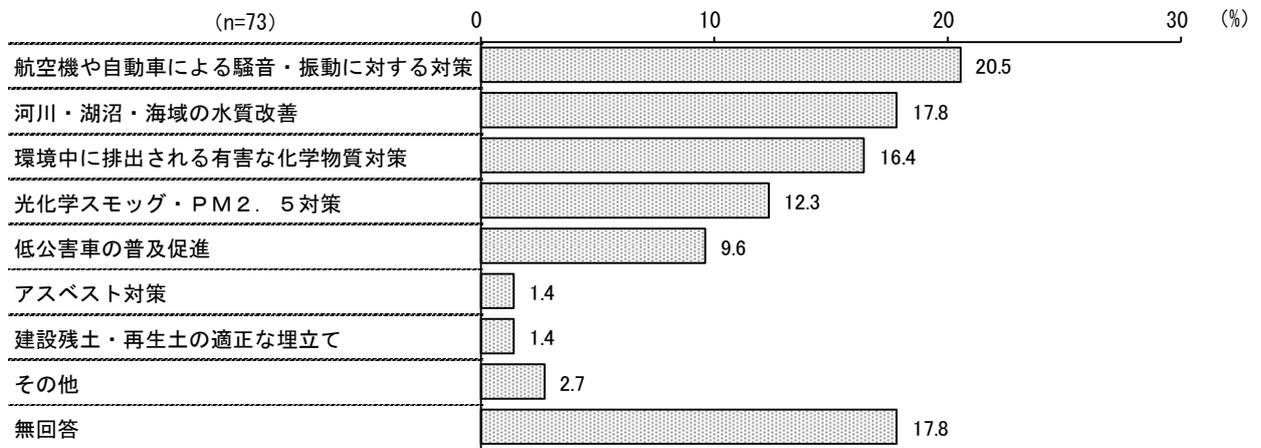
＜図表9-24＞ひとり親家庭等の福祉を充実する



19 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（4.7%、19位）

「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（20.5%）が2割で最も高く、以下、「河川・湖沼・海域の水質改善」（17.8%）、「環境中に排出される有害な化学物質対策」（16.4%）が続く。

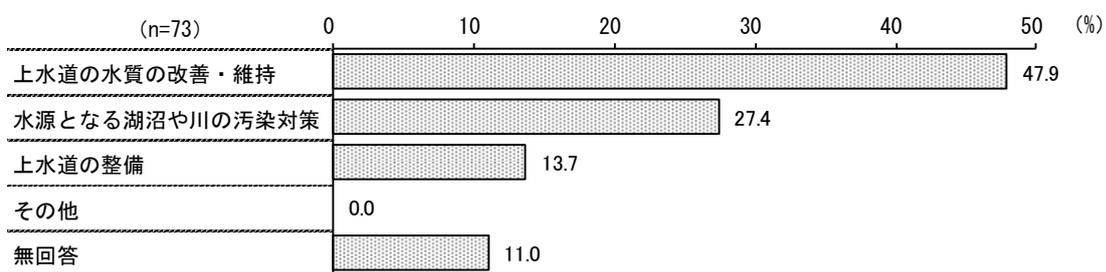
＜図表9-25＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



20 安心して飲める良質な水道水を供給する（4.7%、19位）

「上水道の水質の改善・維持」（47.9%）が約5割で最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（27.4%）、「上水道の整備」（13.7%）が続く。

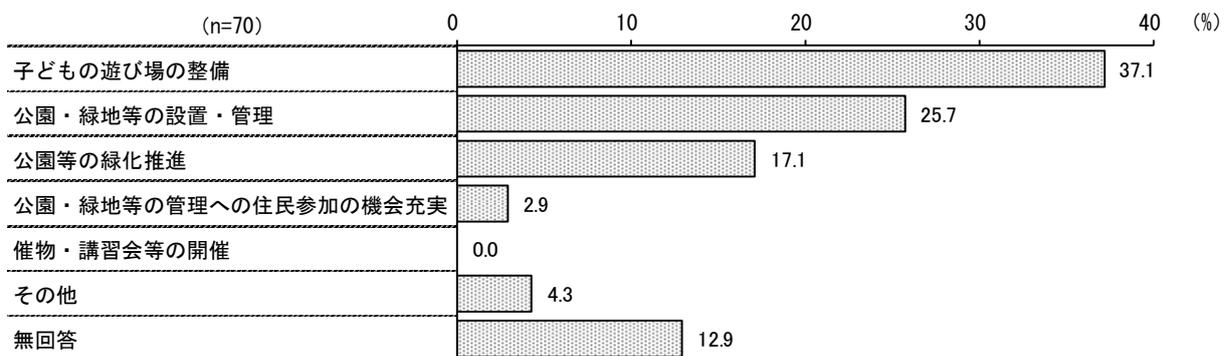
＜図表9-26＞安心して飲める良質な水道水を供給する



21 公園・緑地を整備する（4.5%、21位）

「子どもの遊び場の整備」（37.1%）が約4割で最も高く、以下、「公園・緑地等の設置・管理」（25.7%）、「公園等の緑化推進」（17.1%）が続く。

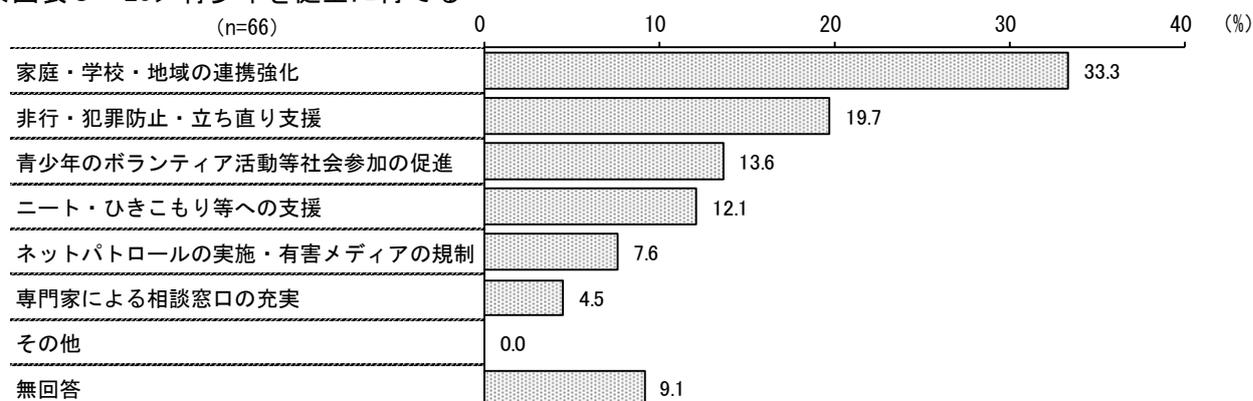
＜図表9-27＞公園・緑地を整備する



22 青少年を健全に育てる（4.2%、22位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（19.7%）、「青少年のボランティア活動等社会参加の促進」（13.6%）が続く。

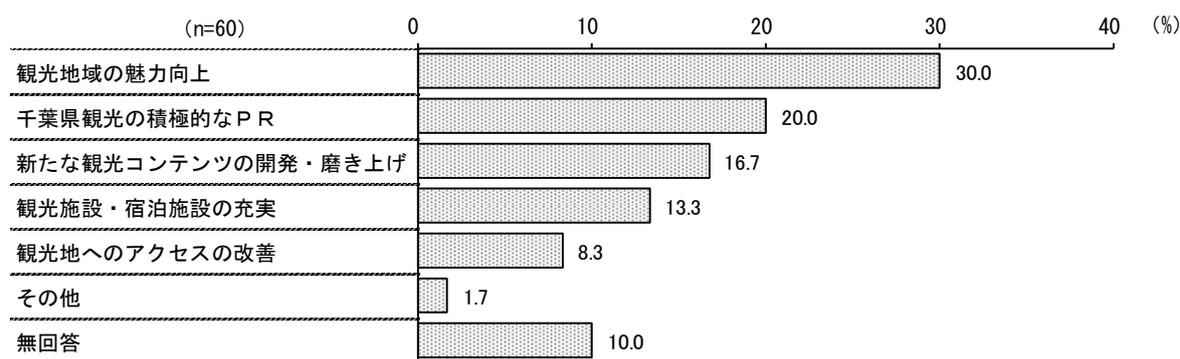
＜図表9-28＞青少年を健全に育てる



23 観光を振興する（3.8%、23位）

「観光地域の魅力向上」（30.0%）が3割で最も高く、以下、「千葉県観光の積極的なPR」（20.0%）、「新たな観光コンテンツの開発・磨き上げ」（16.7%）が続く。

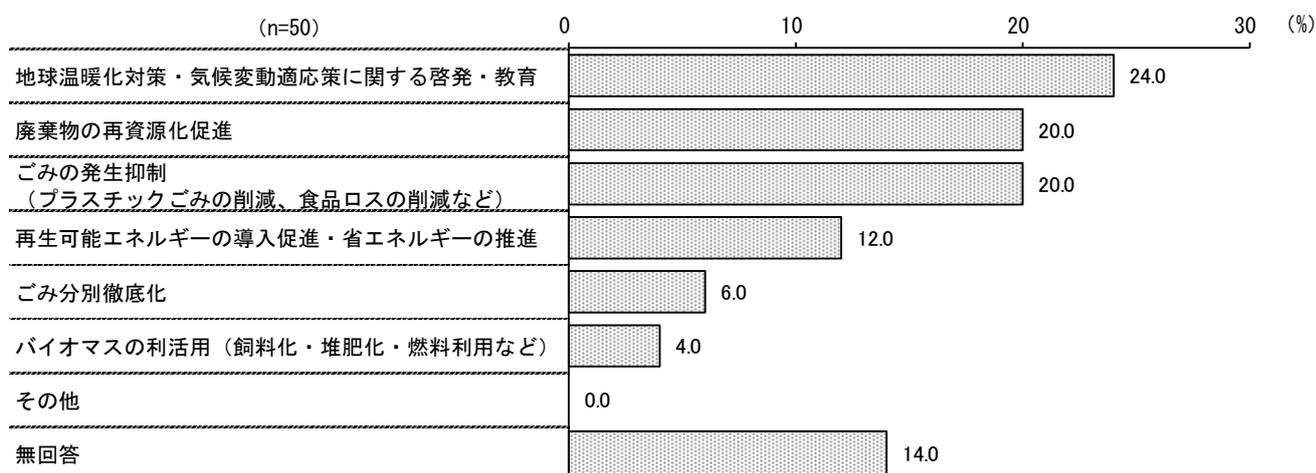
＜図表9-29＞観光を振興する



24 循環型社会を推進する（3.2%、24位）

「地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育」（24.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「廃棄物の再資源化促進」と「ごみの発生抑制（プラスチックごみの削減、食品ロスの削減など）」（20.0%）が続く。

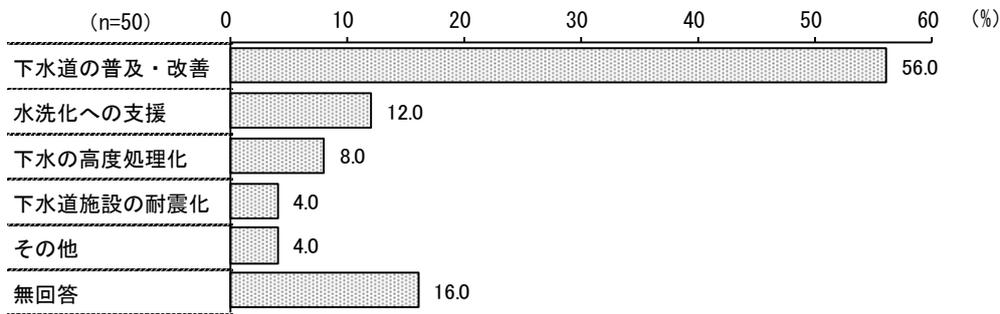
＜図表9-30＞循環型社会を推進する



25 下水道を整備する（3.2%、24位）

「下水道の普及・改善」（56.0%）が5割台半ばで最も高く、以下、「水洗化への支援」（12.0%）、「下水の高度処理化」（8.0%）が続く。

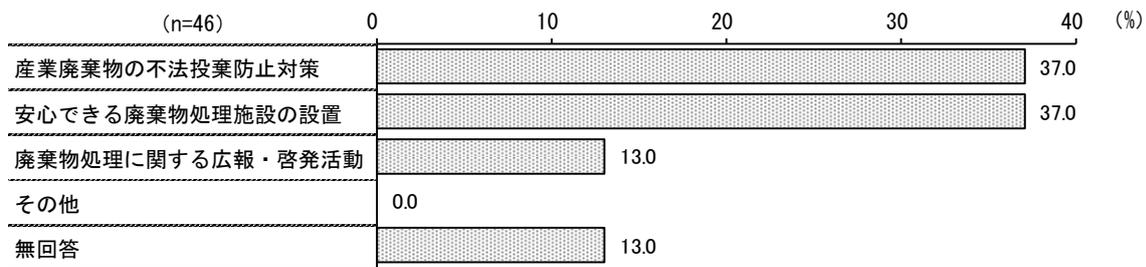
＜図表9-31＞下水道を整備する



26 廃棄物対策をすすめる（2.9%、26位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」と「安心できる廃棄物処理施設の設置」（37.0%）が約4割で高く、以下、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（13.0%）が続く。

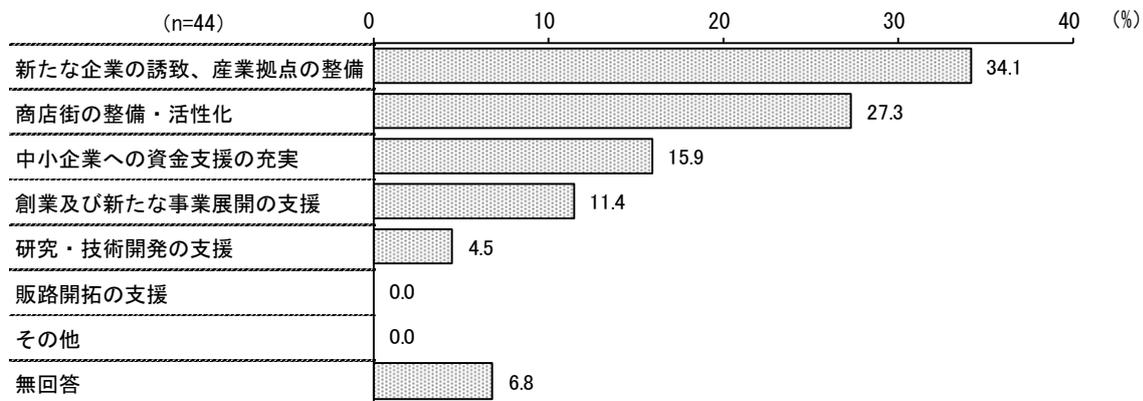
＜図表9-32＞廃棄物対策をすすめる



27 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（2.8%、27位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（34.1%）が3割台半ばで最も高く、以下、「商店街の整備・活性化」（27.3%）、「中小企業への資金支援の充実」（15.9%）が続く。

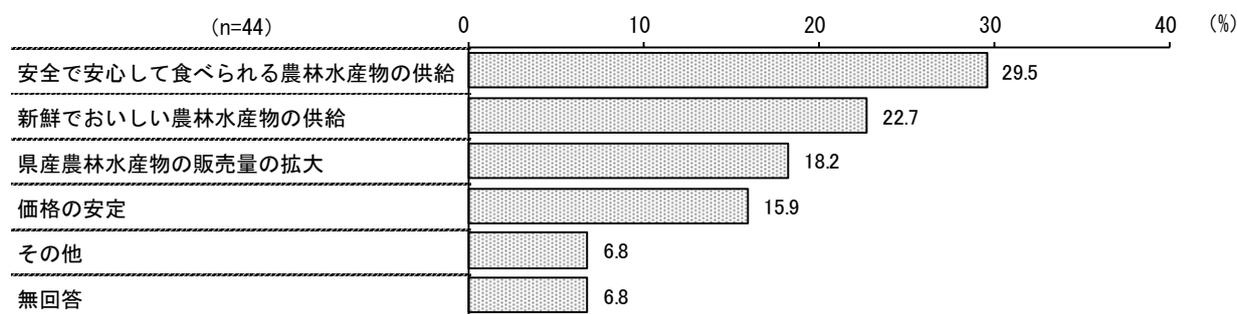
＜図表9-33＞商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



28 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（2.8%、27位）

「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（29.5%）が約3割で最も高く、以下、「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（22.7%）、「県産農林水産物の販売量の拡大」（18.2%）が続く。

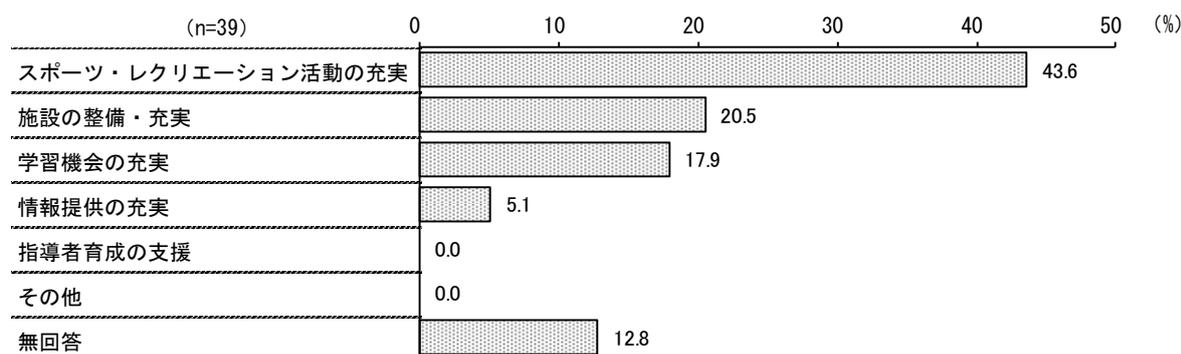
＜図表9-34＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



29 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.5%、29位）

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（43.6%）が4割台半ばで最も高く、以下、「施設の整備・充実」（20.5%）、「学習機会の充実」（17.9%）が続く。

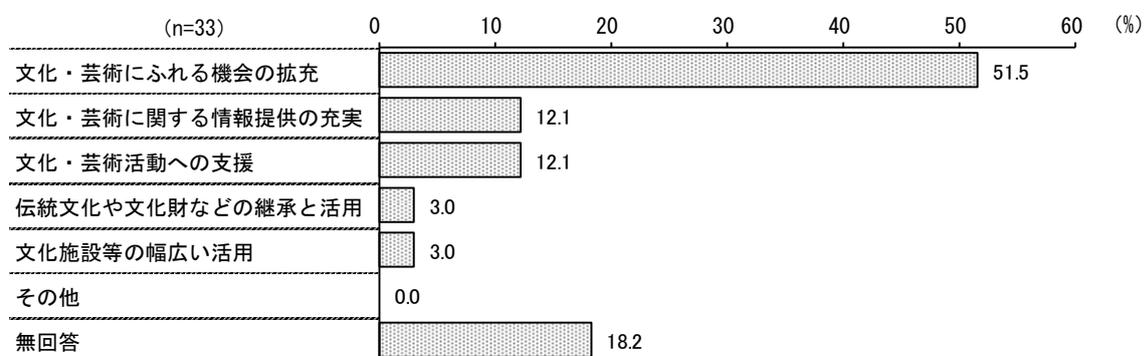
＜図表9-35＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



30 芸術・文化活動を振興する（2.1%、30位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（51.5%）が5割を超えて最も高く、以下、「文化・芸術に関する情報提供の充実」と「文化・芸術活動への支援」（12.1%）が続く。

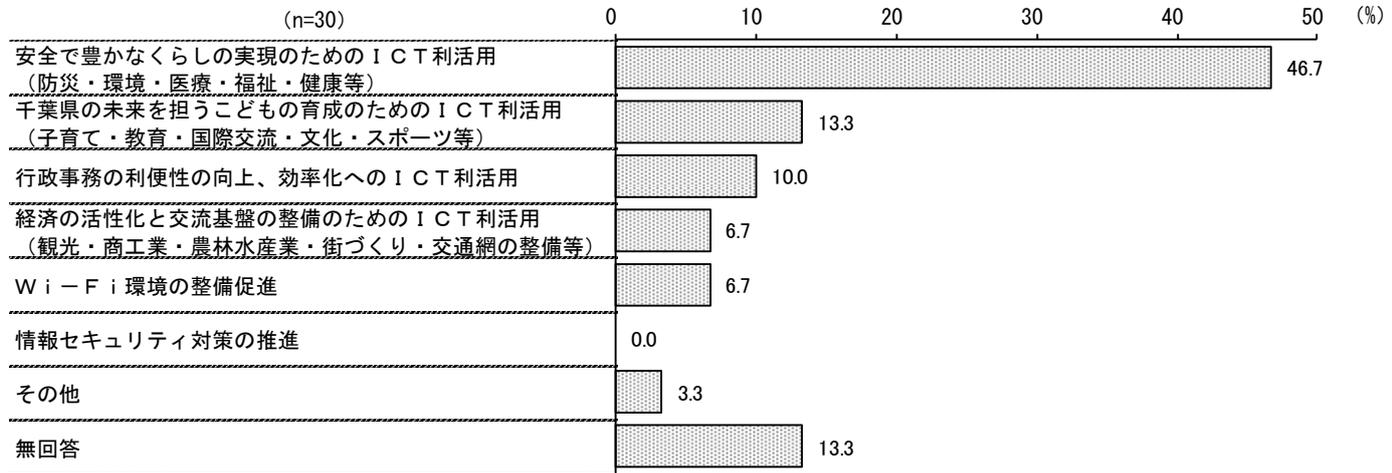
＜図表9-36＞芸術・文化活動を振興する



31 施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる（1.9%、31位）

「安全で豊かな暮らしの実現のためのICT利活用（防災・環境・医療・福祉・健康等）」（46.7%）が4割台半ばで最も高く、以下、「千葉県の未来を担うこどもの育成のためのICT利活用（子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等）」（13.3%）、「行政事務の利便性の向上、効率化へのICT利活用」（10.0%）が続く。

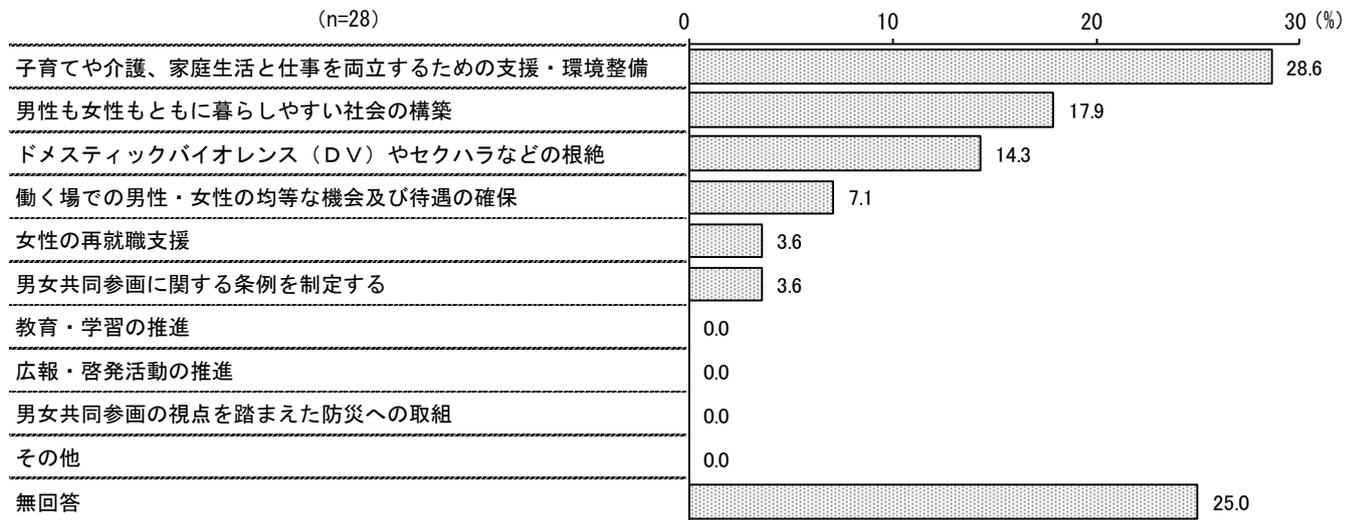
＜図表9-37＞施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる



32 男女共同参画を推進する（1.8%、32位）

「子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備」（28.6%）が約3割で最も高く、以下、「男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築」（17.9%）、「ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶」（14.3%）が続く。

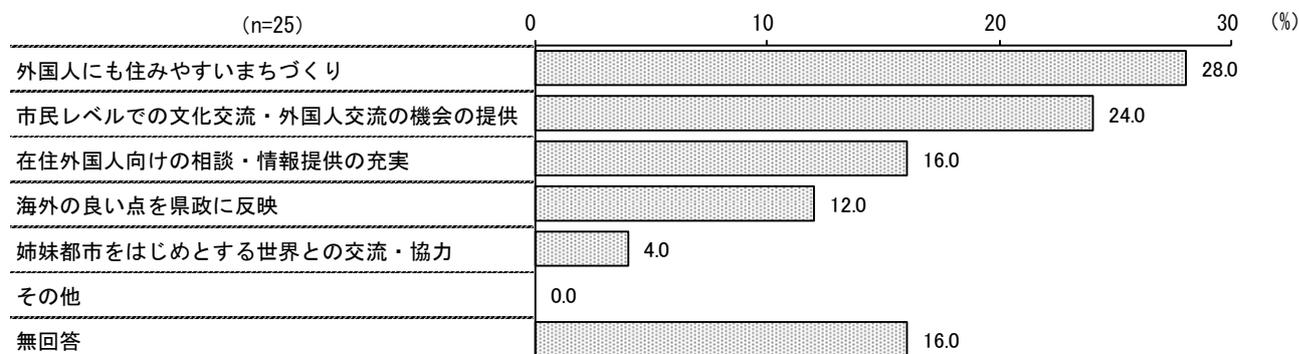
＜図表9-38＞男女共同参画を推進する



33 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる（1.6%、33位）

「外国人にも住みやすいまちづくり」（28.0%）が約3割で最も高く、以下、「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（24.0%）、「在住外国人向けの相談・情報提供の充実」（16.0%）が続く。

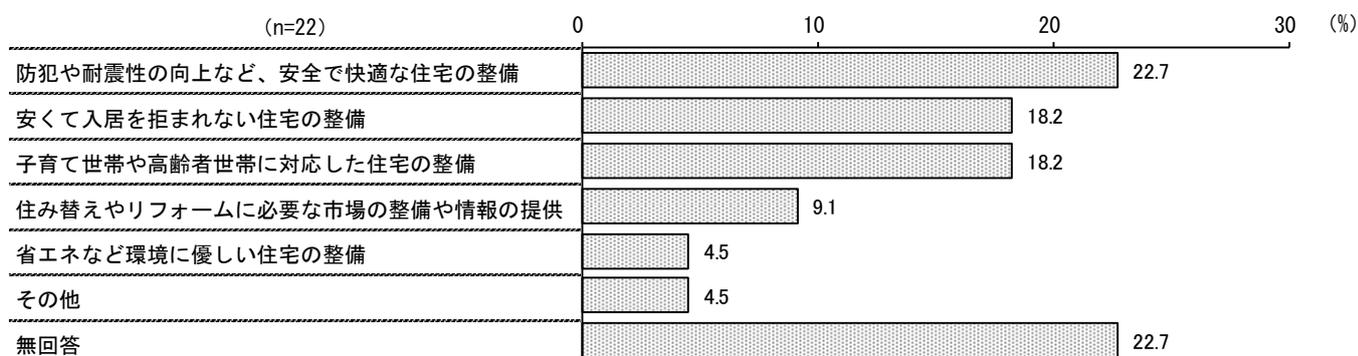
＜図表9-39＞国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる



34 住宅対策を充実する（1.4%、34位）

「防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備」（22.7%）が2割を超えて最も高く、以下、「安くて入居を拒まれない住宅の整備」と「子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備」（18.2%）が続く。

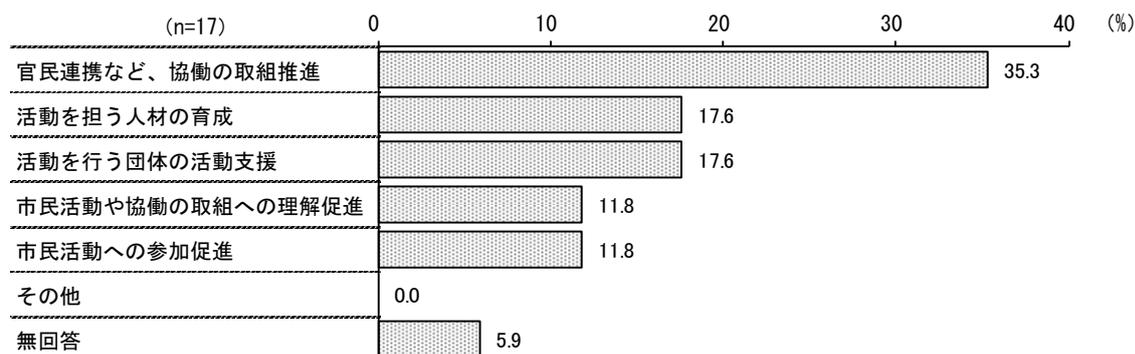
＜図表9-40＞住宅対策を充実する



35 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する（1.1%、35位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表9-41＞地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する



10 自由回答

問 このほかにも、県や世論調査へのご意見やご提案があればご自由にお書きください。

県や世論調査への意見を自由に記述していただいたところ、229人から延べ294件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形（合計35項目）で整理した。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、意見の一部を抜粋して記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	世論調査について	57
第2位	県政全般に関する要望	48
第3位	道路を整備する	26
第4位	新型コロナウイルス感染症対策について	21
第5位	災害から県民を守る	16
第6位	県政の情報発信について	13
第7位	公共交通網（バス・鉄道）を整備する	8
〃	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	8
第9位	学校教育を充実する	7
第10位	廃棄物対策をすすめる	6
〃	観光を振興する	6
第12位	交通事故から県民を守る	4
〃	高齢者の福祉を充実する	4
〃	公園・緑地を整備する	4
〃	犯罪防止対策をすすめる	4
第16位	中心市街地の活性化を推進する	3
〃	ひとり親家庭等の福祉を充実する	3
〃	男女共同参画を推進する	3
〃	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する	3
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	3
〃	施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる	3
第22位	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる	2
〃	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	2
〃	医療サービス体制を整備する	2
〃	自然を守り、緑を育てる	2
〃	雇用の場を広げる	2
〃	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	2
第28位	国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる	1
〃	青少年を健全に育てる	1
〃	地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する	1
〃	健康づくりをすすめて、病気を予防する	1
〃	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	1
〃	安心して飲める良質な水道水を供給する	1
〃	芸術・文化活動を振興する	1
〃	東京湾アクアラインについて	1
	その他	24
	その他 うち、国政への要望	(6)
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	(5)
	合計（再掲分を含む 延べ人数）	294

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■世論調査について

- 世論調査の結果の活用例を、もっと広報してください。（男性、50代、葛南地域）
- 県や世論調査だけで終わらないように、集計したことが、どのくらい実施され、結果となったのかがわかるように、PDCAがまわる仕組みにしてほしい。（男性、50代、長生地域）
- 質問が多い。分割して依頼した方が良いと思います。（男性、65歳以上、葛南地域）
- アンケートの量が多すぎて途中でめんどくさくなった。もう少しわかりやすくして、質問の量も減らしてください。（女性、20代、山武地域）
- 1つの言葉に対してわかりやすく説明してあった事はとても良い事だと思います。ボールペンが入っていた事も良い事だと思います。質問事項が少し多かったので、少なめをお願い致します。（女性、65歳以上、葛南地域）

■県政全般に関する要望

- 常に開かれた県政の姿勢に期待します。いつまでも住みやすい、暮らしやすい県であってほしいので、県民の目線に立って県政を行ってほしいです。（女性、50代、千葉地域）
- 政治関係の手続きに関しては手間や時間がかかり過ぎる場合が多々ある様な気がします。もっと簡素化しても良いかと思えます。そんなシステムを構築出来ると助かります。（女性、50代、印旛地域）
- 市町村と細かく連絡等を取り、心配りのできる県政にしてもらいたいと思います。（女性、65歳以上、安房地域）
- 千葉県は海も山もあり適度に都会で快適に暮らしており大好きな県です。先日、流山市で市の特産物を模したエコバッグが販売されましたが、すぐに在庫がなくなり買えませんでした。各市の特産物、グッズ等県のオンラインでPRして販売してくれたらと思います。コロナ対策もよろしく願いいたします。（女性、50代、東葛飾地域）
- 昨年、県外から引っ越してきました。千葉県に愛着が持てるようになるにはもう少し時間がかかると思います。県と県民の距離が遠いように思いますし、具体的に何をして下さっているのか、いまいちわかりません。距離を縮める、また”見える化”した県政を望みます。「千葉に住んでいて幸せ」と言えるようになりたいです。（女性、60～64歳、千葉地域）

■道路を整備する

- 地域により格差がありますが、幹線・準幹線道路の安全対策として、歩道の整備（設置）を進めて、弱者が安全に通行できるようにお願いしたい。（男性、65歳以上、山武地域）
- 自転車や歩行者専用道路等、高齢者や子供連れが安心して通れる道が欲しい。（男性、50代、葛南地域）
- 歩道がなく、危ない所がたくさんあると思います。保育園に通っていますが、そういう所こそ安全な道づくりをしてほしいのに、信号機がなかったり、歩道がなかったりで、いつも危険を感じながら通園しています。（女性、30代、印旛地域）

■新型コロナウイルス感染症対策について

- コロナが続く中、病院関係で働く方への手当てを充実させてあげてほしいです。（男性、40代、東葛飾地域）
- 今回のコロナの件で、他県ナンバーが移動制限等があっても、ゴルフ他でたくさん来ています。もっと厳しい対応をしてほしいです。（男性、60代、千葉地域）
- コロナ対策について、関東の他県に比べて明確な方針・説明がなされていないと感じる。危機管理対策を強化すべきと感じます。（女性、50代、東葛飾地域）

■災害から県民を守る

- 災害被害は大小に関わらず起こる前に対策できるところから対処してほしいです。（女性、40代、君津地域）
- 昨年の台風で9日間停電した。災害対策を確立してほしい。防災対策が後手後手となっている。当事者には何も支援がなく、情報がいきわたってなく、不安で一杯だった。（男性、50代、千葉地域）

■県政の情報発信について

- 県政に関する情報を積極的に得ようとしたことは無かったが、広報紙や広報番組の存在を今回の世論調査で知ることができ、もっと千葉に興味を持とうと思った。広報紙や広報番組の存在をもっと広めていけばいいと思った。（男性、40代、印旛地域）

○ちば県民だよりを各家庭（ポスト）に配布希望（毎月）。千葉市たよりは毎月目になっているが、県の情報はあまりわからないので、毎月どんな情報があるのか、配布されるとありがたい。（女性、50代、千葉地域）

○県政までなかなか意識がいかないというのが本音。防災関連では県と各市町村の連携状況がよくわからないので、広報的に充実してもらいたい。（男性、50代、葛南地域）

■公共交通網（バス・鉄道）を整備する

○北総線の運賃を下げてください（東京に出られない）。（男性、65歳以上、印旛地域）

○成田線の複線、増便、又それに繋がる交通手段（バス等）無い。車を運転出来なくなっても生活出来る町にしてほしい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○保育士の人数を増やす努力してください！！ 近所の保育園に入れない！！ 同じ地区なのにおかしい！！（女性、30代、安房地域）

○コロナ禍の影響で一人親世帯の鬱・自殺者や育児放棄等目立って聞くようになりました。企業側の業績悪化による女性の雇用解雇も問題です。これからの子供達を守るためにも地域全体で育てる必要があるのではと思います。一人親世帯の家庭を支援する制度は現状では間に合っていないのではと感じます。一人親世帯で就労困難及び金銭的困難になってしまった様な方でも前向きに子育てしたいと考えられる世の中を包括支援して頂けるよう願っています。今いる子供達が未来の千葉を支えていくのですから。（男性、30代、千葉地域）

■学校教育を充実する

○将来の優秀な人材を育てるため、教育を充実させるべきだと思います。もっと教育についての財源を確保しなければならないのではないかと常々感じています。よろしくお願いします。（女性、60～64歳、山武地域）

○小学校から英語教育を充実する。小学校から経済学を充実する。（女性、60～64歳、東葛飾地域）

(付) 調査票および単純集計結果

ちば

第60回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 宛名のご本人様がお答えくださるようお願いいたします。
お名前やご住所などの個人情報、ご記入不要です。
なお、諸事情によりご本人様にご記入することが困難な場合は、ご家族等によりご本人様のお答えを代筆いただくことも可能です。
- 2 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 (1) ご回答は、原則、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
質問の中に、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも)などと表示していますので、そちらに合わせて○をつけてください。
(2) 質問によってご回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、全ての方にご回答いただく質問になります。
(3) お答えが選択肢の中になく、「その他」を選んだ場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- 4 (1) ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
12月11日(金)までに郵便ポストにご投函ください。
返信用封筒へのお名前やご住所のご記入、切手は不要です。
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
(2) インターネットでご回答される場合は、別添の「インターネット回答操作案内」をご覧ください。ご回答には、右下に貼られた「申請者ID」「パスワード」が必要になります。
なお、セキュリティ保護のため、回答入力ページへ移動後、60分で接続が切断(タイムアウト)しますので、案内に記載の回答一時保存をお願いいたします。
(3) 「申請者ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人を特定するものではありません。
- 5 ご回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部

報道広報課 広聴室

〒260-8667

千葉市中央区市場町1番1号

電話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

アドレス kouchou@mz.pref.chiba.lg.jp - 169 -

ネット回答者用

「申請者ID」

「パスワード」の

記載シール添付場所

【環境と生活について】

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住みたいと思いますか。n=1,568（○は1つ）

- 73.4 住みたい
- 5.6 千葉県内のよそへ移りたい
- 4.5 千葉県外に移りたい
- 4.9 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい
- 10.1 わからない → 次のページ問2へお進みください
- 1.5 無回答

（問1で「1」とお答えの方に）

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住みたいと思う理由は何ですか。

n=1,151（○は3つまで）

- 17.5 地域の人とのつながりを大切に考えているから
- 17.7 家族の思い出がつまっているから
- 39.8 生活環境に満足しているから
- 63.9 自分の土地や家があるから
- 34.8 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから
- 6.1 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っているから
- 24.2 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから
- 6.3 治安や風紀がよいから
- 36.6 住み慣れていて愛着があるから
- 22.8 家族や親族が近くにいるから
- 5.0 仕事や商売に都合がよいから
- 1.1 その他（具体的に)
- 0.0 無回答

（問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に）

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n=236（○は3つまで）

- 30.5 そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから
- 44.9 生活環境をより良くしたいから
- 14.4 より良質で広い住宅に住みたいから
- 5.5 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから
- 31.8 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから
- 11.0 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っていないから
- 11.4 自然環境に恵まれていないから
- 8.9 治安や風紀が悪いから
- 11.0 住み慣れておらず愛着を感じないから
- 12.7 家族や親族の近くに住みたいから
- 5.5 仕事や商売に都合が悪いから
- 13.1 その他（具体的に)
- 2.1 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活についてどの程度満足していますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

	大変満足している （よい状態だと思う）	まあ満足している （まあよい状態だと思う）	どちらともいえない	やや不満である （あまりよくないと思う）	大変不満である （悪い状態だと思う）	わからない	無回答
n=1,568							
（ア）ごみ処理などの環境衛生	18.1	60.5	11.2	7.0	1.5	0.6	1.1
（イ）騒音・振動の状態	17.5	47.3	15.5	12.7	5.1	0.4	1.5
（ウ）大気汚染の状態	14.8	48.2	22.0	8.9	1.9	2.8	1.4
（エ）悪臭の状態	22.0	49.6	16.5	7.3	1.0	1.8	1.8
（オ）海・川などの汚れの状態	6.6	28.7	30.0	16.3	3.6	12.0	2.7
（カ）緑の豊かさ	18.5	49.8	18.2	9.6	1.4	0.8	1.6
（キ）道路の整備	7.8	37.8	18.9	22.9	10.7	0.5	1.4
（ク）上水道の整備	17.7	52.4	16.9	5.7	3.4	2.6	1.3
（ケ）排水（下水道）の整備	16.1	46.7	18.2	8.6	5.5	3.3	1.7
（コ）通勤・通学の便	13.6	41.6	18.2	16.0	6.4	2.6	1.6

問3 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n=1,568（○は1つ）

7.9 大変満足している	15.0 どちらともいえない	2.6 大変不満である
64.0 まあ満足している	9.2 やや不満である	0.6 わからない
		0.6 無回答

問4 あなたは、現在の消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）についてどう感じですか。

n=1,568（○は1つ）

3.6 大変満足している	35.1 どちらともいえない	1.9 大変不満である
32.7 まあ満足している	9.6 やや不満である	16.5 わからない
		0.7 無回答

問5 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。あなたは、「気候変動による影響への適応」についてどのくらい知っていますか。

n=1,568（○は1つ）

6.6 意味をよく知っている	34.6 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
34.8 意味を大体知っている	23.2 言葉を聞いたことはない
	0.8 無回答

問6 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（○はそれぞれ1つつ）

n=1,568	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	39.9	44.0	13.3	2.2	0.1	0.5
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	53.5	31.4	11.3	2.5	0.5	0.8
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	31.0	37.4	22.6	5.7	2.0	1.3
(エ) レジ袋をもらわない	72.9	17.4	5.2	3.6	0.3	0.6
(オ) 車の急発進・急加速はしない	58.7	14.1	4.2	1.3	19.0	2.7
(カ) アイドリング・ストップを心掛けている	46.0	15.4	9.3	6.0	20.4	2.9

問7 あなたは、日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。

n=1,568（○は1つ）

28.8	いつも配慮している	5.1	特に配慮していない
54.1	ときどき配慮している	3.1	わからない
8.5	あまり配慮していない	0.5	無回答

問8 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。

n=1,568（○は1つ）

19.5	参加したことがある		
29.2	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい		
28.7	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない		
20.7	参加したことはなく、今後も参加するつもりはない		
1.2	その他（具体的に		）
0.6	無回答		

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。

n=1,568（○は1つ）

6.3	大変関心がある	44.6	あまり関心がない
39.8	まあ関心がある	8.9	まったく関心がない
		0.4	無回答

※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）を指します。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n=1,568（○は1つ）

4.5 定期的に参加している	10.6 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う
6.3 ときどき参加している	61.0 参加したことはない
17.5 参加したことがある	0.2 無回答

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。 n=1,568（○は1つ）

7.0 定期的に参加している	8.0 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う
7.9 ときどき活動している	46.6 活動したことはない
30.4 活動したことがある	0.1 無回答

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTAの活動や学校行事の手伝い、子供会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

問12 あなたは、この1年間に何回くらい文化芸術に触れましたか。

n=1,568（○は1つ）

14.3 年に1回	18.1 年に10回以上（おおよそ月に1回以上）
29.6 年に2～5回（3～6か月に1回程度）	29.2 文化芸術に触れなかった
7.5 年に6～9回（1～2か月に1回程度）	1.3 無回答

※ ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。「触れる」とは 映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞（オンラインでの鑑賞を含む）、地域の祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。

→（問12で「1」～「4」のいずれかをお答えの方に）

問12-1 あなたは、文化芸術を主にどこで鑑賞（体験）しましたか。 n=1,090（○は1つ）

39.2 県内施設
22.9 県外施設
22.0 自宅や移動途中など（パソコン・スマートフォンなど、オンラインで）
11.6 自宅や移動途中など（テレビ・書籍など、オンライン以外で）
2.1 その他（具体的に)
2.2 無回答

→ P6の問12-2へ

（問12で「5」とお答えの方に）

問12-2 その主な理由は何ですか。

n=458（○はいくつでも）

- | | |
|------|---|
| 33.6 | 興味のある内容の催し物がないから |
| 19.0 | 仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから |
| 10.3 | 仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける気力が湧かないから |
| 15.7 | 自分の都合のよい日時に開催されていないから |
| 10.7 | 近隣に文化施設がないから |
| 6.1 | 催し物の料金が安いから |
| 12.4 | 催し物の情報が得られないから |
| 15.7 | 文化芸術に興味がないから |
| 0.7 | エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから |
| 0.4 | バリアフリー対策の情報が入手できないから |
| 0.7 | 字幕表示、展示による案内等の鑑賞サポートが不十分だから |
| 21.0 | その他（具体的に |
| 5.0 | 無回答 |

【健康について】

問13 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。

n=1,568（○は1つ）

- | | | | |
|------|--------------|-----|----------------|
| 24.7 | そう思う | 7.5 | どちらかといえばそう思わない |
| 41.5 | どちらかといえばそう思う | 5.7 | そう思わない |
| 17.4 | どちらともいえない | 2.5 | わからない |
| | | 0.6 | 無回答 |

※ ここでいう「健康づくり」とは、適度な運動やバランスの取れた食事、禁煙等の県民一人ひとりによる主体的な取組を指します。

問14 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。 n=1,568（○は1つ）

- | | | | |
|------|----------|------|------------|
| 35.1 | 週に3回以上 | 4.1 | 3か月に1～2回程度 |
| 14.2 | 週に2回 | 5.9 | 年に1～3回程度 |
| 13.6 | 週に1回 | 15.8 | 全く行わなかった |
| 11.1 | 月に1～3回程度 | 0.1 | 無回答 |

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、自転車の利用、階段昇降、散歩、ぶらぶら歩き、通勤時の一駅歩き等の比較的軽い運動やスポーツを含みます。

問15 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。

n=1,568（○は1つ）

- | | | | |
|------|--------------|-----|----------------|
| 25.4 | そう思う | 7.7 | どちらかといえばそう思わない |
| 42.1 | どちらかといえばそう思う | 7.7 | そう思わない |
| 14.0 | どちらともいえない | 3.1 | わからない |
| | | 0.1 | 無回答 |

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師、歯科医師、薬剤師・薬局を「かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局」と呼んでいます。
あなたは、「かかりつけ医」等をお持ちですか。

n=1,568（○はそれぞれ1つずつ）

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師・薬局
58.4 持っている	64.3 持っている	43.0 持っている
33.5 持っていないが、必要性は強く感じている	25.6 持っていないが、必要性は強く感じている	34.1 持っていないが、必要性は強く感じている
7.8 持っていないし、必要性もあまり感じていない	7.8 持っていないし、必要性もあまり感じていない	20.3 持っていないし、必要性もあまり感じていない
0.2 無回答	2.2 無回答	2.6 無回答

【福祉について】

問17 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。

n=1,568（○は1つ）

13.5 そう思う	8.9 どちらかといえばそう思わない
41.6 どちらかといえばそう思う	4.7 そう思わない
20.7 どちらともいえない	9.0 わからない
	1.6 無回答

※ この設問では、「子育て」をおおむね18歳までの子どもを育てることと定義しています。

問18 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策についてどうお感じですか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。

n=1,568（○は1つ）

2.2 大変満足している	37.1 どちらともいえない	6.6 大変不満である
24.5 まあ満足している	15.1 やや不満である	13.9 わからない
		0.6 無回答

問19 あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。

n=1,568（○は1つ）

14.5 そう思う	13.1 どちらかといえばそう思わない
22.8 どちらかといえばそう思う	14.3 そう思わない
23.3 どちらともいえない	11.6 わからない
	0.3 無回答

問20 あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。

n=1,568（○は1つ）

6.4 そう思う	15.0 どちらかといえばそう思わない
23.5 どちらかといえばそう思う	10.2 そう思わない
29.0 どちらともいえない	15.8 わからない
	0.3 無回答

問21 あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。 n=1,568 (○は1つ)

5.4	そう思う	16.5	どちらかといえばそう思わない
22.5	どちらかといえばそう思う	12.2	そう思わない
32.3	どちらともいえない	10.1	わからない
		1.0	無回答

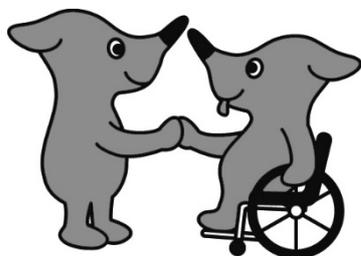
問22 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。

n=1,568 (○は1つ)

42.0	知っている	37.2	言葉だけは聞いたことがある	19.6	知らない	1.1	無回答
------	-------	------	---------------	------	------	-----	-----

問23 あなたは、男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。 n=1,568 (○はいくつでも)

65.6	子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する
59.2	子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
64.9	保育及び介護の施設やサービスを充実する
41.7	長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
19.6	県の審議会委員や管理職に女性を積極的に登用するとともに、県内市町村の審議会など政策決定の場に女性を積極的に登用するよう働きかける
20.5	政治分野における男女共同参画が進むよう支援する
14.7	女性の起業・創業が進むよう支援する
17.5	企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
18.6	従来女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
11.4	男女共同参画に関する条例を制定する
22.8	女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を充実する
17.3	男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
15.4	男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRをする
18.2	施策を実施するにあたって企業や民間団体（NPO等）との連携を推進する
2.6	その他（具体的に
2.2	無回答



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

【観光について】

問24 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。

n=1,568（〇はいくつでも）

- 62.7 温暖で気候がよい
- 50.7 豊かな自然や景観が楽しめる
- 38.0 季節の花々や紅葉が楽しめる
- 8.7 温泉が楽しめる
- 44.8 魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある
- 17.3 神社・仏閣やまち並みなど歴史を味わえる
- 11.6 祭りやスポーツなどイベントを楽しめる
- 13.0 ホテルや旅館、キャンプ場など魅力的な宿泊施設がある
- 24.6 ゴルフや自転車、マラソン、サーフィンなどのスポーツを体験できる
- 50.7 海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる
- 21.2 果物狩りや農林漁業体験などの自然体験ができる
- 26.5 ショッピングが楽しめる
- 33.2 新鮮な農林水産物を味わえる
- 10.0 郷土料理やご当地グルメを味わえる
- 7.8 特産品や地酒を入手できる
- 22.2 観光地までの交通アクセスがよい
- 32.3 首都圏をつなぐ東京湾アクアラインがある
- 38.4 成田国際空港がある
- 3.3 特にない
- 1.6 その他（具体的に
- 0.7 無回答

問25 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n=1,568（〇はいくつでも）

- 13.1 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）
- 12.8 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ケ浦市、木更津市、君津市、富津市）
- 20.0 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）
- 34.2 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）
- 77.2 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）
- 10.1 特にない
- 1.1 無回答



問26 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。

n = 1,568 (〇はいくつでも)

57.9 観光施設	41.1 道の駅
52.2 宿泊施設	27.3 直売所（地場農水産物）
7.1 バリアフリーへの対応	2.9 観光ボランティアガイド
54.4 食事	9.3 体験プログラム
29.7 お土産・特産品	16.5 観光地の公衆トイレ
18.0 祭り・イベント	16.8 観光地の動画・写真
12.8 モデルルート	17.9 観光地の気象情報
41.8 観光地への交通アクセス	2.2 その他（具体的に)
	2.6 無回答

問27 この1年間で千葉県内を観光した際に、不満を感じた点を教えてください。

n = 1,568 (〇はいくつでも)

3.5 観光施設	7.0 観光情報・案内の充実度
2.4 宿泊施設	11.7 観光地の公衆トイレが少ない
3.1 バリアフリーへの対応	13.5 観光地の公衆トイレが汚い
4.0 食事	12.4 観光地における駐車場
3.4 お土産・特産品	14.7 特に不満な点はない
2.9 接客サービス	41.7 この1年間は観光をしていない
10.1 観光地への交通アクセス	3.1 その他（具体的に)
3.3 まち並み・景観	3.3 無回答

問28 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。

n = 1,568 (〇は3つまで)

7.0 花	8.9 酒類
37.2 農産物・果物	7.0 しょうゆ・みそ
51.8 落花生・落花生加工品	1.8 乳製品
1.3 肉類	35.8 菓子・せんべい
15.3 生鮮魚介類	0.9 工芸品
28.4 海苔・水産加工品	7.2 チーバくんグッズ
4.7 漬物	1.2 その他（具体的に)
	1.7 無回答

【千葉県の農林水産物について】

問29 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。

n = 1,568 (〇は1つ)

42.5 そう思う	10.1 どちらかといえばそう思わない
41.0 どちらかといえばそう思う	4.8 そう思わない
	1.6 無回答

→ (問29で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に)

問29-1 その主な理由は何ですか。

n = 1,309 (〇は1つ)

20.3 千葉県に愛着があるから	2.7 価格が安いから
45.8 鮮度が良い(美味しい)から	1.3 その他(具体的に)
24.3 地元のものは安心だから	5.7 無回答

→ P11の問29-2へ

（問29で「3」、「4」のいずれかをお答えの方に）

問29-2 その主な理由は何ですか。

n=234（〇は1つ）

27.8 産地にこだわらず価格で選ぶから	11.1 千葉県以外で買いたい産地があるから
51.7 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	5.1 その他（具体的に）
	4.3 無回答

問30 千葉県には、農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者や農産物を認証する制度があります。あなたは、以下の農産物や制度について聞いたことがありますか。

n=1,568（〇はいくつでも）

13.7 ちばエコ農産物	13.8 エコファーマー
47.1 有機農産物	41.8 どれも知らない
12.4 特別栽培農産物	2.1 無回答

※「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、県が認証した農産物

「有機農産物」：JAS法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物

「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者

※ちばエコ農産物について、以下のURL・QRコードから紹介ホームページを参照できます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/eco-jouhou/index.html>



問31 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。

n=1,568（〇は1つ）

4.1 よく知っている（認定マークや品目までわかる）	52.1 知らない
42.6 多少は知っている（聞いたことがある）	1.2 無回答

※千葉ブランド水産物について、以下のURL・QRコードから紹介ホームページを参照できます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisan/brand/index.html>



【防災に関する取り組みについて】

問32 平成23年の東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、揺れや津波により大きな被害が出ました。さらに、令和元年に発生した房総半島台風等の一連の災害では、浸水害や土砂災害など大きな被害が出ました。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。

n=1,568（〇は1つ）

52.0 強く感じている	6.0 ほとんど感じていない
39.6 少し感じている	1.3 わからない
	1.1 無回答

問33 水害・土砂災害の防災情報の伝え方が、レベル3で「危険な場所から高齢者等は避難」、レベル4で「危険な場所から全員避難」といった、5段階の「警戒レベル」を用いる方法で行われております。

あなたは、各警戒レベルの意味や、その際に取りべき行動について知っていますか。

n=1,568 (○は1つ)

5.4	よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）
39.2	大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）
45.9	ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）
9.1	全く知らない
0.4	無回答

問34 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予想されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。

n=1,568 (○は1つ)

18.6	4日分以上	23.1	2日分	13.1	備蓄していない
36.9	3日分	7.4	1日分	0.9	無回答

問35 大規模な災害が発生した場合、断水や停電、給排水管の損壊、し尿処理施設の被災により、水洗トイレが使用できなくなることが予想されます。あなたは、災害に備えて、家庭での災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）をおよそ何日分、備蓄していますか。 n=1,568 (○は1つ)

7.7	4日分以上	9.8	2日分	65.2	備蓄していない
7.8	3日分	8.7	1日分	0.7	無回答

※1日分=1人当たり1日5回分×家族の人数

問36 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

n=1,568 (○は1つ)

9.2	よく知っている（使い方や番号までわかる）	25.3	知らない
64.7	多少は知っている（聞いたことがある）	0.8	無回答

問37 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。

n=1,568 (○はいくつでも)

57.4	家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化
8.9	住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化
4.5	住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の建替え
6.0	家具や建築資材の不燃化・防炎化
1.5	液状化対策
54.6	地震や津波が来た場合の避難場所と避難経路の確認
3.9	その他（具体的に)
4.0	無回答

【地方分権について】

問38 地域で抱える課題が多様化・複雑化する中、創意工夫により地域の実情に応じた課題解決を図り、住民サービスの向上につなげるため、県では、国に対して事務・権限や税財源の移譲を求めるとともに、「提案募集方式」(※)を通じて地方の創意工夫による制度改革を提案するなど、地方分権改革の推進に取り組んでいます。

あなたは、この地方分権改革を進めることについて、どう思いますか。n=1,568 (○は1つ)

- 23.0 地方分権改革を進めたほうがいい
- 29.8 どちらかといえば進めたほうがいい
- 17.0 どちらともいえない
- 1.5 どちらかといえば進めないほうがいい
- 0.8 進めないほうがいい (現状の制度を維持するほうがよい)
- 26.0 わからない
- 0.6 その他 (具体的に)
- 1.2 無回答

※ 「提案募集方式」とは、国が個々の地方公共団体等から地方分権に関する制度改革の提案を広く募集し、それらの提案の実現に向けて検討を行う制度のことです。

問39 あなたは、県が進める地方分権改革の取組について、何を期待しますか。

n=1,568 (○は1つ)

- 27.1 規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化
- 22.4 事務・権限の移譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供
- 3.8 県民による制度改革の提案
- 21.5 地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明
- 20.8 特にない
- 1.0 その他 (具体的に)
- 3.5 無回答

【広報・広聴活動について】

問40 あなたは、県のどのような施策や政策の分野について関心がありますか。

n=1,568 (○はいくつでも)

- | | | | |
|------------|--------------|------------|-----------------|
| 59.8 防災 | 50.0 福祉 | 24.6 教育 | 18.5 基盤整備 |
| 43.1 生活安全 | 24.8 子育て | 18.3 観光 | 5.2 特に関心はない |
| 65.2 医療 | 28.7 環境 | 21.1 雇用 | 1.1 その他 (具体的に) |
| 19.1 健康づくり | 16.7 文化・スポーツ | 11.6 農林水産業 | 0.8 無回答 |



問41 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n=1,568（○はいくつでも）

- 59.6 県広報紙「ちば県民だより」
- 10.1 千葉県ホームページ（パソコン版）
- 14.7 千葉県ホームページ（スマートフォン版）
 - 1.4 千葉県ホームページ（携帯版）
- 2.9 県が運用しているSNS（「チーバくん Twitter」、「チーバくん Instagram」など）
- 4.3 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
- 11.1 県の広報テレビ番組（チバテレ）
 - 「千葉県インフォメーション」毎週火・木・金曜午前7時10分～20分の間に90秒放送
 - 「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」毎週土曜午後10時から放送
- 2.9 県の広報ラジオ番組（bayfm78）
 - 「サタデイ・ブレイキング・モーニング」毎週土曜午前8時から放送
 - 「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」毎週月・水・金曜午前8時57分から放送
- 5.3 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）
 - 「千葉の贈り物～まごころ配達人～」毎週日曜午前8時55分から放送
- 1.3 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）
 - 「ミンナノチカラ～CHIBA～」毎週金曜午後6時45分から放送
 - 「YOU 遊 チバ」毎週月曜～木曜午後6時35分頃から放送
- 31.3 6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
- 3.1 その他（具体的に)
- 4.2 無回答

問42 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。 n=1,568（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 20.0 ほとんど毎回読んでいる | 17.0 読んだことがない |
| 32.8 ときどき読んでいる | 6.3 「ちば県民だより」を知らない |
| 22.8 読んだことがある | 1.1 無回答 |

→（問42で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に）

問42-1 県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。

n=1,185（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 78.2 新聞の折り込み | 3.5 駅などの県政ふれあいコーナー
（パンフレットラック） |
| 3.1 コンビニエンスストア・スーパー
などの商業施設 | 4.2 千葉県ホームページ |
| 13.6 県・市町村などの公共施設 | 0.9 スマートフォン向けアプリ |
| 1.7 銀行・信用金庫・郵便局 | 1.9 その他（具体的に) |
| | 1.4 無回答 |

→（問42-1をお答えの方に）

問42-2 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。

n=1,168（○はそれぞれ1つずつ）

情報・内容のわかりやすさ		デザイン	
14.0 良い	2.0 悪い	10.1 良い	3.0 悪い
78.4 普通	5.7 無回答	78.9 普通	8.0 無回答

問43 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。 n=1,568 (○は1つ)

0.8	よく利用している	22.2	利用したことがある	11.2	普段からインターネットを利用していない
11.5	ときどき利用している	52.8	利用していない	1.5	無回答

(問43で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問43-1 千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさはいかがですか。

n=541 (○は1つ)

6.5	良い	81.7	普通	10.5	悪い	1.3	無回答
-----	----	------	----	------	----	-----	-----

問44 県では、県の広報や魅力発信のため、テレビやラジオで様々な番組を放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	ほとんど毎回視聴している	ときどき視聴している	視聴したことがある	視聴したことがない	番組を知らない	無回答
n=1,568						
(ア) 県の広報テレビ番組（チバテレ）※1 「千葉県インフォメーション」 「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」	0.4	9.6	22.3	23.0	41.6	3.1
(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）※2 「サタデイ・ブレイジング・モーニング」 「チバ・プリフェクチャー・アップデート」	0.5	3.8	9.6	26.2	55.0	4.8
(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）※1 「千葉の贈り物～まごころ配達人～」	1.0	5.8	16.0	23.6	49.6	4.0
(エ) 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）※2 「ミンナノチカラ～CHIBA～」 「YOU 遊 チバ」	0.4	2.4	6.6	26.1	59.5	5.0

※1 テレビ番組のうち、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」と、「千葉の贈り物～まごころ配達人～」は、県HPの「ちばコレchannel」においても視聴できます。

また、YouTube「千葉県公式PRチャンネル」でも、「ウィークリー千葉県」が視聴できます。

※2 各ラジオ番組は、「radiko」などインターネット上のサービスでも視聴できます。

問45 あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。 n=1,568 (○はいくつでも)

41.7	新聞・雑誌等の記事又は広告	19.0	LINE・Twitter・Facebook等のSNS
30.5	テレビ・ラジオ等の番組又はCM	2.4	イベント
20.3	地域のフリーペーパー	9.6	特にない
12.5	駅や街頭のポスター	2.2	その他（具体的に）
6.5	街頭配布のチラシやリーフレット	1.1	無回答
44.5	ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト		

(問45で「7」をお答えの方に) <

問45-1 どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。 n=298 (○はいくつでも)

54.4	LINE	28.9	Facebook	45.6	YouTube	2.3	その他（具体的に）
55.7	Twitter	54.0	Instagram	0.3	特にない	0.0	無回答

問46 あなたは、県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で県に
対するご意見を述べたいと思いますか。 n=1,568（○は3つまで）

43.9	電子メール	5.2	会議・集会の場（タウンミーティングなど）
19.1	郵便（「知事への手紙」など）	18.0	県民相談窓口などへの訪問
35.2	電話	21.3	LINE・Twitter・Facebook等のSNS
5.1	ファックス	1.9	その他（具体的に）
		4.9	無回答



【県政への要望】

問47 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、必ず「問48」の具体的な要望項目欄（18～22ページ）をご覧ください。回答してください。各要望項目の内容について、例示を記載していますので参考にしてください。

n = 1,568

- | | | |
|------|----------------------------|---|
| 51.9 | 災害から県民を守る | |
| 5.2 | 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる | |
| 9.9 | 食品の安全を守る | |
| 9.7 | 交通事故から県民を守る | |
| 5.2 | 中心市街地の活性化を推進する | |
| 1.6 | 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる | |
| 16.0 | 公共交通網（バス・鉄道）を整備する | |
| 8.1 | 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する | |
| 4.9 | ひとり親家庭等の福祉を充実する | |
| 29.9 | 高齢者の福祉を充実する | |
| 15.4 | 次世代を担う子どもの育成支援を充実する | |
| 4.2 | 青少年を健全に育てる | |
| 1.8 | 男女共同参画を推進する | |
| 1.1 | 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する | |
| 5.3 | 健康づくりをすすめて、病気を予防する | |
| 29.0 | 医療サービス体制を整備する | |
| 4.7 | 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる | |
| 7.7 | 自然を守り、緑を育てる | |
| 3.2 | 循環型社会を推進する | |
| 2.9 | 廃棄物対策をすすめる | |
| 2.8 | 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する | |
| 3.8 | 観光を振興する | |
| 8.3 | 雇用の場を広げる | |
| 13.6 | 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する | |
| 2.8 | 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する | |
| 12.0 | 道路を整備する | |
| 3.2 | 下水道を整備する | |
| 1.4 | 住宅対策を充実する | |
| 4.5 | 公園・緑地を整備する | |
| 4.7 | 安心して飲める良質な水道水を供給する | |
| 8.5 | 学校教育を充実する | |
| 2.5 | 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する | |
| 2.1 | 芸術・文化活動を振興する | |
| 11.6 | 犯罪防止対策をすすめる | |
| 1.9 | 施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる | |
| 2.0 | 要望はない | |
| 1.0 | その他（具体的に |) |
| 1.6 | 無回答 | |

（問47で「1」～「35」のうち1つでもお答えの方は、次の問48にお進みください。

問47で「36」または「37」だけにお答えの方は、22ページのF1にお進みください。）

→問48 問47で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。
問47で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

問47の番号及び項目	具体的要望項目（問47で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n=814 災害から県民を守る を選んだ方	⇒ 13.0 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 38.8 災害時の支援、救援活動 10.1 避難場所・避難経路の整備 9.1 危険箇所の事前解消 3.9 災害に対する意識啓発、情報提供 1.0 放射性物質への対応 4.4 避難所における感染症対策 9.3 災害による停電対策 1.1 その他（具体的に） 9.2 無回答
2 n=81 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	⇒ 43.2 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 24.7 悪質な事業者の指導・処分 0.0 食品や生活用品などの適正な表示 1.2 商品・サービスに係る危害・危険の防止 1.2 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 4.9 高齢者や若者等の消費者被害の防止 11.1 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 1.2 その他（具体的に） 12.3 無回答
3 n=155 食品の安全を守る を選んだ方	⇒ 32.9 食品の安全確保 12.9 適正な食品表示 12.3 検査の強化 4.5 情報提供 27.1 添加物や農薬の規制 0.6 その他（具体的に） 9.7 無回答
4 n=152 交通事故から県民を 守る を選んだ方	⇒ 34.9 交通事故多発箇所の点検、整備 3.9 交通安全教育の推進 14.5 自転車通行環境の整備 2.0 その他 13.8 自転車利用者のマナー向上（具体的に） 21.1 ドライバーのマナー向上 9.9 無回答
5 n=82 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	⇒ 24.4 再開発などのまちづくり推進 42.7 駅周辺の活性化 18.3 商業による活性化 3.7 その他（具体的に） 11.0 無回答
6 n=25 国際交流・協力や外国人 県民との共生をすすめる を選んだ方	⇒ 12.0 海外の良い点を県政に反映 28.0 外国人にも住みやすいまちづくり 4.0 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 24.0 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 16.0 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 0.0 その他（具体的に） 16.0 無回答
7 n=251 公共交通網（バス・鉄道） を整備する を選んだ方	⇒ 30.3 鉄道やバスの増便などについて事業者に要望・働きかけ 21.9 鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実 13.5 鉄道新設などによる交通網の見直し 19.5 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上 2.0 鉄道やバスのバリアフリー化の支援 5.6 その他（具体的に） 7.2 無回答
8 n=127 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	⇒ 15.0 就労・社会参加の促進 20.5 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 29.9 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 25.2 経済的な支援・負担の軽減 0.0 その他（具体的に） 9.4 無回答

問 47 の番号及び項目	具体的要望項目（問 47 で選んだ項目についてのみお答えください）
9 ひとり親家庭等の福祉を 充実する を選んだ方 n=77	⇒ 28.6 子育て・生活支援体制の充実 7.8 就業支援体制の充実 45.5 経済的支援体制の充実 10.4 児童の就学・就職支援体制の充実 2.6 その他（具体的に） 5.2 無回答
10 高齢者の福祉を充実 する を選んだ方 n=469	⇒ 44.3 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 21.7 特別養護老人ホーム等の入所施設の充実 13.2 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 4.9 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 1.3 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.4 高齢者虐待防止対策の強化 3.2 認知症対策の強化 0.6 その他（具体的に） 10.2 無回答
11 次世代を担う子どもの 育成支援を充実する を選んだ方 n=241	⇒ 49.8 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 11.2 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 7.9 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の 充実 7.9 児童虐待防止対策の推進 10.0 妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実 2.1 その他（具体的に） 11.2 無回答
12 青少年を健全に育てる を選んだ方 n=66	⇒ 13.6 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 33.3 家庭・学校・地域の連携強化 4.5 専門家による相談窓口の充実 7.6 ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 19.7 非行・犯罪防止・立ち直り支援 12.1 ニート・ひきこもり等への支援 0.0 その他（具体的に） 9.1 無回答
13 男女共同参画を推進 する を選んだ方 n=28	⇒ 17.9 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 14.3 ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 28.6 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 3.6 女性の再就職支援 7.1 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 0.0 教育・学習の推進 0.0 広報・啓発活動の推進 3.6 男女共同参画に関する条例を制定する 0.0 男女共同参画の視点を踏まえた防災への取組 0.0 その他（具体的に） 25.0 無回答
14 地域課題解決に向けた 市民活動や協働の取組を 推進する を選んだ方 n=17	⇒ 35.3 官民連携など、協働の取組推進 11.8 市民活動への参加促進 17.6 活動を担う人材の育成 0.0 その他（具体的に） 17.6 活動を行う団体の活動支援 11.8 市民活動や協働の取組への理解促進 5.9 無回答
15 健康づくりをすすめて、 病気を予防する を選んだ方 n=83	⇒ 16.9 運動の機会の増大 9.6 心の健康づくり 44.6 高齢者の健康維持 1.2 歯科保健の充実 3.6 受動喫煙対策の推進 8.4 がんその他の生活習慣病対策 4.8 食生活改善の支援 1.2 その他（具体的に） 9.6 無回答
16 医療サービス体制を 整備する を選んだ方 n=454	⇒ 20.9 医師・看護職員等医療従事者の確保 14.1 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.8 医療施設の整備 18.1 休日・夜間等時間外診療の充実 9.9 救急医療体制の整備 1.8 その他（具体的に） 11.5 無回答

問 47 の番号及び項目	具体的要望項目（問 47 で選んだ項目についてのみお答えください）
17 n=73 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方	⇒ 9.6 低公害車の普及促進 12.3 光化学スモッグ・PM2.5対策 1.4 アスベスト対策 20.5 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 17.8 河川・湖沼・海域の水質改善 1.4 建設残土・再生土の適正な埋立て 16.4 環境中に排出される有害な化学物質対策 2.7 その他（具体的に） 17.8 無回答
18 n=120 自然を守り、緑を 育てる を選んだ方	⇒ 65.8 自然環境・自然景観の保全 4.2 環境保全に関する啓発・教育 5.8 希少な野生動植物の保全 0.8 県民参加での野生動植物調査 10.0 特定外来生物の防除 0.8 その他（具体的に） 12.5 無回答
19 n=50 循環型社会を推進する を選んだ方	⇒ 6.0 ごみ分別徹底化 20.0 廃棄物の再資源化促進 20.0 ごみの発生抑制（プラスチックごみの削減、食品ロスの削減 など） 24.0 地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育 12.0 再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進 4.0 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 0.0 その他（具体的に） 14.0 無回答
20 n=46 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒ 37.0 産業廃棄物の不法投棄防止対策 37.0 安心できる廃棄物処理施設の設置 13.0 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 0.0 その他（具体的に） 13.0 無回答
21 n=44 商工業を振興し、地域経済 の担い手を育成する を選んだ方	⇒ 34.1 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 15.9 中小企業への資金支援の充実 11.4 創業及び新たな事業展開の支援 4.5 研究・技術開発の支援 0.0 販路開拓の支援 27.3 商店街の整備・活性化 0.0 その他（具体的に） 6.8 無回答
22 n=60 観光を振興する を選んだ方	⇒ 30.0 観光地域の魅力向上 8.3 観光地へのアクセスの改善 13.3 観光施設・宿泊施設の充実 1.7 その他 20.0 千葉県観光の積極的なPR（具体的に） 16.7 新たな観光コンテンツの開発・磨き上げ 10.0 無回答
23 n=130 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒ 19.2 若年者に対する就業支援 9.2 女性に対する就業支援 14.6 就職氷河期世代に対する 2.3 障害のある人に対する就業支援 就業支援 1.5 その他（具体的に） 37.7 中高年齢者に対する就業支援 15.4 無回答
24 n=214 仕事と子育てや介護が 両立する働き方を実現 する を選んだ方	⇒ 11.2 女性の再就職支援 4.7 両立支援相談窓口の設置 22.9 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 7.5 男性の育児休業取得など働き方の見直しの啓発 19.2 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 5.1 企業に対する税制上の優遇措置の創設 14.0 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 2.8 その他（具体的に） 12.6 無回答

問 47 の番号及び項目	具体的要望項目（問 47 で選んだ項目についてのみお答えください）
25 n=44 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供給 する を選んだ方	⇒ 22.7 新鮮でおいしい農林水産物の供給 15.9 価格の安定 18.2 県産農林水産物の販売量の拡大 29.5 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 6.8 その他（具体的に） 6.8 無回答
26 n=188 道路を整備する を選んだ方	⇒ 38.8 交通渋滞対策 8.5 交通事故多発箇所の改修 8.0 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 10.1 観光、買い物などを支援する道路の整備 9.6 自然災害に強い道路の整備 16.5 その他（具体的に） 8.5 無回答
27 n=50 下水道を整備する を選んだ方	⇒ 56.0 下水道の普及・改善 12.0 水洗化への支援 4.0 下水道施設の耐震化 4.0 その他（具体的に） 8.0 下水の高度処理化 16.0 無回答
28 n=22 住宅対策を充実する を選んだ方	⇒ 18.2 安くて入居を拒まれない住宅の整備 18.2 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 22.7 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 9.1 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 4.5 省エネなど環境に優しい住宅の整備 4.5 その他（具体的に） 22.7 無回答
29 n=70 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒ 25.7 公園・緑地等の設置・管理 17.1 公園等の緑化推進 37.1 子どもの遊び場の整備 2.9 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 0.0 催物・講習会等の開催 4.3 その他（具体的に） 12.9 無回答
30 n=73 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒ 47.9 上水道の水質の改善・維持 13.7 上水道の整備 27.4 水源となる湖沼や川の汚染対策 0.0 その他（具体的に） 11.0 無回答
31 n=133 学校教育を充実する を選んだ方	⇒ 29.3 教職員の資質向上・増員 1.5 障害のある児童生徒などの教育 7.5 学力の向上 の充実 3.8 健康と体力の向上 7.5 学校施設の整備 8.3 特色ある教育活動の充実 3.8 その他 10.5 道徳や心の教育の充実（具体的に） 11.3 いじめ対策・不登校児童生徒支援 16.5 無回答
32 n=39 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	⇒ 0.0 指導者育成の支援 17.9 学習機会の充実 43.6 スポーツ・レクリエーション活動の充実 5.1 情報提供の充実 20.5 施設の整備・充実 0.0 その他（具体的に） 12.8 無回答
33 n=33 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	⇒ 51.5 文化・芸術にふれる機会の拡充 12.1 文化・芸術に関する情報提供の充実 12.1 文化・芸術活動への支援 3.0 伝統文化や文化財などの継承と活用 3.0 文化施設等の幅広い活用 0.0 その他（具体的に） 18.2 無回答

問 47 の番号及び項目	具体的要望項目（問 47 で選んだ項目についてのみお答えください）
34 n=182 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	⇒ 18.1 警察官によるパトロールの強化 38.5 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 8.2 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 8.2 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 4.9 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 1.1 少年の非行防止対策 6.6 暴力団、来日外国人等による犯罪の防止 1.1 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 0.0 その他（具体的に ） 13.2 無回答
35 n=30 施策実現や地域活性化 のためのICTの 利活用をすすめる を選んだ方	⇒ 46.7 安全で豊かなくらしの実現のためのICT利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） 13.3 千葉県の未来を担うこどもの育成のためのICT利活用 （子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等） 6.7 経済の活性化と交流基盤の整備のためのICT利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 10.0 行政事務の利便性の向上、効率化へのICT利活用 0.0 情報セキュリティ対策の推進 6.7 Wi-Fi環境の整備促進 3.3 その他（具体的に ） 13.3 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n=1,568（○は1つ）

42.1 男性	55.7 女性	0.1 その他	2.0 無回答
---------	---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n=1,568（○は1つ）

0.6 18～19歳	16.6 40～49歳	34.1 65歳以上
7.1 20～29歳	19.4 50～59歳	
10.4 30～39歳	9.9 60～64歳	1.8 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n=1,568（○は1つ）

6.8 自営業者	20.1 主婦・主夫	20.1 無職
44.4 勤め人	2.1 学生	4.6 その他（ ） 1.9 無回答

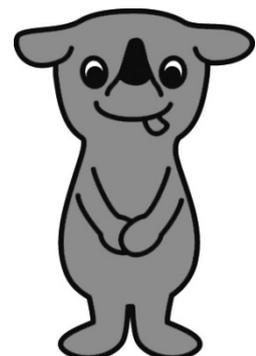
F 4 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。 n=1,568（○は1つ）

14.6	千葉市	3.0	佐倉市	0.5	匝瑳市	0.4	勝浦市
5.2	市原市	1.7	四街道市	0.6	東金市	0.8	いすみ市
8.5	船橋市	0.9	八街市	1.0	山武市	0.0	夷隅郡大多喜町
8.2	市川市	1.6	印西市	1.1	大網白里市	0.3	夷隅郡御宿町
3.3	習志野市	1.7	白井市	0.0	山武郡九十九里町	0.5	館山市
3.3	八千代市	0.3	富里市	0.3	山武郡芝山町	1.0	鴨川市
1.8	浦安市	0.3	印旛郡酒々井町	0.4	山武郡横芝光町	0.5	南房総市
7.5	松戸市	0.0	印旛郡栄町	1.3	茂原市	0.0	安房郡鋸南町
2.9	野田市	1.0	香取市	0.0	長生郡一宮町	2.2	木更津市
6.1	柏市	0.3	香取郡神崎町	0.0	長生郡睦沢町	1.6	君津市
2.9	流山市	0.0	香取郡多古町	0.6	長生郡長生村	0.8	富津市
2.0	我孫子市	0.0	香取郡東庄町	0.0	長生郡白子町	0.5	袖ヶ浦市
1.9	鎌ヶ谷市	0.9	銚子市	0.0	長生郡長柄町		
2.1	成田市	1.0	旭市	0.5	長生郡長南町	2.0	無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県や世論調査へのご意見やご提案があればご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。
 ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、12月11日（金）
 までに、郵便ポストにご投函ください。
 なお、返信用封筒へのお名前やご住所の記入、切手は不要です。



令和2年度

(第60回)

県政に関する世論調査

令和3年5月発行

(令和2年11月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町1番1号

(広聴室) 電話043-223-2469
